

第三期守口市子ども・子育て支援事業計画
作成に係るニーズ調査

令和6年3月
守口市

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査期間	1
4. 調査方法	1
5. 回収状況	1
6. 調査結果の表示方法	1
II 就学前児童がいる世帯の調査結果	2
1. 家族構成や保護者の就労状況について	2
2. 幼児教育・保育施設の利用状況について	20
3. 子どもが病気などになったときの対応について	27
4. 幼児教育・保育施設の利用意向について	35
5. 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の幼児教育・保育施設の利用意向について	38
6. 仕事と子育ての両立について	44
7. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	54
8. 一時預かりの利用状況、利用意向について	63
9. 地域の子育て支援サービスの利用状況、利用意向について	74
10. 市役所などへの要望について	80
11. 子どもの生活習慣について	83
12. 子育てを支援する生活環境について	85
13. 子育てに対する意識について	88
III 就学児童(小学生)がいる世帯の調査結果	96
1. 家族構成や保護者の就労状況について	96
2. もりぐち児童クラブ「入会児童室」の利用状況について	112
3. 子どもが病気などになったときの対応や一時預かりの利用状況について	129
4. 仕事と子育ての両立について	139
5. 市役所などへの要望について	143
6. 子どもの生活習慣について	144
7. 地域での自然体験などへの参加などについて	147
8. 子育てを支援する生活環境について	151
9. 子育てに対する意識について	153

I 調査の概要

1. 調査の目的

第三期守口市子ども・子育て支援事業計画における需要量の見込みを設定する上での基礎資料とするため、住民の子育て支援に関する生活実態や要望等について、アンケート調査を行い、調査の集計・分析結果等を取りまとめた。

2. 調査対象

- (1) 未就学前児童のいる世帯 1,500 世帯
- (2) 小学生児童のいる世帯 1,500 世帯

3. 調査期間

令和6年1月31日から2月16日まで

※ 調査期間を2月29日まで延長

4. 調査方法

郵送による配布と郵送回収及びWeb回答

5. 回収状況

	配布数	回収数			有効回収数			有効回収率
			郵送	Web		郵送	Web	
就学前児童が いる世帯	1,500 件	805 件	385 件	420 件	805 件	385 件	420 件	53.7%
就学児童が いる世帯	1,500 件	748 件	392 件	356 件	748 件	392 件	356 件	49.9%
合計	3,000 件	1,553 件	777 件	776 件	1,553 件	777 件	776 件	51.8%

6. 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

II 就学前児童がいる世帯の調査結果

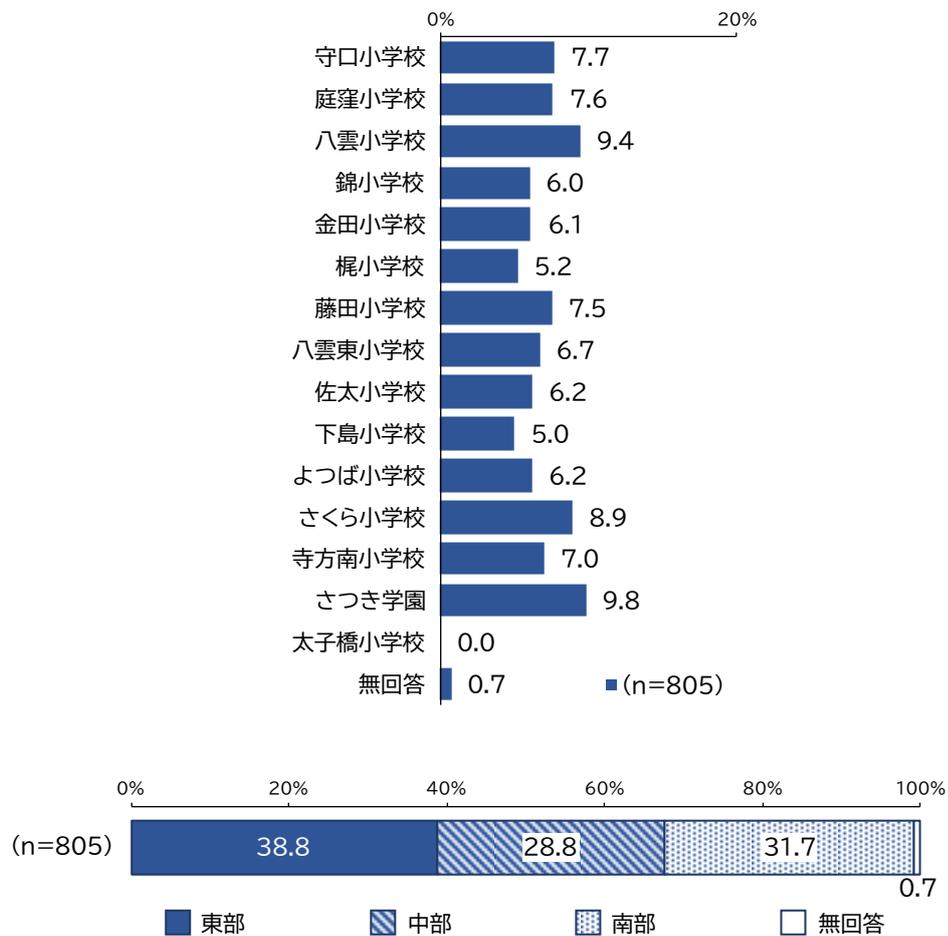
1. 家族構成や保護者の就労状況について

(1) 居住地（小学校区）

問1 お住まいの地域の小学校区を記入してください。

居住地（小学校区）についてみると、「さつき学園」が9.8%で最も高く、次いで「八雲小学校」が9.4%、「さくら小学校」が8.9%、「守口小学校」が7.7%、「庭窪小学校」が7.6%、「藤田小学校」が7.5%となっています。

地域別にみると、「東部」が38.8%で最も高く、次いで「南部」が31.7%、「中部」が28.8%となっています。

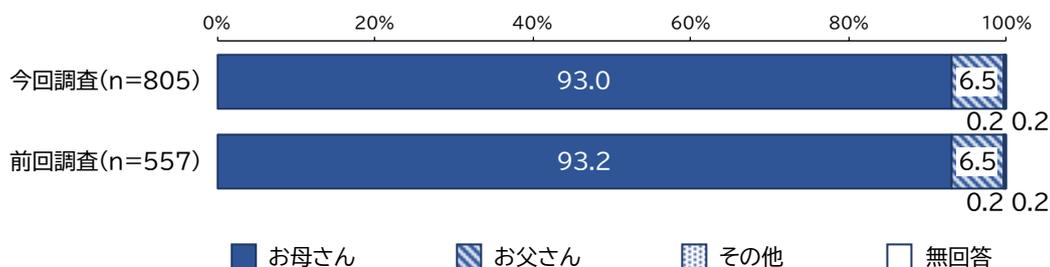


(2) 調査の回答者

問2 この調査にご回答いただく方はどなたですか。
封筒のあて名のお子さんからみた関係で、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

調査の回答者についてみると、「お母さん」が93.0%で最も高く、次いで「お父さん」が6.5%となっています。

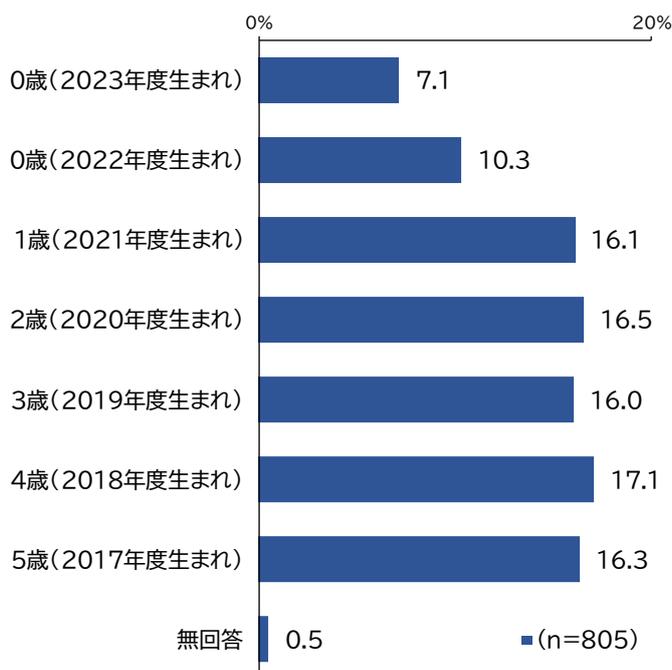
前回調査と比べると、大きな差異はみられません。



(3) 子どもの年齢

問3 封筒のあて名のお子さんの生年月について、枠内に数字を入れてください。

子どもの年齢についてみると、「4歳(2018年度生まれ)」が17.1%で最も高く、次いで「2歳(2020年度生まれ)」が16.5%、「5歳(2017年度生まれ)」が16.3%、「1歳(2021年度生まれ)」が16.1%、「3歳(2019年度生まれ)」が16.0%となっています。



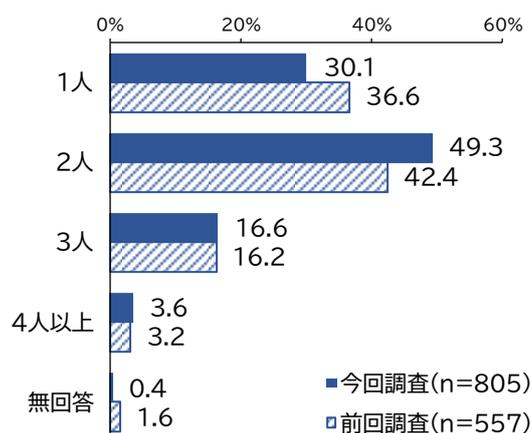
(4) 子どもの人数と末子の年齢

問4 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（令和5年4月1日現在の年齢）を記入してください。（令和5年4月2日以降に生まれたお子さんは0歳と記入してください。）

■ 子どもの人数

子どもの人数についてみると、「2人」が49.3%で最も高く、次いで「1人」が30.1%、「3人」が16.6%となっています。

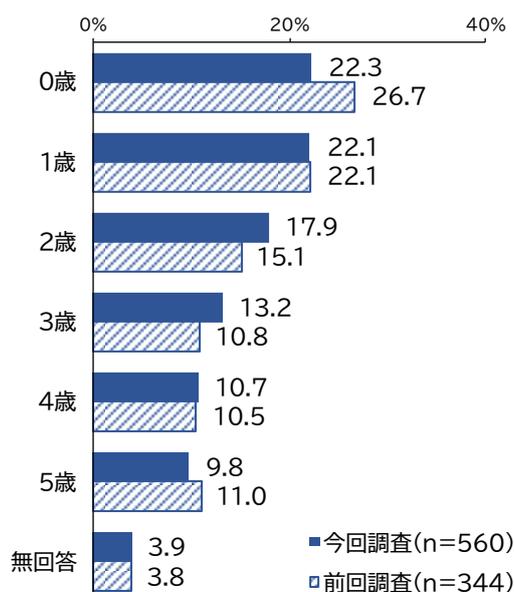
前回調査と比べると、「2人」は今回調査の方が6.9ポイント高くなっています。



■ 末子の年齢

末子の年齢についてみると、「0歳」が22.3%で最も高く、次いで「1歳」が22.1%、「2歳」が17.9%、「3歳」が13.2%、「4歳」が10.7%、「5歳」が9.8%となっています。

前回調査と比べると、「0歳」は今回調査の方が4.4ポイント低くなっています。

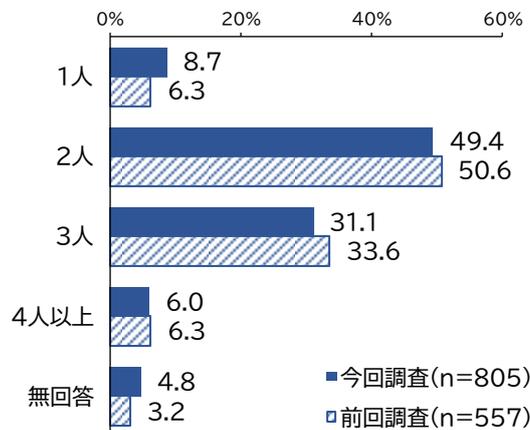


(5) 希望する子どもの人数

問5 希望として、子どもは何人ほしいですか。

希望する子どもの人数についてみると、「2人」が49.4%で最も高く、次いで「3人」が31.1%、「1人」が8.7%、「4人以上」が6.0%となっています。

前回調査と比べると、大きな差異はみられません。

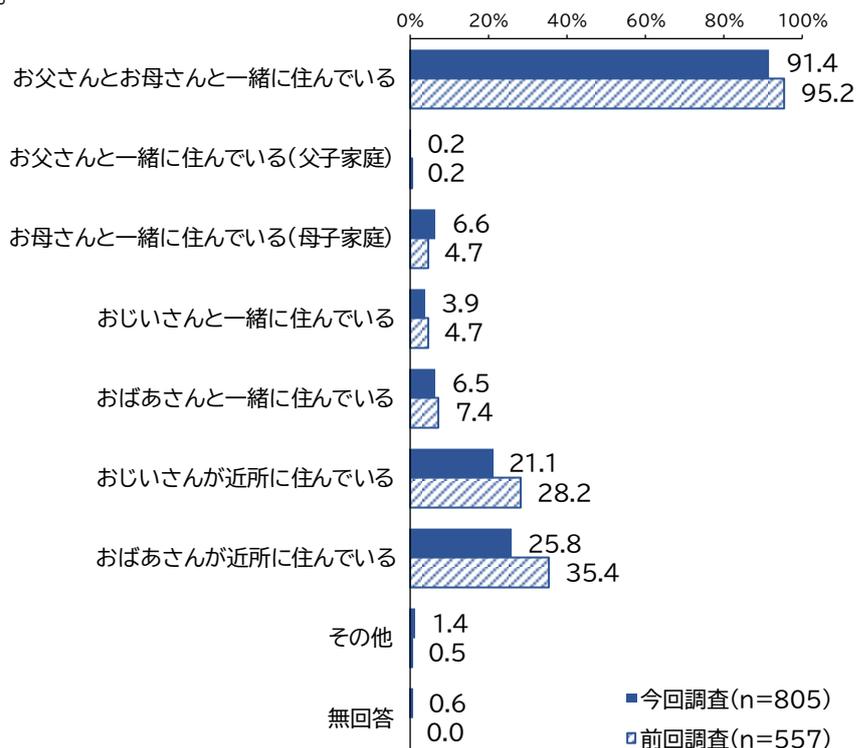


(6) 子どもの同居状況

問6 お子さんと一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所におじいさん・おばあさんが住んでいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。
※選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

子どもの同居状況についてみると、「お父さんとお母さんと一緒に住んでいる」が91.4%で最も高く、次いで「おばあさんが近所に住んでいる」が25.8%、「おじいさんが近所に住んでいる」が21.1%となっています。

前回調査と比べると、「お父さんとお母さんと一緒に住んでいる」は今回調査の方が3.8ポイント低くなっています。

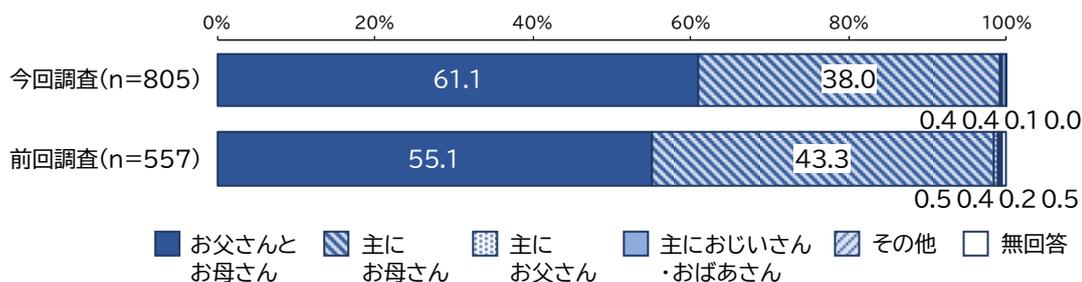


(7) 子育てや教育を主に行っている人

問7 お子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
 ※選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

子育てや教育を主に行っている人についてみると、「お父さんとお母さん」が61.1%で最も高く、次いで「主にお母さん」が38.0%、「主にお父さん」と「主におじいさん・おばあさん」がともに0.4%となっています。

前回調査と比べると、「お父さんとお母さん」は今回調査の方が6.0ポイント高くなっています。

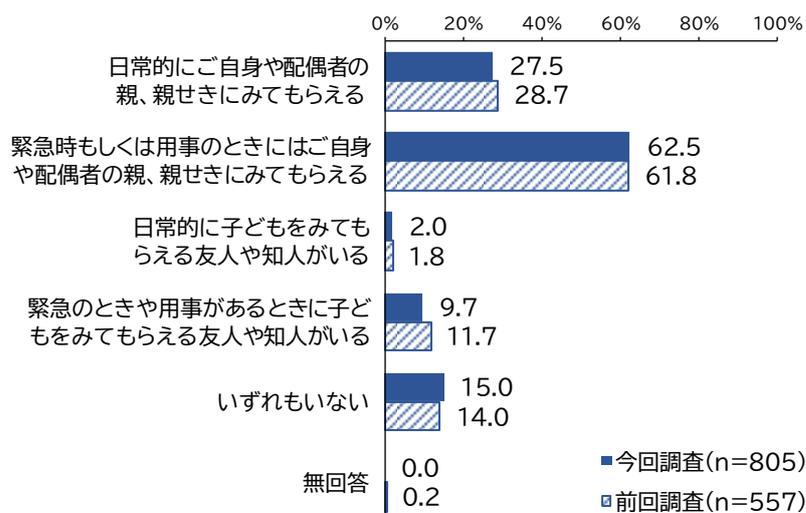


(8) 子どもを預かってもらえる人の有無

問8 日頃、封筒のあて名のお子さんを預けてみてもらえる人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもを預かってもらえる人の有無についてみると、「緊急時もしくは用事的时候にはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が62.5%で最も高く、次いで「日常のご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が27.5%となっています。

前回調査と比べると、大きな差異はみられません。

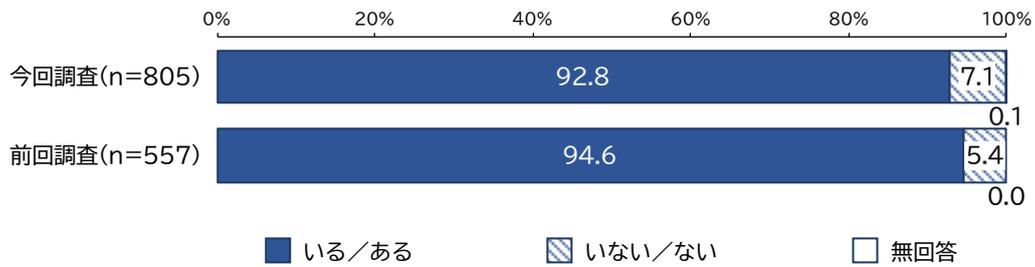


(9) 子育てに関する相談先の有無

問9 お子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

子育てに関する相談先の有無についてみると、「いる／ある」が92.8%、「いない／ない」が7.1%となっています。

前回調査と比べると、大きな差異はみられません。



(10) 子育てに関する相談先

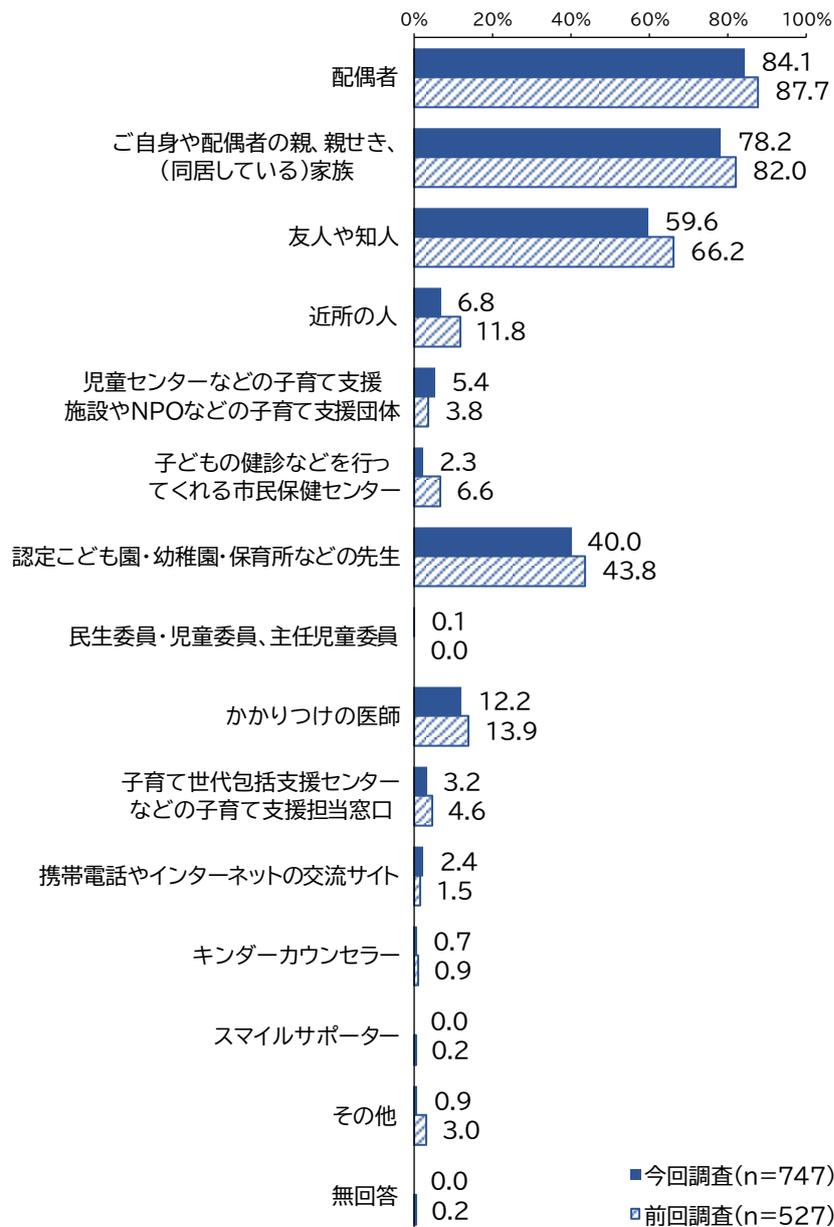
問9-1 問9で「1」を選ばれた方におうかがいします。気軽に相談できる人や場所などについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てに関する相談先についてみると、「配偶者」が84.1%で最も高く、次いで「ご自身や配偶者の親、親せき、（同居している）家族」が78.2%、「友人や知人」が59.6%となっています。

前回調査と比べると、多くの項目において今回調査の割合が低くなっています。

子どもの年齢別にみると、0歳（2022年度生まれ）で「ご自身や配偶者の親、親せき、（同居している）家族」、2歳で「配偶者」がそれぞれ9割以上と、他の年齢に比べて高くなっています。

母親の就労形態別にみると、無業で「配偶者」が9割以上（91.1%）と、他の就労形態に比べて高くなっています。



【子どもの年齢別、母親の就労形態別】

		回答者数 (n)	配偶者	ご自身や配偶者の親、親せき、(同居している) 家族	友人や知人	近所の人	児童センターなどの子育て支援施設やNPOなどの子育て支援団体	子どもの健診などを行っている市保健センター	認定こども園・幼稚園・保育所などの先生	民生委員・児童委員、主任児童委員	かかりつけの医師
全体		747	84.1	78.2	59.6	6.8	5.4	2.3	40.0	0.1	12.2
子どもの年齢別	0歳 (2023年度生まれ)	50	88.0	74.0	68.0	4.0	6.0	6.0	22.0	-	16.0
	0歳 (2022年度生まれ)	82	89.0	91.5	61.0	8.5	4.9	4.9	26.8	1.2	14.6
	1歳	127	81.9	80.3	56.7	3.1	4.7	0.8	38.6	-	11.8
	2歳	128	90.6	71.1	56.3	6.3	6.3	3.1	46.9	-	14.8
	3歳	112	82.1	71.4	55.4	8.0	3.6	0.9	42.9	-	8.0
	4歳	126	77.8	84.1	61.1	10.3	9.5	0.8	45.2	-	12.7
5歳	118	83.1	75.4	63.6	6.8	2.5	2.5	44.1	-	10.2	
就労形態別 母親の	フルタイム	353	80.5	78.8	59.5	5.7	5.9	2.3	43.6	0.3	15.6
	パートタイム等	219	84.9	79.9	63.5	9.1	5.0	3.7	47.5	-	8.2
	無業	168	91.1	74.4	55.4	6.0	4.8	0.6	22.6	-	10.1

		回答者数 (n)	子育て世代包括支援センターなどの子育て支援担当窓口	携帯電話やインターネットの交流サイト	キンダーカウンセラー	スマイルサポーター	その他	無回答
全体		747	3.2	2.4	0.7	-	0.9	-
子どもの年齢別	0歳 (2023年度生まれ)	50	8.0	8.0	-	-	-	-
	0歳 (2022年度生まれ)	82	8.5	4.9	2.4	-	-	-
	1歳	127	1.6	2.4	0.8	-	-	-
	2歳	128	3.1	1.6	0.8	-	1.6	-
	3歳	112	-	0.9	-	-	0.9	-
	4歳	126	4.0	1.6	-	-	2.4	-
5歳	118	1.7	1.7	0.8	-	0.8	-	
就労形態別 母親の	フルタイム	353	3.4	2.3	0.6	-	1.1	-
	パートタイム等	219	4.6	2.7	0.9	-	1.4	-
	無業	168	1.2	2.4	0.6	-	-	-

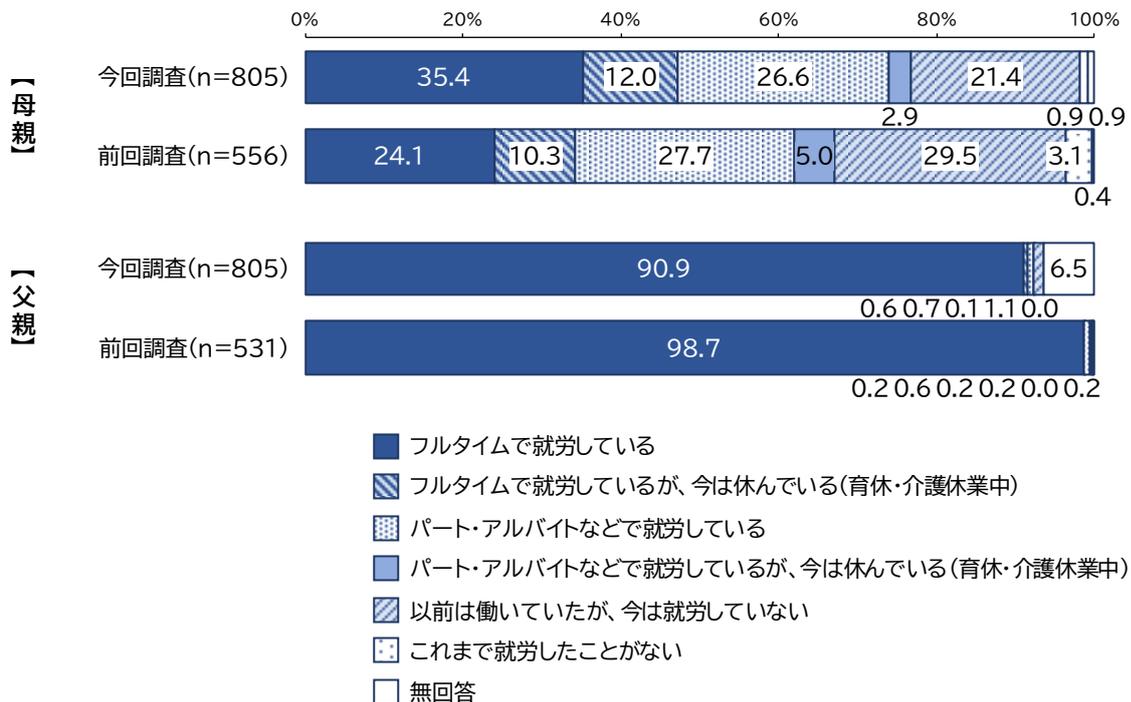
(11) 保護者の就労状況

問 10 お子さんの「お母さん」「お父さん」の働いている状況（就労状況）についておうかがいします。
 自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。
 ※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
 「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

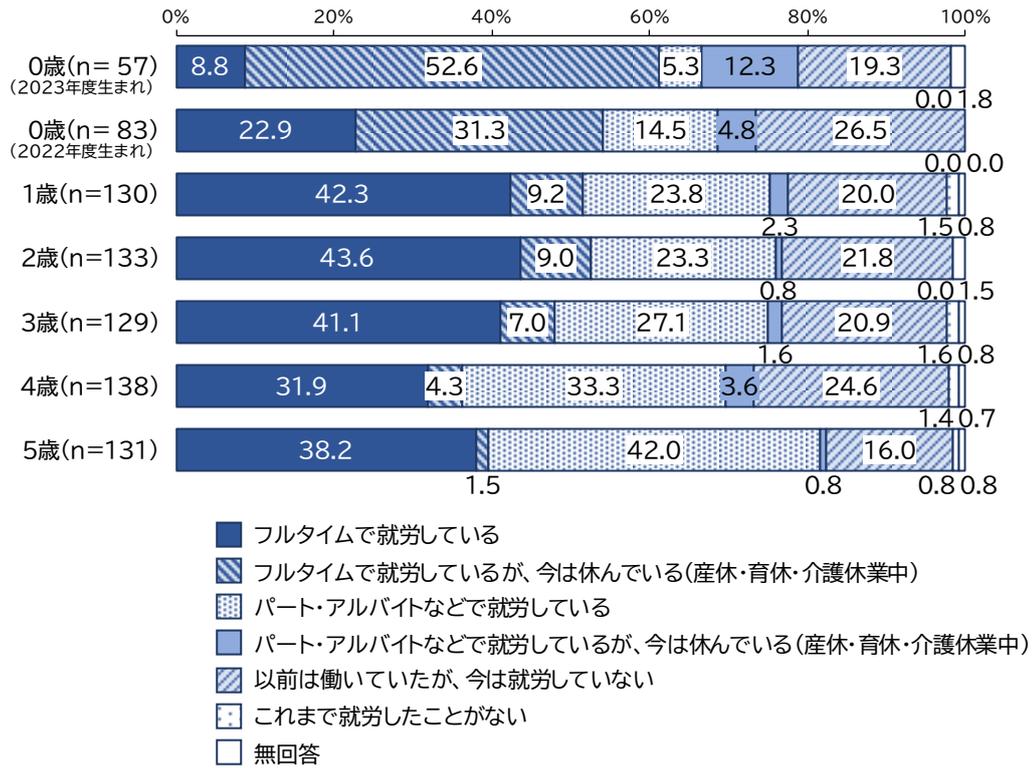
保護者の就労状況についてみると、母親は「フルタイムで就労している」が35.4%で最も高く、次いで「パート・アルバイトなどで就労している」が26.6%、「以前は働いていたが、今は就労していない」が21.4%となっています。父親は「フルタイムで就労している」が90.9%で最も高く、次いで「以前は働いていたが、今は就労していない」が1.1%、「パート・アルバイトなどで就労している」が0.7%となっています。

前回調査と比べると、今回調査では母親で「フルタイムで就労している」は11.3ポイント高く、「以前は働いていたが、今は就労していない」は8.1ポイント低くなっています。また、父親では「フルタイムで就労している」は今回調査の方が7.8ポイント低くなっています。

母親の就労状況について、子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が低くなるほど「フルタイムで就労しているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）」の割合が高く、子どもの年齢が高くなるほど「パート・アルバイトなどで就労している」の割合が概ね高くなる傾向にあります。また、「フルタイムで就労している」は1～3歳をピークに高くなる傾向で、いずれも4割以上を占めています。



【子どもの年齢別 母親の就労状況】

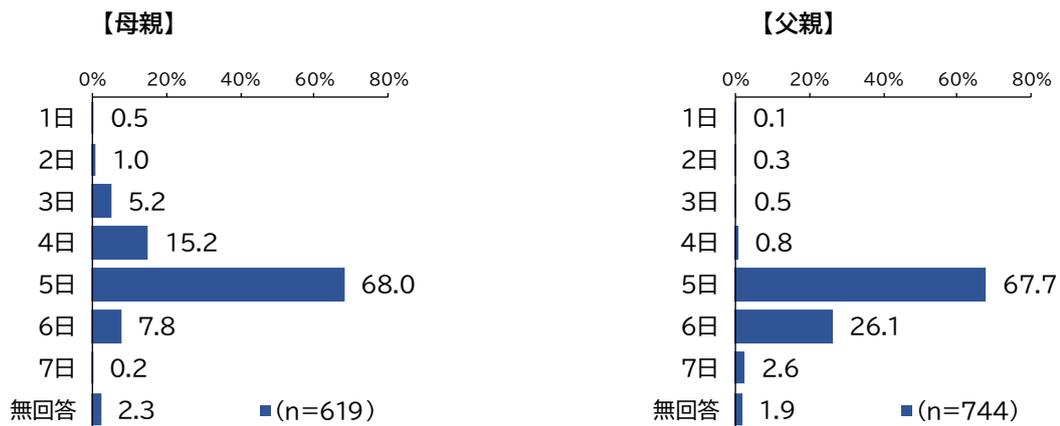


(12) 保護者の就労日数・時間

問 10-1 問 10 の (1) (2) とも、または、どちらかで「1」から「4」を選ばれた方（休業中の方も含む。）におうかがいします。
 1週間にどのくらいの日数働きますか。また、1日当たりどのくらいの時間働きますか。
 枠内に具体的な数字を入れてください。不規則な場合は最も多いパターンをお答えください。
 今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

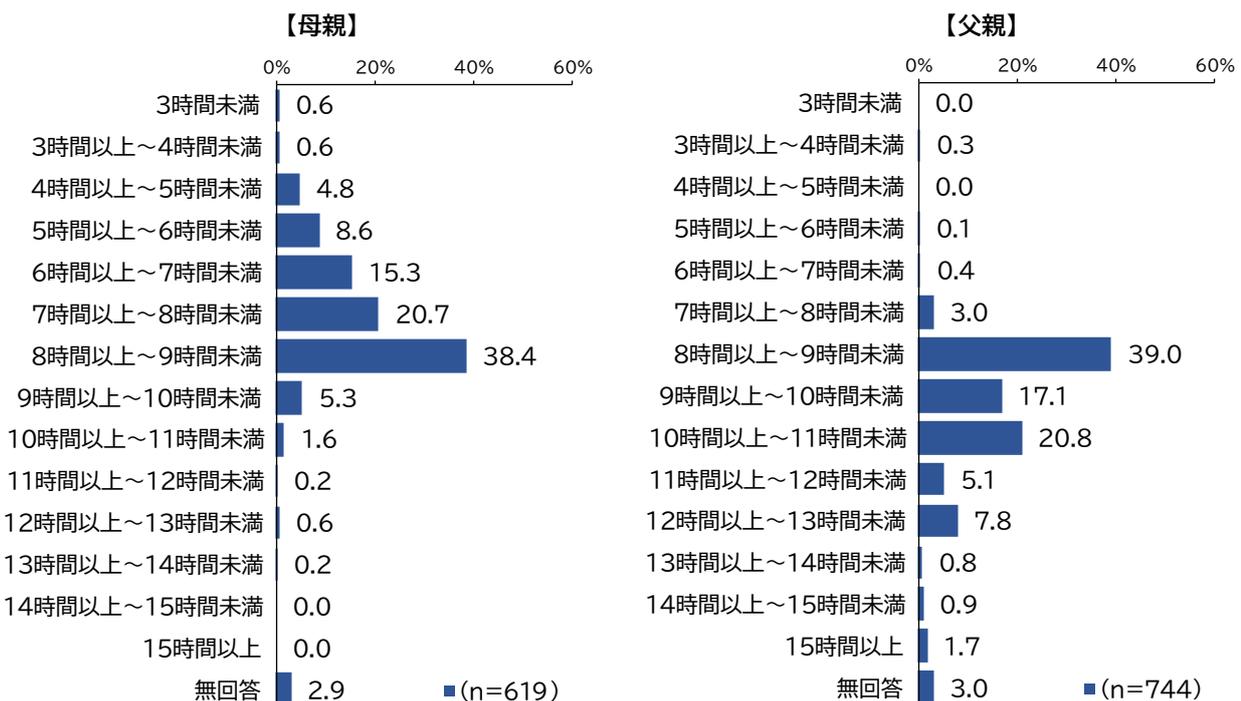
■ 週当たり就労日数

保護者の週当たり就労日数についてみると、母親は「5日」が68.0%で最も高く、次いで「4日」が15.2%、「6日」が7.8%、「3日」が5.2%となっています。父親は「5日」が67.7%で最も高く、次いで「6日」が26.1%、「7日」が2.6%となっています。



■ 1日当たり就労時間

保護者の1日当たり就労時間についてみると、母親は「8時間以上～9時間未満」が38.4%で最も高く、次いで「7時間以上～8時間未満」が20.7%、「6時間以上～7時間未満」が15.3%となっています。父親は「8時間以上～9時間未満」が39.0%で最も高く、次いで「10時間以上～11時間未満」が20.8%、「9時間以上～10時間未満」が17.1%となっています。

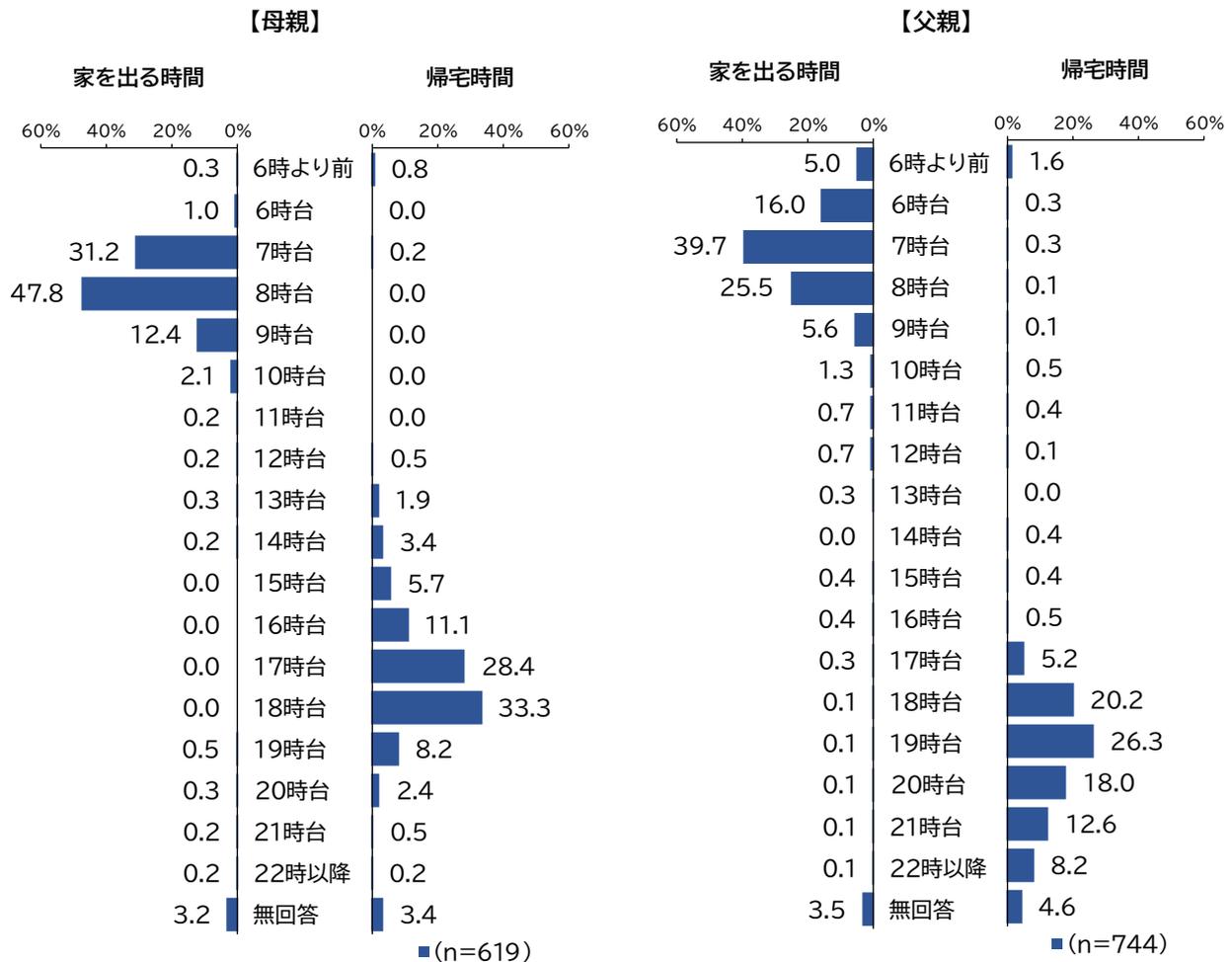


(13) 保護者の就労時間帯

問 10-2 問 10 の (1) (2) とも、または、どちらかで「1」から「4」を選ばれた方（休業中の方も含む。）におうかがいします。
 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。（自宅で働いている方は仕事が始まる時間と仕事が終わる時間をお答えください。）
 時間が不規則な場合はもっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。
 時間は必ず（18：00）のように 24 時間制でお答えください。

保護者の就労時間帯についてみると、家を出る時間では、母親は「8 時台」が 47.8%で最も高く、次いで「7 時台」が 31.2%、「9 時台」が 12.4%となっています。父親は「7 時台」が 39.7%で最も高く、次いで「8 時台」が 25.5%、「6 時台」が 16.0%となっています。

帰宅時間では、母親は「18 時台」が 33.3%で最も高く、次いで「17 時台」が 28.4%、「16 時台」が 11.1%、「19 時台」が 8.2%、「15 時台」が 5.7%、「14 時台」が 3.4%、「20 時台」が 2.4%となっています。父親は「19 時台」が 26.3%で最も高く、次いで「18 時台」が 20.2%、「20 時台」が 18.0%となっています。



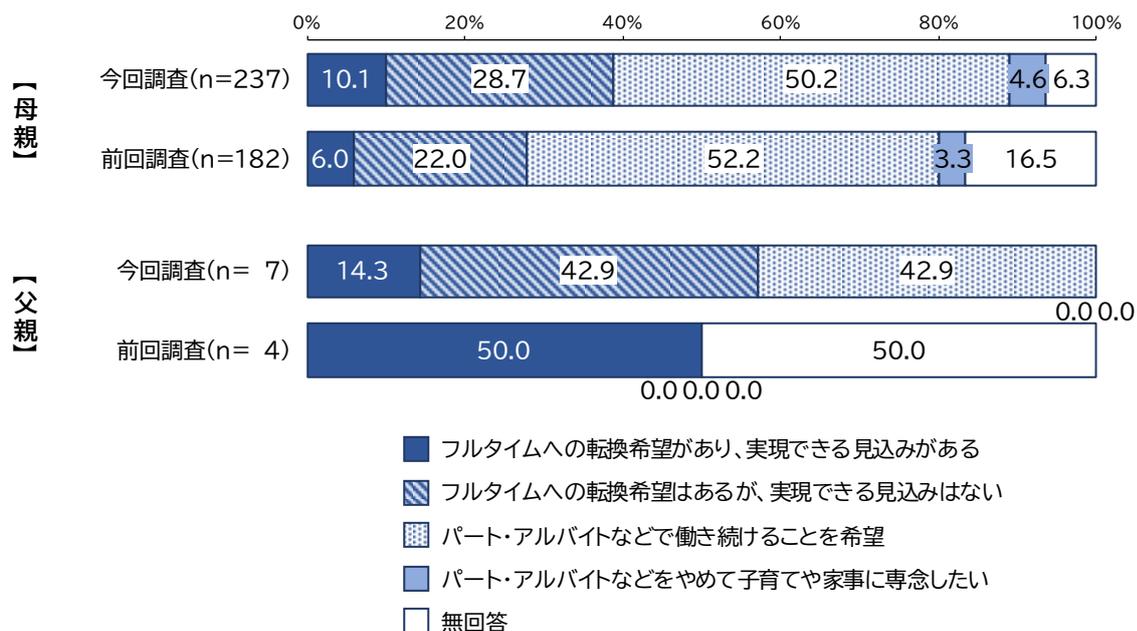
(14) フルタイムへの転換希望

問 10-3 問 10 の (1) (2) とも、または、どちらかで「3」または「4」のパート・アルバイト勤務を選ばれた方（休業中の方も含む。）におうかがいします。
 フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
 ※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
 「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

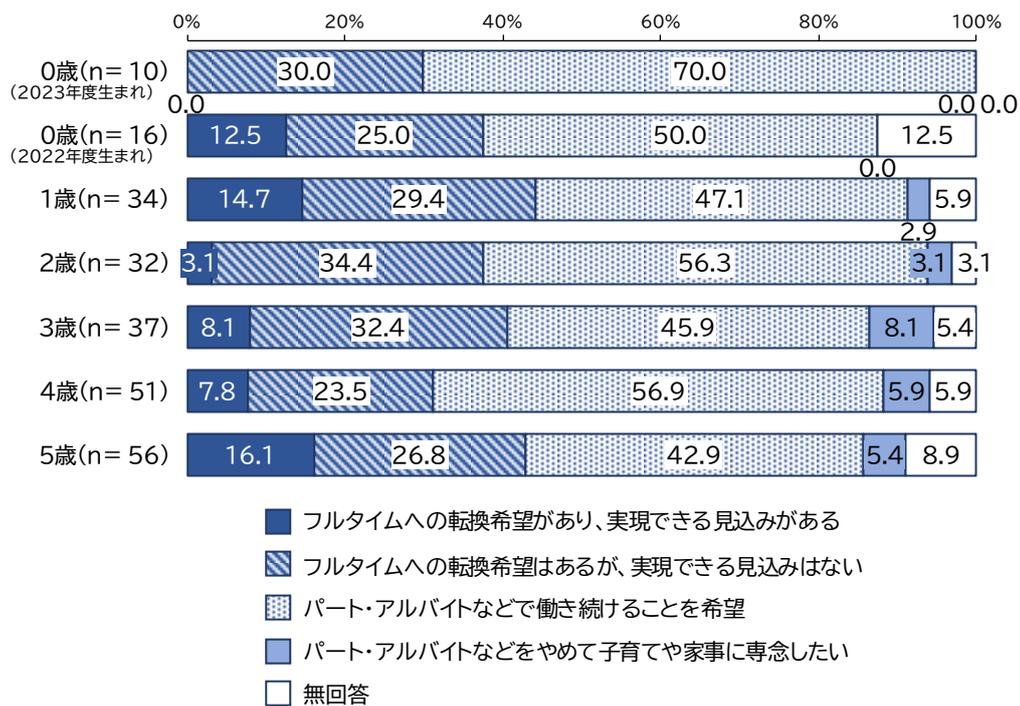
フルタイムへの転換希望についてみると、母親は「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」が50.2%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が28.7%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が10.1%となっています。父親は「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」がともに7人中3人（42.9%）で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が7人中1人（14.3%）となっています。

前回調査と比べると、母親で「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は今回調査の方が6.7ポイント高くなっています。

母親のフルタイムへの転換希望について、子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が低くなるほど「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」の割合は概ね高くなる傾向にあり、0歳（2023年度生まれ）で70.0%となっています。



【子どもの年齢別 母親のフルタイムへの転換希望】



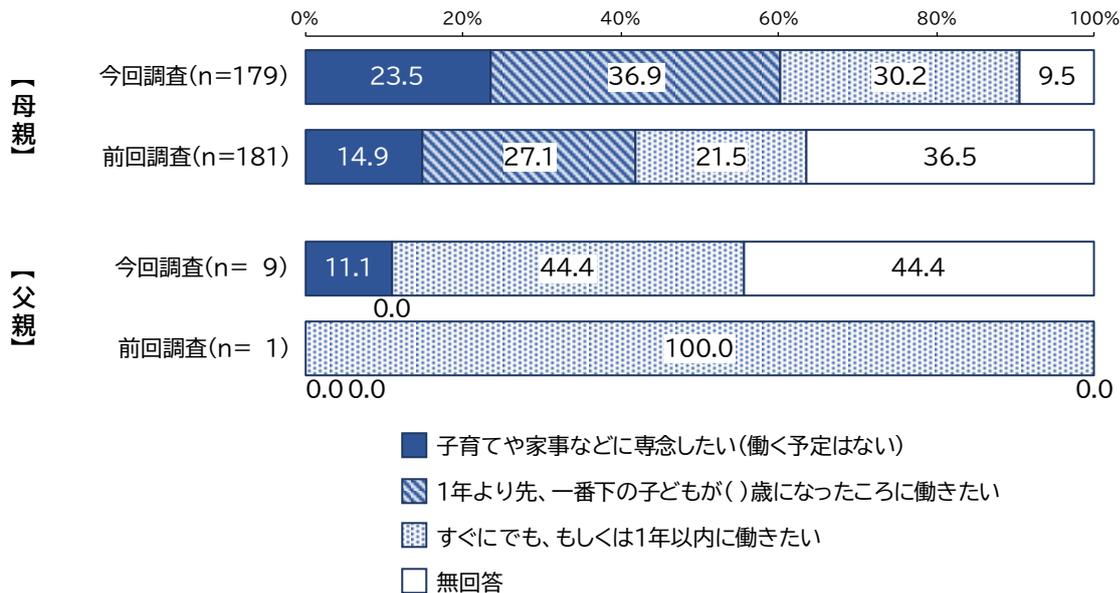
(15) 保護者の就労意向

問 10-4 問 10 の (1) (2) とともに、または、どちらかで「5」または「6」を選ばれた仕事をお持ちでない方におうかがいします。
 働きたいという希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、枠内に具体的な数字を入れてください。
 ※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
 「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

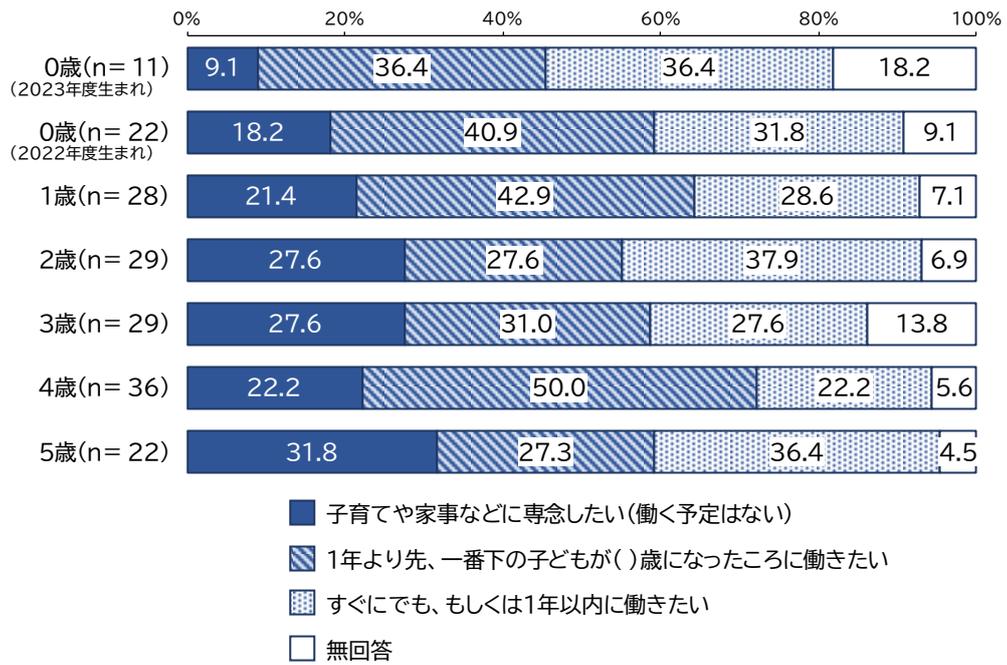
保護者の就労意向についてみると、母親は「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに働きたい」が36.9%で最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が30.2%、「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」が23.5%となっています。父親は「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が9人中4人(44.4%)で最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」が9人中1人(11.1%)となっています。

前回調査と比べると、母親はすべての項目で今回調査の方が上回っており、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに働きたい」で9.8ポイント、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」で8.7ポイント高くなっています。

母親の就労意向について、子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が高くなるほど「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」の割合は概ね高くなる傾向にあり、5歳で約3割(31.8%)となっています。また、4歳で「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに働きたい」が半数と、他の年齢と比べて特に高くなっています。

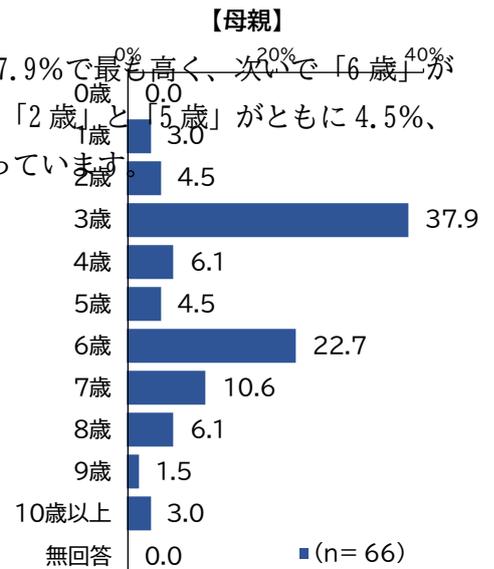


【子どもの年齢別 母親の就労意向】



■ 就労希望時の末子の年齢

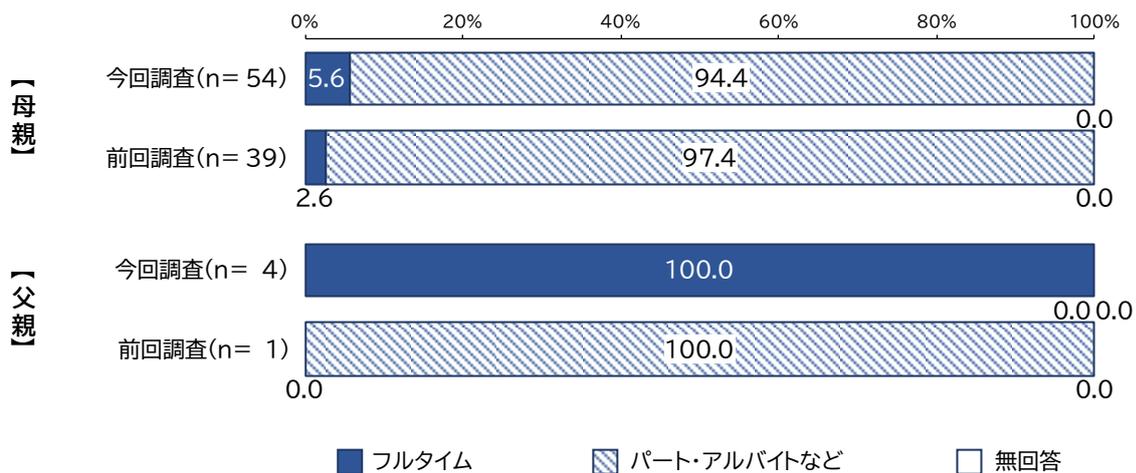
就労希望時の末子の年齢についてみると、母親は「3歳」が37.9%で最も高く、次いで「6歳」が22.7%、「7歳」が10.6%、「4歳」と「8歳」がともに6.1%、「2歳」と「5歳」がともに4.5%、「1歳」と「10歳以上」がともに3.0%、「9歳」が1.5%となっています。



■ 希望する就労形態

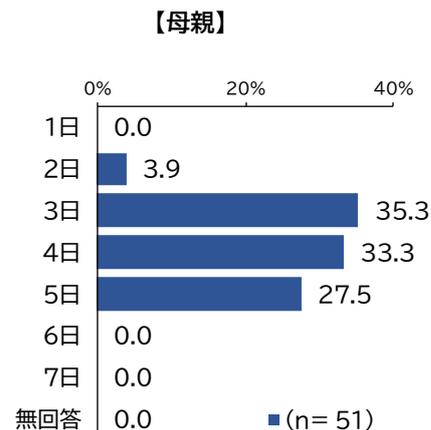
希望する就労形態についてみると、母親は「フルタイム」が5.6%、「パート・アルバイトなど」が94.4%となっています。父親は全員が「フルタイム」と回答しています。

前回調査と比べると、母親で「フルタイム」は今回調査の方が3.0ポイント高くなっています。



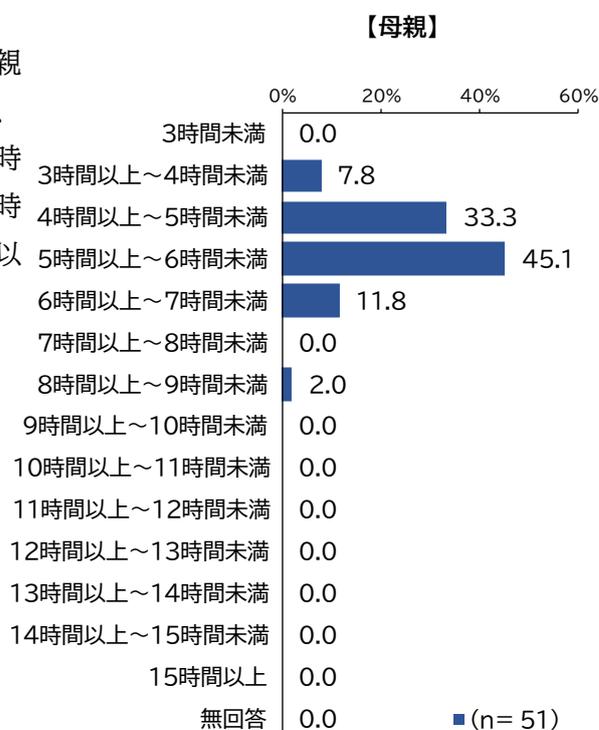
■ 希望する週当たり就労日数

希望する週当たり就労日数についてみると、母親は「3日」が35.3%で最も高く、次いで「4日」が33.3%、「5日」が27.5%となっています。大多数が3~5日の回答となっています。



■ 希望する1日当たり就労時間

希望する1日当たり就労時間についてみると、母親は「5時間以上~6時間未満」が45.1%で最も高く、次いで「4時間以上~5時間未満」が33.3%、「6時間以上~7時間未満」が11.8%、「3時間以上~4時間未満」が7.8%となっています。大多数が3時間以上~7時間未満の回答となっています。



2. 幼児教育・保育施設の利用状況について

(1) 幼児教育・保育施設の利用状況

問 11 平日（月曜日から金曜日）に、認定子ども園や幼稚園、保育所などの子どもを預かる施設やサービスを「定期的に」利用されていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

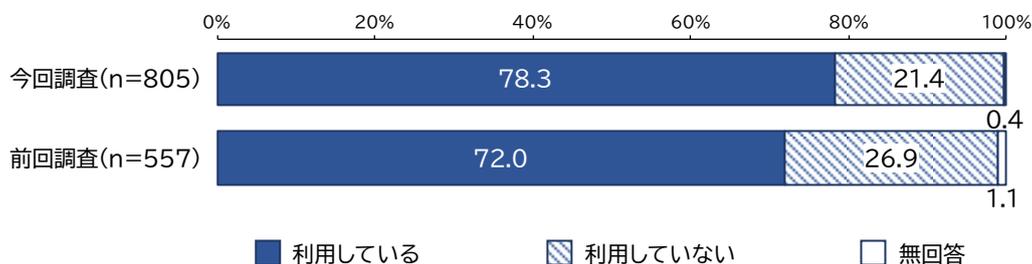
幼児教育・保育施設の利用状況についてみると、「利用している」が78.3%、「利用していない」が21.4%となっています。

前回調査と比べると、「利用している」は今回調査の方が6.3ポイント高くなっています。

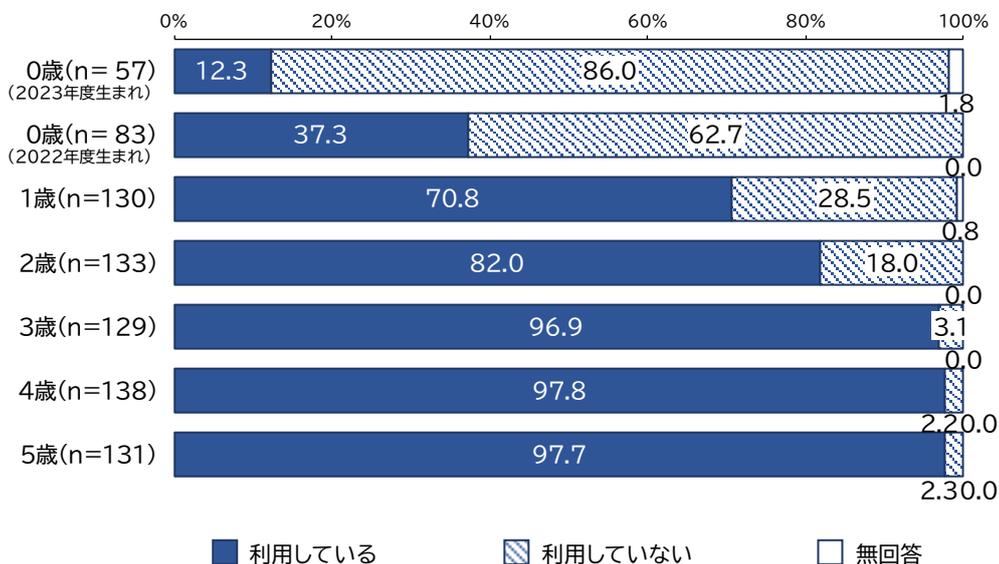
子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が高くなるほど「利用している」の割合は高くなる傾向にあり、4歳で97.8%となっています。

母親の就労形態別にみると、無業では「利用している」が5割台と、他の就労形態と比べて低くなっています。

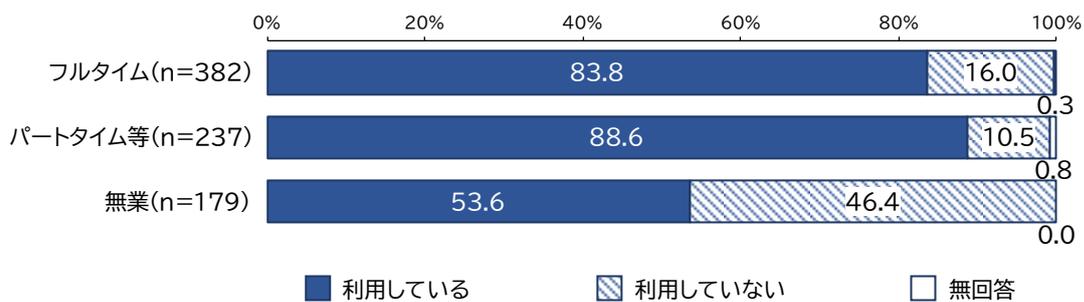
地域別にみると、東部で「利用している」が7割台と、他の地域と比べて低くなっています。



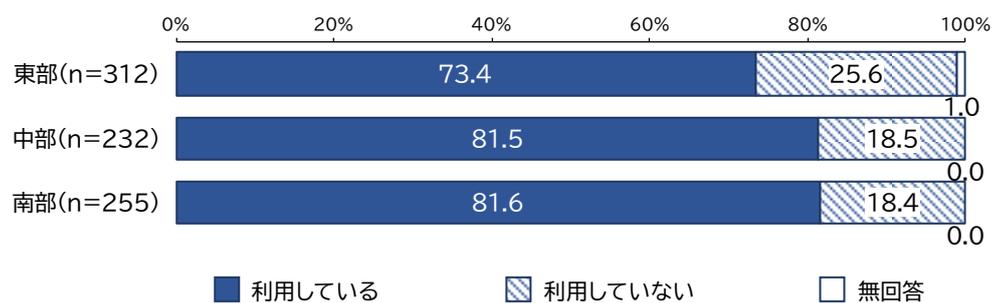
【子どもの年齢別】



【母親の就労形態別】



【地域別】



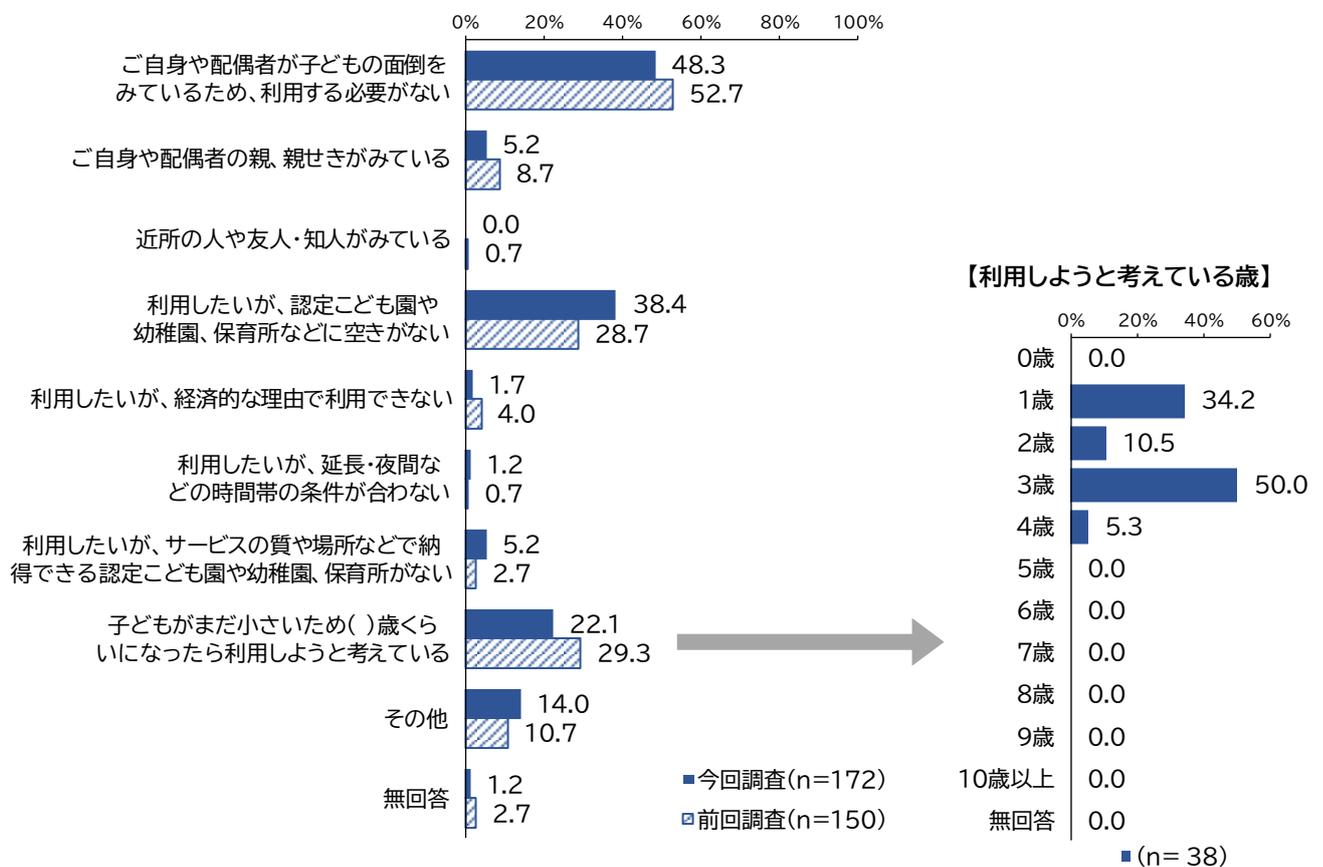
(2) 幼児教育・保育施設を利用していない理由

問 11-1 問 11 で「2 利用していない」を選ばれた方におうかがいします。
 認定こども園や幼稚園、保育所などの施設やサービスを利用していない理由は何ですか。
 あてはまる番号すべてに○をつけてください。

幼児教育・保育施設を利用していない理由についてみると、「ご自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない」が48.3%で最も高く、次いで「利用したいが、認定こども園や幼稚園、保育所などに空きがない」が38.4%、「子どもがまだ小さいため()歳くらいになったら利用しようと考えている」が22.1%となっています。

前回調査と比べると、「利用したいが、認定こども園や幼稚園、保育所などに空きがない」は今回調査の方が9.7ポイント高くなっています。

幼児教育・保育施設を利用しようと考えている歳についてみると、「3歳」が50.0%で最も高く、次いで「1歳」が34.2%、「2歳」が10.5%となっています。



(3) 利用している幼児教育・保育施設

問 11-2 問 11 で「1 利用している」を選ばれた方におうかがいします。
 お子さんは、現在、どのような施設やサービスを利用していますか。
 年間を通じて平日（月曜日から金曜日）に定期的に利用されている施設やサービスについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

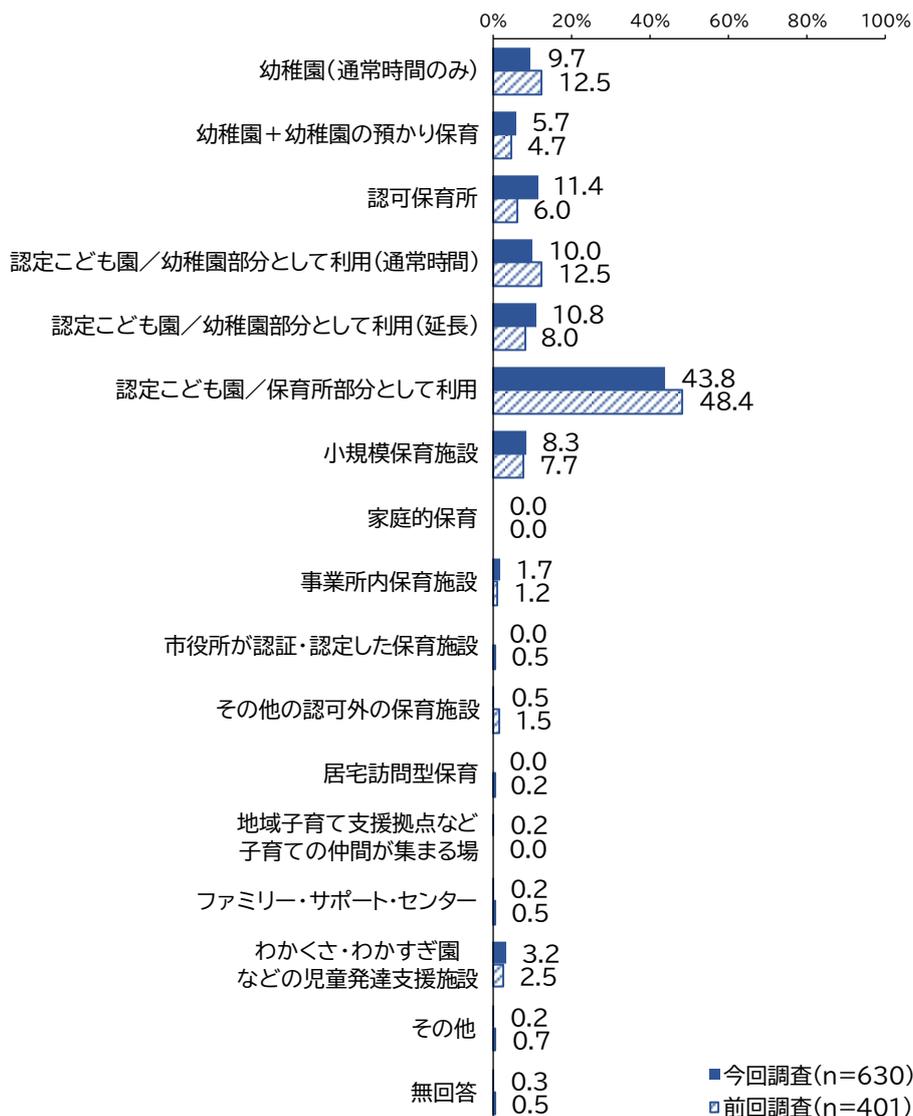
利用している幼児教育・保育施設についてみると、「認定こども園／保育所部分として利用」が43.8%で最も高く、次いで「認可保育所」が11.4%、「認定こども園／幼稚園部分として利用（延長）」が10.8%、「認定こども園／幼稚園部分として利用（通常時間）」が10.0%、となっています。

前回調査と比べると、「認定こども園／保育所部分として利用」は今回調査の方が4.6ポイント低くなっています。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が低くなるほど「認可保育所」の割合は概ね高くなる傾向にあり、0歳（2023年度生まれ）で3割弱となっています。

母親の就労形態別にみると、無業は「幼稚園（通常時間のみ）」が4割台と、他の就労形態と比べて大幅に高くなっています。

地域別にみると、東部で「認定こども園／保育所部分として利用」が48.5%と、他の地域と比べて高くなっています。



【子どもの年齢別、母親の就労形態別、地域別】

	回答者数 (n)	幼稚園 (通常時間のみ)	幼稚園+幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園			小規模保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	
					幼稚園部分として 利用(通常時間)	幼稚園部分として 利用(延長)	保育所部分として 利用				
全体	630	9.7	5.7	11.4	10.0	10.8	43.8	8.3	-	1.7	
子どもの年齢別	0歳 (2023年度生まれ)	7	-	-	28.6	-	14.3	14.3	14.3	-	14.3
	0歳 (2022年度生まれ)	31	-	-	25.8	3.2	6.5	45.2	25.8	-	-
	1歳	92	1.1	1.1	13.0	2.2	2.2	51.1	25.0	-	3.3
	2歳	109	6.4	-	11.0	7.3	1.8	50.5	16.5	-	4.6
	3歳	125	12.8	8.0	8.8	10.4	14.4	42.4	-	-	1.6
	4歳	135	16.3	10.4	8.9	17.0	14.1	37.8	-	-	-
5歳	128	10.9	8.6	10.9	12.5	18.0	43.0	1.6	-	-	
就労形態別 母親の	フルタイム	320	0.6	5.3	13.8	3.1	8.1	58.4	10.6	-	2.2
	パートタイム等	210	7.6	7.6	12.4	8.6	15.7	40.0	7.6	-	1.4
	無業	96	43.8	2.1	1.0	36.5	7.3	5.2	2.1	-	1.0
地域別	東部	229	9.6	4.4	7.4	13.5	13.1	48.5	5.7	-	1.3
	中部	189	10.6	5.8	14.3	6.9	9.0	40.2	9.5	-	2.6
	南部	208	9.1	7.2	13.5	8.7	9.6	41.3	10.1	-	1.4

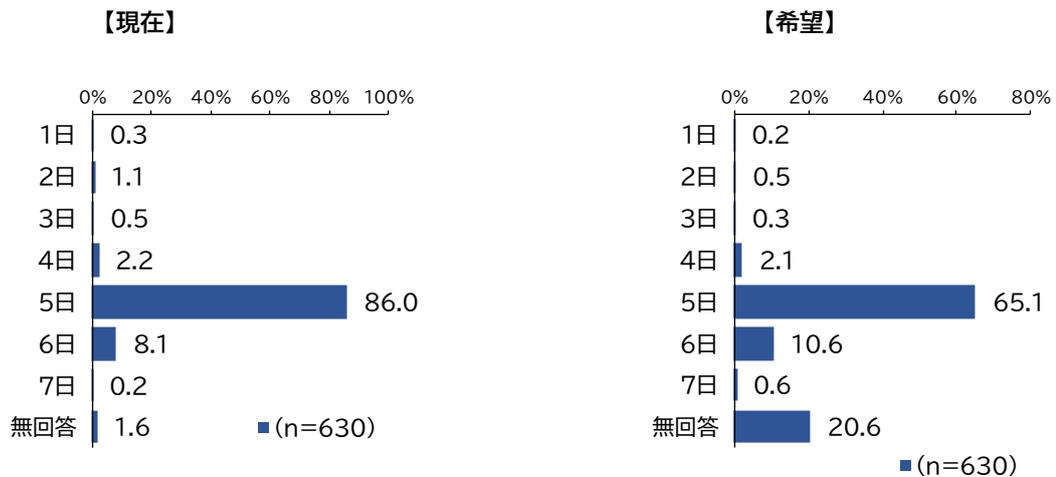
	回答者数 (n)	市役所が認証・認定した 保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	地域子育て支援拠点など 子育ての仲間が集まる場	ファミリー・サポート・ センター	わかさ・わかすぎ園な どの児童発達支援施設	その他	無回答
全体	630	-	0.5	-	0.2	0.2	3.2	0.2	0.3
子どもの年齢別	0歳 (2023年度生まれ)	7	-	-	-	14.3	-	-	14.3
	0歳 (2022年度生まれ)	31	-	-	-	-	-	-	-
	1歳	92	-	1.1	-	-	-	1.1	-
	2歳	109	-	0.9	-	-	-	7.3	-
	3歳	125	-	0.8	-	-	-	2.4	-
	4歳	135	-	-	-	-	0.7	3.7	-
5歳	128	-	-	-	-	-	2.3	-	0.8
就労形態別 母親の	フルタイム	320	-	0.3	-	0.3	-	1.6	0.3
	パートタイム等	210	-	-	-	-	0.5	2.4	0.5
	無業	96	-	2.1	-	-	-	10.4	-
地域別	東部	229	-	0.9	-	-	-	4.4	-
	中部	189	-	-	-	-	-	3.2	-
	南部	208	-	0.5	-	0.5	0.5	1.9	0.5

(4) 幼児教育・保育施設の利用時間

問 11-3 問 11 で「1 利用している」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。
 現在利用している認定こども園や幼稚園、保育所などの施設やサービスについて、もっとも多いパターンとして、1 週間に何日利用し、また、1 日当たり何時間（何時から何時まで）利用していますか。
 また、希望としてはどのくらい利用したいですか。枠内に具体的な数字を入れてください。
 時間は必ず（9：00～18：00）のように 24 時間制で記入してください。

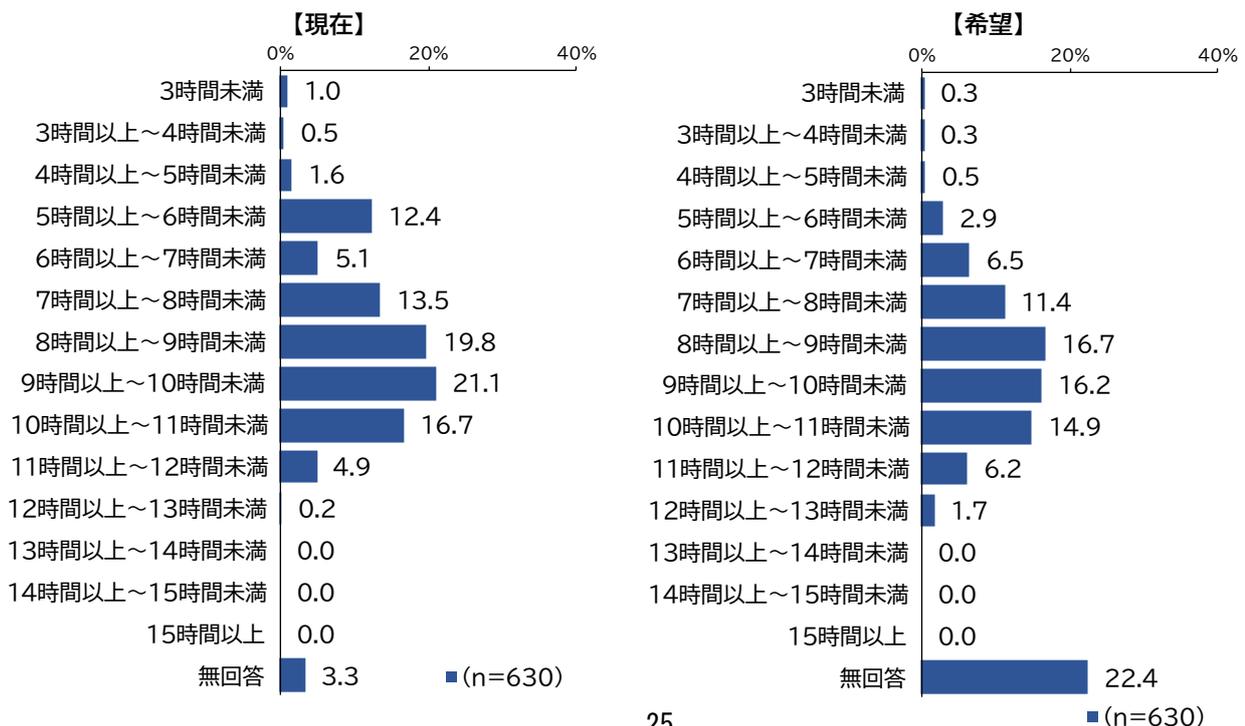
■ 週当たり利用日数

幼児教育・保育施設の週当たり利用日数についてみると、現在は「5日」が86.0%で最も高く、次いで「6日」が8.1%、「4日」が2.2%となっています。希望は「5日」が65.1%で最も高く、次いで「6日」が10.6%、「4日」が2.1%となっています。



■ 1日当たり利用時間

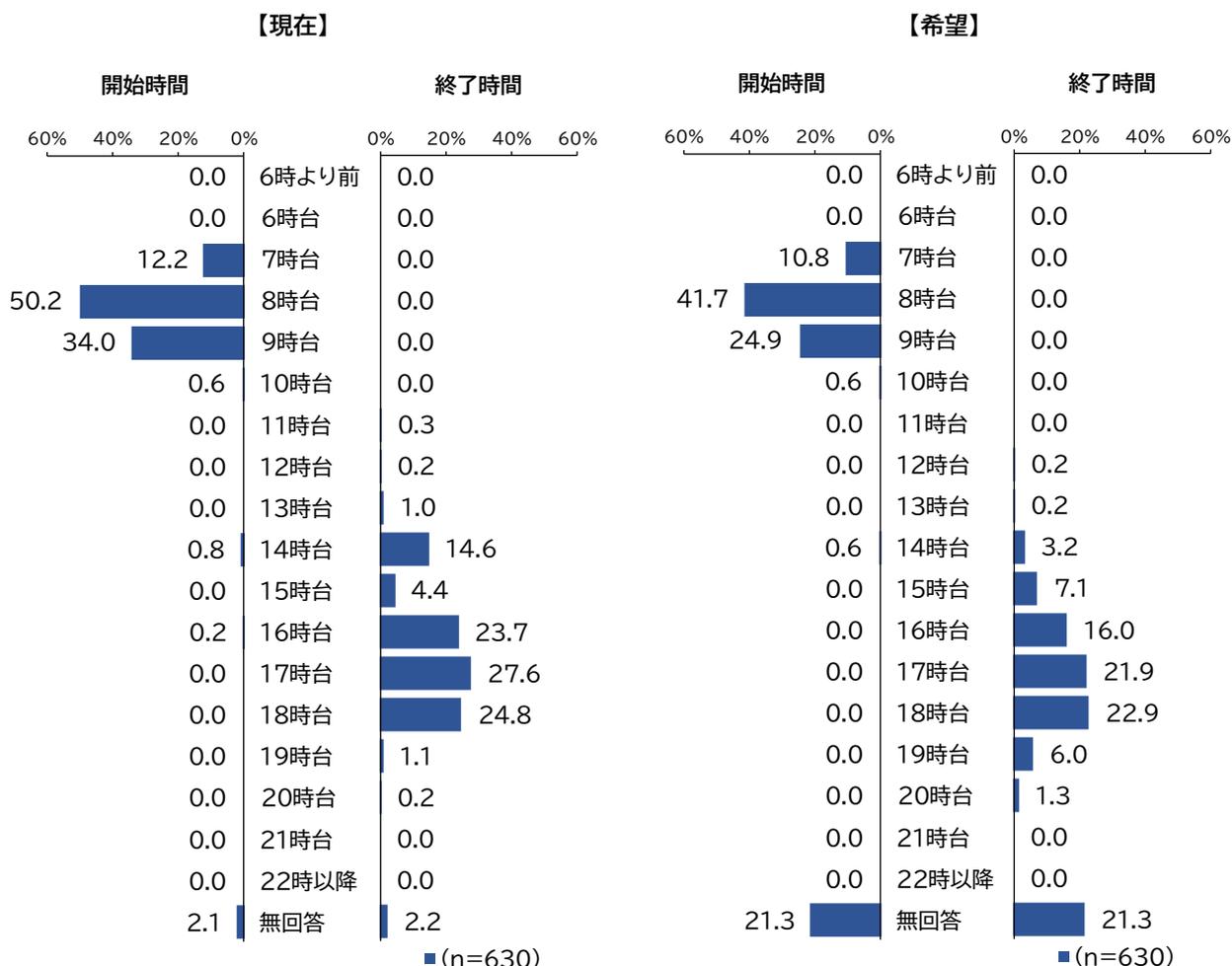
幼児教育・保育施設の1日当たり利用時間についてみると、現在は「9時間以上～10時間未満」が21.1%で最も高く、次いで「8時間以上～9時間未満」が19.8%、「10時間以上～11時間未満」が16.7%となっています。希望は「8時間以上～9時間未満」が16.7%で最も高く、次いで「9時間以上～10時間未満」が16.2%、「10時間以上～11時間未満」が14.9%となっています。



■ 利用時間

幼児教育・保育施設の利用時間についてみると、開始時間では、現在は「8時台」が50.2%で最も高く、次いで「9時台」が34.0%、「7時台」が12.2%となっています。希望は「8時台」が41.7%で最も高く、次いで「9時台」が24.9%、「7時台」が10.8%となっています。

終了時間では、現在は「17時台」が27.6%で最も高く、次いで「18時台」が24.8%、「16時台」が23.7%となっています。希望は「18時台」が22.9%で最も高く、次いで「17時台」が21.9%、「16時台」が16.0%となっています。

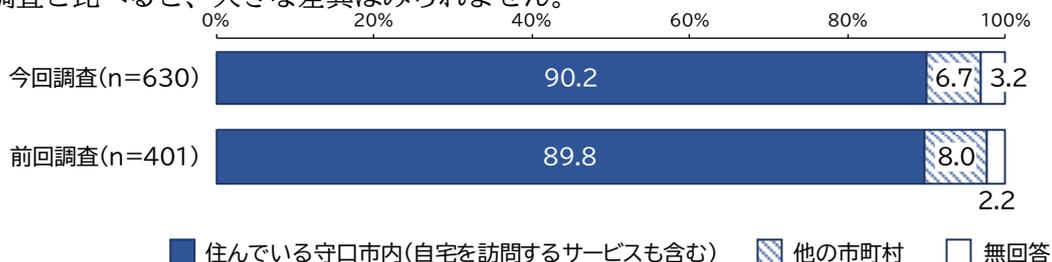


(5) 幼児教育・保育施設の場所

問 11-4 問 11 で「1 利用している」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。
 現在、利用されている施設などはどこにありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
 また、「2 他の市町村」を選択された方は、その市町村名についても枠内に記入してください。

幼児教育・保育施設の場所についてみると、「住んでいる守口市内（自宅を訪問するサービスも含む）」が90.2%、「他の市町村」が6.7%となっています。

前回調査と比べると、大きな差異はみられません。



3. 子どもが病気などになったときの対応について

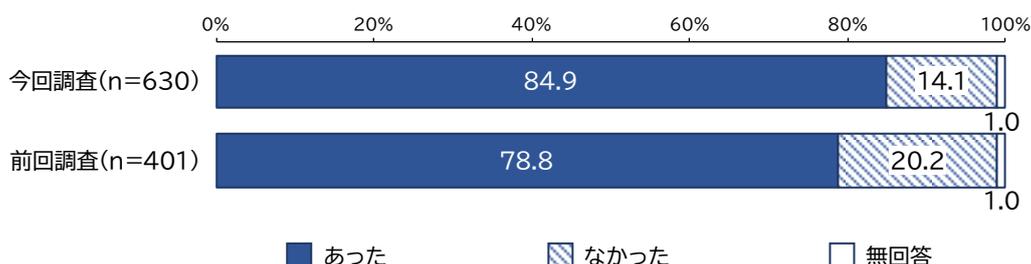
(1) 子どもの病気やけがで幼児教育・保育施設を利用できなかった経験の有無

問12 問11で「1 利用している」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。
この1年間に、お子さんが病気やけがで、認定こども園や幼稚園、保育所などの施設やサービスを利用できなかったことはありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

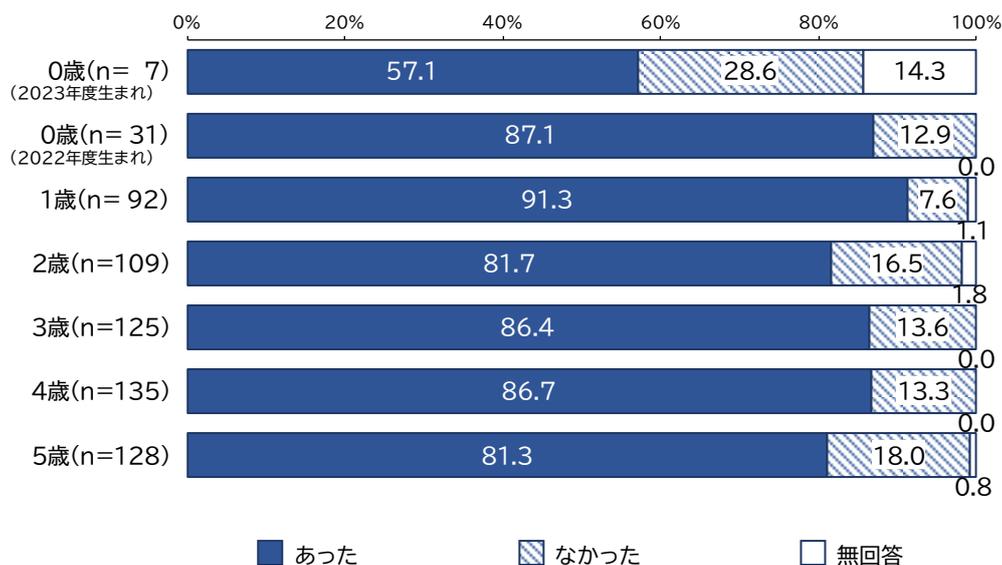
子どもの病気やけがで幼児教育・保育施設を利用できなかった経験の有無についてみると、「あった」が84.9%、「なかった」が14.1%となっています。

前回調査と比べると、「あった」は今回調査の方が6.1ポイント高くなっています。

子どもの年齢別にみると、0歳（2023年度生まれ）を除くすべての年齢で「あった」が8～9割台を占めています。



【子どもの年齢別】



(2) 病気で幼児教育・保育施設を利用できなかった際の対応

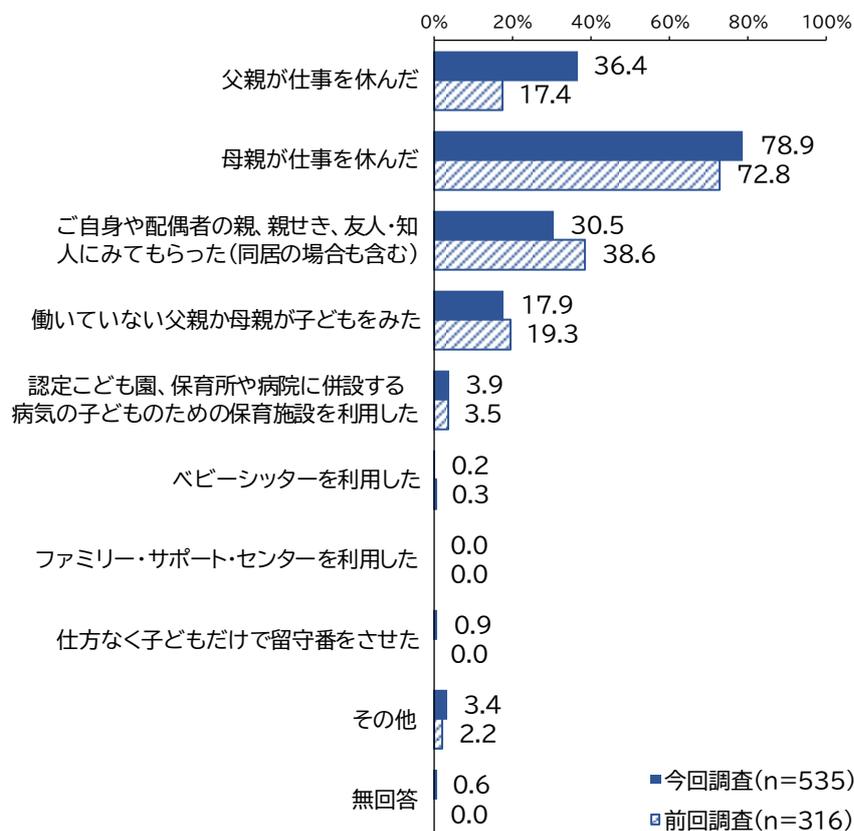
問 12-1 問 12 で「1」を選ばれた方におうかがいします。この1年間で、お子さんが病気で認定こども園や幼稚園、保育所などの施設やサービスを利用できなかった場合の対処方法、その日数は何日くらいですか。
 あてはまる番号すべてに○をつけ、その日数について枠内に具体的な数字を入れてください。
 (半日程度についても1日としてカウントしてください。)

病気で幼児教育・保育施設を利用できなかった際の対応についてみると、「母親が仕事を休んだ」が78.9%で最も高く、次いで「父親が仕事を休んだ」が36.4%、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった(同居の場合も含む)」が30.5%となっています。

前回調査と比べると、「母親が仕事を休んだ」は今回調査の方が6.1ポイント高くなっています。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が低くなるほど「母親が仕事を休んだ」の割合は概ね高くなる傾向にあり、0歳(2023年度生まれ)で全員が回答しています。

母親の就労形態別にみると、無業では「働いていない父親か母親が子どもをみた」が9割台と、他の就労形態と比べて大幅に高くなっています。



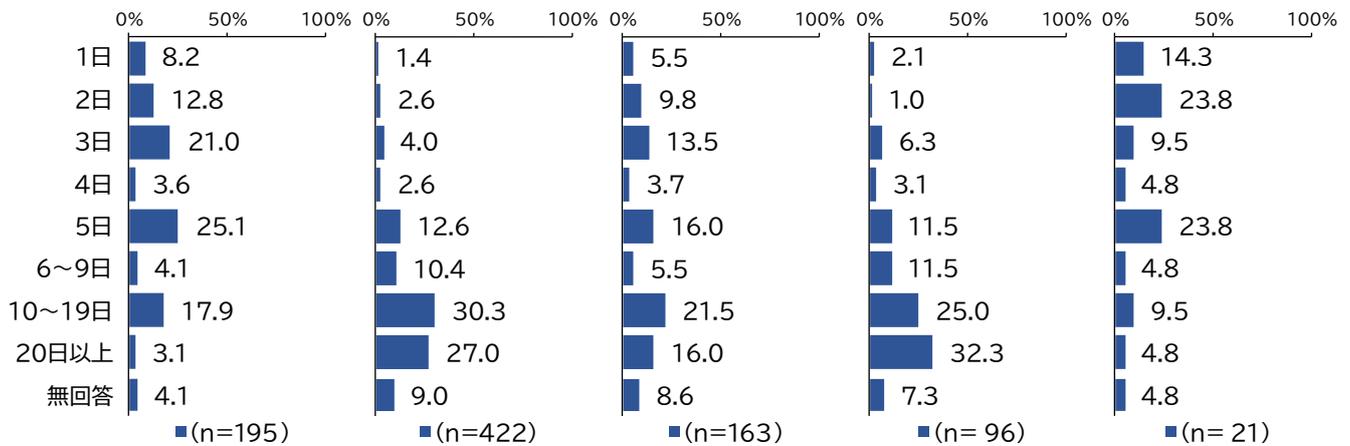
【子どもの年齢別、母親の就労形態別】

		回答者数 (n)	父親が仕事を休んだ	母親が仕事を休んだ	ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった (同居の場合も含む)	働いていない父親が母親が子どもをみた	認定こども園、保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体		535	36.4	78.9	30.5	17.9	3.9	0.2	-	0.9	3.4	0.6
子どもの年齢別	0歳 (2023年度生まれ)	4	25.0	100.0	50.0	25.0	-	-	-	-	-	-
	0歳 (2022年度生まれ)	27	48.1	96.3	33.3	-	7.4	-	-	-	3.7	-
	1歳	84	48.8	91.7	41.7	6.0	10.7	-	-	2.4	3.6	1.2
	2歳	89	39.3	82.0	31.5	18.0	4.5	-	-	1.1	4.5	-
	3歳	108	35.2	75.0	28.7	23.1	2.8	-	-	-	1.9	-
	4歳	117	27.4	69.2	25.6	23.9	1.7	-	-	0.9	0.9	1.7
5歳	104	33.7	76.0	26.9	19.2	1.0	1.0	-	1.0	6.7	-	
母親の就労形態別	フルタイム	285	47.0	90.5	38.2	4.9	6.0	0.4	-	1.4	5.3	0.4
	パートタイム等	167	33.5	95.2	28.1	4.8	2.4	-	-	0.6	0.6	0.6
	無業	80	3.8	3.8	7.5	91.3	-	-	-	-	2.5	1.3

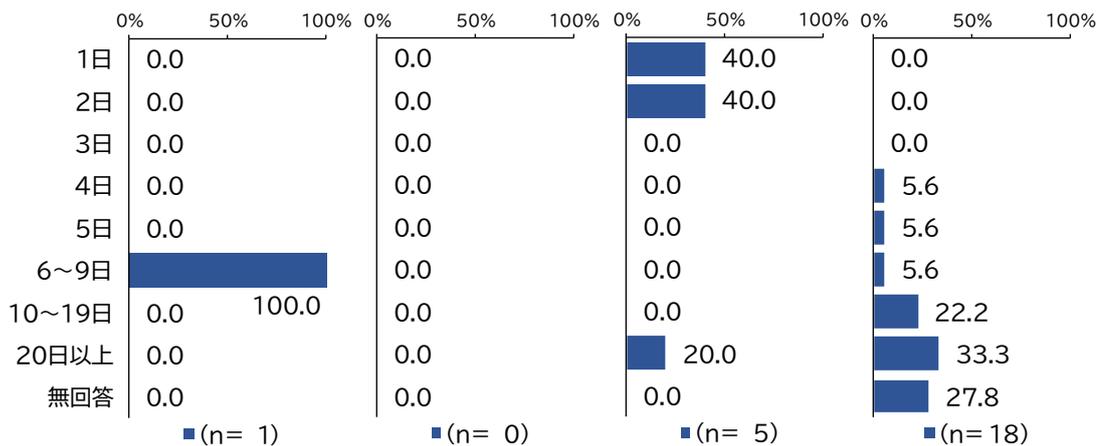
■ 1年当たり対処日数

病気で幼児教育・保育施設を利用できなかった際の1年当たりの対処日数についてみると、回答者が最も多い「2 母親が仕事を休んだ」では、「10～19日」が30.3%で最も高く、次いで「20日以上」が27.0%、「5日」が12.6%、「6～9日」が10.4%となっています。次いで回答者の多い「1 父親が仕事を休んだ」では、「5日」が25.1%で最も高く、次いで「3日」が21.0%、「10～19日」が17.9%となっています。

- 1 父親が仕事を休んだ
 2 母親が仕事を休んだ
 3 ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった
 4 働いていない父親か母親が子どもをみた
 5 認定こども園、保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した



- 6 ベビーシッターを利用した
 7 ファミリー・サポートセンターを利用した
 8 仕方なく子どもだけで留守番をさせた
 9 その他



(3) 病児・病後児保育施設の利用意向

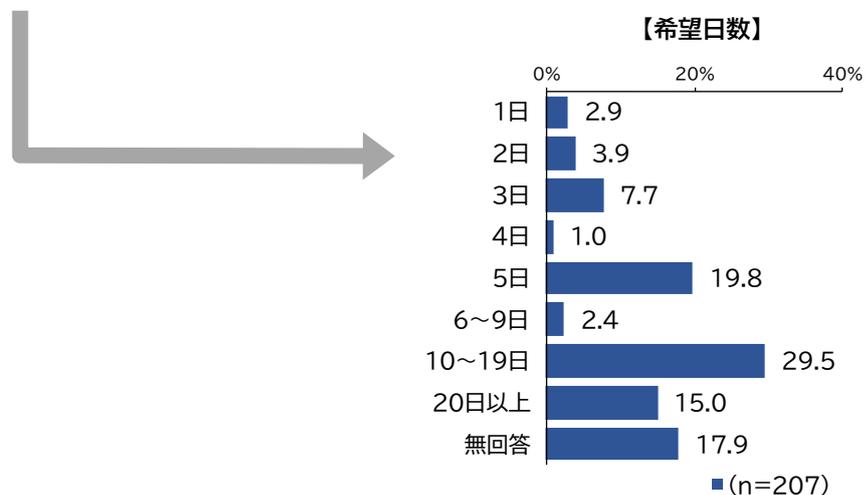
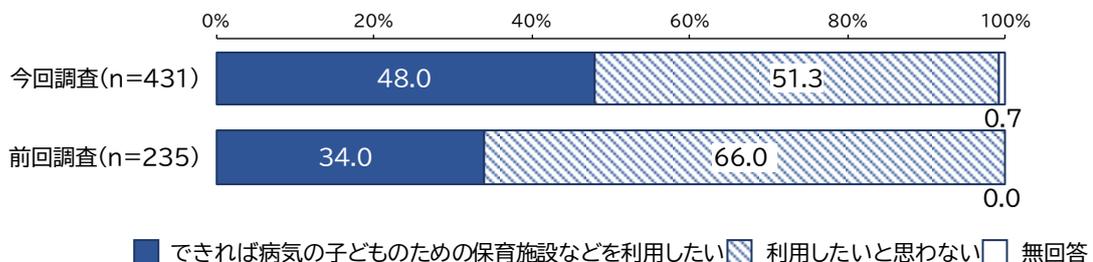
問 12-2 問 12-1 で「1」「2」を選ばれた方におうかがいします。
 そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。
 あてはまる番号に1つだけ○をつけ、希望がある方は年間に何日程度利用したいか具体的な日数
 を入れてください。なお、病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかか
 り、また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必
 要な場合があります。

病児・病後児保育施設の利用意向についてみると、「できれば病気の子どものための保育施設など
 を利用したい」が48.0%、「利用したいと思わない」が51.3%となっています。

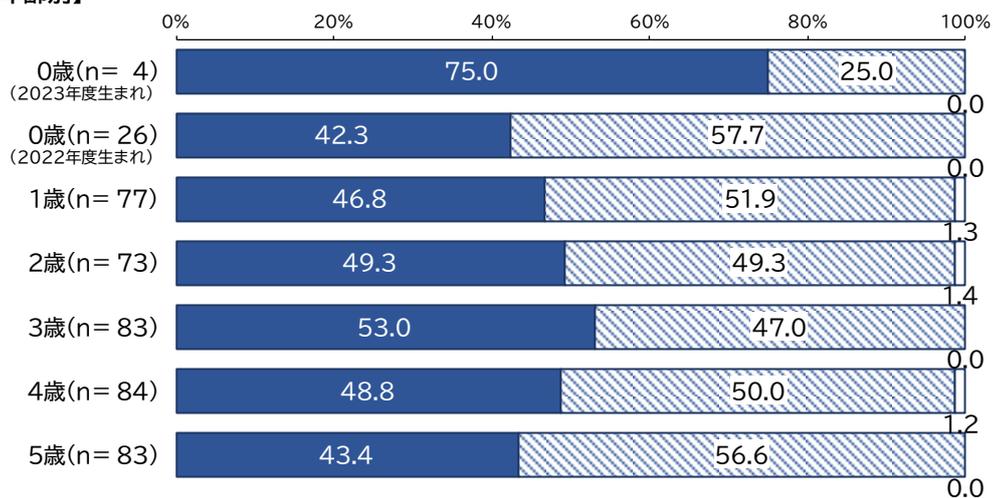
前回調査と比べると、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」は今回調査の
 方が14.0ポイント高くなっています。

希望日数についてみると「10～19日」が29.5%で最も高く、次いで「5日」が19.8%、「20日
 以上」が15.0%となっています。

子どもの年齢別にみると、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」は0歳(2023
 年度生まれ)は4人中3人(75.0%)で、それ以外の年齢は3歳の53.0%が高くなっています。



【子どもの年齢別】



できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい

 利用したいと思わない

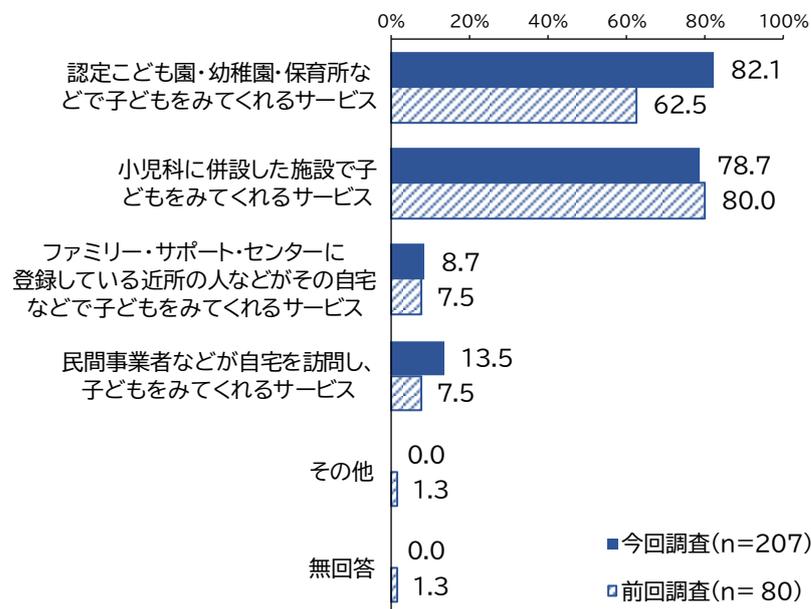
 無回答

(4) 病児・病後児保育施設として望ましいサービス

問 12-3 問 12-2 で「1 できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」を選ばれた方にお
うかがいします。
利用する場合、下記のいずれのサービスが望ましいと思われますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

病児・病後児保育施設として望ましいサービスについてみると、「認定こども園・幼稚園・保育所
などで子どもをみてるサービス」が82.1%で最も高く、次いで「小児科に併設した施設で子ども
をみてるサービス」が78.7%、「民間事業者などが自宅を訪問し、子どもをみてるサービス」
が13.5%、「ファミリー・サポート・センターに登録している近所の人などがその自宅などで子ども
をみてるサービス」が8.7%となっています。

前回調査と比べると、「認定こども園・幼稚園・保育所などで子どもをみてるサービス」は今
回調査の方が19.6ポイント高くなっています。

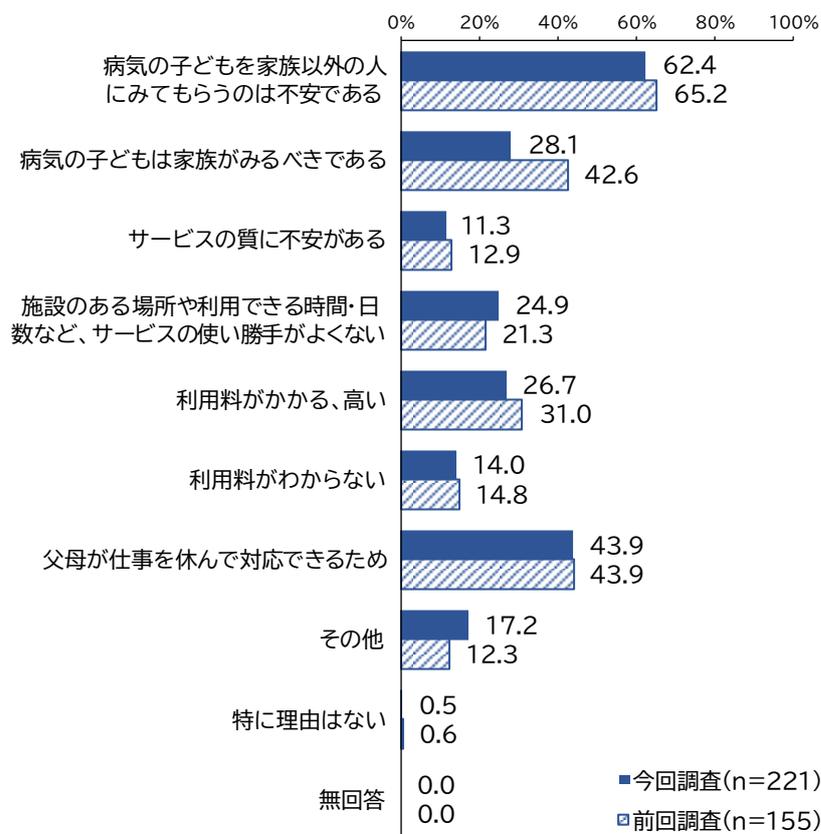


(5) 病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由

問 12-4 問 12-2 で「2 利用したいと思わない」を選ばれた方におうかがいします。
その理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由についてみると、「病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」が62.4%で最も高く、次いで「父母が仕事を休んで対応できるため」が43.9%、「病気の子どもは家族がみるべきである」が28.1%、「利用料がかかる、高い」が26.7%、「施設のある場所や利用できる時間・日数など、サービスの使い勝手がよくない」が24.9%となっています。

前回調査と比べると、「病気の子どもは家族がみるべきである」は今回調査の方が14.5ポイント低くなっています。



4. 幼児教育・保育施設の利用意向について

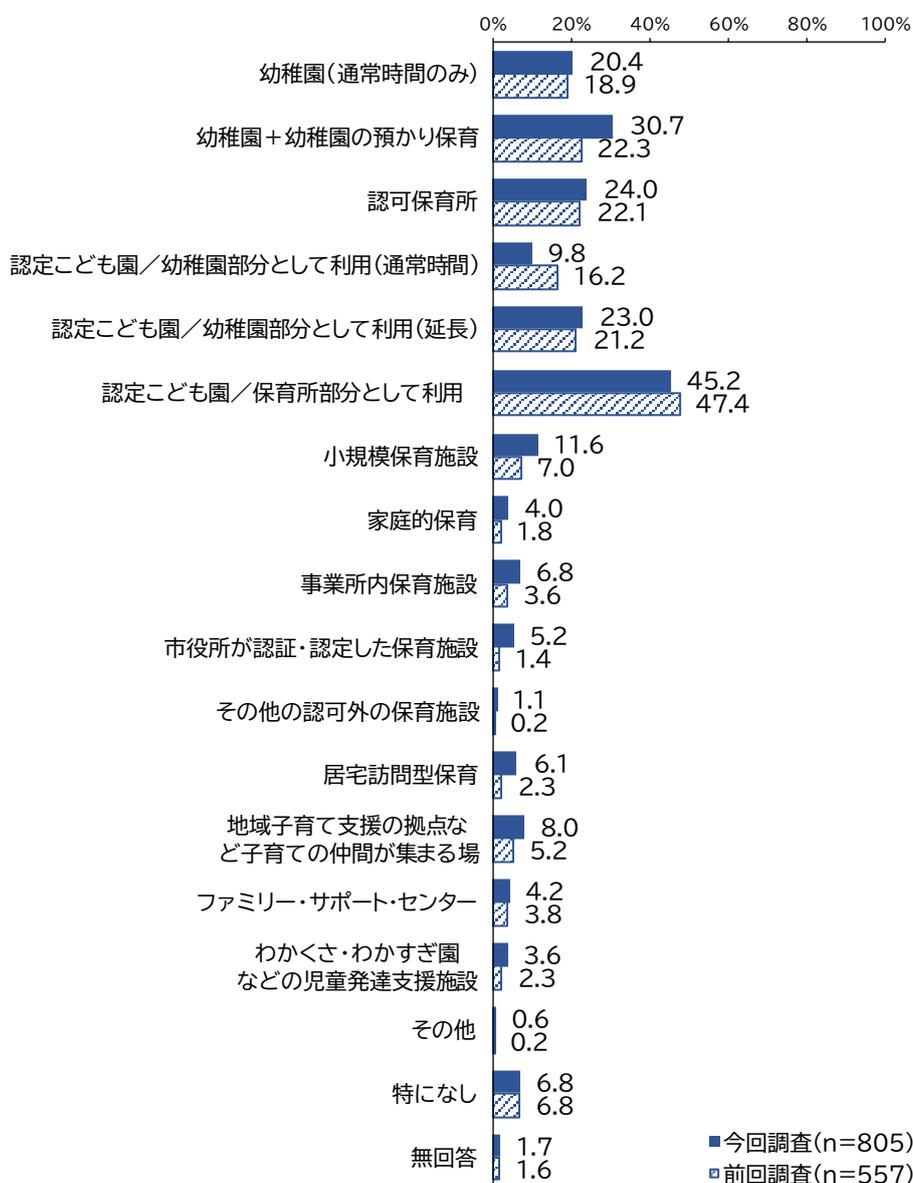
(1) 幼児教育・保育施設の利用意向

問 13 認定こども園や幼稚園、保育所などの施設やサービスを、現在利用している、利用していないにかかわらず、平日（月曜日から金曜日）に定期的に利用したいと考える施設やサービスをお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。
 なお、これらのサービスを利用するためには、一定の利用料を支払う必要があります。

幼児教育・保育施設の利用意向についてみると、「認定こども園／保育所部分として利用」が45.2%で最も高く、次いで「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が30.7%、「認可保育所」が24.0%、「認定こども園／幼稚園部分として利用（延長）」が23.0%となっています。

前回調査と比べると、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」は今回調査の方が8.4ポイント高くなっています。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が低くなるほど「認定こども園／保育所部分として利用」の割合は概ね高くなる傾向にあり、0歳（2022年度生まれ）で6割弱（57.8%）となっています。



【子どもの年齢別】

	回答者数 (n)	幼稚園 (通常時間のみ)	育 幼稚園＋幼稚園の預かり保	認可保育所	認定こども園			小規模保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	
					用 幼稚園部分として利 (通常時間)	用 幼稚園部分として利 (延長)	用 保育所部分として利				
全体	805	20.4	30.7	24.0	9.8	23.0	45.2	11.6	4.0	6.8	
子どもの年齢別	0歳 (2023年度生まれ)	57	29.8	33.3	50.9	15.8	26.3	54.4	28.1	1.8	8.8
	0歳 (2022年度生まれ)	83	26.5	36.1	38.6	8.4	24.1	57.8	32.5	7.2	13.3
	1歳	130	19.2	28.5	30.8	10.8	20.8	53.8	13.8	5.4	5.4
	2歳	133	21.8	27.1	23.3	9.0	23.3	49.6	9.8	5.3	5.3
	3歳	129	16.3	34.1	18.6	7.8	24.8	43.4	5.4	5.4	4.7
	4歳	138	17.4	28.3	9.4	11.6	26.1	31.2	5.8	1.4	4.3
5歳	131	19.1	31.3	17.6	8.4	18.3	38.2	3.1	1.5	9.9	

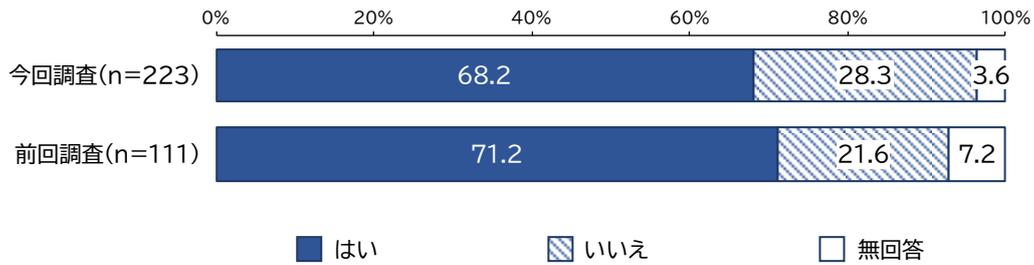
	回答者数 (n)	市役所が認証・認定した 保育施設	その他の認可外の保育 施設	居宅訪問型保育	地域子育て支援の拠点 など子育ての仲間が集 まる場	ファミリー・サポート・ センター	わかかさ・わかすぎ園な どの児童発達支援施設	その他	特になし	無回答	
											全体
子どもの年齢別	0歳 (2023年度生まれ)	57	12.3	-	12.3	10.5	5.3	-	-	3.5	1.8
	0歳 (2022年度生まれ)	83	9.6	2.4	8.4	18.1	9.6	2.4	-	3.6	2.4
	1歳	130	5.4	1.5	7.7	8.5	1.5	1.5	0.8	6.2	1.5
	2歳	133	4.5	1.5	7.5	8.3	1.5	9.0	0.8	9.0	0.8
	3歳	129	5.4	2.3	3.9	4.7	5.4	3.1	0.8	4.7	2.3
	4歳	138	0.7	-	3.6	5.1	4.3	2.2	0.7	11.6	2.2
5歳	131	4.6	-	3.8	6.1	3.8	3.8	0.8	6.1	0.8	

(2) 幼稚園の利用を強く希望するか

問 13-1 問 13 で「1」または「2」に○をつけ、かつ「3」～「14」にも○をつけた方におうかがいします。
特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。
あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

幼稚園の利用を強く希望するかについてみると、「はい」が 68.2%、「いいえ」が 28.3%となっています。

前回調査と比べると、「はい」は今回調査の方が 3.0 ポイント低くなっています。



5. 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の幼児教育・保育施設の利用意向について

(1) 土曜日、日曜日・祝日の幼児教育・保育施設の利用意向

問 14 土曜日、日曜日・祝日に、認定子ども園や幼稚園、保育所などを、仕事や介護などにより定期的に利用する希望がありますか。
 あてはまる番号に1つだけ○をつけ、希望する時間帯について、枠内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず(9:00~18:00)のように24時間制でご記入ください。
 なお、これらのサービスを利用するには、一定の利用料が発生します。

■ 土曜日

土曜日の幼児教育・保育施設の利用意向についてみると、「利用する必要はない」が60.9%で最も高く、次いで「月に1~2回は利用したい」が25.8%、「ほぼ毎週利用したい」が11.3%となっています。

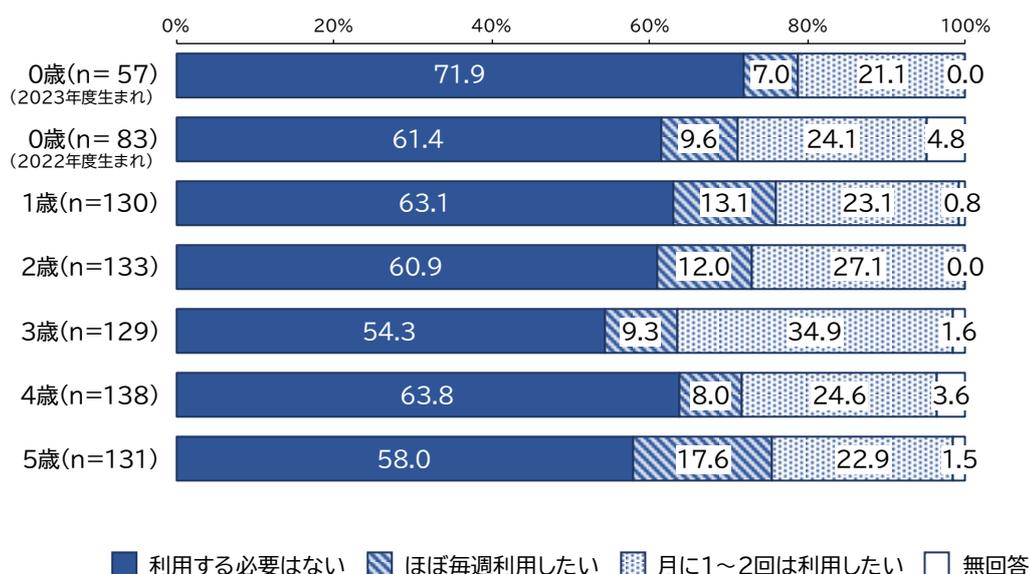
前回調査と比べると、『利用したい』（「ほぼ毎週利用したい」と「月に1~2回は利用したい」の合計）は今回調査の方が4.2ポイント高くなっています。

子どもの年齢別にみると、3歳が44.2%で最も高くなっています。

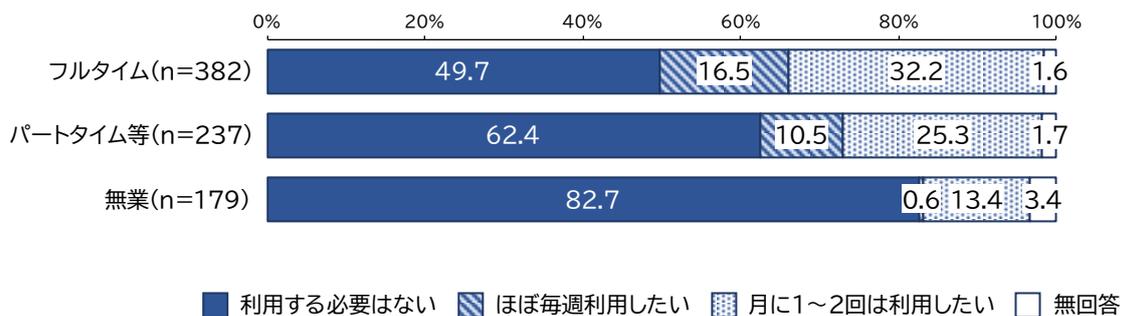
母親の就労形態別にみると、フルタイムで『利用したい』が48.7%と、他の就労形態と比べて高くなっています。



【子どもの年齢別】



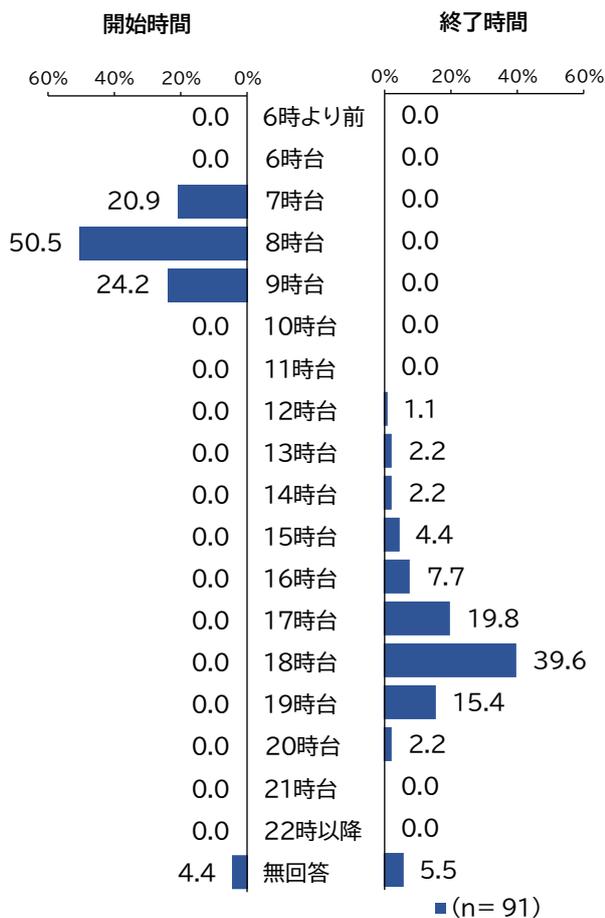
【母親の就労形態別】



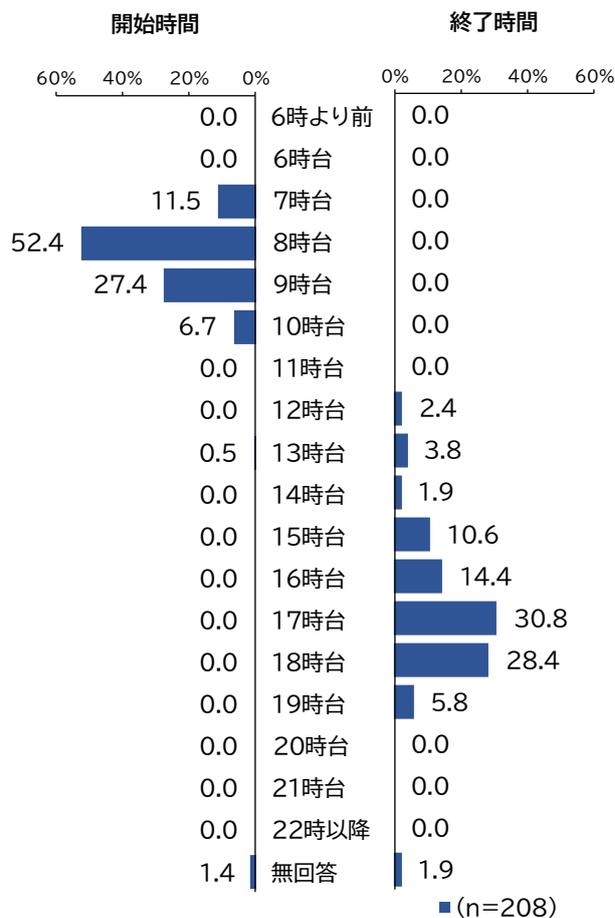
土曜日の幼児教育・保育施設の利用意向で時間についてみると、「ほぼ毎週利用したい」の回答者では、開始時間は「8時台」が50.5%で最も高く、次いで「9時台」が24.2%、「7時台」が20.9%となっています。終了時間は「18時台」が39.6%で最も高く、次いで「17時台」が19.8%、「19時台」が15.4%となっています。

「月に1~2回は利用したい」の回答者では、開始時間は「8時台」が52.4%で最も高く、次いで「9時台」が27.4%、「7時台」が11.5%、「10時台」が6.7%となっています。終了時間は「17時台」が30.8%で最も高く、次いで「18時台」が28.4%、「16時台」が14.4%、「15時台」が10.6%、「19時台」が5.8%となっています。

【ほぼ毎週利用したい】



【月に1~2回は利用したい】



■ 日曜日・祝日

日曜日・祝日の幼児教育・保育施設の利用意向についてみると、「利用する必要はない」が81.0%で最も高く、次いで「月に1~2回は利用したい」が13.4%、「ほぼ毎週利用したい」が2.6%となっています。

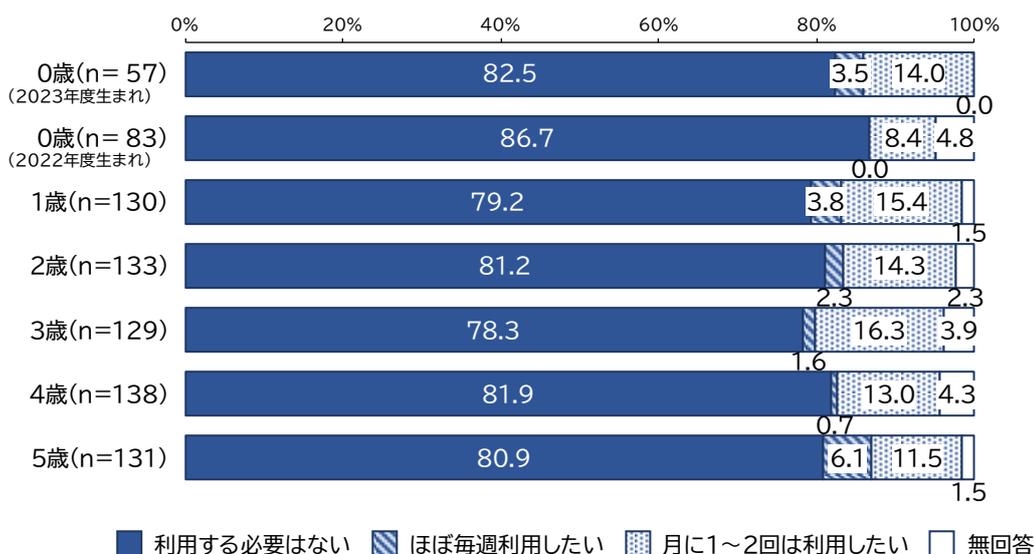
前回調査と比べると、「利用する必要はない」は今回調査の方が3.3ポイント高くなっています。

子どもの年齢別にみると、0歳（2022年度生まれ）で『利用したい』（「ほぼ毎週利用したい」と「月に1~2回は利用したい」の合計）が8.4%と、他の年齢と比べて低くなっています。

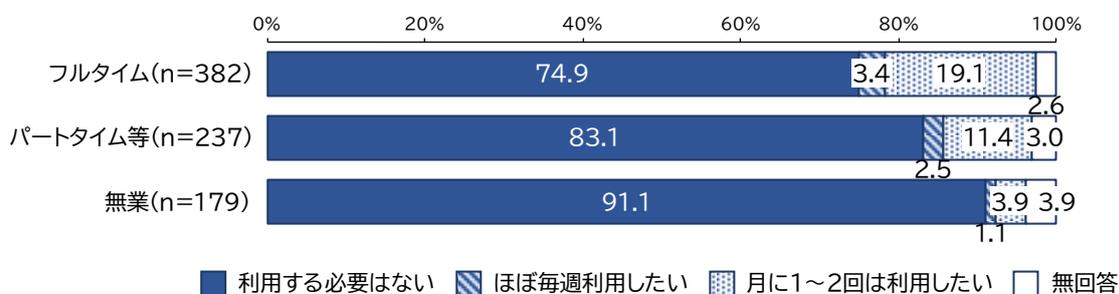
母親の就労形態別にみると、フルタイムで『利用したい』が22.5%と、他の就労形態と比べて高くなっており、土曜日と同様の傾向を示しています。



【子どもの年齢別】

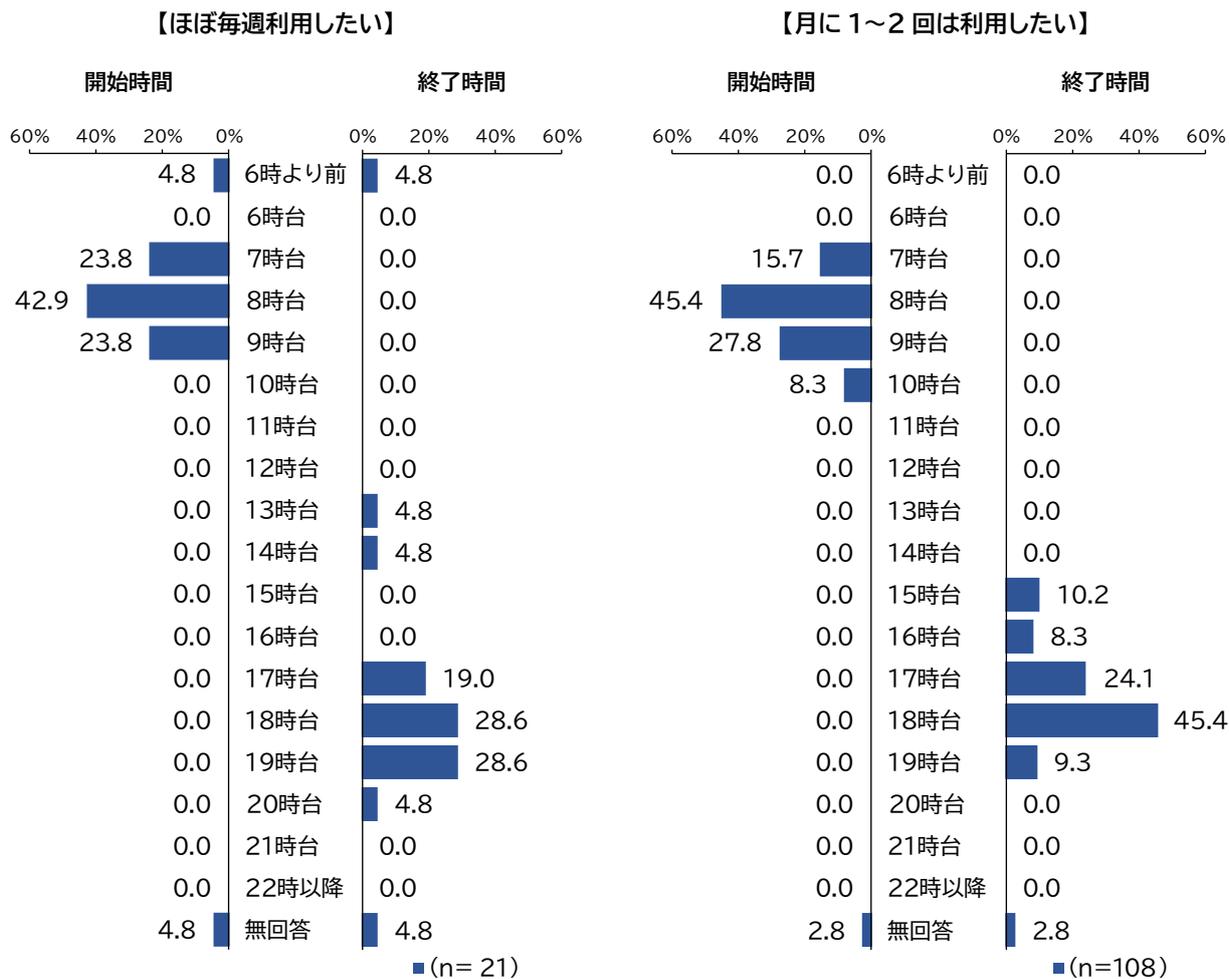


【母親の就労形態別】



日曜日・祝日の幼児教育・保育施設の利用意向で時間についてみると、「ほぼ毎週利用したい」の回答者では、開始時間は「8時台」が42.9%で最も高く、次いで「7時台」と「9時台」がともに23.8%となっています。終了時間は「18時台」と「19時台」がともに28.6%で最も高く、次いで「17時台」が19.0%、「6時より前」、「13時台」、「14時台」、「20時台」がいずれも4.8%となっています。

「月に1~2回は利用したい」の回答者では、開始時間は「8時台」が45.4%で最も高く、次いで「9時台」が27.8%、「7時台」が15.7%となっています。終了時間は「18時台」が45.4%で最も高く、次いで「17時台」が24.1%、「15時台」が10.2%、「19時台」が9.3%、「16時台」が8.3%となっています。



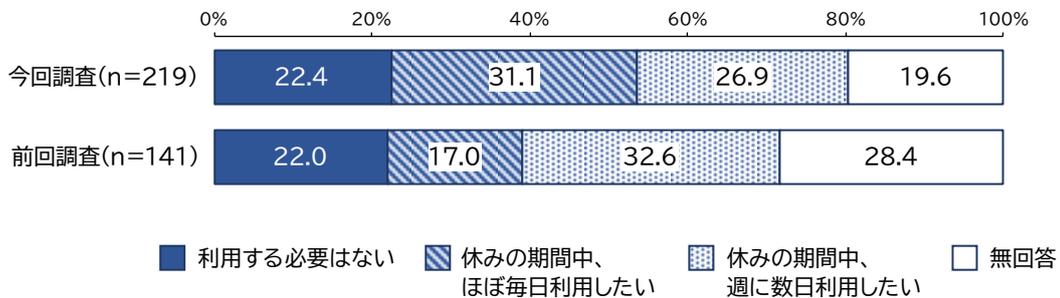
(2) 長期休暇中の幼稚園の利用意向

問 15 お子さんが「幼稚園」を利用されている方におうかがいします。
 夏休み・冬休みなど長期休暇中に、幼稚園の利用を希望しますか。
 あてはまる番号に1つだけ○をつけ、希望する時間帯について、枠内に具体的な数字を入れてください。 時間は必ず(9:00~18:00)のように24時間制でご記入ください。
 なお、これらのサービスを利用するには、一定の利用料が発生します。

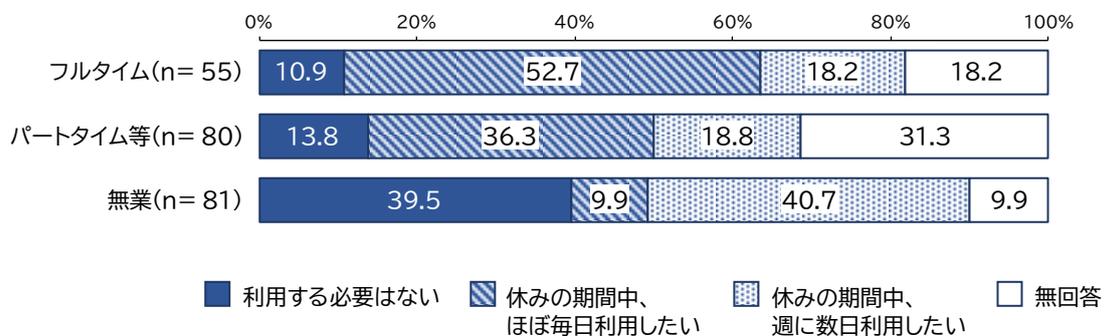
長期休暇中の幼稚園の利用意向についてみると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が31.1%で最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」が26.9%、「利用する必要はない」が22.4%となっています。

前回調査と比べると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」は今回調査の方が14.1ポイント高くなっています。

母親の就労形態別にみると、フルタイムでの「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が5割以上と、他の就労形態と比べて高くなっています。

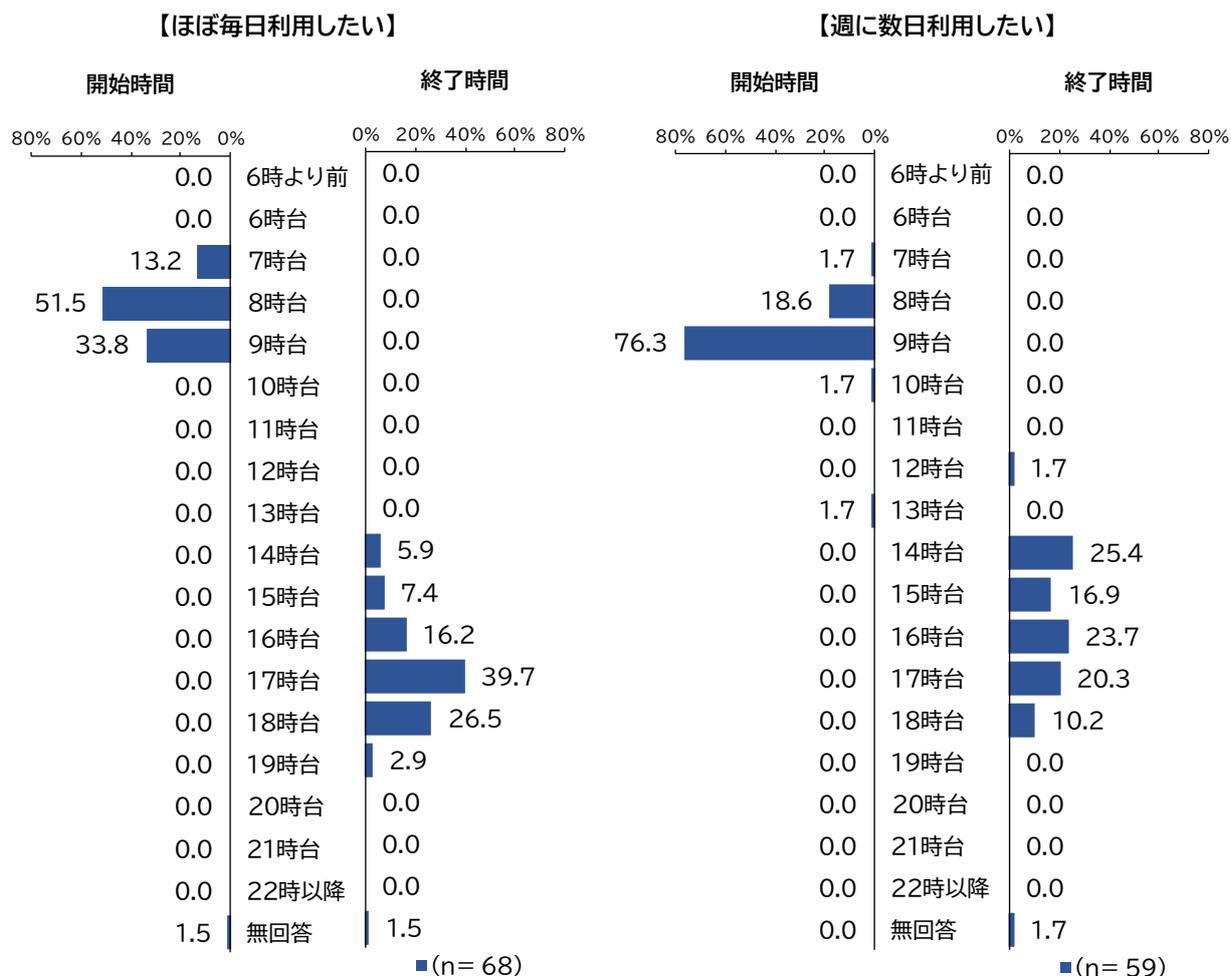


【母親の就労形態別】



長期休暇中の幼稚園の利用意向で時間についてみると、「ほぼ毎日利用したい」の回答者では、開始時間は「8時台」が51.5%で最も高く、次いで「9時台」が33.8%、「7時台」が13.2%となっています。終了時間は「17時台」が39.7%で最も高く、次いで「18時台」が26.5%、「16時台」が16.2%となっています。

「週に数日利用したい」の回答者では、開始時間は「9時台」が76.3%で最も高く、次いで「8時台」が18.6%となっています。終了時間は「14時台」が25.4%で最も高く、次いで「16時台」が23.7%、「17時台」が20.3%、「15時台」が16.9%となっています。



6. 仕事と子育ての両立について

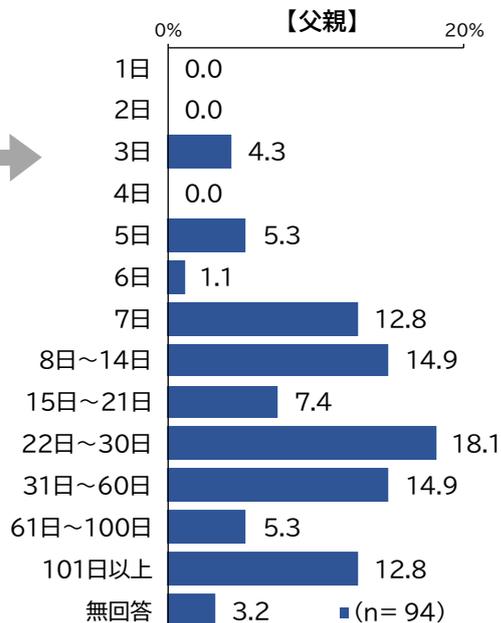
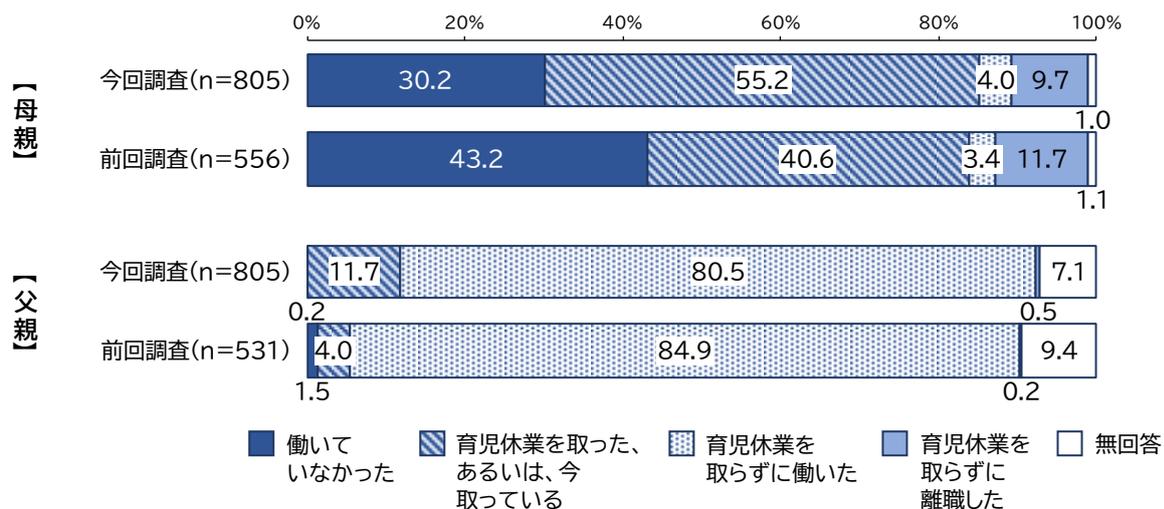
(1) 育児休業の取得状況

問 16 お子さんが生まれたときに、お母さん、お父さんの育児休業を取りましたか。それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
 お父さんについて、「2」を選ばれた場合は、育児休業を取得された、あるいは、取得予定の日数について枠内に数字を入れてください。また、(1) (2)とも、または、どちらかで「3」「4」を選ばれた場合は、「育児休業を取らなかった理由」欄の選択肢の中からあてはまる番号をすべて選び、その番号を記入してください。

育児休業の取得状況についてみると、母親は「育児休業を取った、あるいは、今取っている」が55.2%で最も高く、次いで「働いていなかった」が30.2%、「育児休業を取らずに離職した」が9.7%となっています。父親は「育児休業を取らずに働いた」が80.5%で最も高く、次いで「育児休業を取った、あるいは、今取っている」が11.7%、「育児休業を取らずに離職した」が0.5%となっています。

前回調査と比べると、「育児休業を取った、あるいは、今取っている」は今回調査の方が母親で14.6ポイント、父親で7.7ポイント高くなっています。

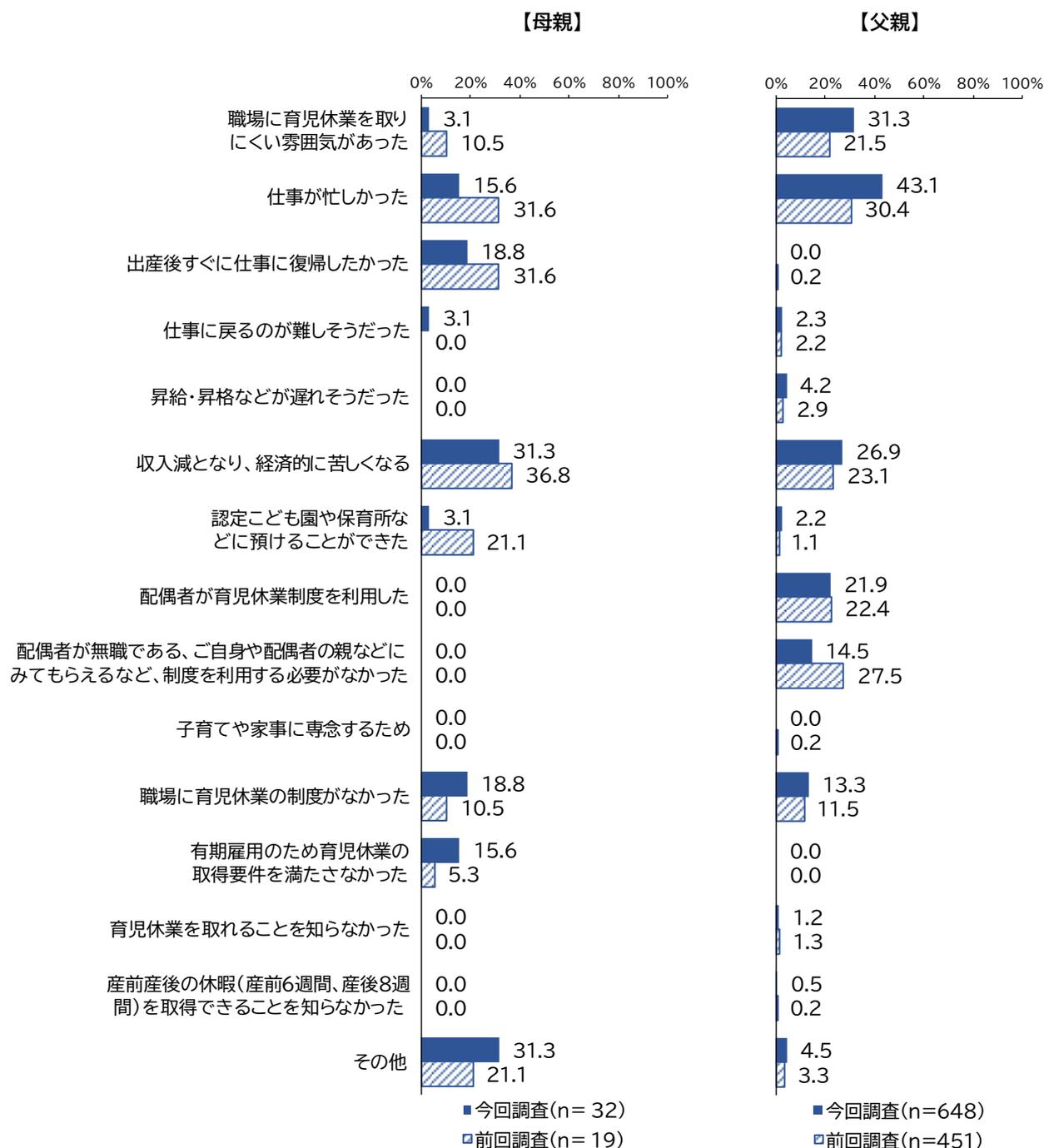
父親で「育児休業を取った、あるいは、今取っている」と回答した人の日数についてみると、「22日～30日」が18.1%で最も高く、次いで「8日～14日」と「31日～60日」がともに14.9%となっています。



■ 育児休業を取らずに働いた理由

育児休業を取らずに働いた理由についてみると、母親は「収入減となり、経済的に苦しくなる」が31.3%で最も高く、次いで「出産後すぐに仕事に復帰したかった」と「職場に育児休業の制度がなかった」がともに18.8%、「仕事が忙しかった」と「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」がともに15.6%となっています。父親は「仕事が忙しかった」が43.1%で最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が31.3%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が26.9%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が21.9%となっています。

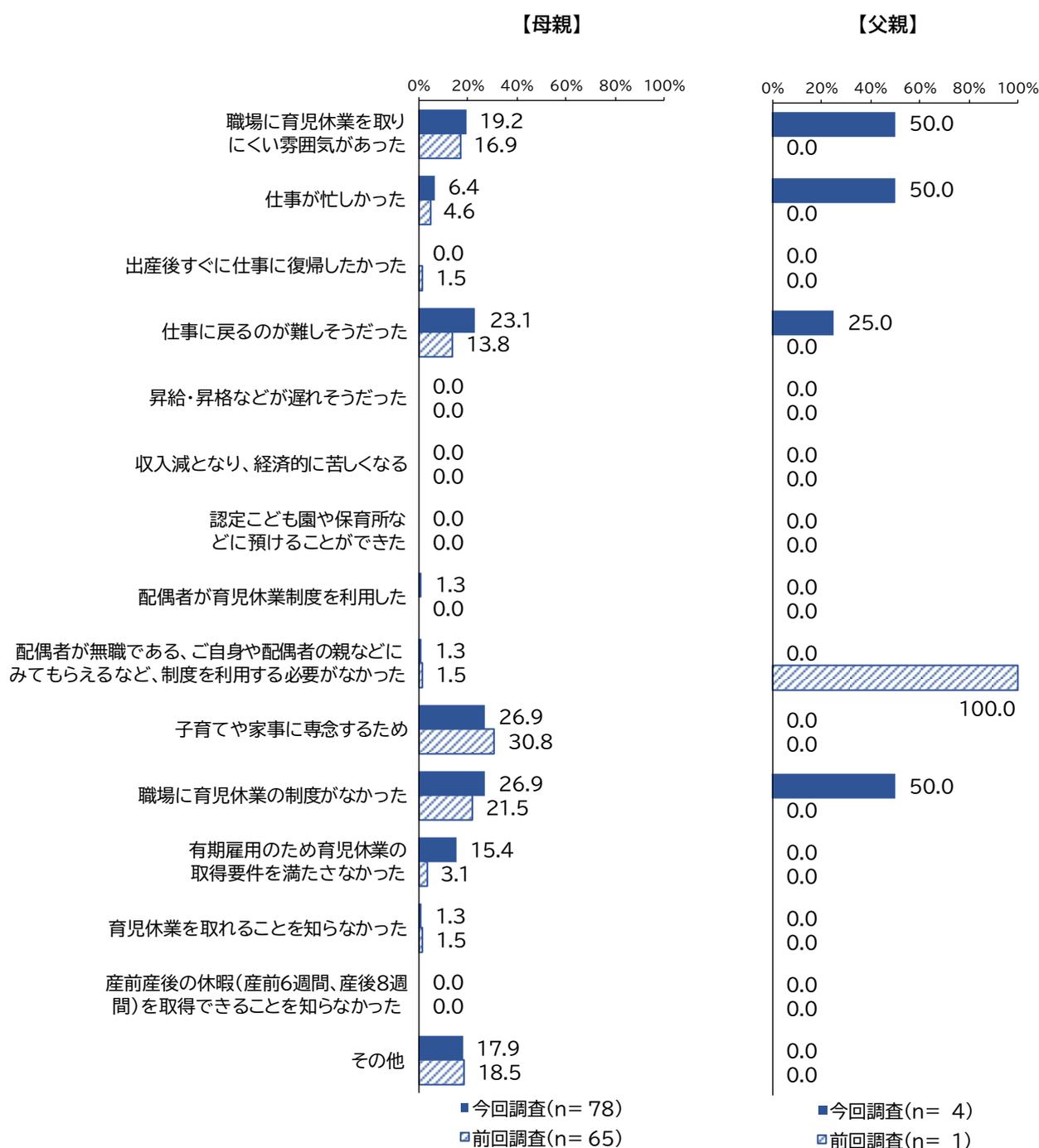
前回調査と比べると、母親で「仕事が忙しかった」は今回調査の方が16.0ポイント低くなっています。



■ 育児休業を取らずに離職した理由

育児休業を取らずに離職した理由についてみると、母親は「子育てや家事に専念するため」と「職場に育児休業の制度がなかった」がともに26.9%で最も高く、次いで「仕事に戻るのが難しそうだった」が23.1%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が19.2%となっています。父親は「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「仕事が忙しかった」、「職場に育児休業の制度がなかった」がいずれも4人中2人(50.0%)、「仕事に戻るのが難しそうだった」が4人中1人(25.0%)となっています。

前回調査と比べると、母親で「仕事に戻るのが難しそうだった」は今回調査の方が9.3ポイント高くなっています。

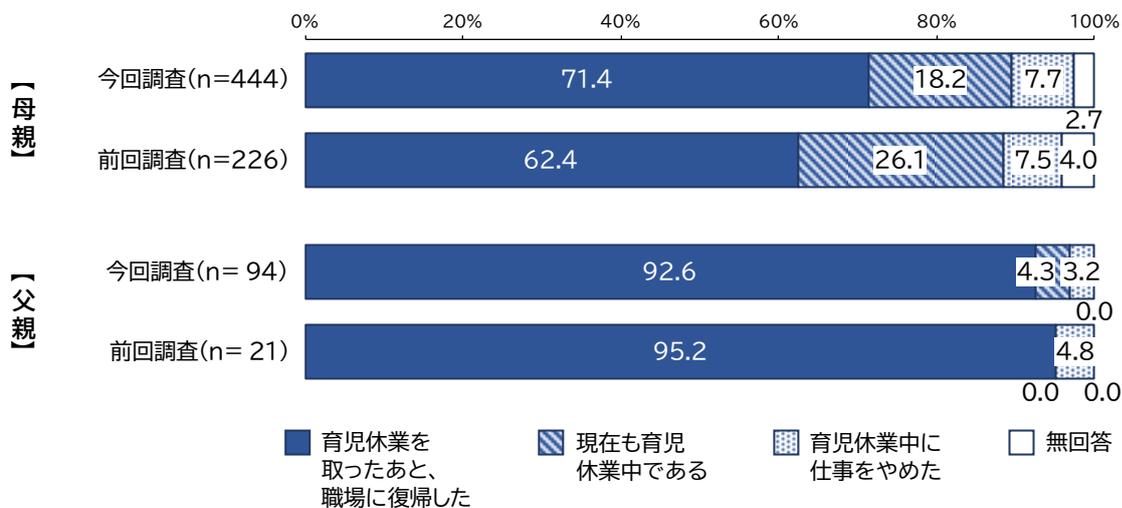


(2) 育児休業取得からの職場復帰状況

問 16-1 問 16 の (1) (2) とも、または、どちらかで「2」を選ばれた方におうかがいします。
 育児休業を取った後、職場に復帰しましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

育児休業取得からの職場復帰状況についてみると、母親は「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」が 71.4%で最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が 18.2%、「育児休業中に仕事をやめた」が 7.7%となっています。父親は「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」が 92.6%で最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が 4.3%、「育児休業中に仕事をやめた」が 3.2%となっています。

前回調査と比べると、母親で「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」は今回調査の方が 9.0 ポイント高くなっています。



(3) 育児休業取得からの職場復帰時期

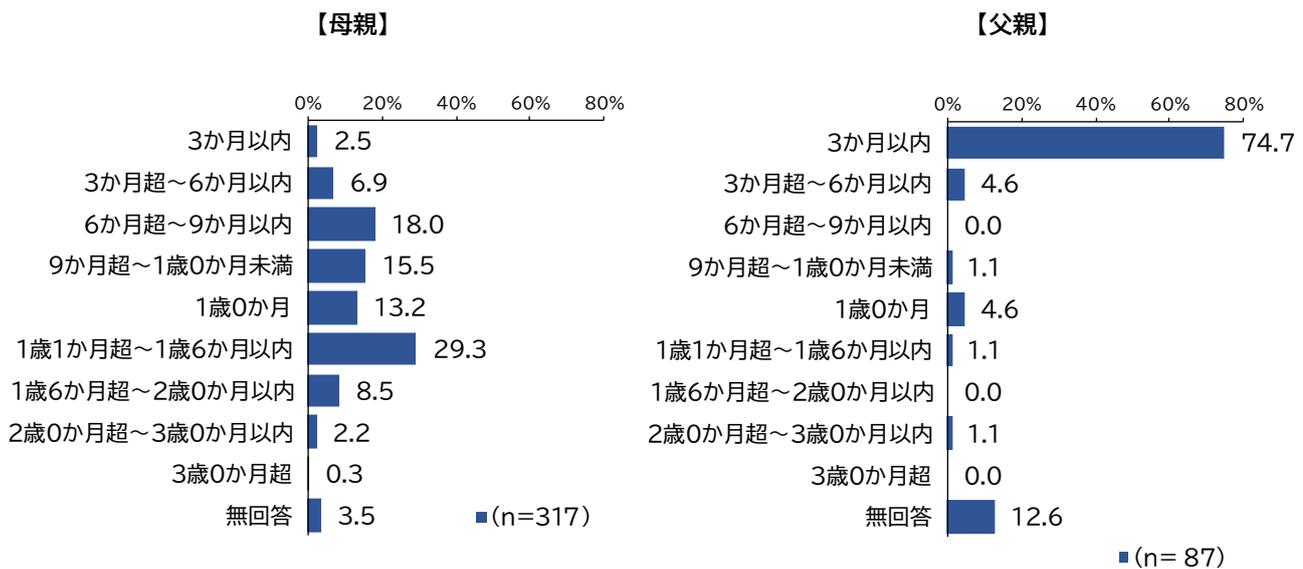
問 16-2 問 16-1 の (1) (2) とも、または、どちらかで「1」を選ばれた方におうかがいします。

「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。

また、職場の育児休業の制度の期間内でのこととなりますが、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで育児休業を取りたかったですか。枠内に具体的な数字を入れ、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

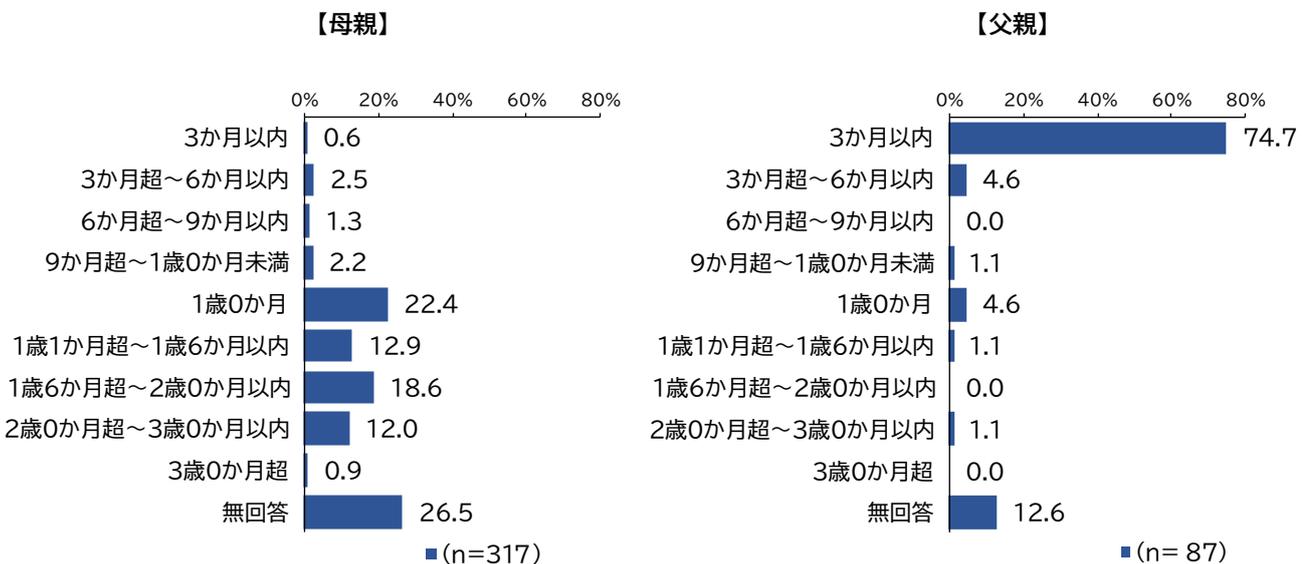
■ 実際の取得期間

実際の育児休業取得期間についてみると、母親は「1歳1か月超～1歳6か月以内」が29.3%で最も高く、次いで「6か月超～9か月以内」が18.0%、「9か月超～1歳0か月未満」が15.5%となっています。父親は「3か月以内」が74.7%で最も高く、次いで「3か月超～6か月以内」と「1歳0か月」がともに4.6%となっています。



■ 希望の取得期間

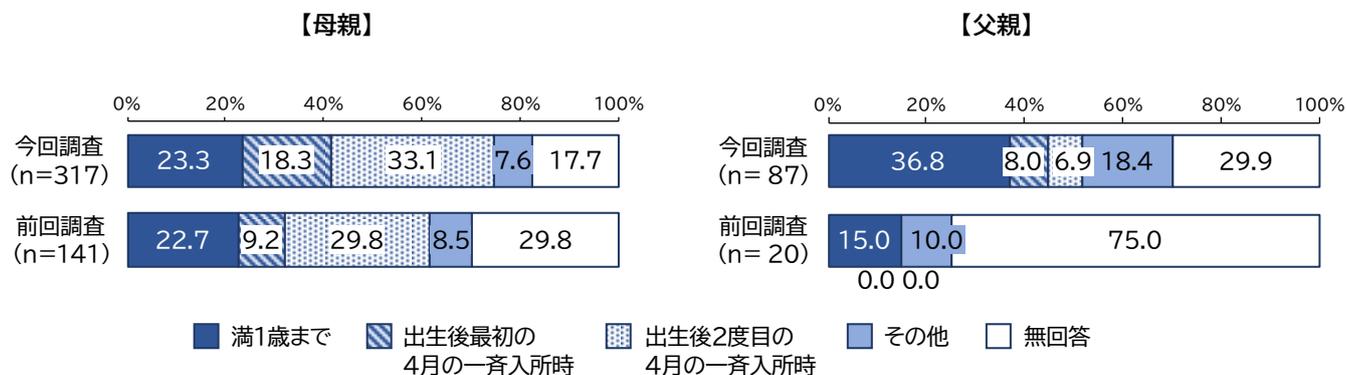
希望の育児休業取得期間についてみると、母親は「1歳0か月」が22.4%で最も高く、次いで「1歳6か月超～2歳0か月以内」が18.6%、「1歳1か月超～1歳6か月以内」が12.9%となっています。父親は「3か月以内」が74.7%で最も高くなっています。



■ 希望の取得期間のタイミング

希望の取得期間のタイミングについてみると、母親は「出生後2度目の4月の一斉入所時」が33.1%で最も高く、次いで「満1歳まで」が23.3%、「出生後最初の4月の一斉入所時」が18.3%となっています。父親は「満1歳まで」が36.8%で最も高く、次いで「出生後最初の4月の一斉入所時」が8.0%、「出生後2度目の4月の一斉入所時」が6.9%となっています。

前回調査と比べると、父親で「満1歳まで」は今回調査の方が20ポイント以上高くなっています。



(4) 子どもと過ごす時間

問 17 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。1週間の平均的な時間をお答えください。
また、その時間は十分だと思いますか。枠内の選択肢の中から選び、その番号を1つだけ記入してください。

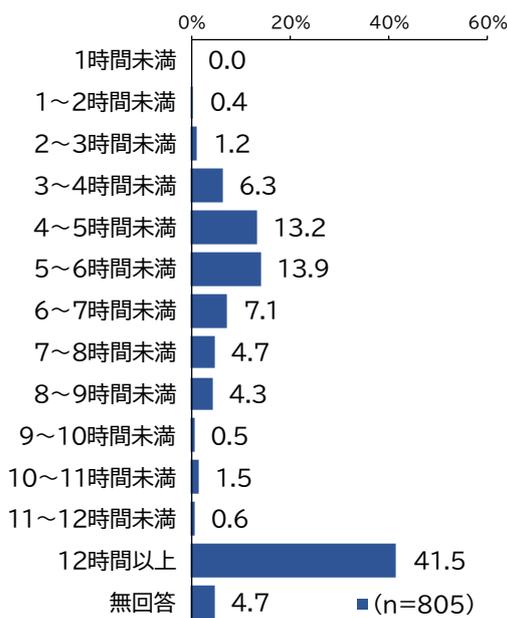
■ 平日 子どもと一緒に過ごす時間

平日に子どもと一緒に過ごす時間についてみると、母親は「12時間以上」が41.5%で最も高く、次いで「5～6時間未満」が13.9%、「4～5時間未満」が13.2%となっています。父親は「2～3時間未満」が17.4%で最も高く、次いで「1～2時間未満」が14.8%、「3～4時間未満」が14.2%、「12時間以上」が9.2%となっています。

平日に子どもと一緒に過ごす時間の十分さについてみると、母親は「十分だと思う」が41.4%で最も高く、次いで「まあまあ十分だと思う」が20.7%、「あまり十分だと思わない」が19.0%となっています。父親は「不十分だと思う」が30.4%で最も高く、次いで「あまり十分だと思わない」が24.3%、「まあまあ十分だと思う」が17.6%となっています。

前回調査と比べると、母親で『十分だと思う』（「十分だと思う」と「まあまあ十分だと思う」の合計）は今回調査の方が6.2ポイント低くなっています。

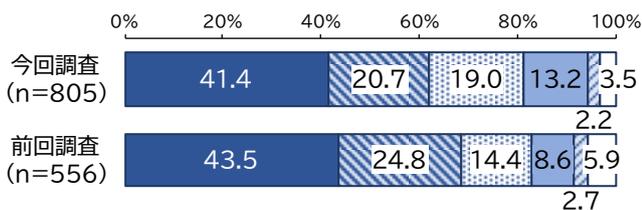
【母親】



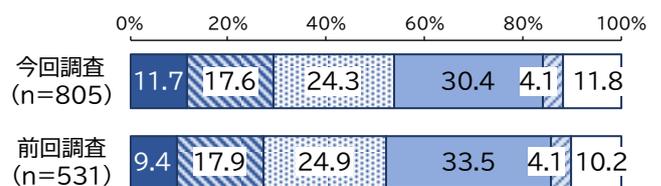
【父親】



【母親】



【父親】



■ 十分だと思う ■ まあまあ十分だと思う ■ あまり十分だと思わない ■ 不十分だと思う ■ わからない □ 無回答

■ 休日 子どもと一緒に過ごす時間

休日に子どもと一緒に過ごす時間についてみると、母親は「12時間以上」が88.6%で最も高く、次いで「10～11時間未満」が2.4%、「8～9時間未満」が1.0%となっています。父親は「12時間以上」が65.6%で最も高く、次いで「10～11時間未満」が4.3%、「8～9時間未満」が3.1%となっています。

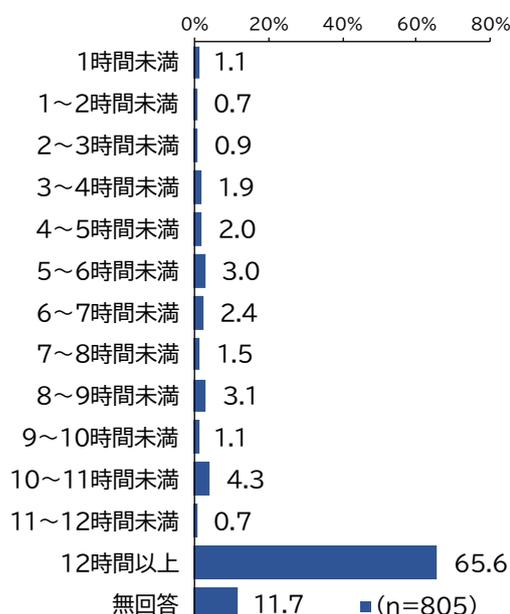
休日に子どもと一緒に過ごす時間の十分さについてみると、母親は「十分だと思う」が83.0%で最も高く、次いで「まあまあ十分だと思う」が10.4%、「あまり十分だと思わない」が1.1%となっています。父親は「十分だと思う」が57.0%で最も高く、次いで「まあまあ十分だと思う」が16.1%、「あまり十分だと思わない」が6.6%、「不十分だと思う」が6.0%、「わからない」が2.6%となっています。

前回調査と比べると、母親で「十分だと思う」は今回調査の方が3.7ポイント高くなっています。

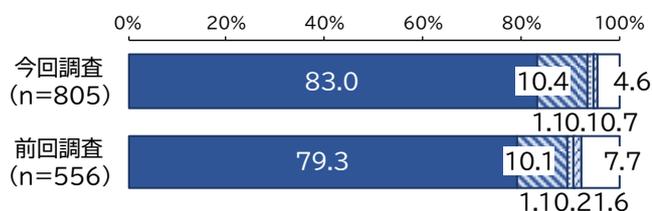
【母親】



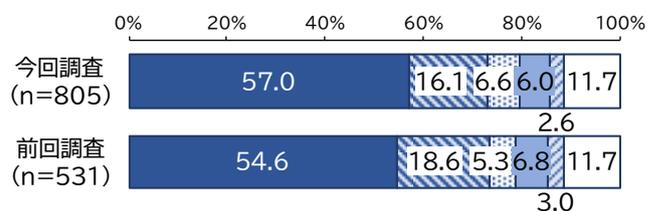
【父親】



【母親】



【父親】

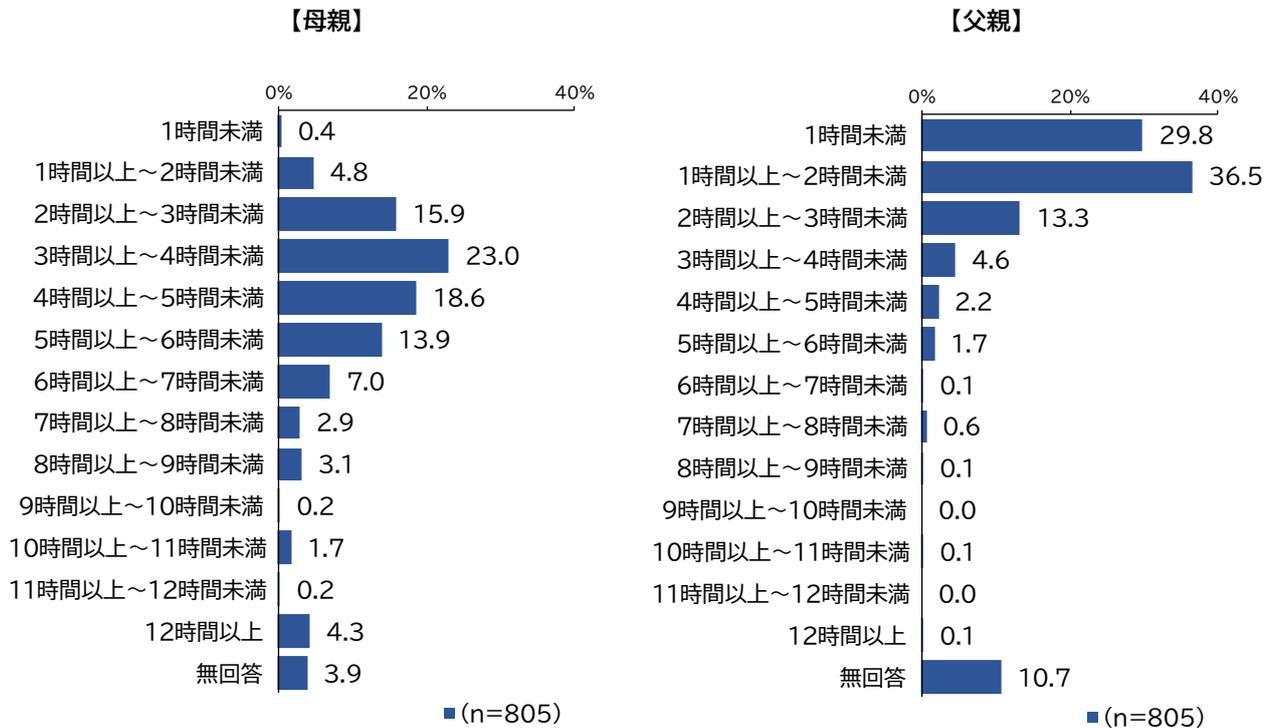


■ 十分だと思う ■ まあまあ十分だと思う ■ あまり十分だと思わない ■ 不十分だと思う ■ わからない □ 無回答

(5) 家事時間

問 18 1日当たり家事を何時間くらいしますか。1週間の間でみた平均的な時間を記入してください。

家事時間についてみると、母親は「3時間以上～4時間未満」が23.0%で最も高く、次いで「4時間以上～5時間未満」が18.6%、「2時間以上～3時間未満」が15.9%、「5時間以上～6時間未満」が13.9%となっています。父親は「1時間以上～2時間未満」が36.5%で最も高く、次いで「1時間未満」が29.8%、「2時間以上～3時間未満」が13.3%となっています。

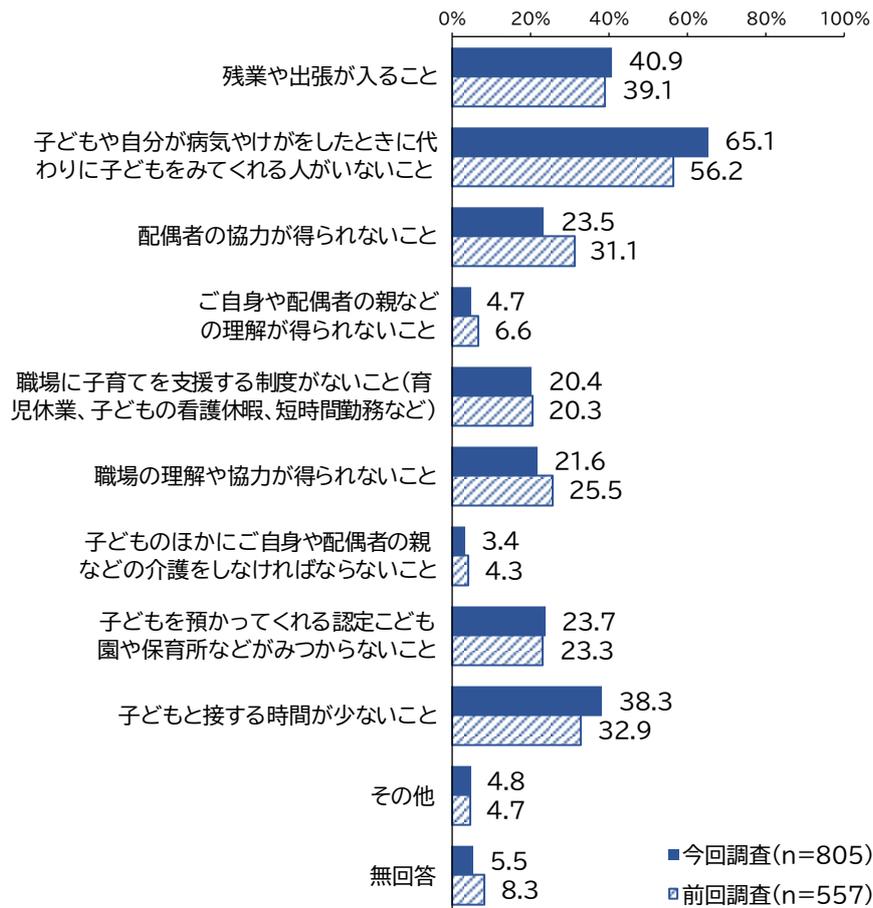


(6) 仕事と子育てを両立させる上での課題

問 19 仕事と子育てを両立させる上での課題と思うことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

仕事と子育てを両立させる上での課題についてみると、「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」が65.1%で最も高く、次いで「残業や出張が入ること」が40.9%、「子どもと接する時間が少ないこと」が38.3%となっています。

前回調査と比べると、「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」は今回調査の方が8.9ポイント高くなっています。



7. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

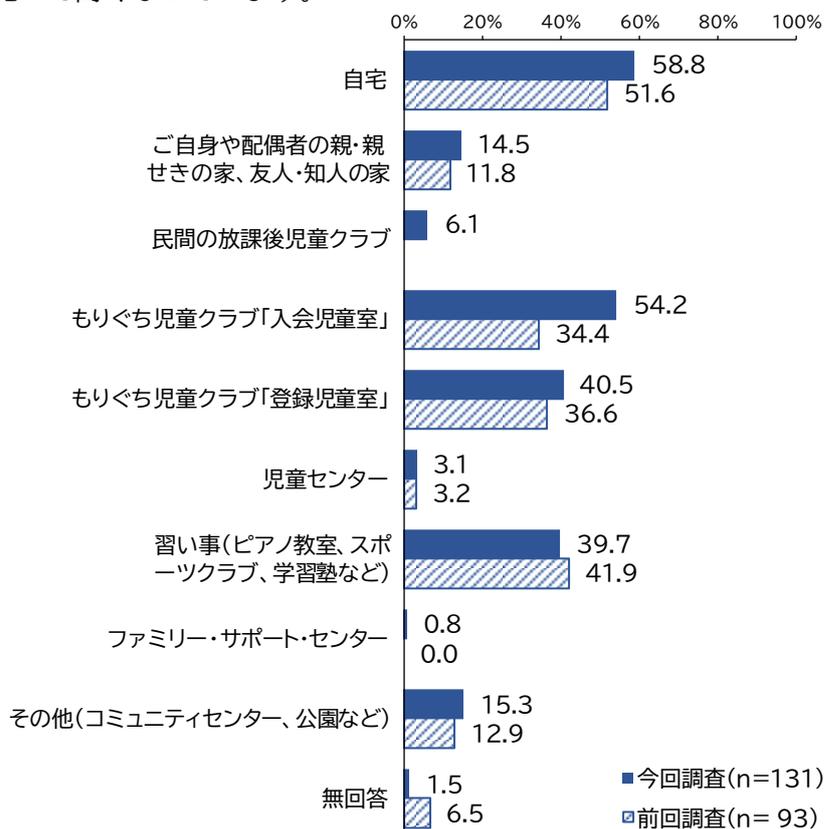
(1) 小学校低学年の間の放課後の過ごし方

問 20 小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけたうえで、○をつけた番号のうち優先順位が高いものから順に表の優先順位欄に「1」から順に番号を記入してください。また、それぞれの希望する1週間の利用日数について、枠内に具体的な数字を入れてください。「4」を選択された場合は、利用を希望する時間についても枠内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず（18：00）のように24時間制で記入してください。

小学校低学年の間の放課後の過ごし方についてみると、「自宅」が58.8%で最も高く、次いで「もりぐち児童クラブ『入会児童室』」が54.2%、「もりぐち児童クラブ『登録児童室』」が40.5%、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が39.7%となっています。

前回調査と比べると、「もりぐち児童クラブ『入会児童室』」は今回調査の方が19.8ポイント高くなっています。

地域別にみると、東部は「自宅」、南部は「もりぐち児童クラブ『入会児童室』」がそれぞれ6割台と、他の地域と比べて高くなっています。



【地域別】

		回答者数 (n)	自宅	ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家	民間の放課後児童クラブ	もりぐち児童クラブ「入会児童室」	もりぐち児童クラブ「登録児童室」	児童センター	習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)	ファミリー・サポート・センター	その他(コミュニティセンター、公園など)	無回答
全体		131	58.8	14.5	6.1	54.2	40.5	3.1	39.7	0.8	15.3	1.5
地域別	東部	50	68.0	14.0	4.0	40.0	42.0	8.0	34.0	2.0	32.0	2.0
	中部	32	46.9	18.8	9.4	59.4	31.3	-	46.9	-	6.3	3.1
	南部	49	57.1	12.2	6.1	65.3	44.9	-	40.8	-	4.1	-

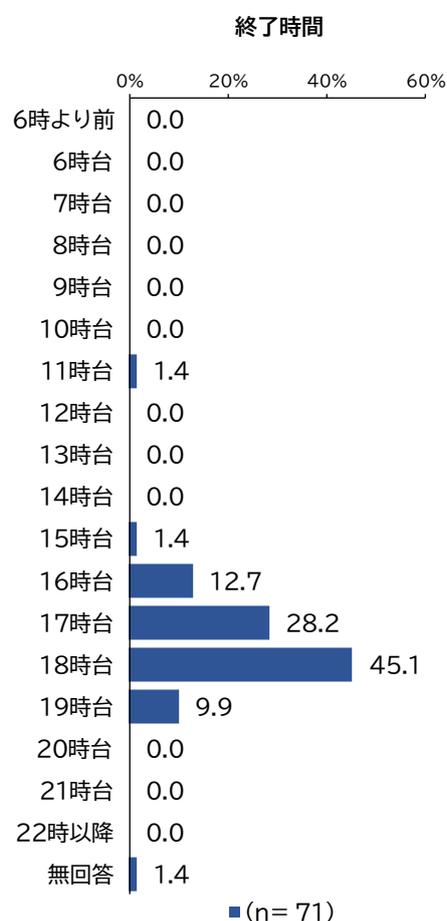
■ 優先順位

小学校低学年の間の放課後の過ごし方の優先順位についてみると、「4 もりぐち児童クラブ『入会児童室』」を1位にする回答者が4割弱（38.9%）を占めています。次いで1位の割合が高いのは「1 自宅」で、約3割（30.5%）となっています。

	回答者数 (n)	過ごさせたい					優先順位不明	利用なし	無回答
		1位	2位	3位	4位以下				
1 自宅	131	30.5	16.8	6.9	2.3	2.3	39.7	1.5	
2 ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家	131	1.5	6.9	3.8	2.3	-	84.0	1.5	
3 民間の放課後児童クラブ	131	2.3	1.5	0.8	1.5	-	92.4	1.5	
4 もりぐち児童クラブ「入会児童室」	131	38.9	6.1	3.8	-	5.3	44.3	1.5	
5 もりぐち児童クラブ「登録児童室」	131	11.5	17.6	6.1	2.3	3.1	58.0	1.5	
6 児童センター	131	-	0.8	0.8	1.5	-	95.4	1.5	
7 習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	131	6.9	17.6	10.7	3.1	1.5	58.8	1.5	
8 ファミリー・サポート・センター	131	-	-	-	0.8	-	97.7	1.5	
9 その他（コミュニティセンター、公園など）	131	-	3.1	6.1	5.3	0.8	83.2	1.5	

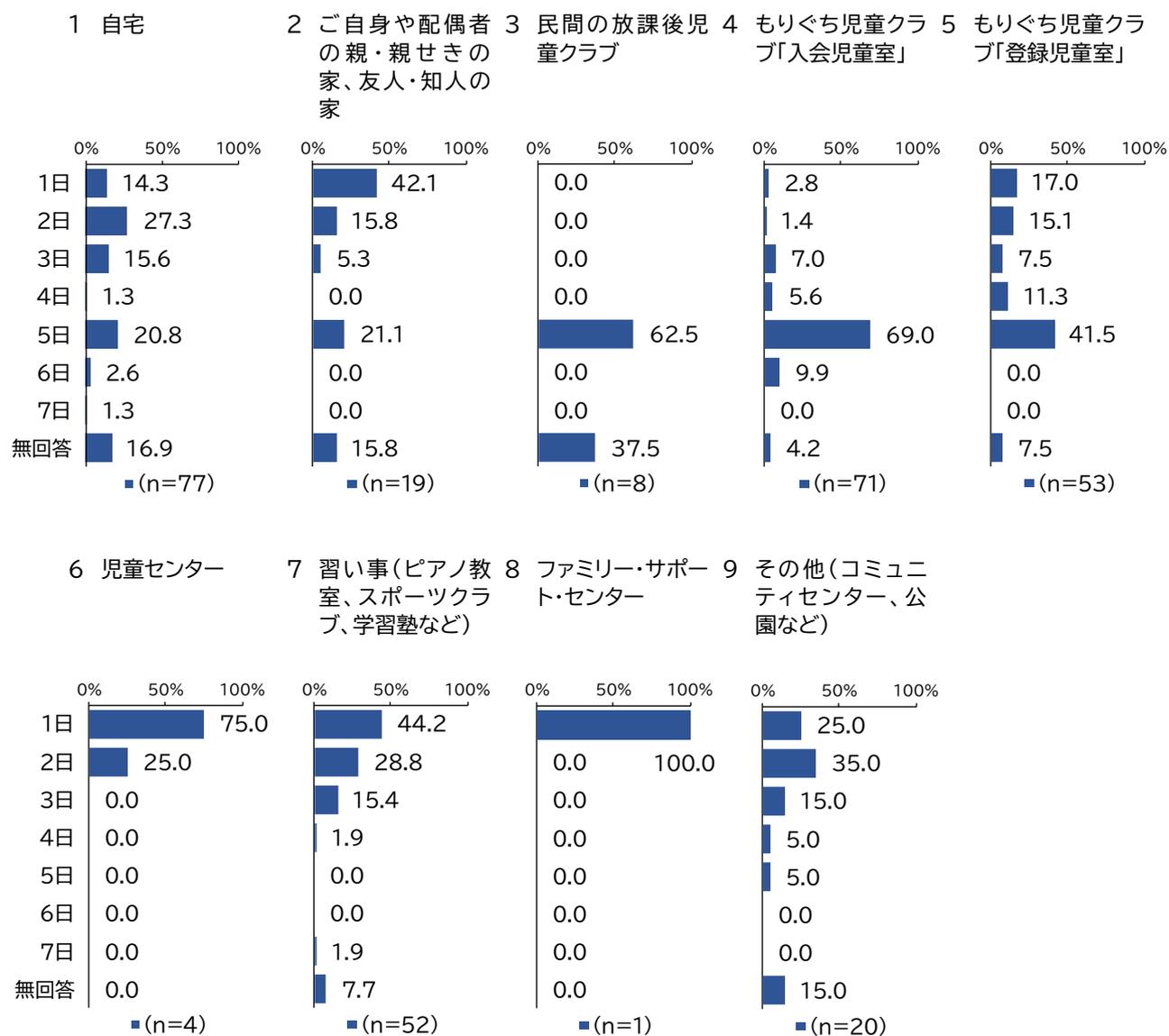
■ もりぐち児童クラブ「入会児童室」の利用希望終了時間

小学校低学年の間のもりぐち児童クラブ「入会児童室」の利用希望終了時間についてみると、「18 時台」が45.1%で最も高く、次いで「17 時台」が28.2%、「16 時台」が12.7%、「19 時台」が9.9%となっています。



■ 週当たり日数

小学校低学年の間の放課後の過ごし方における週当たり日数についてみると、回答者が最も多い「1 自宅」では、「2日」が27.3%で最も高く、次いで「5日」が20.8%、「3日」が15.6%、「1日」が14.3%となっています。次いで回答者の多い「4 もりぐち児童クラブ『入会児童室』」では、「5日」が69.0%で最も高く、次いで「6日」が9.9%、「3日」が7.0%、「4日」が5.6%、「1日」が2.8%となっています。

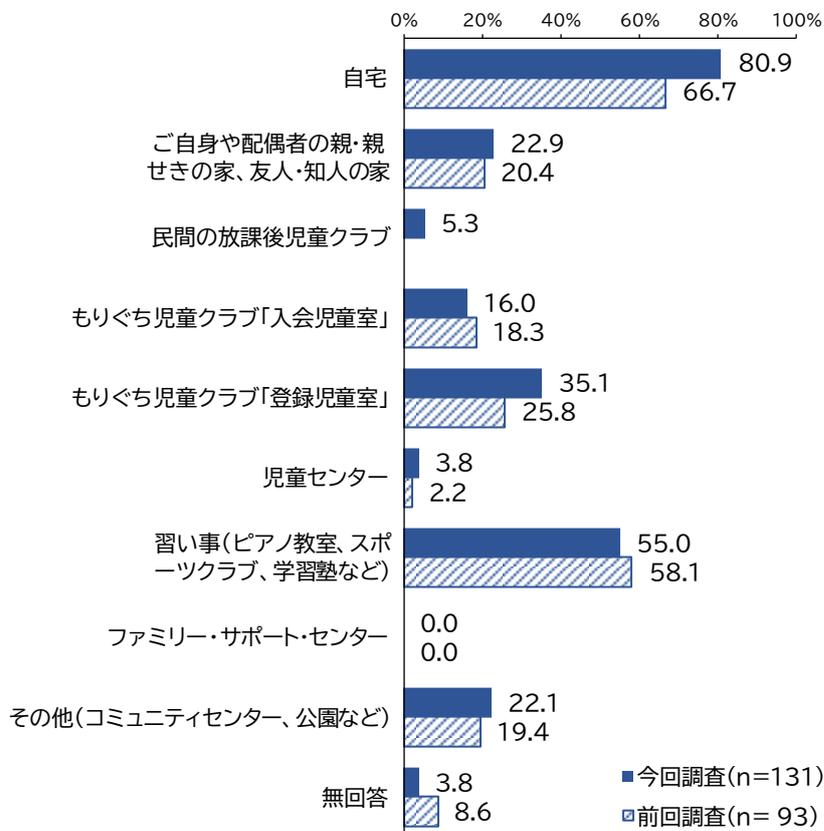


(2) 小学校高学年の間の放課後の過ごし方

問 21 小学校高学年（4～6 年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。すべてに○をつけたうえで、○をつけた番号のうち優先順位が高いものから順に表の優先順位欄に「1」から順に番号を記入してください。
 また、それぞれの希望する1週間の利用日数について、枠内に具体的な数字を入れてください。
 「4」を選択された場合は、利用を希望する時間についても枠内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず（18：00）のように24時間制で記入してください。
 ※先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

小学校高学年の間の放課後の過ごし方についてみると、「自宅」が80.9%で最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が55.0%、「もりぐち児童クラブ『登録児童室』」が35.1%となっています。

前回調査と比べると、「自宅」は今回調査の方が14.2ポイント高くなっています。地域別にみると、東部で「自宅」が9割台と、他の地域と比べて高くなっています。



【地域別】

		回答者数 (n)	自宅	家 せきの家、友人・知人の	ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の	民間の放課後児童クラブ	もりぐち児童クラブ「入会児童室」	もりぐち児童クラブ「登録児童室」	児童センター	習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)	ファミリー・サポート・センター	その他(コミュニティセンター、公園など)	無回答
全体		131	80.9	22.9	5.3	16.0	35.1	3.8	55.0	-	22.1	3.8	
地域別	東部	50	90.0	26.0	2.0	8.0	24.0	10.0	48.0	-	28.0	4.0	
	中部	32	71.9	21.9	9.4	15.6	43.8	-	65.6	-	9.4	3.1	
	南部	49	77.6	20.4	6.1	24.5	40.8	-	55.1	-	24.5	4.1	

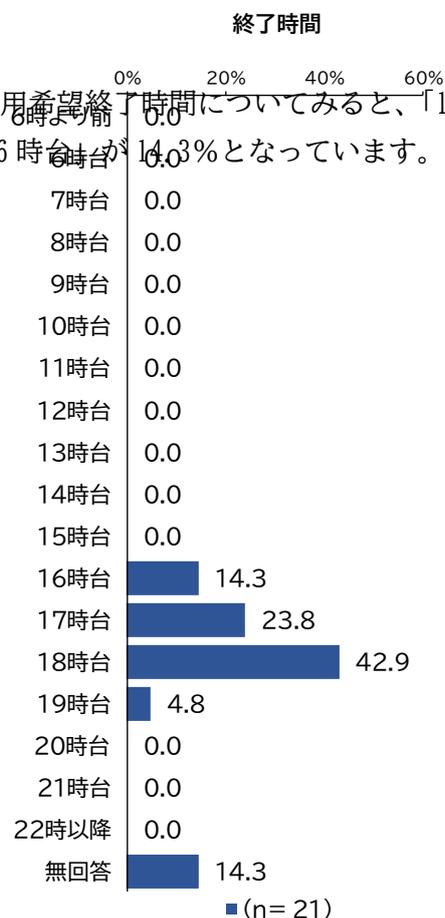
■ 優先順位

小学校高学年の間の放課後の過ごし方の優先順位についてみると、「1 自宅」を1位にする回答者が約5割弱（49.6%）を占めています。2位で最も割合が高いのは「7 習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」で、2割強（22.1%）となっています。

	回答者数 (n)	過ごさせたい					利用なし	無回答
		1位	2位	3位	4位以下	優先順位不明		
1 自宅	131	49.6	13.0	9.9	5.3	3.1	15.3	3.8
2 ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家	131	3.8	11.5	3.8	3.8	-	73.3	3.8
3 民間の放課後児童クラブ	131	2.3	2.3	0.8	-	-	90.8	3.8
4 もりぐち児童クラブ「入会児童室」	131	6.1	3.1	0.8	1.5	4.6	80.2	3.8
5 もりぐち児童クラブ「登録児童室」	131	14.5	10.7	7.6	0.8	1.5	61.1	3.8
6 児童センター	131	-	0.8	1.5	1.5	-	92.4	3.8
7 習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	131	13.7	22.1	12.2	2.3	4.6	41.2	3.8
8 ファミリー・サポート・センター	131	-	-	-	-	-	96.2	3.8
9 その他（コミュニティセンター、公園など）	131	3.1	9.2	5.3	3.8	0.8	74.0	3.8

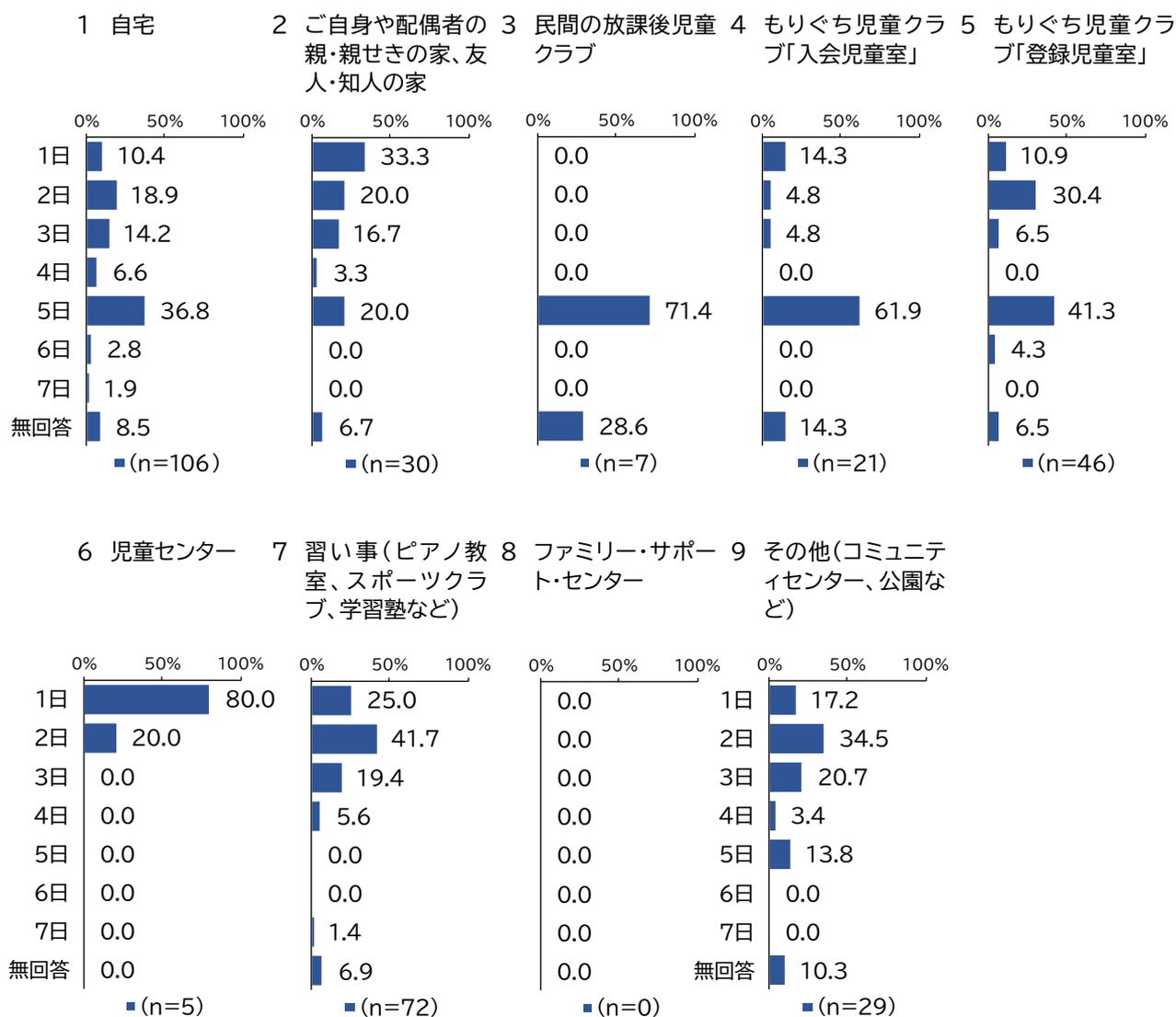
■ もりぐち児童クラブ「入会児童室」の利用希望終了時間

小学校高学年の間のもりぐち児童クラブ「入会児童室」の利用希望終了時間についてみると、「18時台」が42.9%で最も高く、次いで「17時台」が23.8%、「16時台」が14.3%となっています。



■ 週当たり日数

小学校高学年の間の放課後の過ごし方における週当たり日数についてみると、回答者が最も多い「1 自宅」では、「5日」が36.8%で最も高く、次いで「2日」が18.9%、「3日」が14.2%、「1日」が10.4%、「4日」が6.6%となっています。次いで回答者の多い「7 習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」では、「2日」が41.7%で最も高く、次いで「1日」が25.0%、「3日」が19.4%となっています。



(3) 土曜日、日曜日・祝日のもりぐち児童クラブ「入会児童室」の利用意向

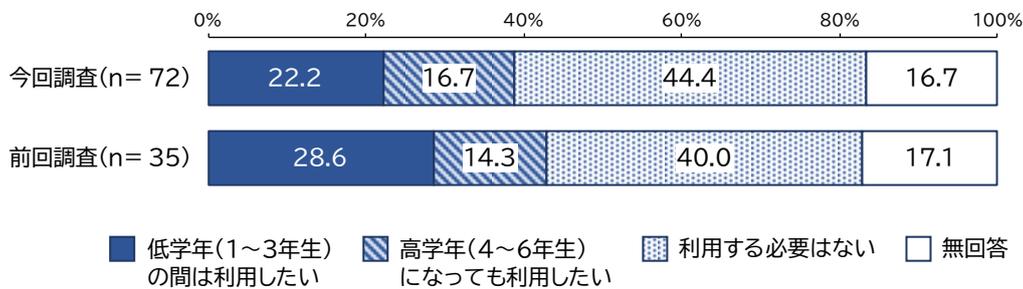
問 22 問 20 または問 21 で「4」を選ばれた方におうかがいします。
 土曜日、日曜日・祝日に、もりぐち児童クラブ「入会児童室」の利用希望はありますか。
 それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
 また、利用したい時間帯を、枠内に（9：00～18：00）のように24時間制で記入してください。

■ 土曜日

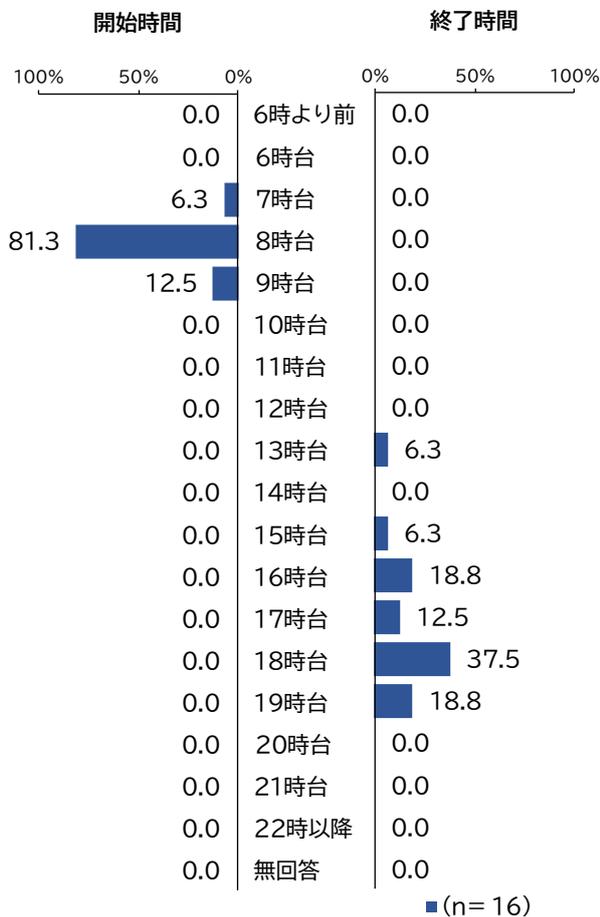
土曜日のもりぐち児童クラブ「入会児童室」の利用意向についてみると、「利用する必要はない」が44.4%で最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が22.2%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が16.7%となっています。

前回調査と比べると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」は今回調査の方が6.4ポイント低くなっています。

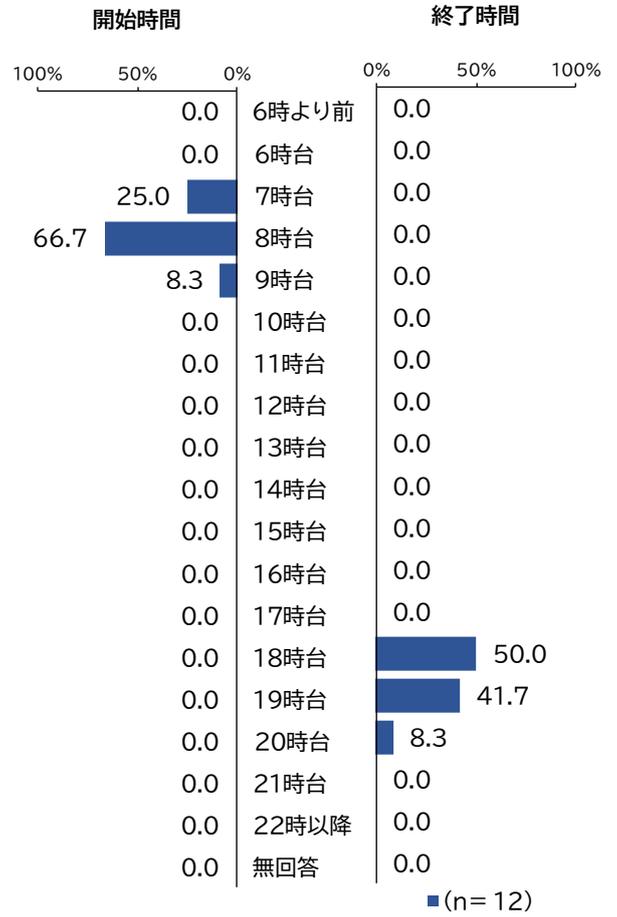
利用したい時間帯についてみると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」と「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の回答者は、ともに開始時間は「8時台」、終了時間は「18時台」がそれぞれ最も高くなっています。



【低学年(1～3年生)の間は利用したい】



【高学年(4～6年生)になっても利用したい】

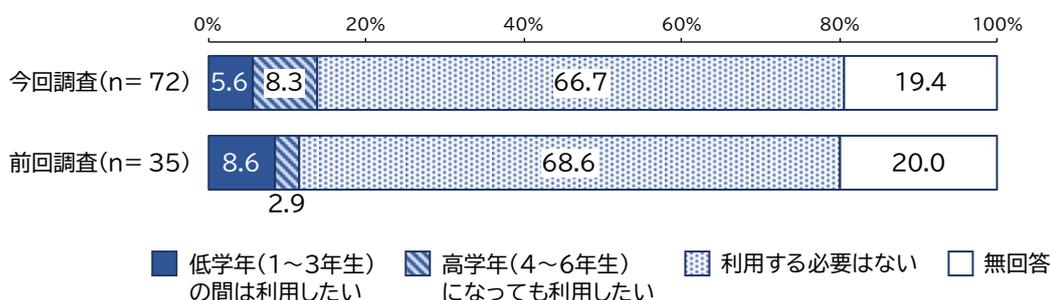


■ 日曜日・祝日

日曜日・祝日のもりぐち児童クラブ「入会児童室」の利用意向についてみると、「利用する必要はない」が66.7%で最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が8.3%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が5.6%となっています。

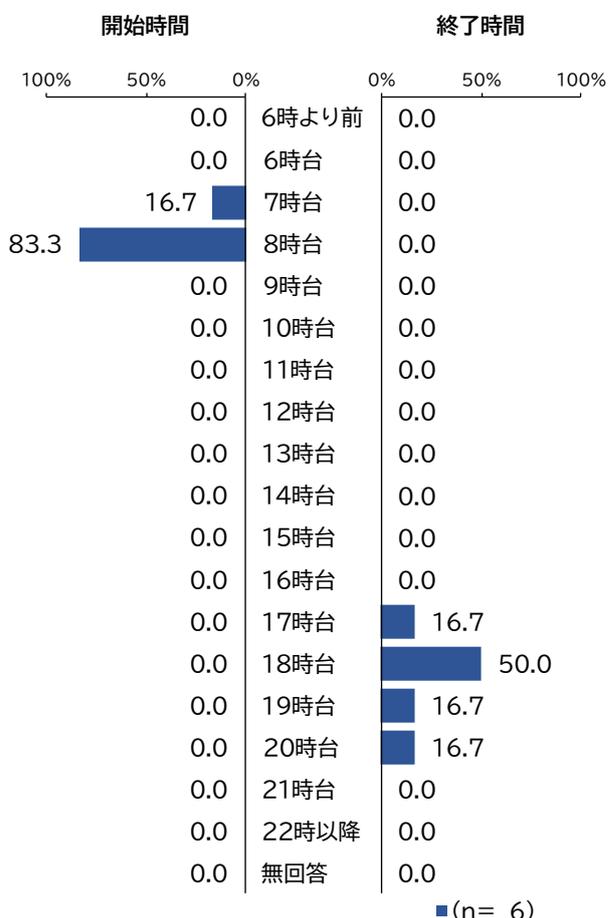
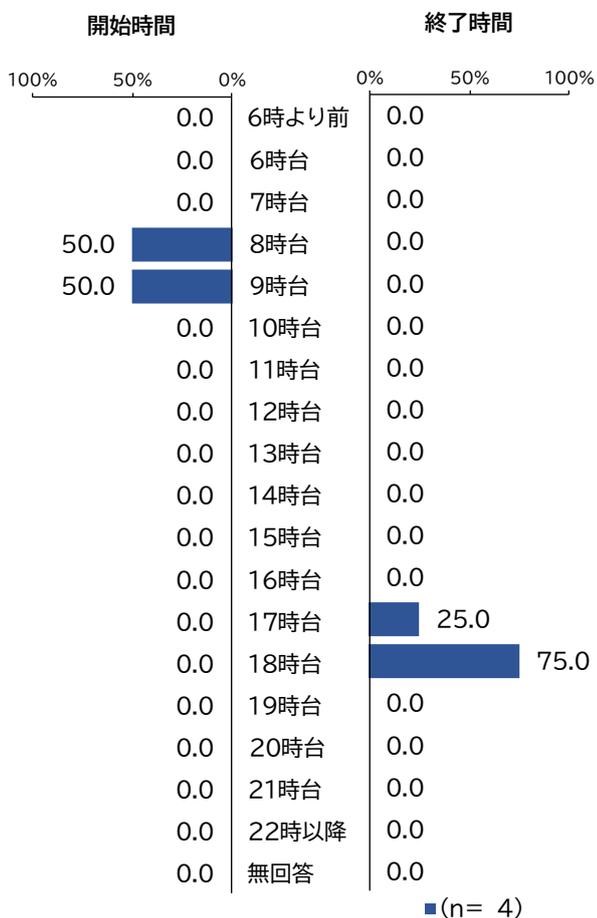
前回調査と比べると、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」は今回調査の方が5.4ポイント高くなっています

利用したい時間帯についてみると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の回答者は、開始時間は「8時台」と「9時台」、終了時間は「18時台」がそれぞれ最も高くなっています。「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の回答者は、開始時間は「8時台」、終了時間は「18時台」がそれぞれ最も高くなっています。



【低学年(1～3年生)の間は利用したい】

【高学年(4～6年生)になっても利用したい】



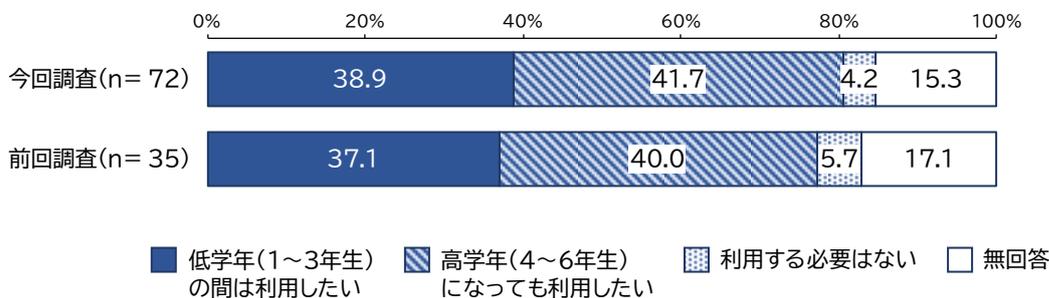
(3) 長期休暇中のもりぐち児童クラブ「入会児童室」の利用意向

問 23 問 20 または問 21 で「4」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。
 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中にもりぐち児童クラブ「入会児童室」の利用希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。(8:00~19:00 まで開設)
 また、利用したい時間帯を、枠内に(9:00~18:00)のように24時間制で記入してください。
 なお、利用にあたっては利用者負担金が発生します。

長期休暇中のもりぐち児童クラブ「入会児童室」の利用意向についてみると、「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が41.7%で最も高く、次いで「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が38.9%となっています。

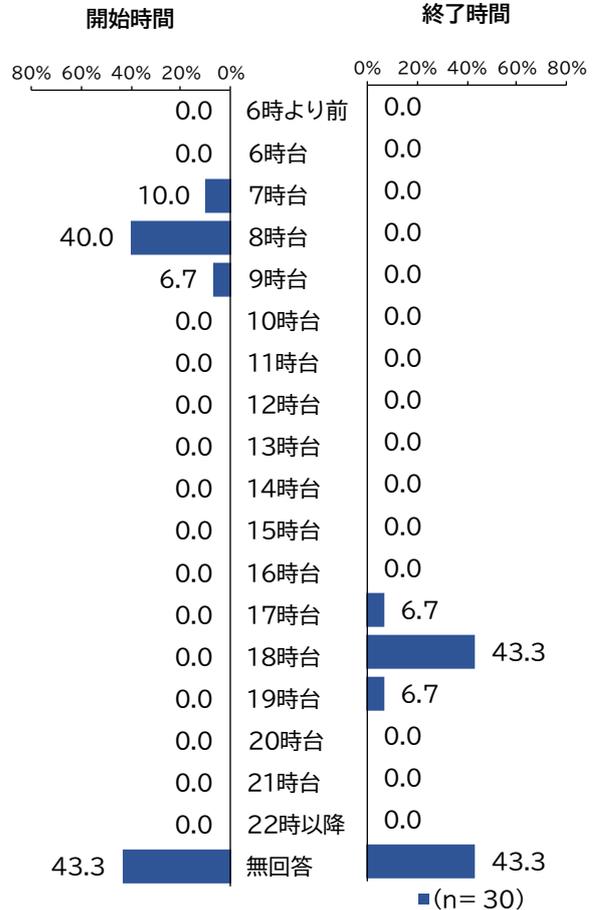
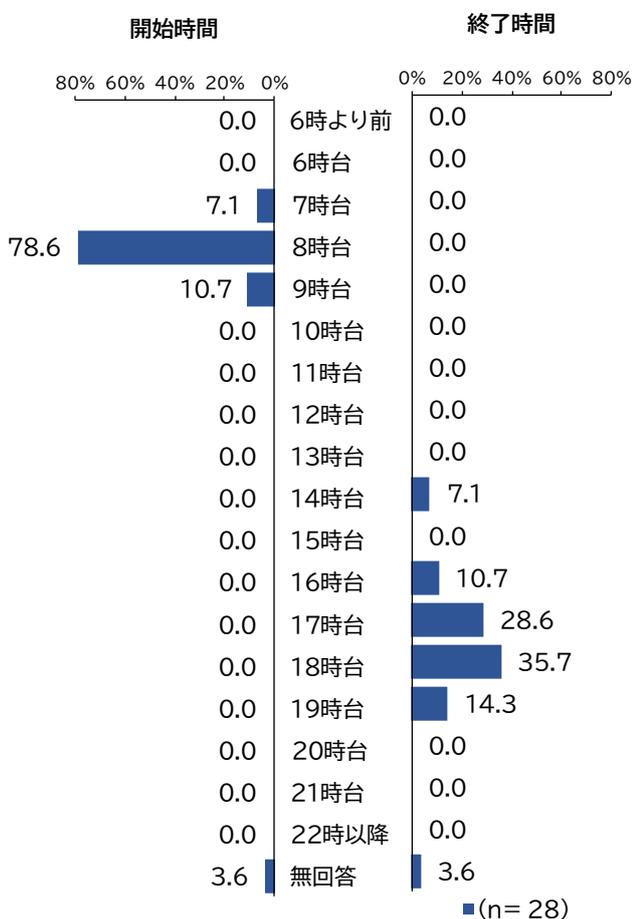
前回調査と比べると、大きな差異はみられません。

利用したい時間帯についてみると、「低学年(1~3年生)の間は利用したい」と「高学年(4~6年生)になっても利用したい」の回答者は、ともに開始時間は「8時台」、終了時間は「18時台」がそれぞれ最も高くなっています。



【低学年(1~3年生)の間は利用したい】

【高学年(4~6年生)になっても利用したい】



8. 一時預かりの利用状況、利用意向について

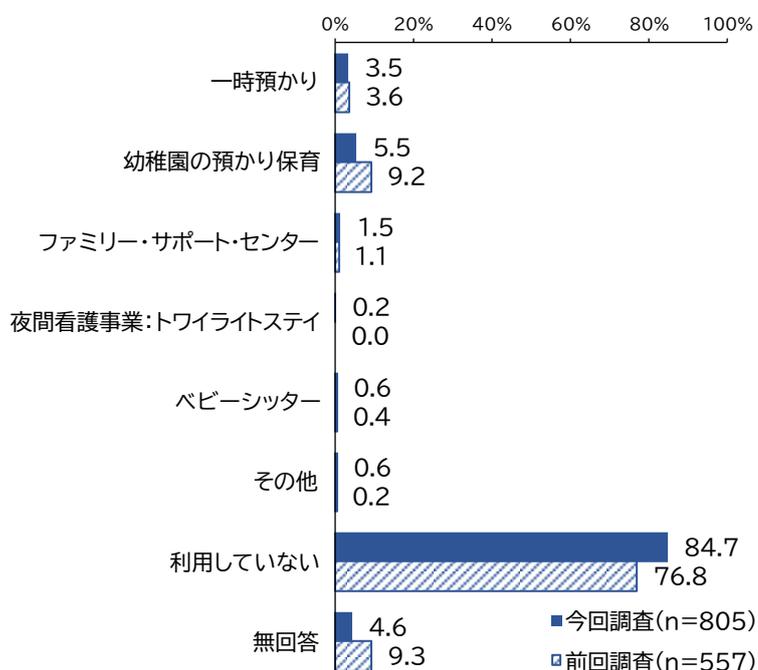
(1) 一時預かりの利用状況

問 24 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、子どもを預かるサービスを「不定期に」利用しましたか。（認定こども園や幼稚園、保育所などの定期的な利用や子どもが病気のときの保育施設の利用は除きます。）
あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数について枠内に具体的な数字を入れてください。

一時預かりの利用状況についてみると、「利用していない」が84.7%で最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」が5.5%、「一時預かり」が3.5%、「ファミリー・サポート・センター」が1.5%、「ベビーシッター」が0.6%となっています。

前回調査と比べると、「利用していない」は今回調査の方が7.9ポイント高くなっています。

子どもの年齢別にみると、4歳で「幼稚園の預かり保育」が1割以上（13.8%）とを占め、他の年齢よりも高くなっています。



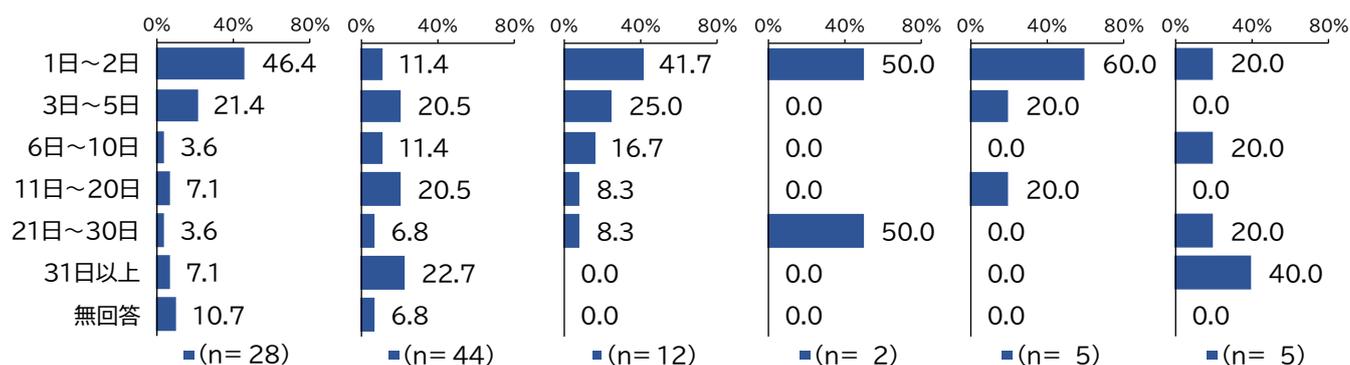
【子どもの年齢別】

		回答者数 (n)	一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・センター	夜間看護事業：トワイライトステイ	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答
全体		805	3.5	5.5	1.5	0.2	0.6	0.6	84.7	4.6
子どもの年齢別	0歳 (2023年度生まれ)	57	3.5	1.8	3.5	-	-	-	91.2	3.5
	0歳 (2022年度生まれ)	83	4.8	-	-	-	1.2	2.4	88.0	3.6
	1歳	130	1.5	1.5	2.3	-	-	-	89.2	5.4
	2歳	133	3.0	2.3	-	-	0.8	0.8	86.5	7.5
	3歳	129	4.7	6.2	2.3	0.8	0.8	0.8	84.5	3.1
	4歳	138	1.4	13.8	2.9	-	0.7	0.7	79.0	2.2
5歳	131	6.1	8.4	-	0.8	0.8	-	81.7	3.8	

■ 年当たり日数

一時預かりの利用状況で年当たりの日数についてみると、回答者が最も多い「2 幼稚園の預かり保育」では、「31日以上」が22.7%で最も高く、次いで「3日～5日」と「11日～20日」がともに20.5%となっています。次いで回答者の多い「1 一時預かり」では、「1日～2日」が46.4%で最も高く、次いで「3日～5日」が21.4%、「11日～20日」と「31日以上」がともに7.1%となっています。

1 一時預かり 2 幼稚園の預かり保育 3 ファミリー・サポート・センター 4 夜間看護事業：トワイライトステイ 5 ベビーシッター 6 その他



(2) 一時預かりの利用意向

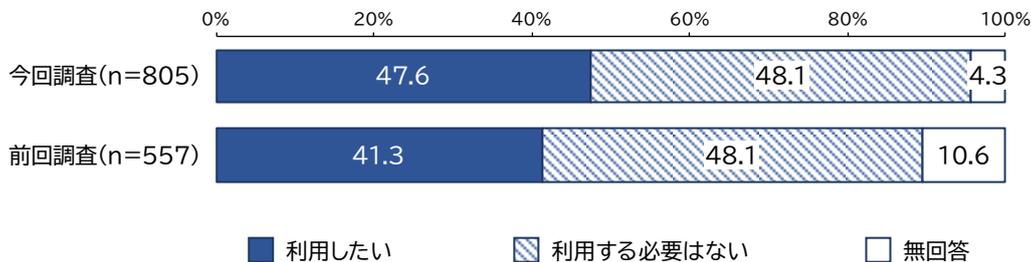
問 25 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、1年間に何日くらい認定こども園や保育所などで実施されている「一時預かり」を利用したいと思いますか。
 「1」「2」のいずれかに○をつけ、「1」を選んだ場合には、利用したい目的すべてに○をつけ、利用したい目的ごとに枠内に日数を記入してください。
 なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

一時預かりの利用意向についてみると、「利用したい」が47.6%、「利用する必要はない」が48.1%となっています。

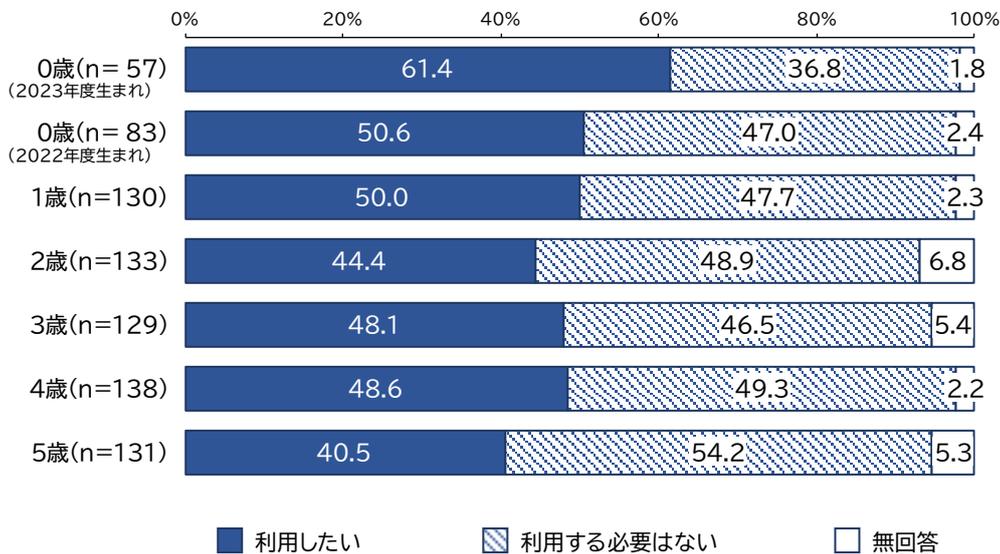
前回調査と比べると、「利用したい」は今回調査の方が6.3ポイント高くなっています。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が低くなるほど「利用したい」の割合は概ね高くなる傾向にあり、0歳（2023年度生まれ）で6割以上（61.4%）となっています。

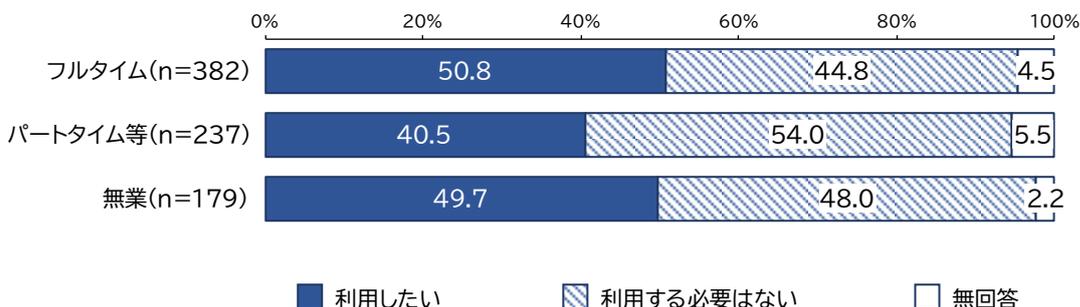
母親の就労形態別にみると、パートタイム等での「利用したい」が40.5%で、他の就労形態と比べて低くなっています。



【子どもの年齢別】



【母親の就労形態別】

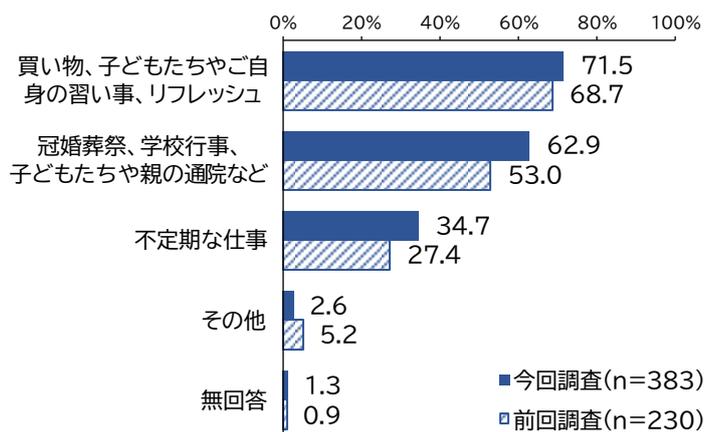


■ 利用したい目的

一時預かりを利用したい目的についてみると、「買い物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ」が71.5%で最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など」が62.9%、「不定期な仕事」が34.7%となっています。

前回調査と比べると、「冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など」は今回調査の方が9.9ポイント高くなっています。

子どもの年齢別にみると、1歳で「冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など」が43.1%で、他の年齢と比べて大幅に低くなっています。

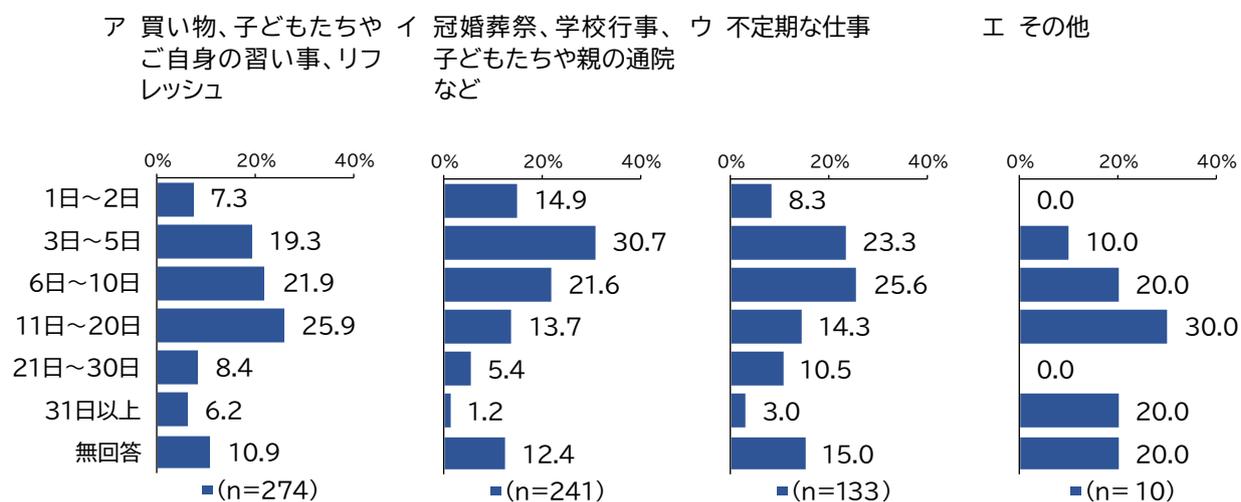


【子どもの年齢別】

		回答者数(n)	買い物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ	冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など	不定期な仕事	その他	無回答
全体		383	71.5	62.9	34.7	2.6	1.3
子どもの年齢別	0歳(2023年度生まれ)	35	74.3	62.9	37.1	5.7	2.9
	0歳(2022年度生まれ)	42	71.4	73.8	31.0	-	-
	1歳	65	81.5	43.1	32.3	3.1	3.1
	2歳	59	78.0	67.8	33.9	3.4	-
	3歳	62	71.0	62.9	37.1	3.2	3.2
	4歳	67	64.2	65.7	26.9	3.0	-
5歳	53	60.4	69.8	47.2	-	-	

■年当たり日数

一時預かりの年当たりの日数についてみると、回答者が最も多い「ア 買い物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ」では、「11日～20日」が25.9%で最も高く、次いで「6日～10日」が21.9%、「3日～5日」が19.3%となっています。次いで回答者の多い「イ 冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など」では、「3日～5日」が30.7%で最も高く、次いで「6日～10日」が21.6%、「1日～2日」が14.9%、「11日～20日」が13.7%となっています。

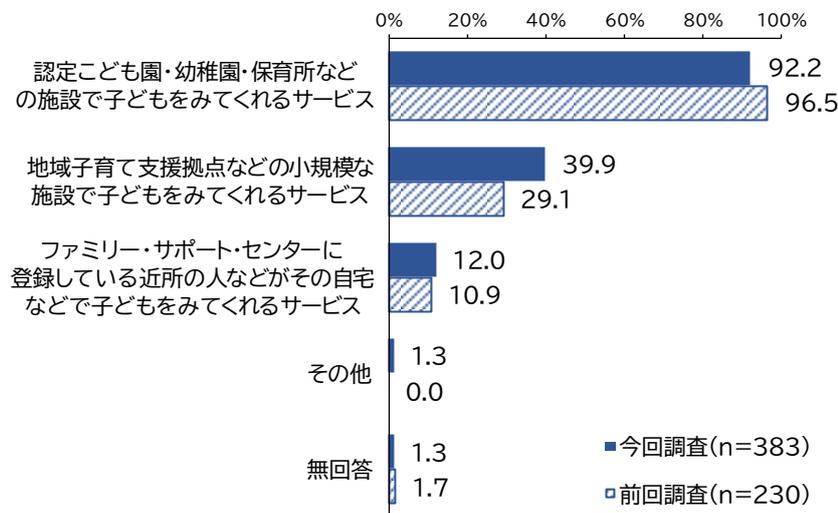


(3) 一時預かりとして望ましいサービス

問 25-1 問 25 で「1」を選ばれた方におうかがいします。
 問 25 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの子育て支援サービスが望ましいと思われますか。
 あてはまる番号すべてに○をつけてください。
 なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

一時預かりとして望ましいサービスについてみると、「認定こども園・幼稚園・保育所などの施設で子どもをみてるサービス」が92.2%で最も高く、次いで「地域子育て支援拠点などの小規模な施設で子どもをみてるサービス」が39.9%、「ファミリー・サポート・センターに登録している近所の人などがその自宅などで子どもをみてるサービス」が12.0%となっています。

前回調査と比べると、「地域子育て支援拠点などの小規模な施設で子どもをみてるサービス」は今回調査の方が10.8ポイント高くなっています。



(4) 泊りがけで子どもを家族以外にみてもらった経験

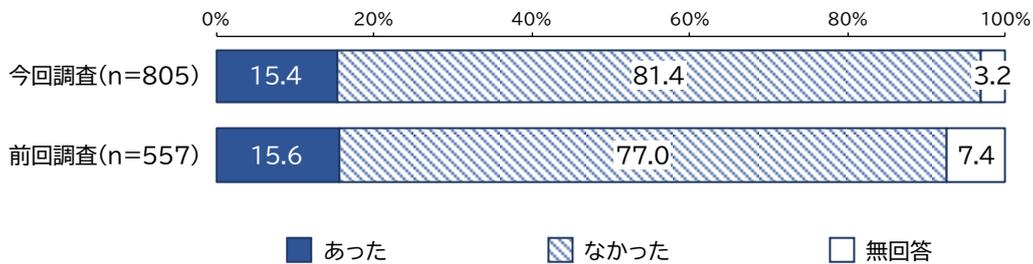
問 26 この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事により、お子さんを「泊まりがけで」家族以外にみてもらわないといけないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます。）
 「1」「2」のいずれかに○をつけ、「1」を選んだ場合には、あてはまる対処方法すべてに○をつけ、その対処方法ごとに枠内に日数を記入してください。

泊りがけで子どもを家族以外にみてもらった経験についてみると、「あった」が15.4%、「なかった」が81.4%となっています。

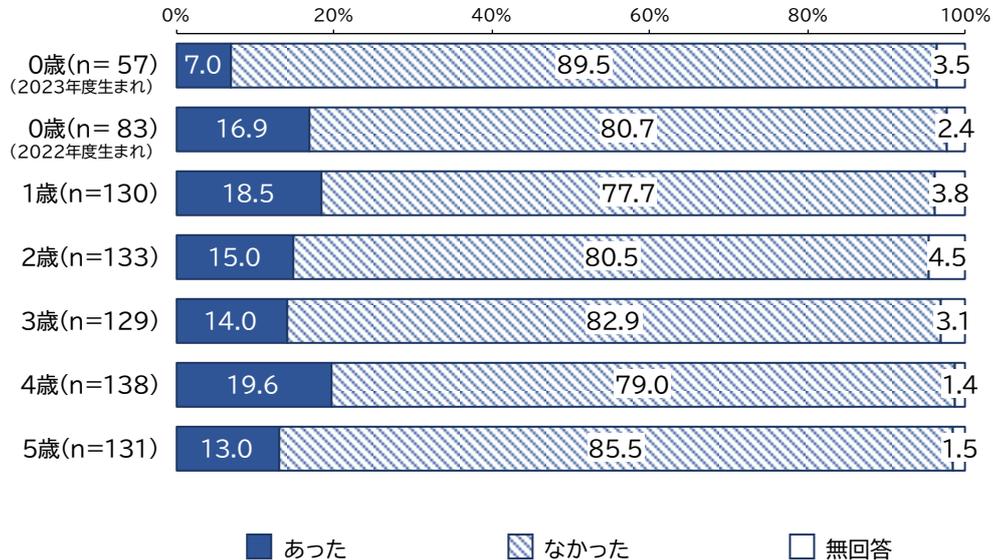
前回調査と比べると、大きな差異はみられません。

子どもの年齢別にみると、0歳（2023年度生まれ）を除くすべての年齢で「あった」が1割台となっています。

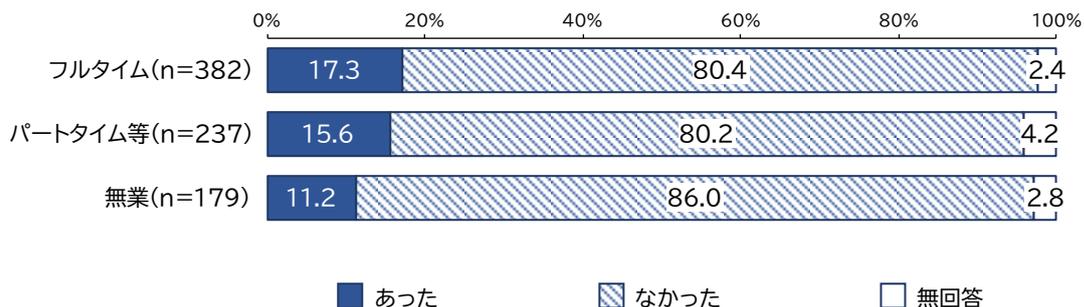
母親の就労形態別にみると、フルタイムとパートタイム等での「あった」が1割台後半であるのに対し、無業は1割近くと低くなっています。



【子どもの年齢別】



【母親の就労形態別】

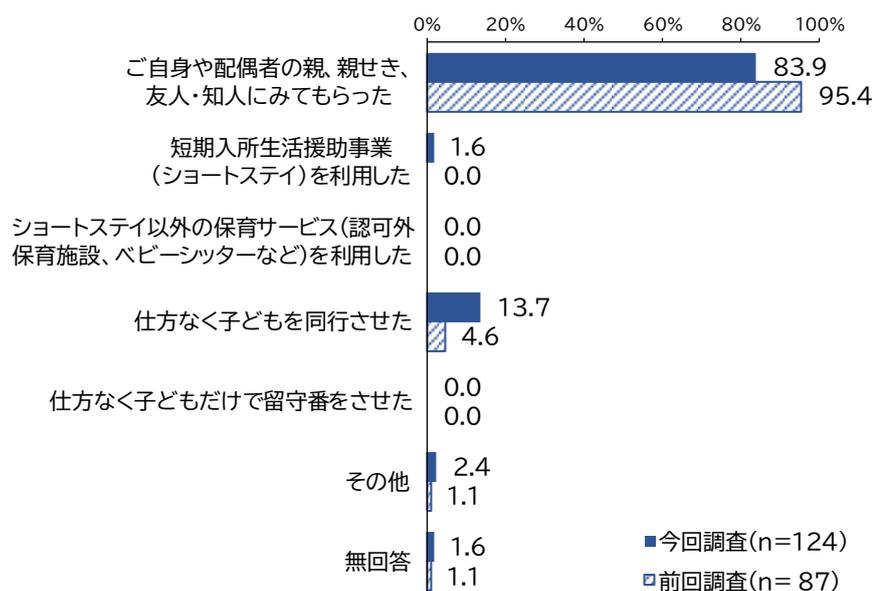


■対処方法

泊りがけで子どもを家族以外にみてもらった際の対処方法についてみると、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」が83.9%でほとんどを占めており、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が13.7%となっています。

前回調査と比べると、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」は今回調査の方が11.5ポイント低くなっています。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が低くなるほど「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」の割合は概ね高くなる傾向にあり、0歳（2023年度生まれ）で全員が回答しています。

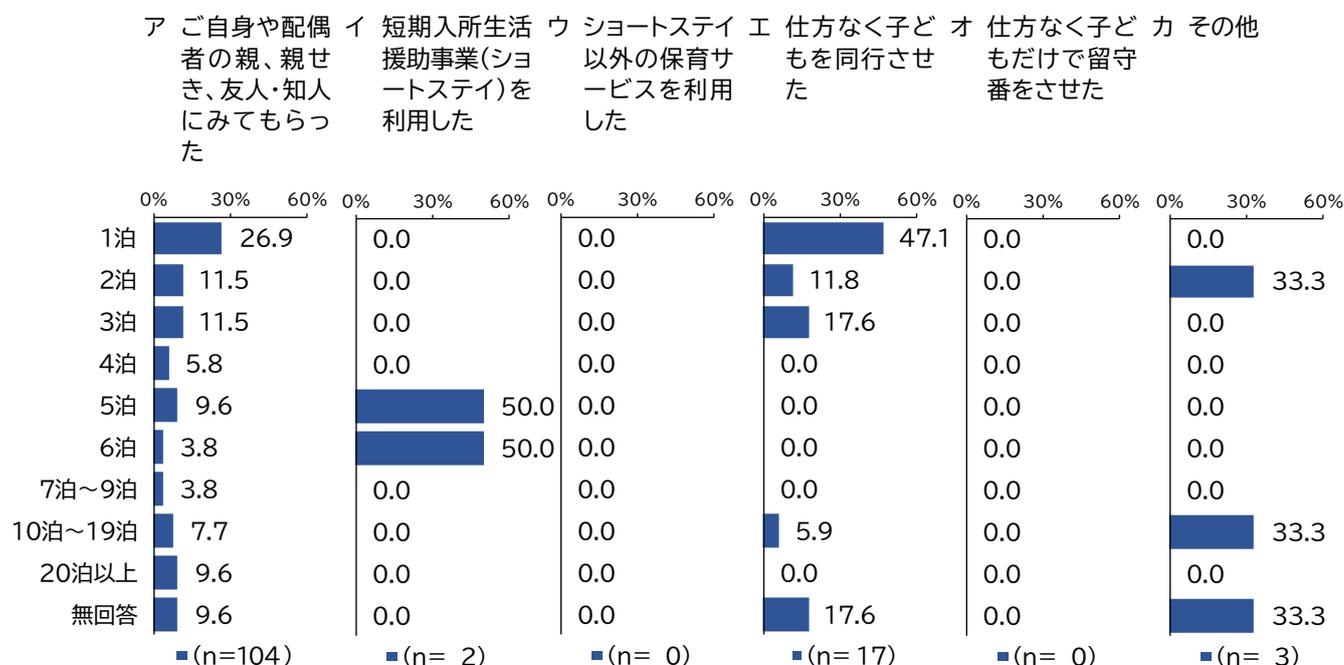


【子どもの年齢別】

		回答者数(n)	ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった	短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	ショートステイ以外の保育サービス(認可外保育施設、ベビーシッターなど)を利用した	仕方なく子どもを同行させた	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体		124	83.9	1.6	-	13.7	-	2.4	1.6
子どもの年齢別	0歳(2023年度生まれ)	4	100.0	-	-	-	-	-	-
	0歳(2022年度生まれ)	14	92.9	-	-	21.4	-	-	-
	1歳	24	83.3	-	-	8.3	-	8.3	4.2
	2歳	20	90.0	-	-	10.0	-	-	-
	3歳	18	66.7	-	-	27.8	-	-	5.6
	4歳	27	88.9	7.4	-	3.7	-	-	-
	5歳	17	76.5	-	-	23.5	-	5.9	-

■ 年当たり日数

泊りがけで子どもを家族以外にみてもらった年当たりの日数についてみると、回答者が最も多い「ア ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」では、「1泊」が26.9%で最も高く、次いで「2泊」と「3泊」がともに11.5%、「5泊」と「20泊以上」がともに9.6%となっています。次いで回答者の多い「エ 仕方なく子どもを同行させた」では、「1泊」が47.1%で最も高く、次いで「3泊」が17.6%、「2泊」が11.8%となっています。

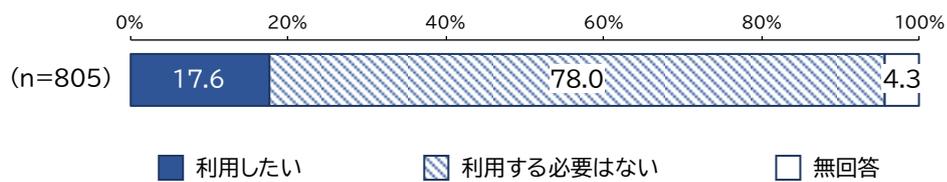


(4) 宿泊を伴う預かりサービスの利用意向

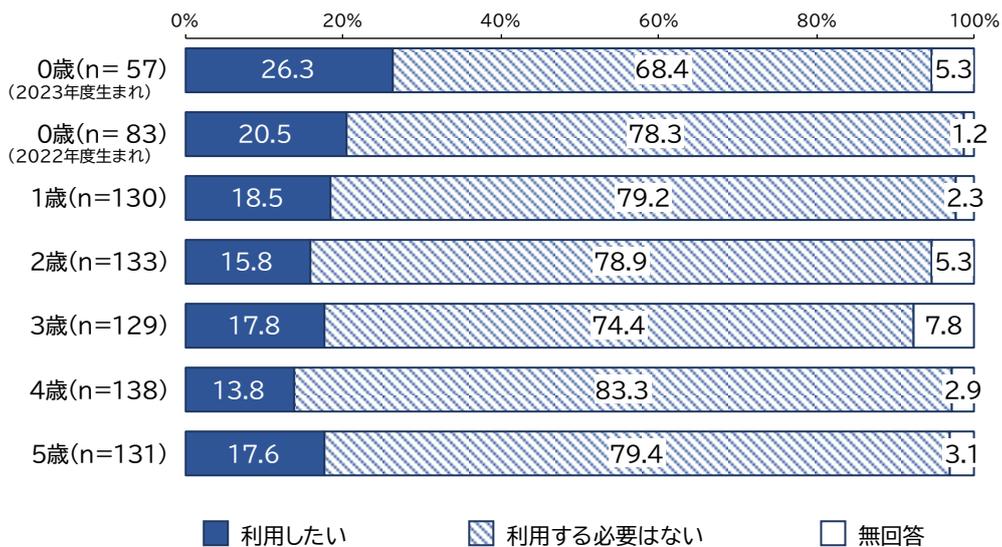
問 26-1 保護者の用事（冠婚葬祭、家族の病気、育児疲れなど）により、お子さんを「泊まりがけで」年間何泊くらい家族以外にみてもらう必要があると思いますか。
 短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について「1」「2」のいずれかに○をつけ、「1」を選んだ場合には、あてはまる利用目的の記号すべてに○をつけ、その目的ごとに枠内に必要な泊数を記入してください。
 なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

宿泊を伴う預かりサービスの利用意向についてみると、「利用したい」が17.6%、「利用する必要はない」が78.0%となっています。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が低くなるほど「利用している」の割合は概ね高くなる傾向にあり、0歳（2023年度生まれ）で26.3%となっています。

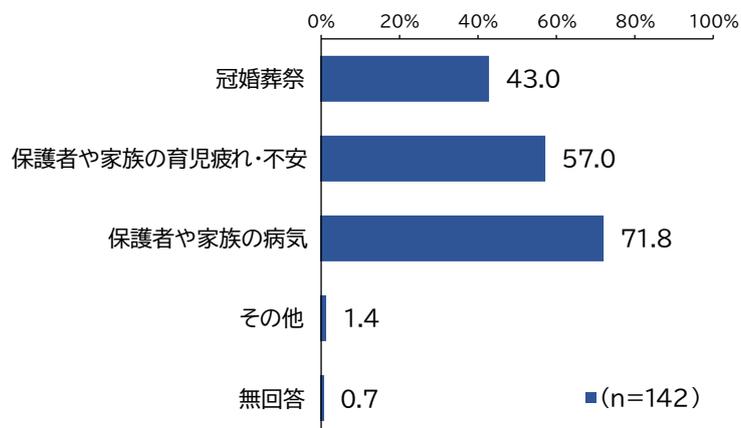


【子どもの年齢別】



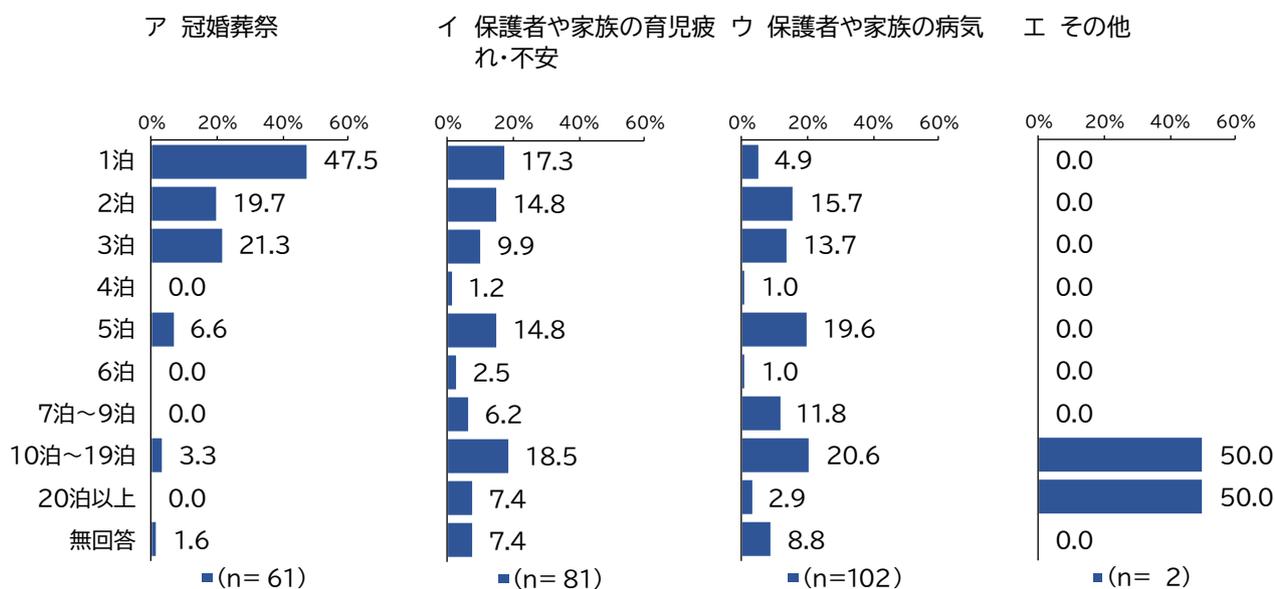
■ 利用目的

宿泊を伴う預かりサービスの利用目的についてみると、「保護者や家族の病気」が71.8%で最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が57.0%、「冠婚葬祭」が43.0%となっています。



■ 年当たり日数

宿泊を伴う預かりサービスの年当たりの日数についてみると、回答者が最も多い「ウ 保護者や家族の病気」では、「10泊～19泊」が20.6%で最も高く、次いで「5泊」が19.6%、「2泊」が15.7%、「3泊」が13.7%、「7泊～9泊」が11.8%となっています。次いで回答者の多い「イ 保護者や家族の育児疲れ・不安」では、「10泊～19泊」が18.5%で最も高く、次いで「1泊」が17.3%、「2泊」と「5泊」がともに14.8%、「3泊」が9.9%、「20泊以上」が7.4%、「7泊～9泊」が6.2%となっています。



9. 地域の子育て支援サービスの利用状況、利用意向について

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問 27 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）についておうかがいします。
 現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、おおよその利用回数について、枠内に具体的な数字を入れてください。

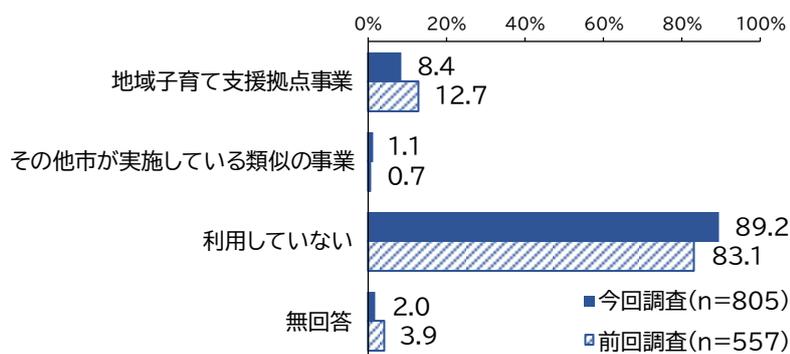
地域子育て支援拠点事業の利用状況についてみると、「利用していない」が89.2%で最も高く、次いで「地域子育て支援拠点事業」が8.4%、「その他市が実施している類似の事業」が1.1%となっています。

前回調査と比べると、「利用していない」は今回調査の方が6.1ポイント高くなっています。

子どもの年齢別にみると、0歳（2022年度生まれ）で「地域子育て支援拠点事業」が約3割（30.1%）と、他の年齢と比べて高くなっています。

母親の就労形態別にみると、無業で「地域子育て支援拠点事業」が17.3%と、他の年齢と比べて高くなっています。

地域別にみると、東部で「地域子育て支援拠点事業」が1割台（10.3%）で、他の地域と比べてやや高くなっています。



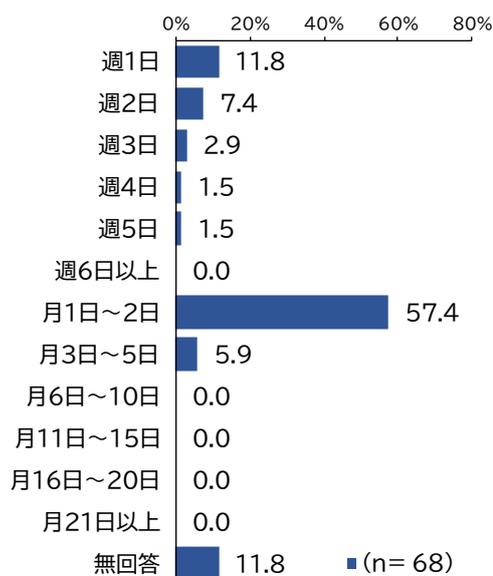
【子どもの年齢別、母親の就労形態別、地域別】

		回答者数 (n)	地域子育て支援拠点事業	その他市が実施している類似の事業	利用していない	無回答
全体		805	8.4	1.1	89.2	2.0
子どもの年齢別	0歳 (2023年度生まれ)	57	19.3	-	77.2	3.5
	0歳 (2022年度生まれ)	83	30.1	2.4	67.5	2.4
	1歳	130	8.5	1.5	90.8	-
	2歳	133	5.3	2.3	91.7	2.3
	3歳	129	1.6	-	96.1	2.3
	4歳	138	6.5	1.4	91.3	1.4
	5歳	131	2.3	-	96.9	0.8
母親の就労形態別	フルタイム	382	7.1	1.6	90.8	1.6
	パートタイム等	237	3.8	-	93.2	3.0
	無業	179	17.3	1.7	81.0	1.1
地域別	東部	312	10.3	1.3	86.9	2.6
	中部	232	8.2	1.7	89.2	1.7
	南部	255	6.7	0.4	91.8	1.6

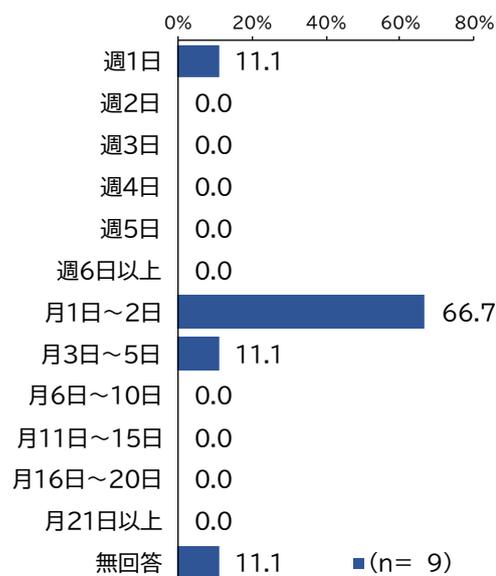
■ 利用回数

利用回数についてみると、「地域子育て支援拠点事業」は「月1日～2日」が57.4%で最も高く、次いで「週1日」が11.8%、「週2日」が7.4%、「月3日～5日」が5.9%、「週3日」が2.9%、「週4日」と「週5日」がともに1.5%となっています。「その他市が実施している類似の事業」は「月1日～2日」が66.7%で最も高く、次いで「週1日」と「月3日～5日」がともに11.1%となっています。

地域子育て支援拠点事業



その他市が実施している類似の事業



(2) 地域子育て支援拠点事業の利用意向

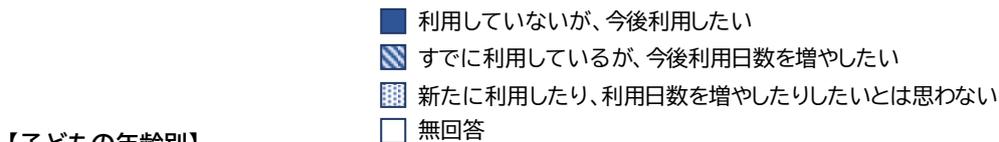
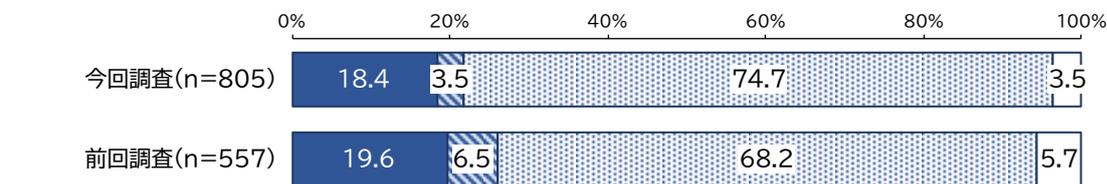
問 28 地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。
あてはまる番号に1つだけ○をつけ、希望がある方は枠内に具体的な数字を入れてください。

地域子育て支援拠点事業の利用意向についてみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない」が74.7%で最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が18.4%となっています。

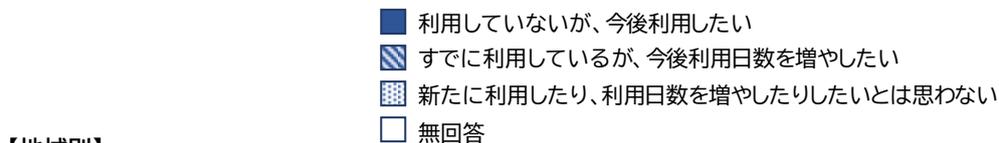
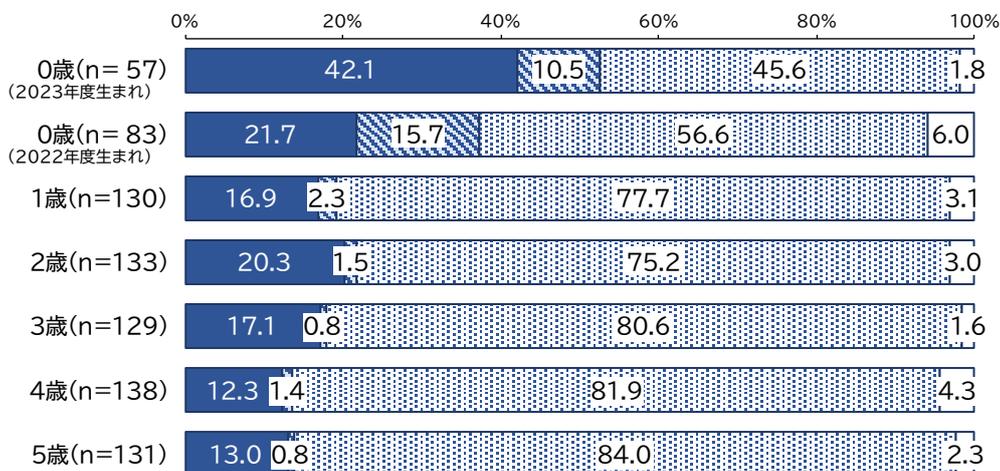
前回調査と比べると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない」は今回調査の方が6.5ポイント高くなっています。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が低くなるほど「利用していないが、今後利用したい」の割合は概ね高くなる傾向にあり、0歳（2023年度生まれ）で42.1%となっています。

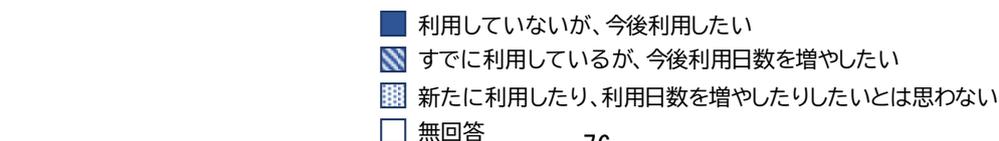
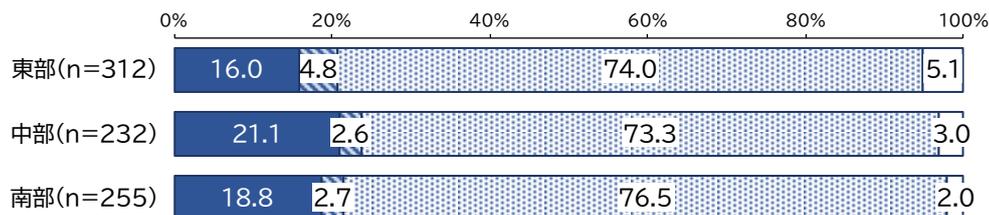
地域別にみると、中部では「利用していないが、今後利用したい」の割合がやや高くなっています。



【子どもの年齢別】



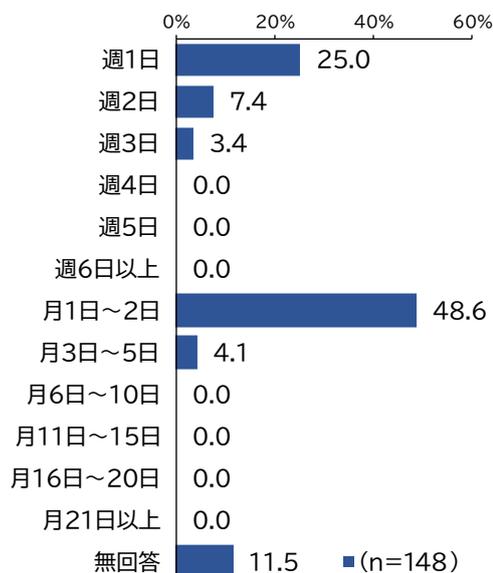
【地域別】



■ 利用回数

利用回数についてみると、「利用していないが、今後利用したい」は「月1日～2日」が48.6%で最も高く、次いで「週1日」が25.0%、「週2日」が7.4%、「月3日～5日」が4.1%、「週3日」が3.4%となっています。「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は「月1日～2日」が28.6%で最も高く、次いで「月3日～5日」が21.4%、「週1日」が17.9%となっています。

利用していないが、今後利用したい



すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

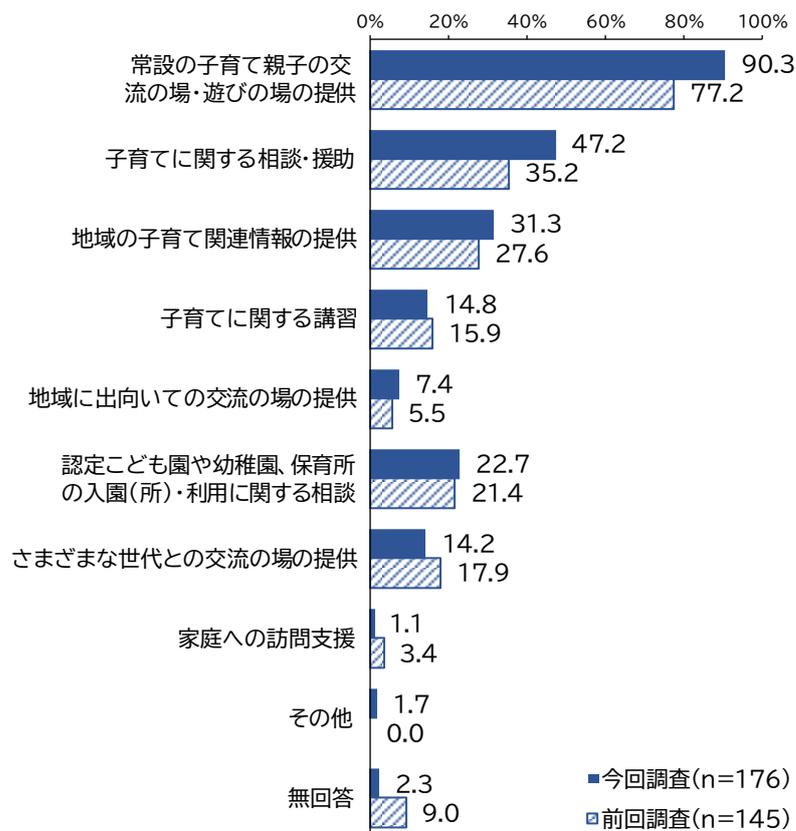


(3) 地域子育て支援拠点事業として利用したいサービス

問 28-1 問 28 で「1」「2」を選ばれた方におうかがいします。
 地域子育て支援拠点事業を利用するにあたって、どのようなサービスを利用したいですか。
 利用したいサービスに3つまで○をつけてください。
 なお、事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。

地域子育て支援拠点事業として利用したいサービスについてみると、「常設の子育て親子の交流の場・遊びの場の提供」が 90.3%で最も高く、次いで「子育てに関する相談・援助」が 47.2%、「地域の子育て関連情報の提供」が 31.3%となっています。

前回調査と比べると、「常設の子育て親子の交流の場・遊びの場の提供」は今回調査の方が 13.1ポイント高くなっています。



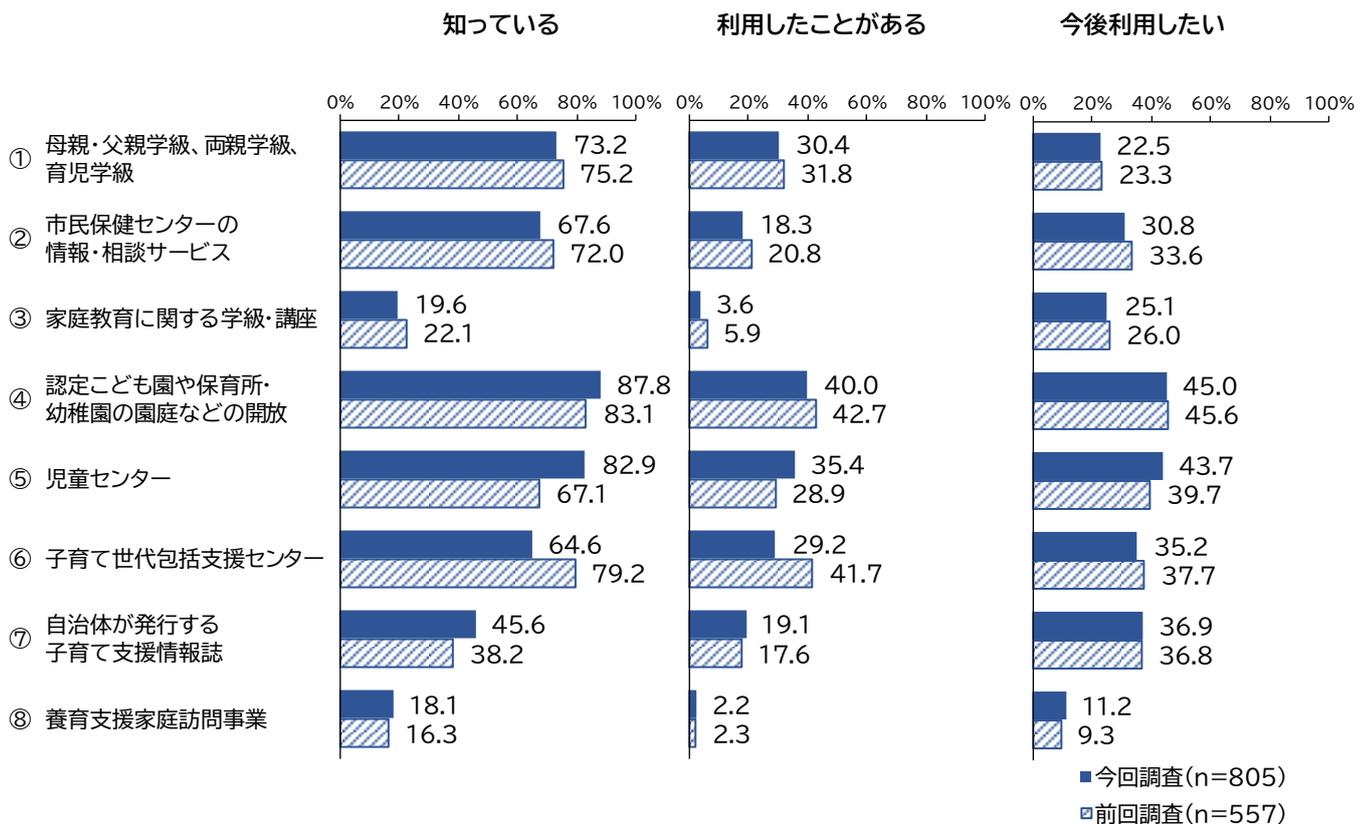
(4) 子育て支援サービスの認知度、利用経験、利用意向

問 29 子育て支援サービスの認知度・利用度についておうかがいします。
 下記のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるものはありますか。
 また、今後、利用したいと思うものはありますか。サービスごとに「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

子育て支援サービスの認知度、利用経験、利用意向についてみると、「知っている」の回答者では、④認定こども園や保育所・幼稚園の園庭などの開放が 87.8%で最も高く、次いで⑤児童センターが 82.9%、①母親・父親学級、両親学級、育児学級が 73.2%となっています。前回調査と比べると、⑤児童センターは今回調査の方が 15.8 ポイント高くなっています。

「利用したことがある」の回答者では、④認定こども園や保育所・幼稚園の園庭などの開放が 40.0%で最も高く、次いで⑤児童センターが 35.4%、①母親・父親学級、両親学級、育児学級が 30.4%、⑥子育て世代包括支援センターが 29.2%となっています。前回調査と比べると、⑥子育て世代包括支援センターは今回調査の方が 12.5 ポイント低くなっています。

「今後利用したい」の回答者では、④認定こども園や保育所・幼稚園の園庭などの開放が 45.0%で最も高く、次いで⑤児童センターが 43.7%、⑦自治体が発行する子育て支援情報誌が 36.9%、⑥子育て世代包括支援センターが 35.2%となっています。前回調査と比べると、⑤児童センターは今回調査の方が 4.0 ポイント高くなっています。



10. 市役所などへの要望について

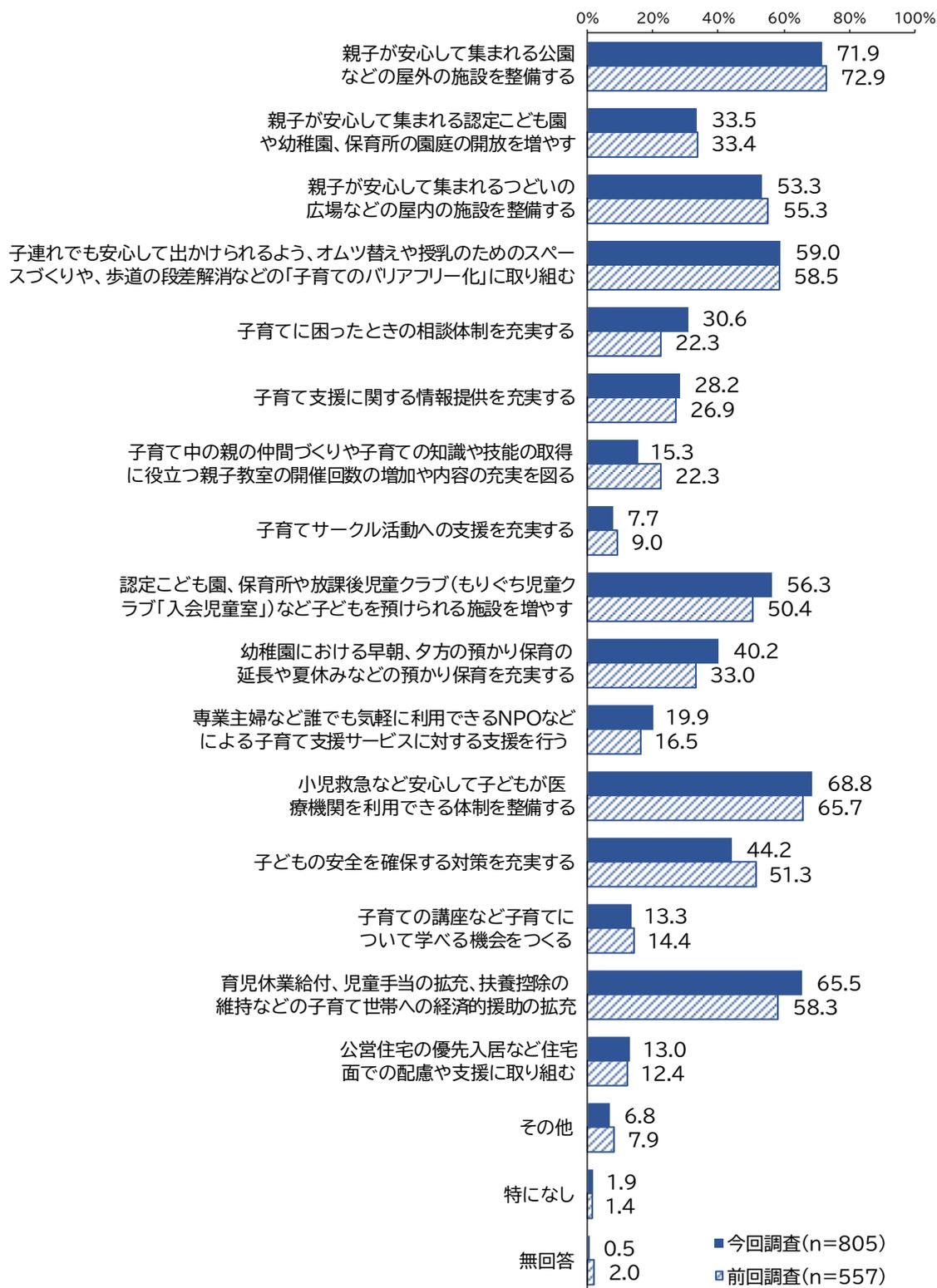
(1) 充実してほしい子育て支援サービス

問 30 市役所などに対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

充実してほしい子育て支援サービスについてみると、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」が71.9%で最も高く、次いで「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」が68.8%、「育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持などの子育て世帯への経済的援助の拡充」が65.5%となっています。

前回調査と比べると、「子育てに困ったときの相談体制を充実する」は今回調査の方が8.3ポイント高くなっています。

子どもの年齢別にみると、年齢ごとに最も高い項目が異なり、0歳（2022年度生まれ・2023年度生まれ）は「子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道の段差解消などの『子育てのバリアフリー化』に取り組む」、1歳と3歳は「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」、2歳、4歳、5歳は「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」が最も高くなっています。



【子どもの年齢別】

		回答者数 (n)	親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する	親子が安心して集まれる認定こども園や幼稚園、保育所の園庭の開放を増やす	親子が安心して集まれるつどいの広場などの屋内の施設を整備する	子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道の段差解消などの「子育てのバリアフリー化」に取り組む	子育てに困ったときの相談体制を充実する	子育て支援に関する情報提供を充実する	子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ親子教室の開催回数の増加や内容の充実を図る	子育てサークル活動への支援を充実する	認定こども園、保育所や放課後児童クラブ（もりぐち児童クラブ「入会児童室」）など子どもを預けられる施設を増やす	幼稚園における早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休みなどの預かり保育を充実する
全体		805	71.9	33.5	53.3	59.0	30.6	28.2	15.3	7.7	56.3	40.2
子どもの年齢別	0歳 (2023年度生まれ)	57	78.9	47.4	59.6	80.7	42.1	36.8	21.1	8.8	54.4	42.1
	0歳 (2022年度生まれ)	83	72.3	42.2	65.1	77.1	36.1	33.7	26.5	10.8	60.2	43.4
	1歳	130	63.1	37.7	43.1	63.8	23.8	25.4	10.8	7.7	56.9	40.8
	2歳	133	73.7	32.3	64.7	63.2	33.8	27.1	14.3	6.0	56.4	40.6
	3歳	129	69.8	33.3	53.5	51.9	24.0	26.4	14.7	10.1	55.8	41.9
	4歳	138	73.2	27.5	47.8	47.8	29.7	24.6	13.8	5.1	51.4	36.2
5歳	131	77.1	26.7	48.1	48.9	32.8	30.5	13.7	6.9	60.3	39.7	

		回答者数 (n)	専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPOなどによる子育て支援サービスに対する支援を行う	小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する	子どもの安全を確保する対策を充実する	子育ての講座など子育てについて学べる機会をつくる	育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持などの子育て世帯への経済的援助の拡充	公営住宅の優先入居など住宅面での配慮や支援に取り組む	その他	特になし	無回答
全体		805	19.9	68.8	44.2	13.3	65.5	13.0	6.8	1.9	0.5
子どもの年齢別	0歳 (2023年度生まれ)	57	21.1	68.4	52.6	17.5	71.9	12.3	-	1.8	-
	0歳 (2022年度生まれ)	83	26.5	69.9	45.8	19.3	75.9	10.8	4.8	-	-
	1歳	130	19.2	71.5	40.8	10.8	69.2	13.8	7.7	1.5	1.5
	2歳	133	18.8	66.2	41.4	16.5	61.7	13.5	6.0	0.8	-
	3歳	129	20.2	72.1	45.0	11.6	65.1	10.9	6.2	0.8	-
	4歳	138	18.8	65.2	41.3	12.3	60.1	15.2	10.9	5.8	-
5歳	131	17.6	70.2	48.9	9.9	62.6	13.7	7.6	1.5	-	

11. 子どもの生活習慣について

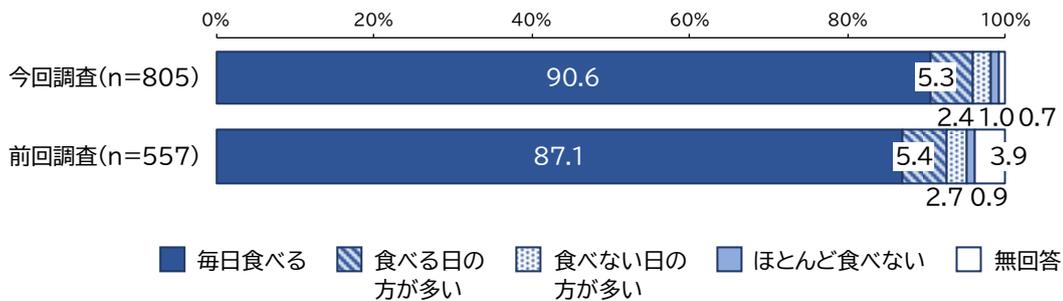
(2) 子どもの生活習慣

問 31 お子さんの生活習慣にあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

①朝食摂取状況

朝食摂取状況についてみると、「毎日食べる」が90.6%で最も高く、次いで「食べる日の方が多い」が5.3%、「食べない日の方が多い」が2.4%、「ほとんど食べない」が1.0%となっています。

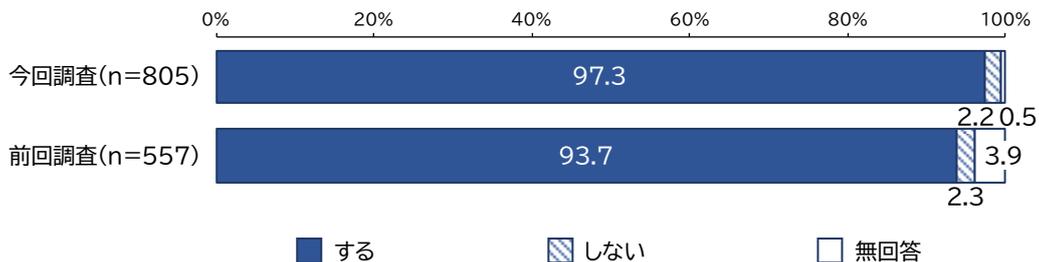
前回調査と比べると、「毎日食べる」は今回調査の方が3.5ポイント高くなっています。



②共食の状況

共食の状況についてみると、「する」が97.3%、「しない」が2.2%となっています。

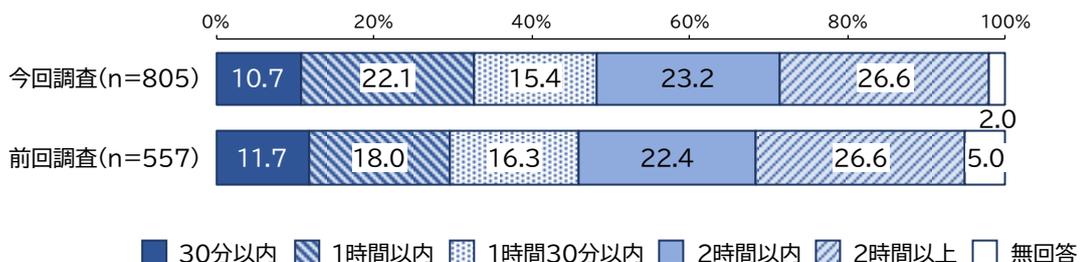
前回調査と比べると、「する」は今回調査の方が3.6ポイント高くなっています。



③1日のテレビ・ビデオの視聴時間

1日のテレビ・ビデオの視聴時間についてみると、「2時間以上」が26.6%で最も高く、次いで「2時間以内」が23.2%、「1時間以内」が22.1%となっています。

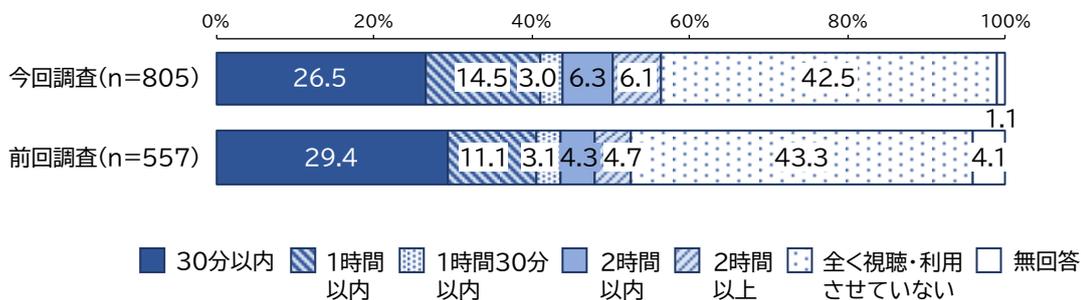
前回調査と比べると、『1時間以内』（「30分以内」と「1時間以内」の合計）は今回調査の方が3.1ポイント高くなっています。



④1日のスマートフォンの利用時間

1日のスマートフォンの利用時間についてみると、「全く視聴・利用させていない」が42.5%で最も高く、次いで「30分以内」が26.5%、「1時間以内」が14.5%となっています。

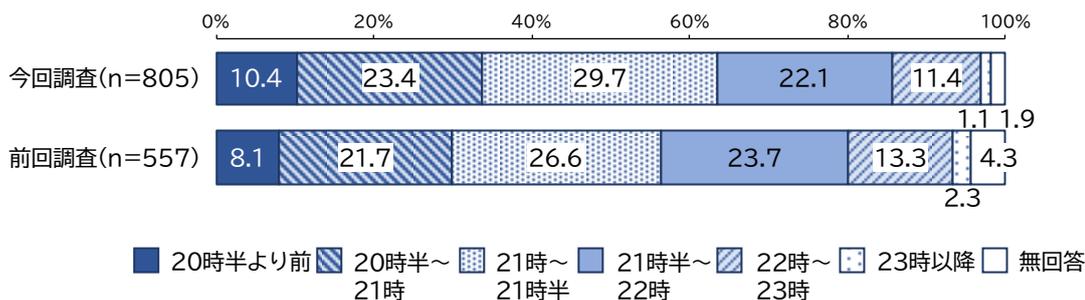
前回調査と比べると、大きな差異はみられません。



⑤就寝時刻

就寝時刻についてみると、「21時～21時半」が29.7%で最も高く、次いで「20時半～21時」が23.4%、「21時半～22時」が22.1%となっています。

前回調査と比べると、22時より前に寝る割合は今回調査の方が5.5ポイント高く、全体的に就寝時刻が早くなっています。



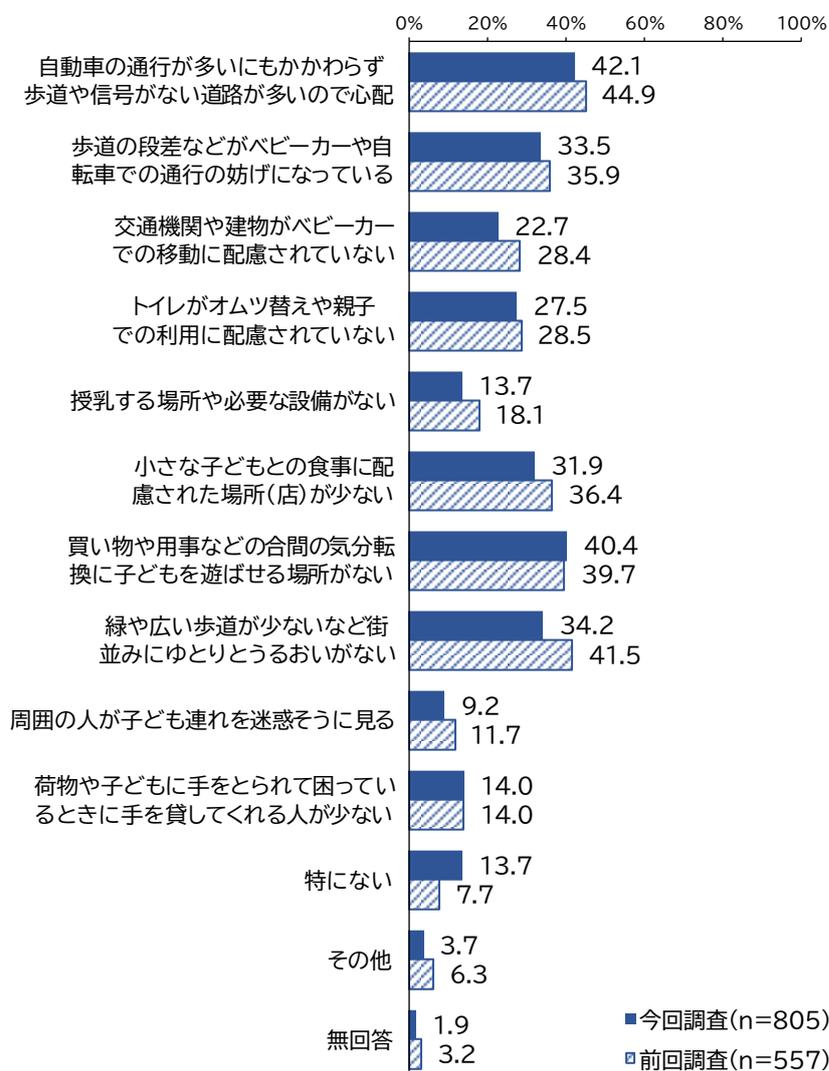
12. 子育てを支援する生活環境について

(1) 子どもと外出するときの困りごと

問 32 封筒のあて名のお子さんと外出されるときに、困ること、困ったことはありますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもと外出するときの困りごとについてみると、「自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多いので心配」が42.1%で最も高く、次いで「買い物や用事などの合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない」が40.4%、「緑や広い歩道が少ないなど街並みにゆとりとうるおいがない」が34.2%、「歩道の段差などがベビーカーや自転車での通行の妨げになっている」が33.5%、「小さな子どもとの食事に配慮された場所(店)が少ない」が31.9%となっています。

前回調査と比べると、「緑や広い歩道が少ないなど街並みにゆとりとうるおいがない」は今回調査の方が7.3ポイント低くなっています。

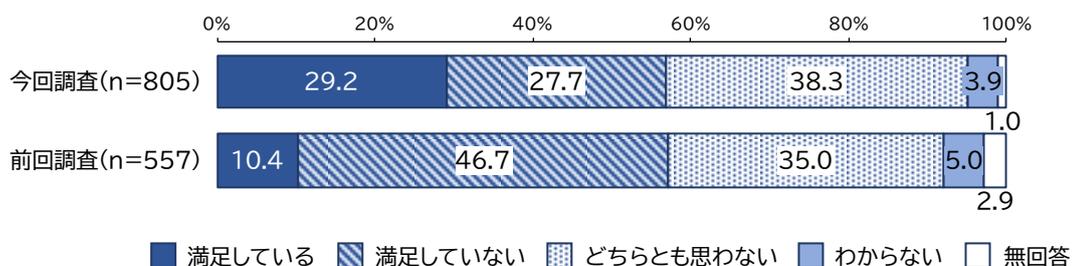


(2) 遊び場に関する満足度

問 33 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。
あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

遊び場に関する満足度についてみると、「どちらとも思わない」が38.3%で最も高く、次いで「満足している」が29.2%、「満足していない」が27.7%となっています。

前回調査と比べると、「満足している」は今回調査の方が18.8ポイント高くなっています。

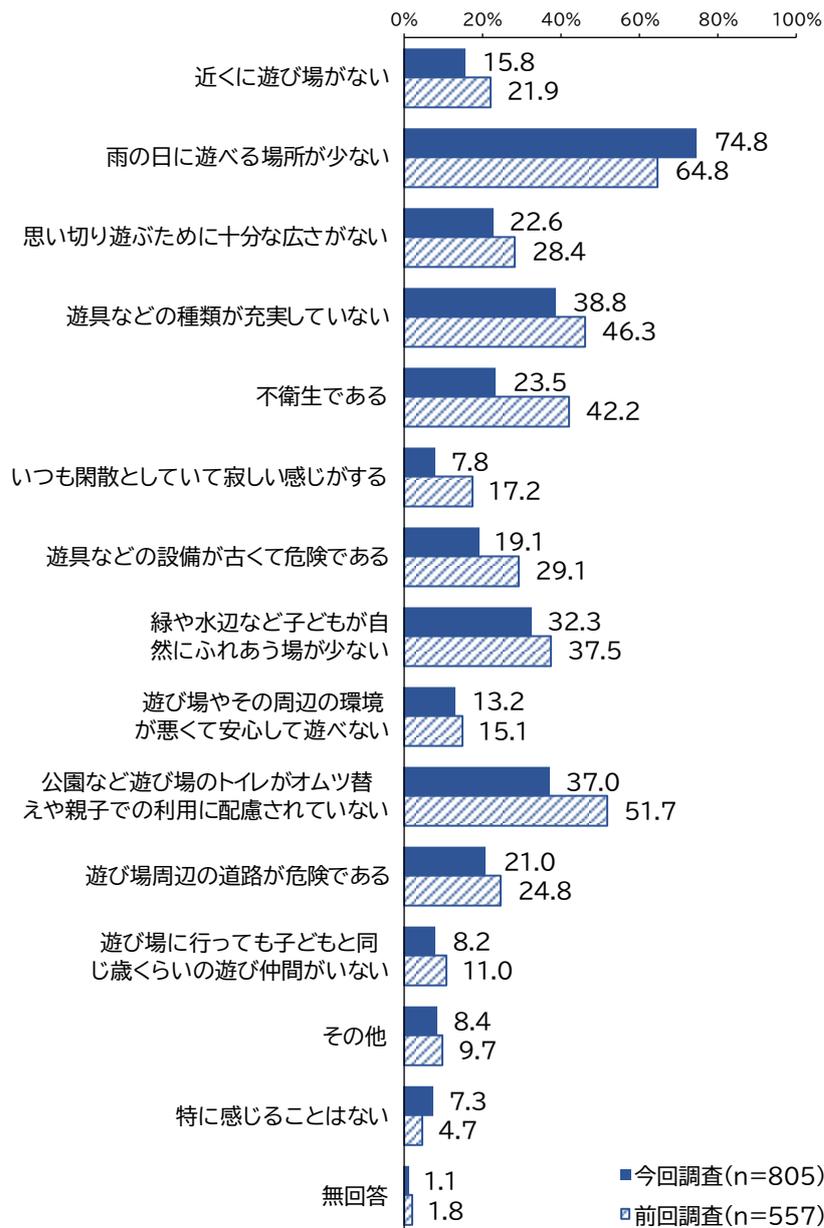


(3) 遊び場について日頃感じていること

問 34 お住まいの地域の子どもの遊び場について日頃感じることは何ですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

遊び場について日頃感じていることについてみると、「雨の日に遊べる場所が少ない」が74.8%で最も高く、次いで「遊具などの種類が充実していない」が38.8%、「公園など遊び場のトイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない」が37.0%、「緑や水辺など子どもが自然にふれあう場が少ない」が32.3%となっています。

前回調査と比べると、「雨の日に遊べる場所が少ない」は今回調査の方が10.0ポイント高く、それ以外の項目はすべて前回調査よりも低くなっています。



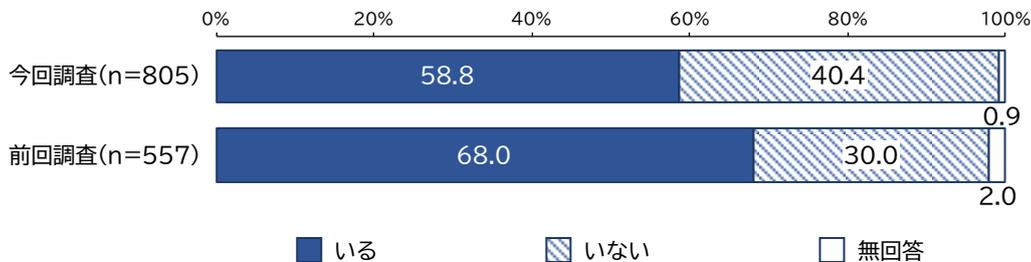
13. 子育てに対する意識について

(1) 地域における子どもの話や世間話をする人の有無

問 35 近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。

地域における子どもの話や世間話をする人の有無についてみると、「いる」が 58.8%、「いない」が 40.4%となっています。

前回調査と比べると、「いる」は今回調査の方が 9.2 ポイント低くなっています。

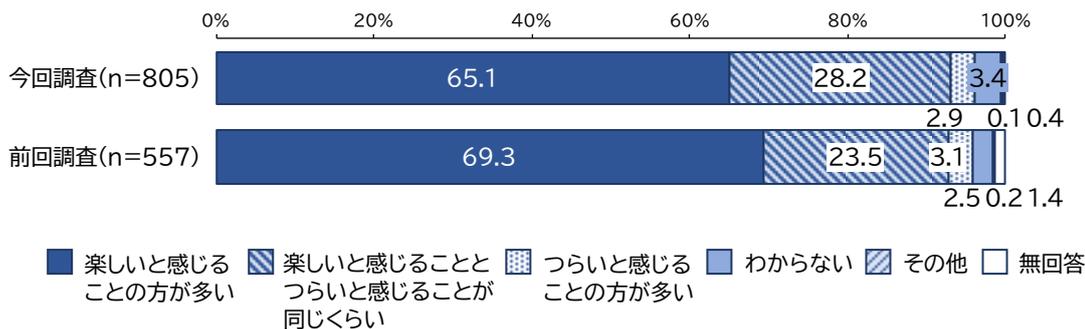


(2) 子育てに対する気持ち

問 36 ご自身にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

子育てに対する気持ちについてみると、「楽しいと感じることが多い」が 65.1%で最も高く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」が 28.2%、「わからない」が 3.4%、「つらいと感じることが多い」が 2.9%となっています。

前回調査と比べると、「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」は今回調査の方が 4.7 ポイント高くなっています。

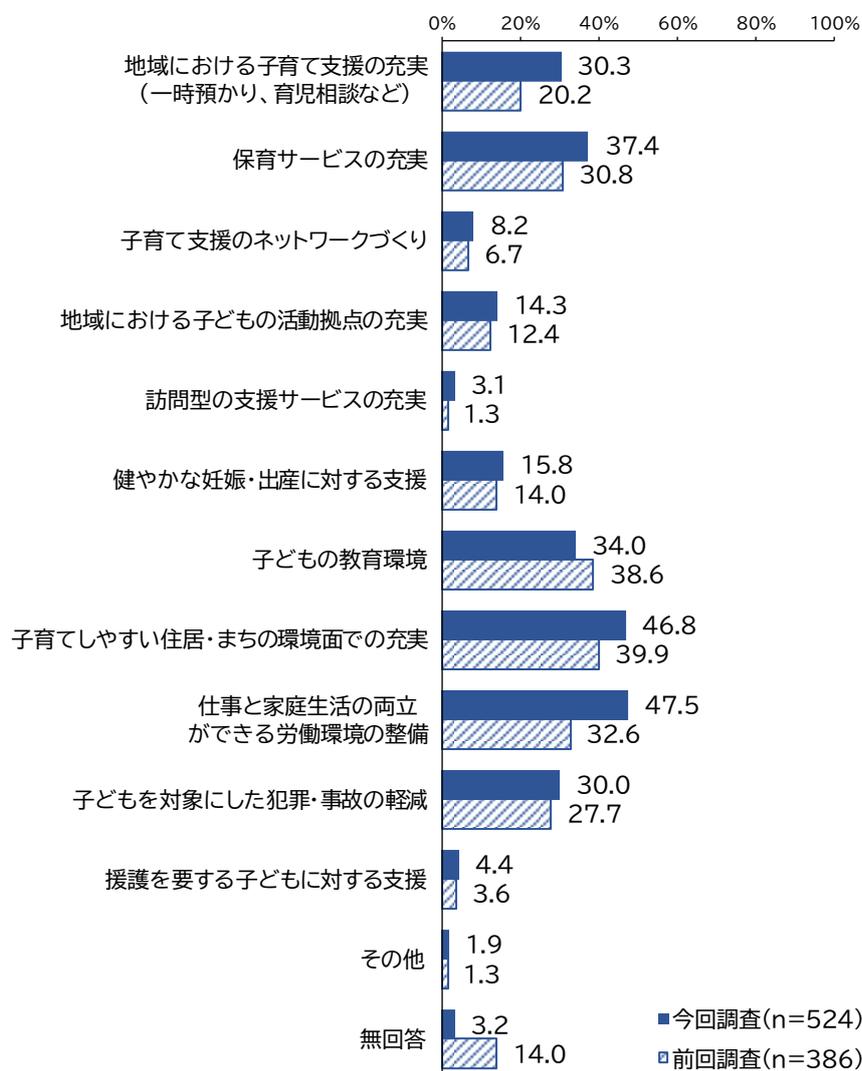


(3) 子育てをする中で有効だと感じる支援・対策

問 36-1 問 36 で「1」を選ばれた方におうかがいします。
 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効だと感じていますか。
 あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

子育てをする中で有効だと感じる支援・対策についてみると、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が47.5%で最も高く、次いで「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が46.8%、「保育サービスの充実」が37.4%、「子どもの教育環境」が34.0%、「地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）」が30.3%、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が30.0%となっています。

前回調査と比べると、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」は今回調査の方が14.9ポイント高くなっています。

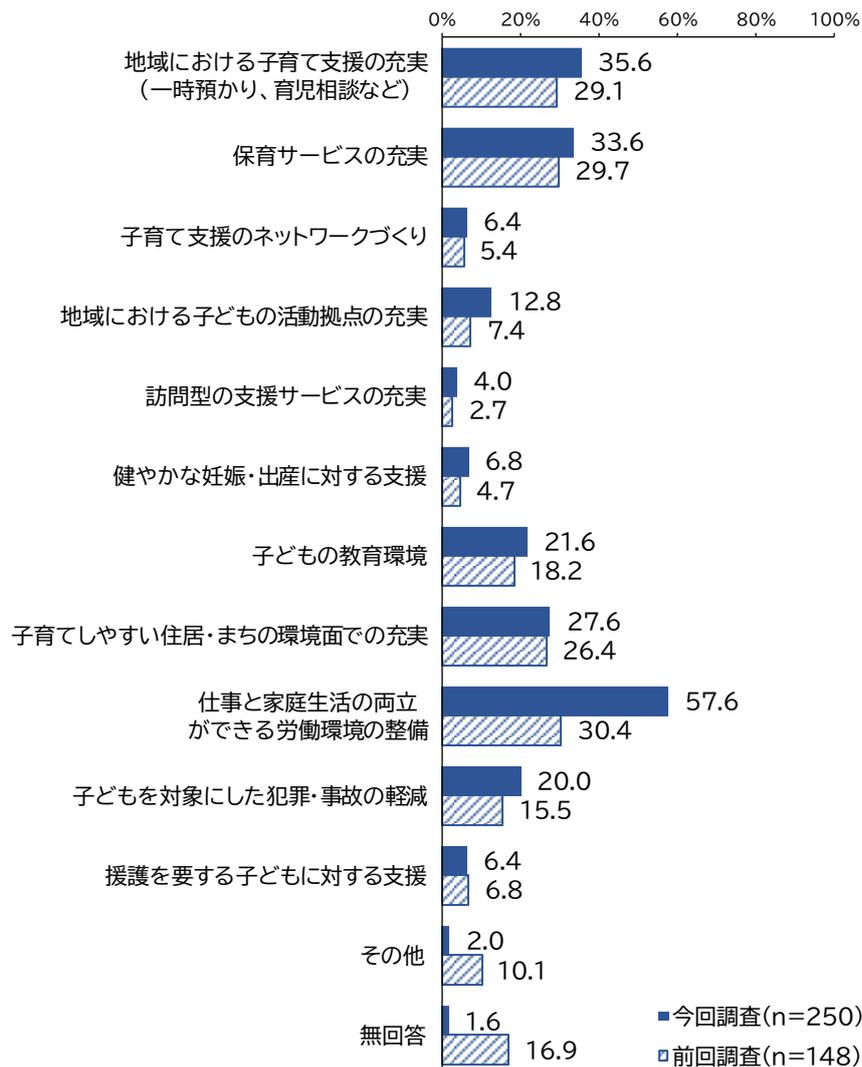


(4) 子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策

問 36-2 問 36 で「2」または「3」を選ばれた方におうかがいします。
 あなたにとって子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は何ですか。
 あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策についてみると、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が 57.6%で最も高く、次いで「地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）」が 35.6%、「保育サービスの充実」が 33.6%となっています。

前回調査と比べると、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」は今回調査の方が 20 ポイント以上高くなっています。



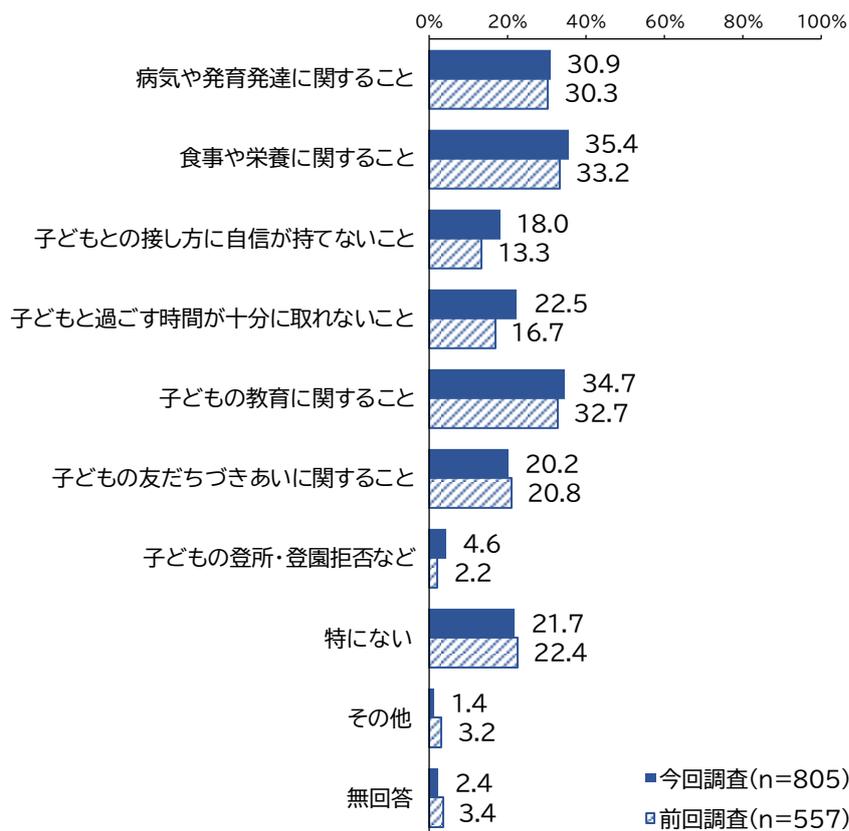
(5) 子育てについて日常悩んでいること、気になっていること

問37 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれあてはまる番号すべてに○をつけてください。

■ 子どもに関すること

子育てについて日常悩んでいること、気になっていることで、子どもに関することについてみると、「食事や栄養に関すること」が35.4%で最も高く、次いで「子どもの教育に関すること」が34.7%、「病気や発育発達に関すること」が30.9%となっています。

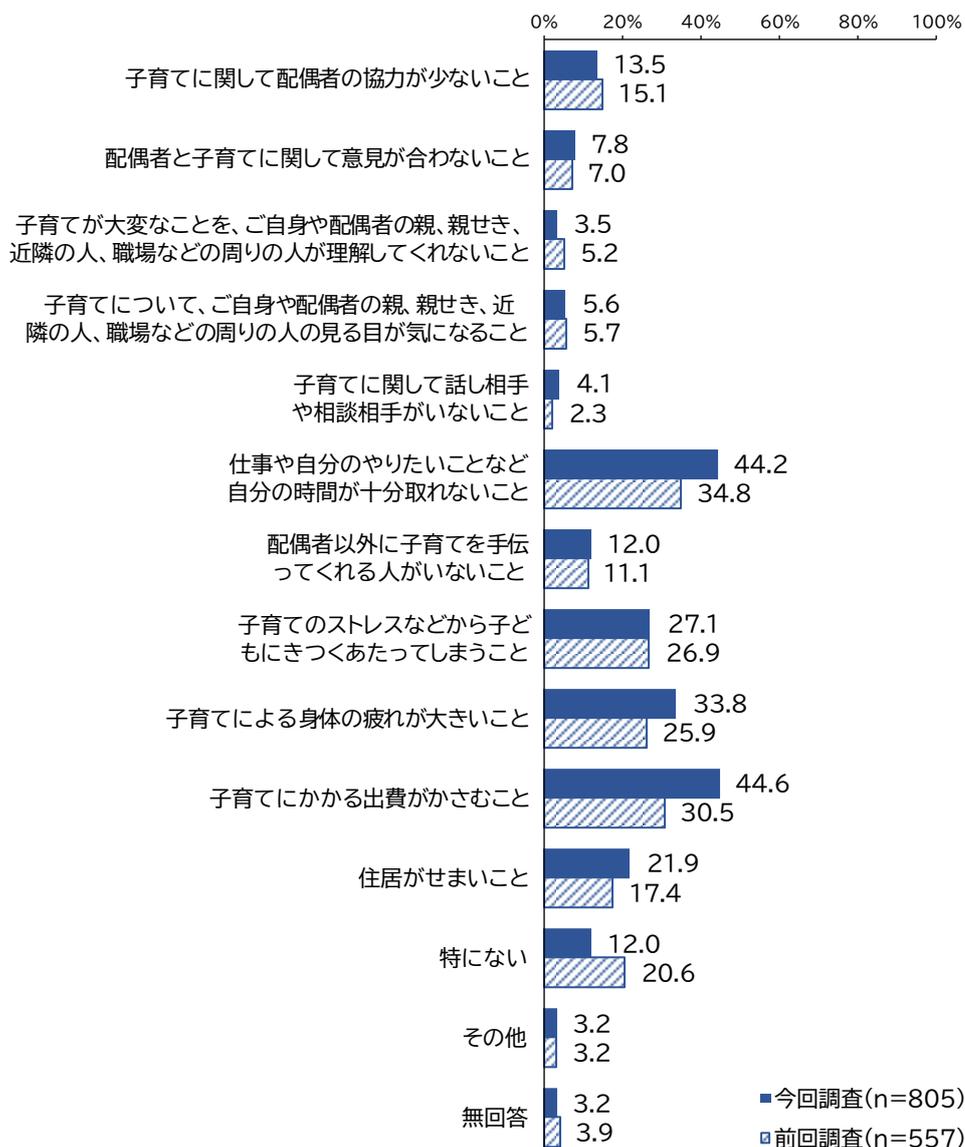
前回調査と比べると、「子どもと過ごす時間が十分に取れないこと」は今回調査の方が5.8ポイント高くなっています。



■ 保護者自身に関すること

子育てについて日常悩んでいること、気になっていることで、保護者自身に関することについてみると、「子育てにかかる出費がかさむこと」が44.6%で最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が44.2%、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が33.8%となっています。

前回調査と比べると、「子育てにかかる出費がかさむこと」は今回調査の方が14.1ポイント高くなっています。

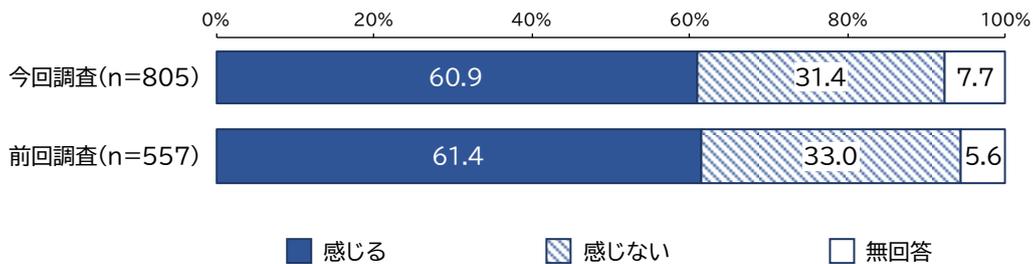


(6) 自分の子育てが地域の人に支えられていると感じるか

問 38 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。
 感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。
 感じない場合は、特に誰から支えてほしいと感じていますか。
 枠内の選択肢の中からあてはまるものをすべて選び、その番号を記入してください。

自分の子育てが地域の人に支えられていると感じるかについてみると、「感じる」が60.9%、「感じない」が31.4%となっています。

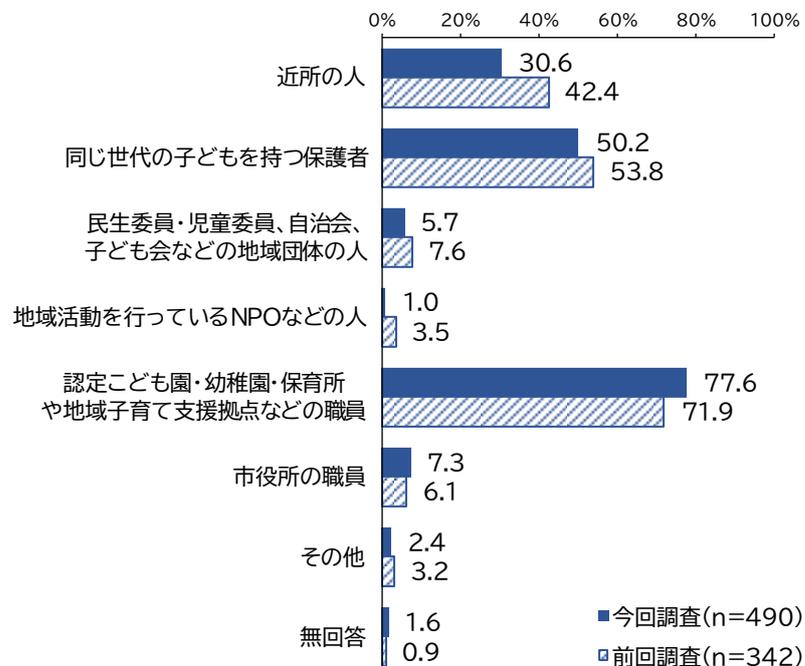
前回調査と比べると、大きな差異はみられません。



■ 誰から支えられていると感じるか

誰から支えられていると感じるかについてみると、「認定こども園・幼稚園・保育所や地域子育て支援拠点などの職員」が77.6%で最も高く、次いで「同じ世代の子どもを持つ保護者」が50.2%、「近所の人」が30.6%となっています。

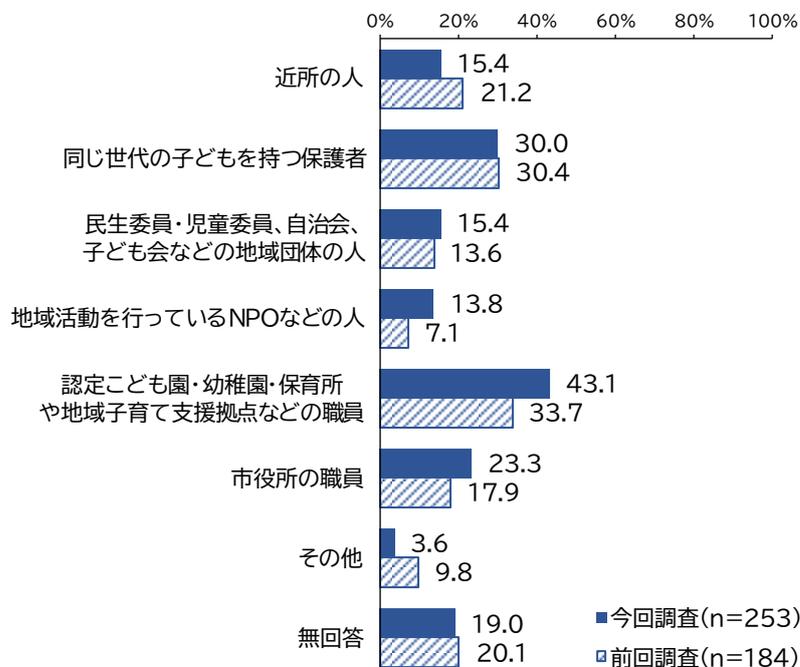
前回調査と比べると、「近所の人」は今回調査の方が11.8ポイント低くなっています。



■ 誰から支えてほしいと感じるか

誰から支えてほしいと感じるかについてみると、「認定こども園・幼稚園・保育所や地域子育て支援拠点などの職員」が43.1%で最も高く、次いで「同じ世代の子どもを持つ保護者」が30.0%、「市役所の職員」が23.3%となっています。

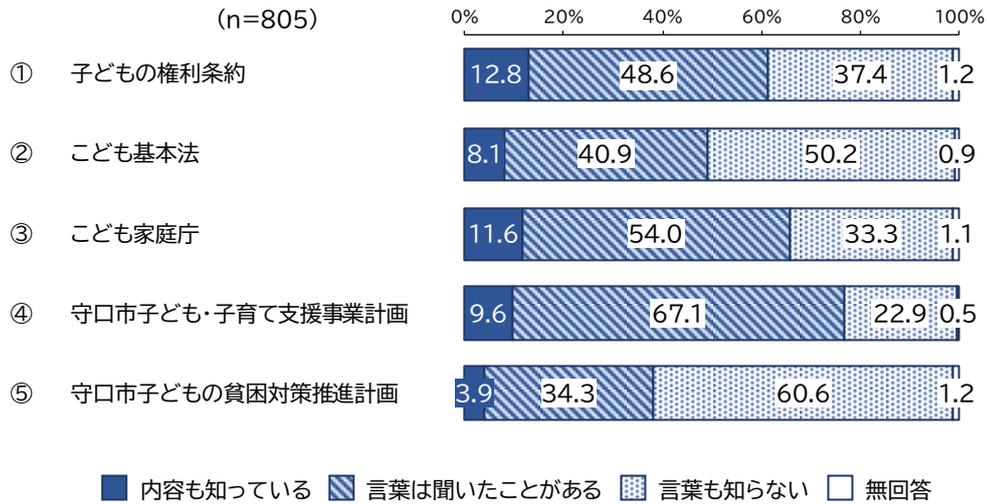
前回調査と比べると、「認定こども園・幼稚園・保育所や地域子育て支援拠点などの職員」は今回調査の方が9.4ポイント高くなっています。



(7) 子育てに関する行政の取組の認知度

問 39 あなたは、次のことについてどの程度知っていますか。
 それぞれの項目のあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

子育てに関する行政の取組の認知度についてみると、『知っている』（「内容も知っている」と「言葉は聞いたことがある」の合計）は④守口市子ども・子育て支援事業計画で76.7%、③こども家庭庁で65.6%、①子どもの権利条約で61.4%、②こども基本法で49.0%、⑤守口市子どもの貧困対策推進計画で38.2%となっています。



Ⅲ 就学児童（小学生）がいる世帯の調査結果

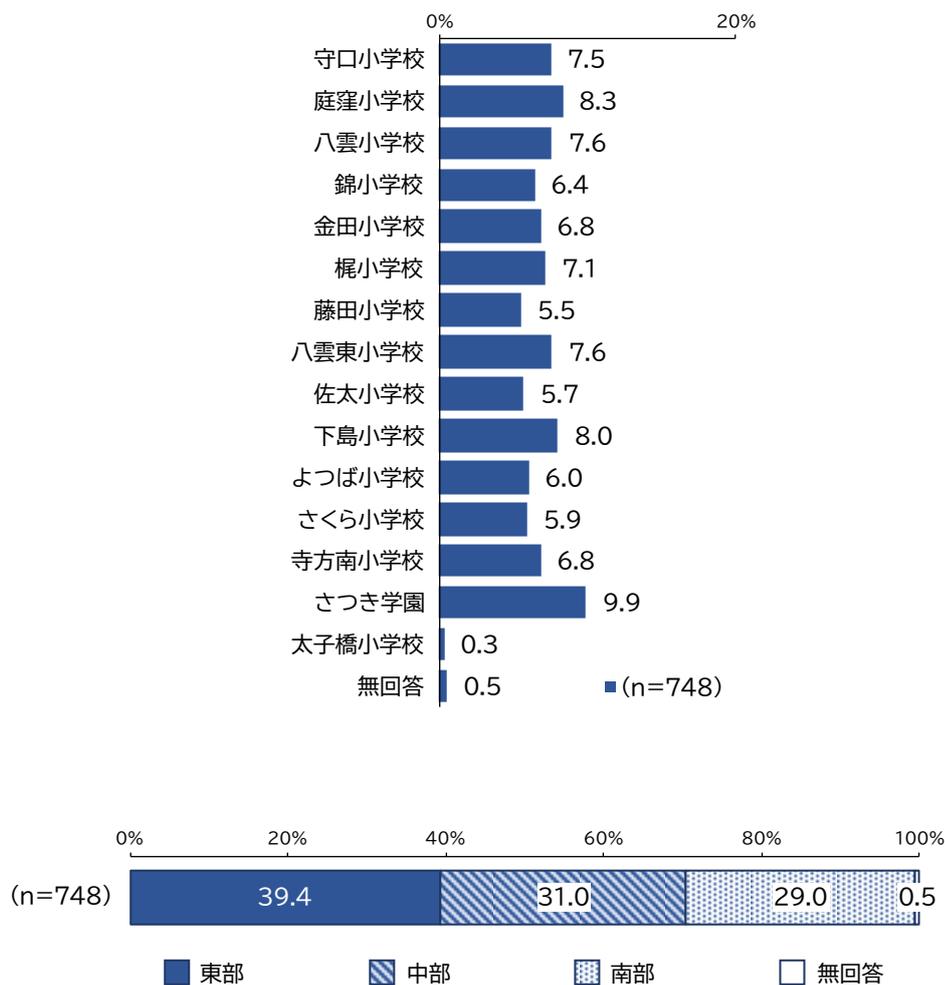
1. 家族構成や保護者の就労状況について

(1) 居住地域（小学校区）

問1 お住まいの地域の小学校区を記入してください。

居住地域（小学校区）についてみると、「さつき学園」が9.9%で最も高く、次いで「庭窪小学校」が8.3%、「下島小学校」が8.0%、「八雲小学校」と「八雲東小学校」がともに7.6%、「守口小学校」が7.5%となっています。

地域別にみると、「東部」が39.4%で最も高く、次いで「中部」が31.0%、「南部」が29.0%となっています。



(2) 調査の回答者

問2 この調査にご回答いただく方はどなたですか。
封筒のあて名のお子さんからみた関係で、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

調査の回答者についてみると、「お母さん」が90.1%で最も高く、次いで「お父さん」が9.6%、となっています。

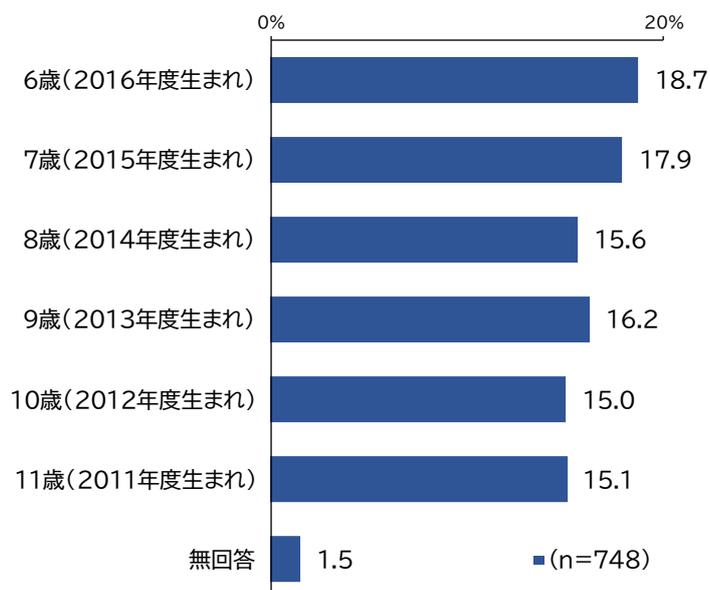
前回調査と比べると、大きな差異はみられません。



(3) 子どもの学年（年齢）

問3 封筒のあて名のお子さんの生年月日について、枠内に数字を入れてください。

子どもの学年（年齢）についてみると、「6歳（2016年度生まれ）」が18.7%で最も高く、次いで「7歳（2015年度生まれ）」が17.9%、「9歳（2013年度生まれ）」が16.2%、「8歳（2014年度生まれ）」が15.6%、「11歳（2011年度生まれ）」が15.1%、「10歳（2012年度生まれ）」が15.0%となっています。



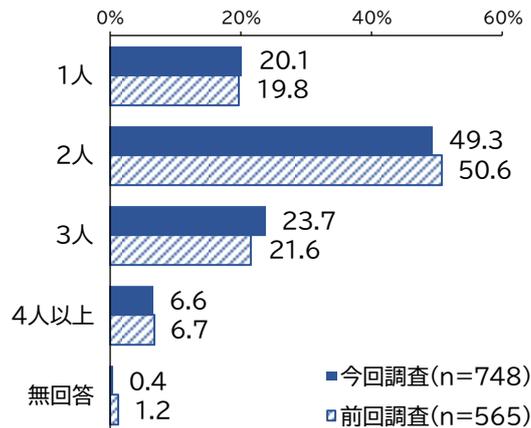
(4) 子どもの人数と末子の年齢

問4 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（令和5年4月1日現在の年齢）を記入してください。（令和5年4月2日以降に生まれたおさんは0歳と記入してください。）

■ 子どもの人数

子どもの人数についてみると、「2人」が49.3%で最も高く、次いで「3人」が23.7%、「1人」が20.1%となっています。

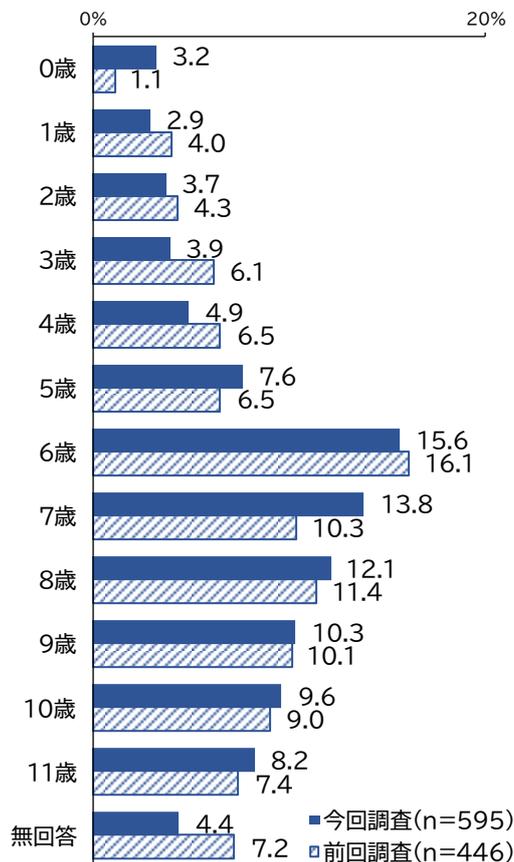
前回調査と比べると、大きな差異はみられません。



■ 末子の年齢

末子の年齢についてみると、「6歳」が15.6%で最も高く、次いで「7歳」が13.8%、「8歳」が12.1%、「9歳」が10.3%、「10歳」が9.6%、「11歳」が8.2%、「5歳」が7.6%となっています。

前回調査と比べると、「7歳」は今回調査の方が3.5ポイント高くなっています。

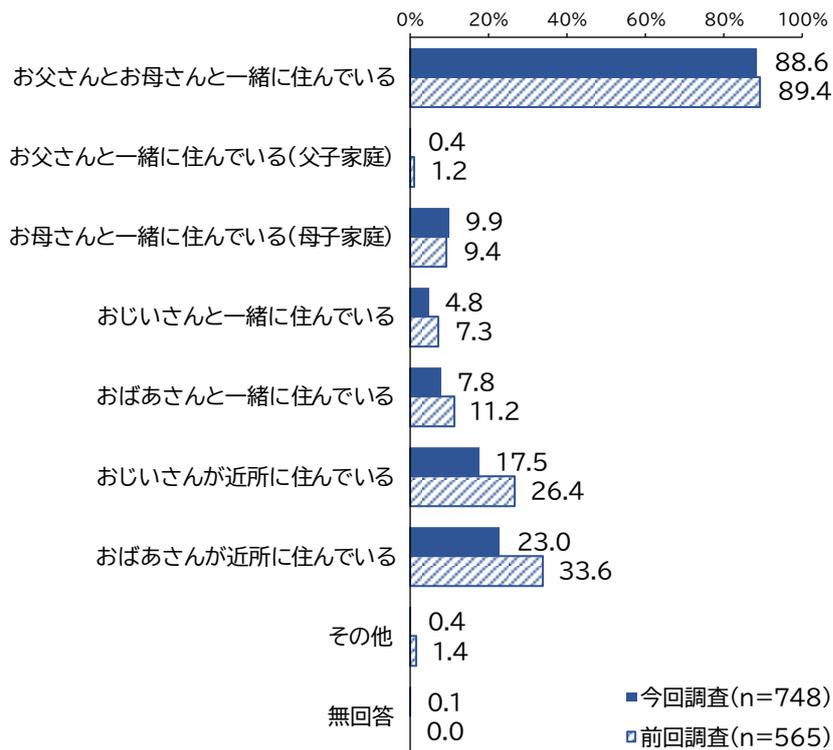


(5) 子どもの同居状況

問5 お子さんと一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所におじいさん・おばあさんが住んでいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。
 ※選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

子どもの同居状況についてみると、「お父さんとお母さんと一緒に住んでいる」が88.6%で最も高く、次いで「おばあさんが近所に住んでいる」が23.0%、「おじいさんが近所に住んでいる」が17.5%となっています。

前回調査と比べると、「お母さんと一緒に住んでいる（母子家庭）」を除くすべての項目で、今回調査が前回調査を下回っています。

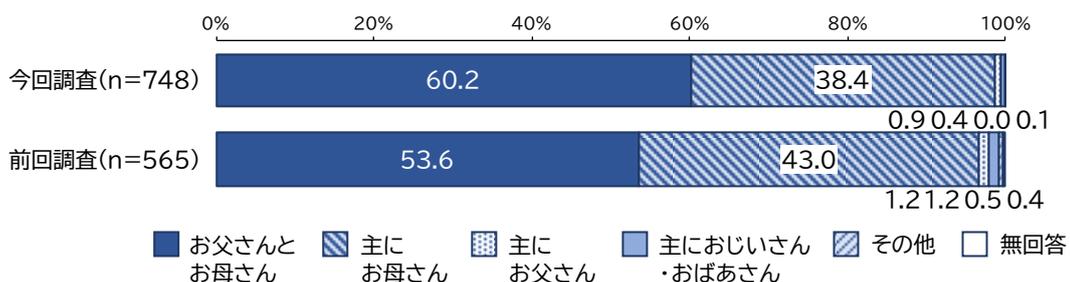


(6) 子育てや教育を主に行っている人

問6 お子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
 ※選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

子育てや教育を主に行っている人についてみると、「お父さんとお母さん」が60.2%で最も高く、次いで「主にお母さん」が38.4%、「主にお父さん」が0.9%となっています。

前回調査と比べると、「お父さんとお母さん」は今回調査の方が6.6ポイント高くなっています。

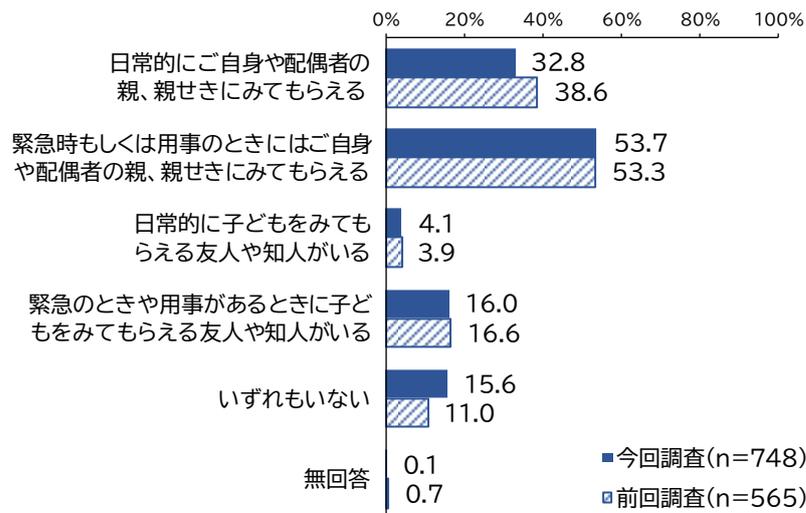


(7) 子どもを預かってもらえる人の有無

問7 日頃、封筒のあて名のお子さんを預けてみてもらえる人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもを預かってもらえる人の有無についてみると、「緊急時もしくは用事的时候にはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が53.7%で最も高く、次いで「日常のご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が32.8%、「緊急のときや用事があるときに子どもをみてもらえる友人や知人がいる」が16.0%、「いずれもない」が15.6%となっています。

前回調査と比べると、「日常のご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」は今回調査の方が5.8ポイント低くなっています。

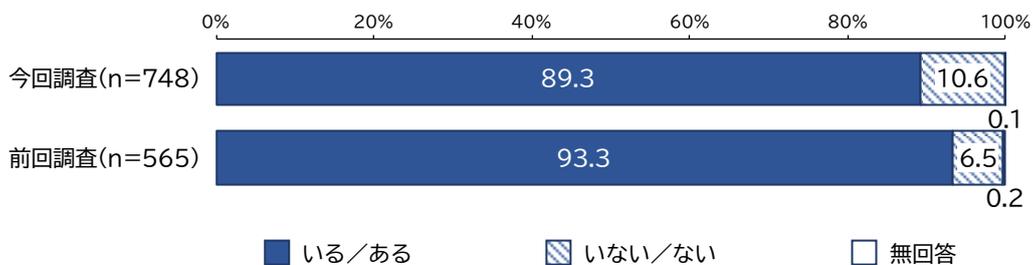


(8) 子育てに関する相談先の有無

問8 お子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

子育てに関する相談先の有無についてみると、「いる／ある」が89.3%、「いない／ない」が10.6%となっています。

前回調査と比べると、「いる／ある」は今回調査の方が4.0ポイント低くなっています。



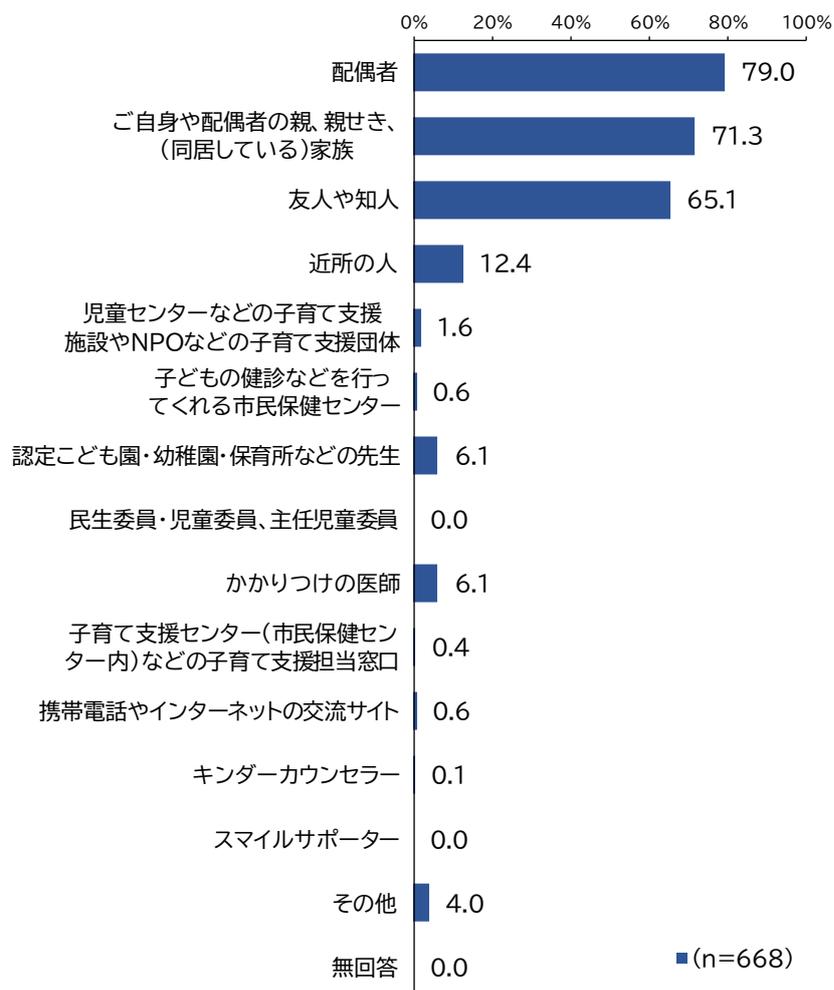
(9) 子育てに関する相談先

問8-1 問8で「1」を選ばれた方におうかがいします。気軽に相談できる人や場所などについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てに関する相談先についてみると、「配偶者」が79.0%で最も高く、次いで「ご自身や配偶者の親、親せき、（同居している）家族」が71.3%、「友人や知人」が65.1%となっています。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が低くなるほど「配偶者」の割合は概ね高くなる傾向にあり、7歳で84.7%となっています。また、11歳では「ご自身や配偶者の親、親せき、（同居している）家族」が78.8%で最も高くなっています。

母親の就労形態別にみると、フルタイムで「配偶者」が約7割（72.9%）で、他の就労形態と比べて低くなっています。



【子どもの年齢別、母親の就労形態別】

		回答者数 (n)	配偶者	ご自身や配偶者の親、親せき、(同居している) 家族	友人や知人	近所の人	児童センターなどの子育て支援施設やNPOなどの子育て支援団体	子どもの健診などを行っている市保健センター	認定こども園・幼稚園・保育所などの先生	民生委員・児童委員、主任児童委員	かかりつけの医師
全体		668	79.0	71.3	65.1	12.4	1.6	0.6	6.1	-	6.1
子どもの年齢別	6歳	125	81.6	75.2	68.8	12.8	-	0.8	8.0	-	5.6
	7歳	118	84.7	67.8	55.9	11.0	4.2	0.8	10.2	-	7.6
	8歳	106	82.1	75.5	69.8	15.1	0.9	0.9	3.8	-	3.8
	9歳	109	73.4	67.9	65.1	11.0	2.8	-	6.4	-	6.4
	10歳	100	78.0	66.0	68.0	10.0	1.0	-	2.0	-	6.0
	11歳	99	72.7	78.8	64.6	12.1	1.0	1.0	4.0	-	7.1
就労形態別 母親の	フルタイム	247	72.9	71.7	66.4	10.5	1.2	-	4.9	-	6.1
	パートタイム等	303	82.8	70.6	65.7	12.9	1.3	1.0	6.3	-	5.6
	無業	112	84.8	72.3	61.6	15.2	3.6	0.9	7.1	-	8.0

		回答者数 (n)	子育て支援センター(市民保健センター内)などの子育て支援担当窓口	携帯電話やインターネットの交流サイト	キンダーカウンセラー	スマイルサポーター	その他	無回答
全体		668	0.4	0.6	0.1	-	4.0	-
子どもの年齢別	6歳	125	-	0.8	-	-	3.2	-
	7歳	118	0.8	0.8	-	-	3.4	-
	8歳	106	-	0.9	0.9	-	2.8	-
	9歳	109	0.9	-	-	-	8.3	-
	10歳	100	-	1.0	-	-	3.0	-
	11歳	99	-	-	-	-	4.0	-
就労形態別 母親の	フルタイム	247	0.4	0.8	-	-	2.8	-
	パートタイム等	303	0.3	0.7	0.3	-	4.3	-
	無業	112	0.9	-	-	-	5.4	-

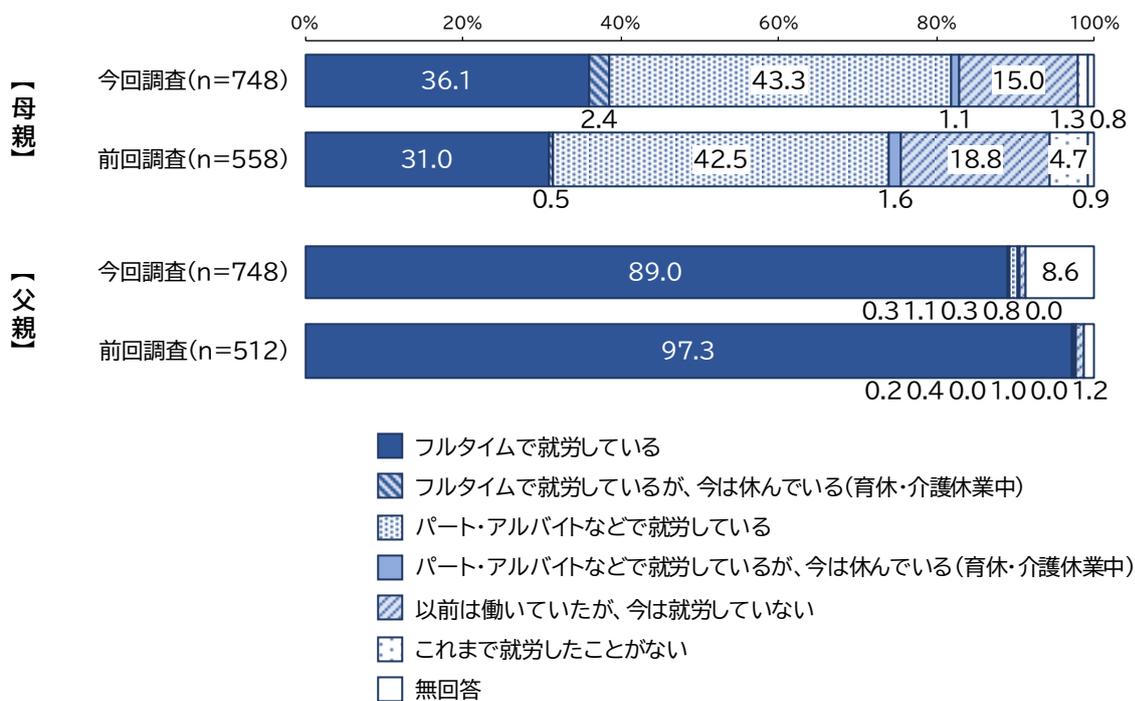
(10) 保護者の就労状況

問9 お子さんの「お母さん」「お父さん」の働いている状況（就労状況）についておうかがいします。
 自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。
 ※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
 「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

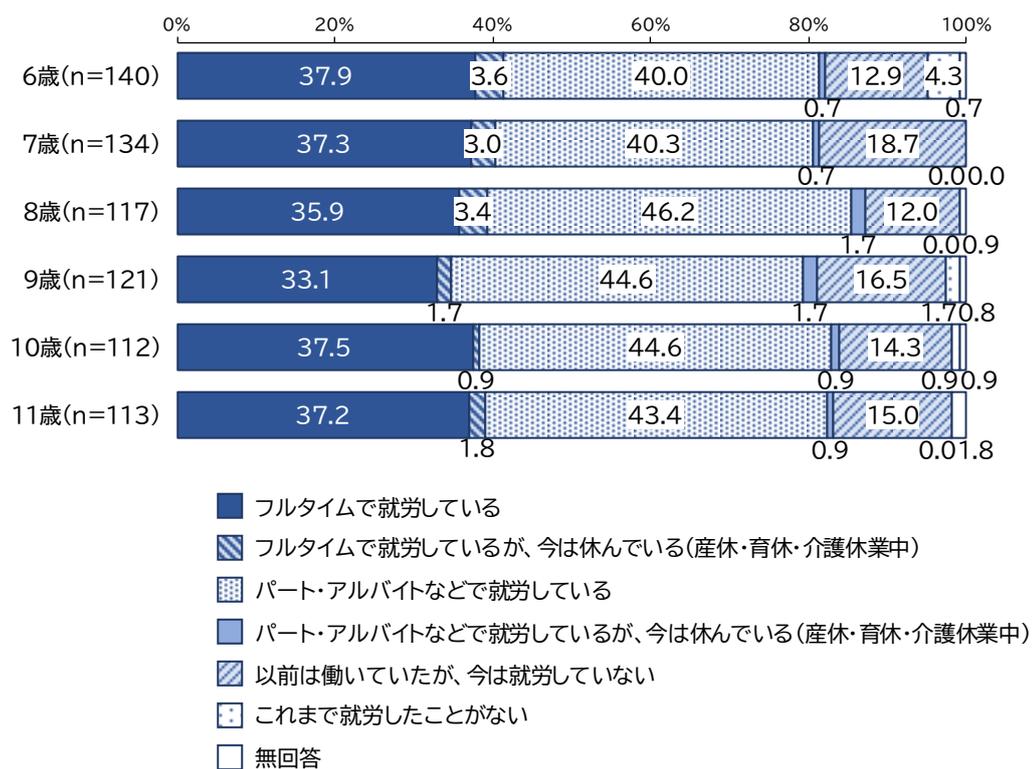
保護者の就労状況についてみると、母親は「パート・アルバイトなどで就労している」が43.3%で最も高く、次いで「フルタイムで就労している」が36.1%、「以前は働いていたが、今は就労していない」が15.0%となっています。父親は「フルタイムで就労している」が89.0%で最も高く、次いで「パート・アルバイトなどで就労している」が1.1%、「以前は働いていたが、今は就労していない」が0.8%となっています。

前回調査と比べると、母親で「フルタイムで就労している」は今回調査の方が5.1ポイント高くなっています。また、父親で「フルタイムで就労している」は今回調査の方が8.3ポイント低くなっています。

母親の就労状況を、子どもの年齢別にみると、大きな差異はみられません。



【子どもの年齢別】

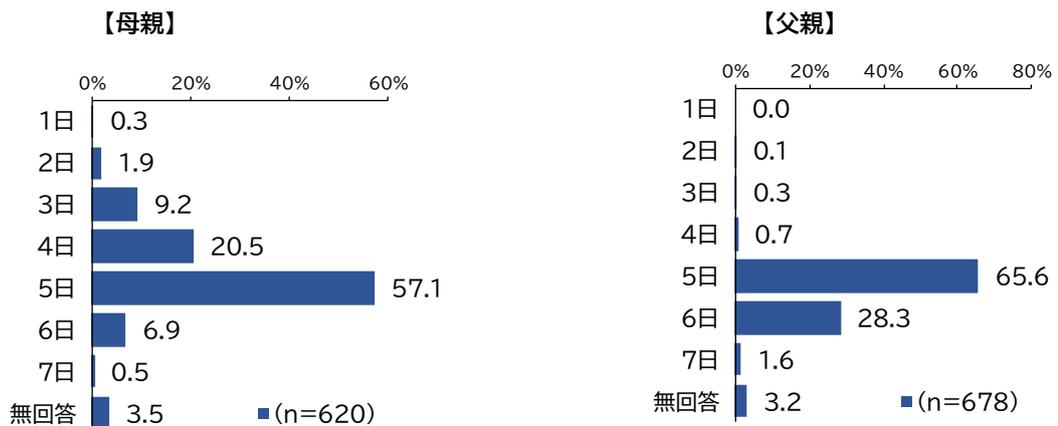


(11) 保護者の就労日数・時間

問9-1 問9の(1)(2)とも、または、どちらかで「1」から「4」を選ばれた方(休業中の方も含む。)におうかがいします。
 1週間にどのくらいの日数働きますか。また、1日当たりどのくらいの時間働きますか。
 枠内に具体的な数字を入れてください。不規則な場合はもっとも多いパターンをお答えください。
 今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

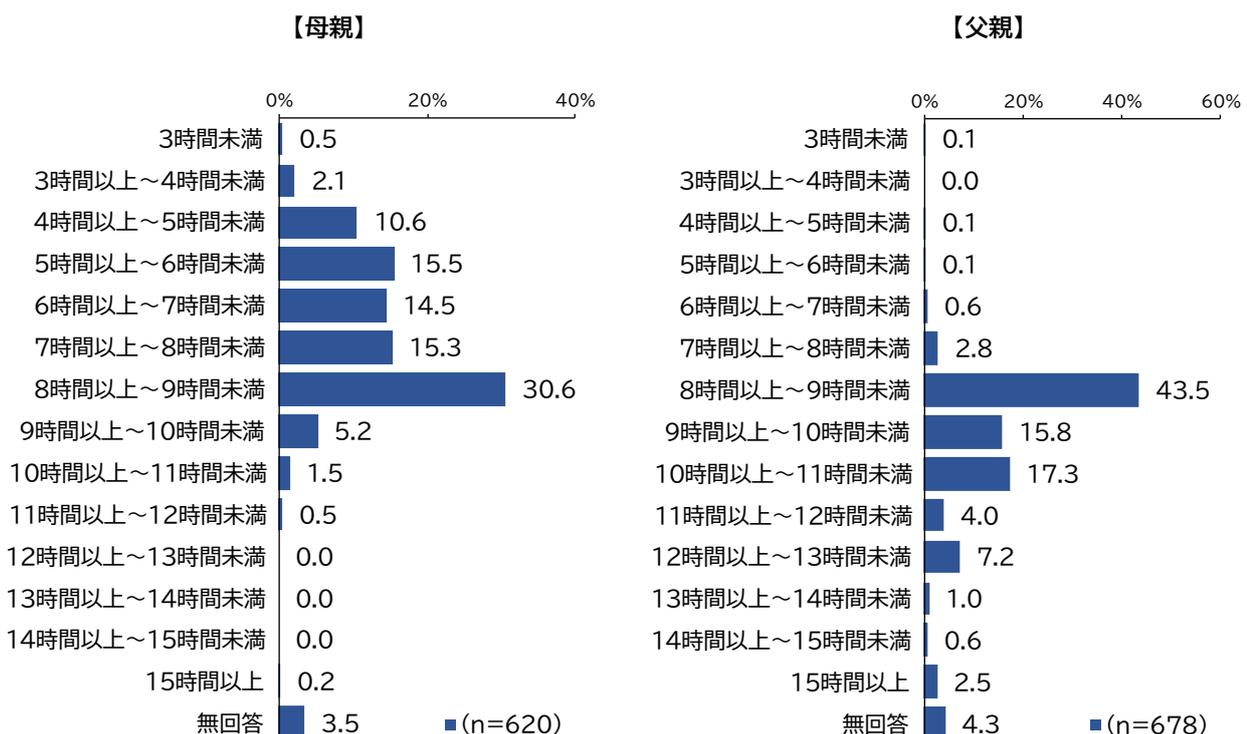
■ 週当たり就労日数

保護者の週当たり就労日数についてみると、母親は「5日」が57.1%で最も高く、次いで「4日」が20.5%、「3日」が9.2%となっています。父親は「5日」が65.6%で最も高く、次いで「6日」が28.3%、「7日」が1.6%となっています。



■ 1日当たり就労時間

保護者の1日当たり就労時間についてみると、母親は「8時間以上～9時間未満」が30.6%で最も高く、次いで「5時間以上～6時間未満」が15.5%となっています。父親は「8時間以上～9時間未満」が43.5%で最も高く、次いで「10時間以上～11時間未満」が17.3%となっています。

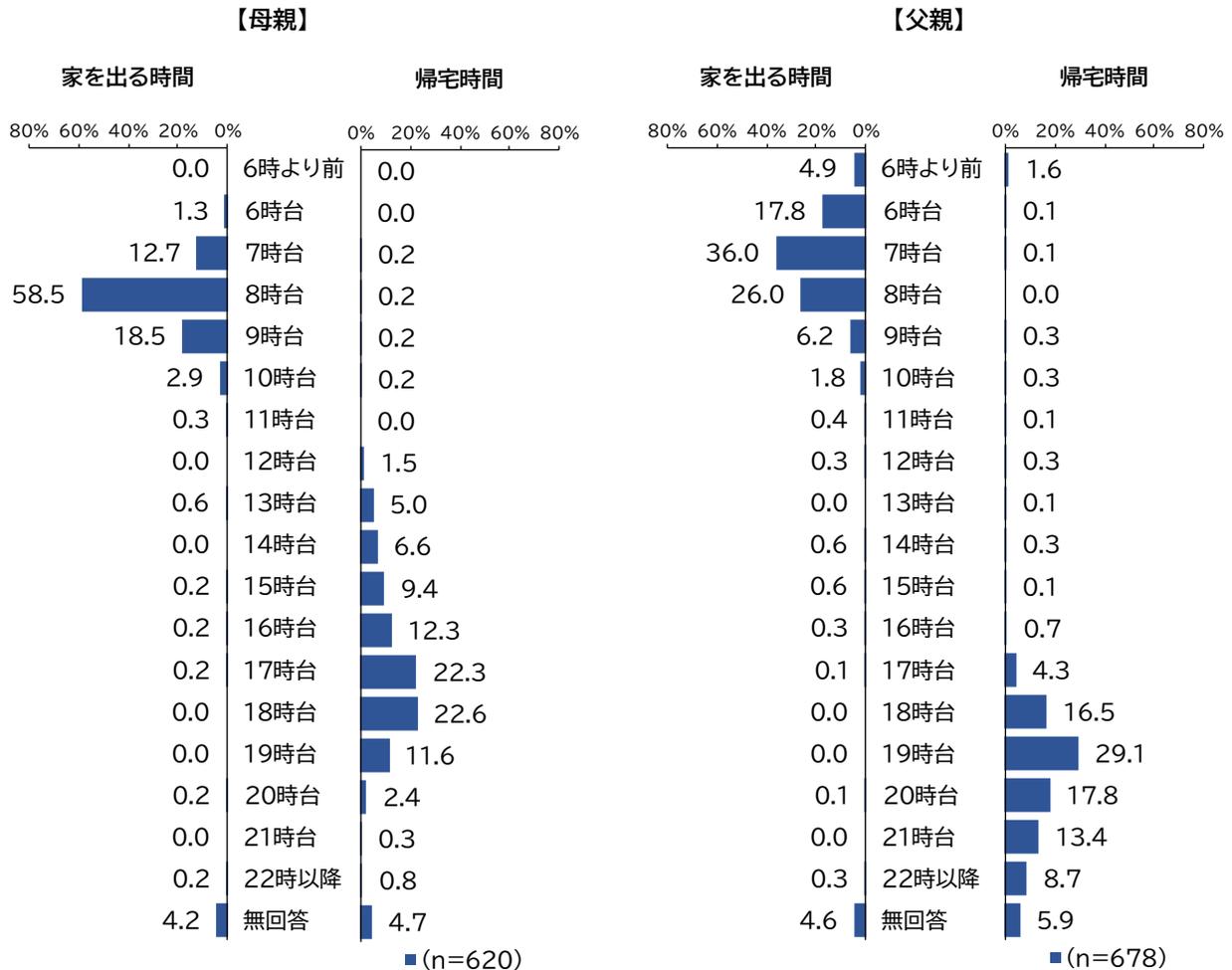


(12) 保護者の就労時間帯

問9-2 問9の(1)(2)とも、または、どちらかで「1」から「4」を選ばれた方(休業中の方も含む。)におうかがいします。
 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。(自宅で働いている方は仕事が始まる時間と仕事が終わる時間をお答えください。)
 時間が不規則な場合はもっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。
 時間は必ず(18:00)のように24時間制でお答えください。

保護者の就労時間帯についてみると、家を出る時間では、母親は「8時台」が58.5%で最も高く、次いで「9時台」が18.5%、「7時台」が12.7%となっています。父親は「7時台」が36.0%で最も高く、次いで「8時台」が26.0%、「6時台」が17.8%となっています。

帰宅時間では、母親は「18時台」が22.6%で最も高く、次いで「17時台」が22.3%、「16時台」が12.3%、「19時台」が11.6%、「15時台」が9.4%、「14時台」が6.6%となっています。父親は「19時台」が29.1%で最も高く、次いで「20時台」が17.8%、「18時台」が16.5%、「21時台」が13.4%となっています。



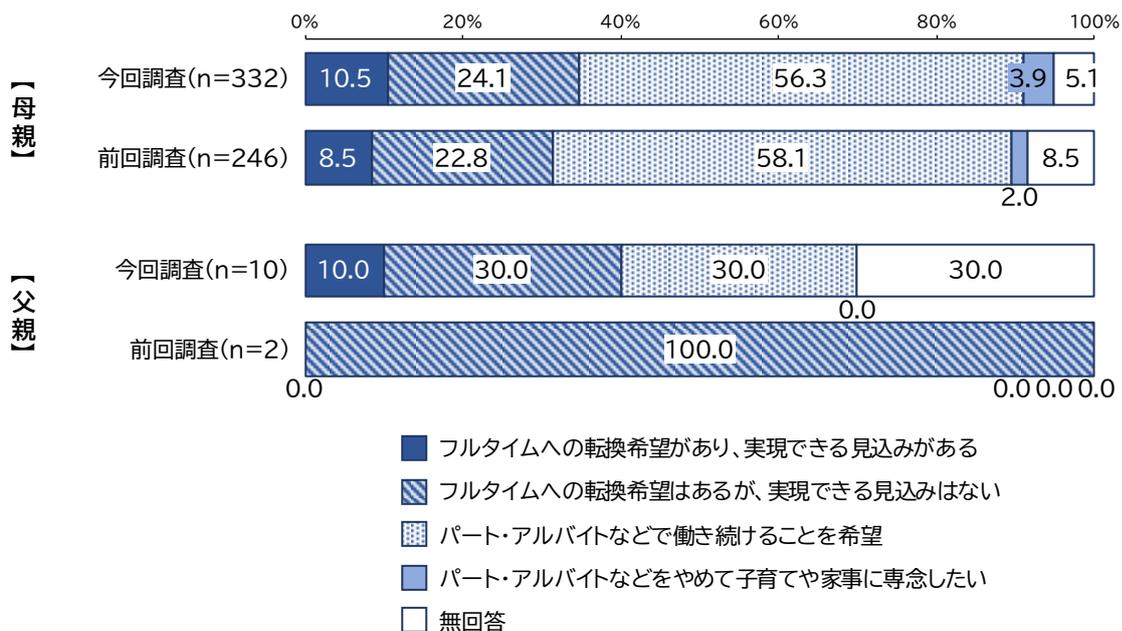
(13) フルタイムへの転換希望

問10 問9の(1)(2)とも、または、どちらかで「3」または「4」のパート・アルバイト勤務を選ばれた方(休業中の方も含む。)におうかがいします。
 フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
 ※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
 「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

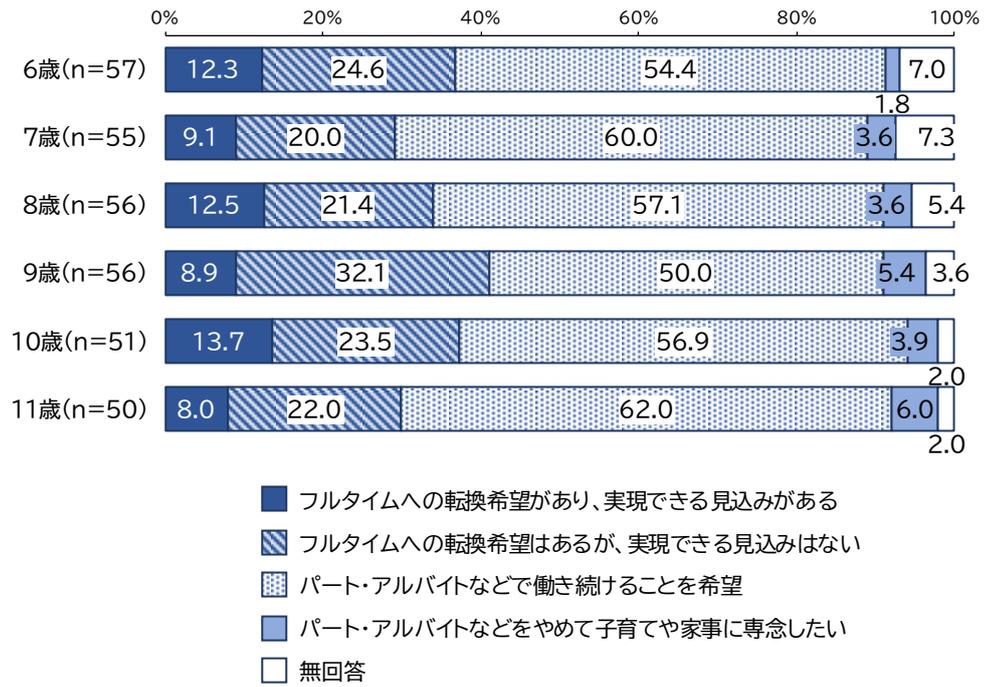
フルタイムへの転換希望についてみると、母親は「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」が56.3%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が24.1%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が10.5%となっています。父親では「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」が10人中3人(30.0%)、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が10人中1人(10.0%)となっています。

前回調査と比べると、父親は前回調査で全員が「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と回答していますが、今回調査は多くの項目に回答者がいます。

母親のフルタイムへの転換希望について、子どもの年齢別にみると、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は9歳の32.1%が他の年齢に比べて高くなっています。



【子どもの年齢別 母親のフルタイムへの転換希望】

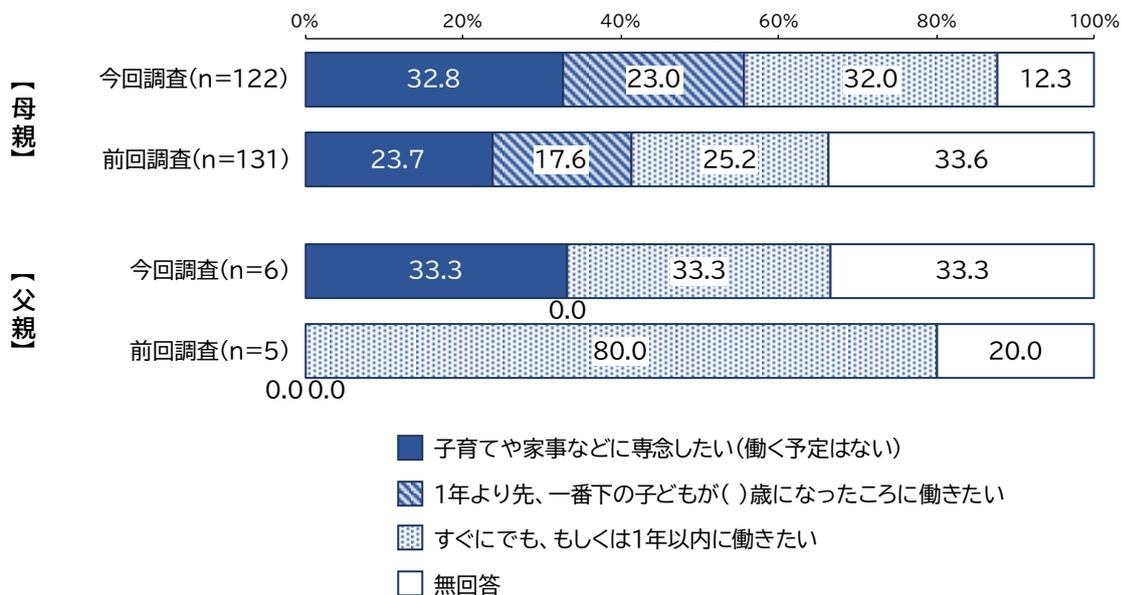


(14) 保護者の就労意向

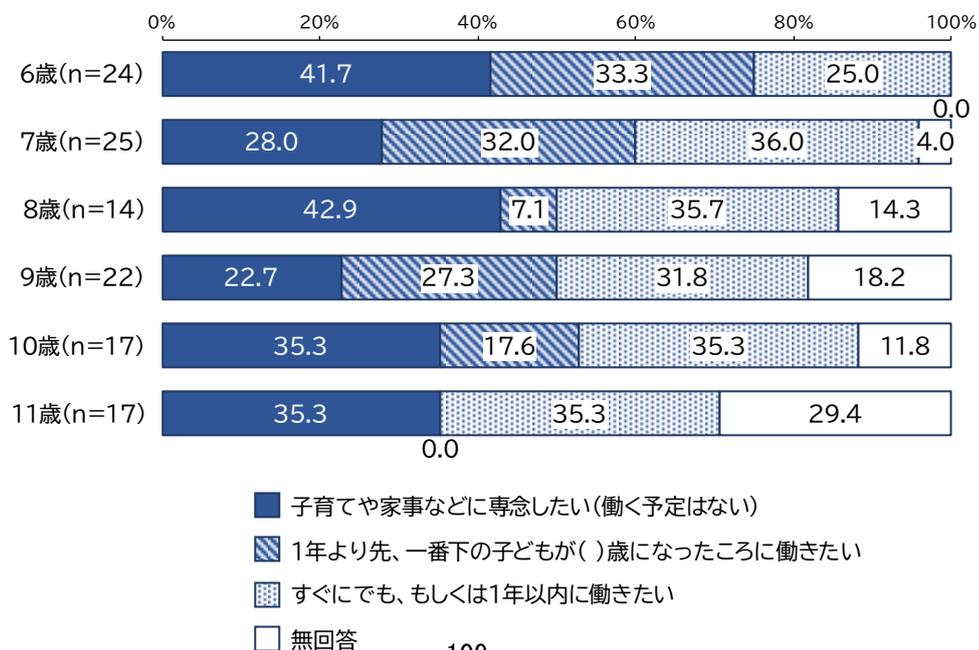
問11 問9の(1)(2)とも、または、どちらかで「5」または「6」を選ばれた仕事をお持ちでない方におうかがいします。
 働きたいという希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、枠内に具体的な数字を入れてください。
 ※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
 「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

保護者の就労意向についてみると、母親は「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」が32.8%で最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が32.0%、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったときに働きたい」が23.0%となっています。父親は「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」と「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が6人中2人(33.3%)となっています。

母親の就労意向について、子どもの年齢別にみると、6~7歳で「1年より先、一番下の子どもが()歳になったときに働きたい」の割合が3割台と、他の年齢と比べて高くなっています。

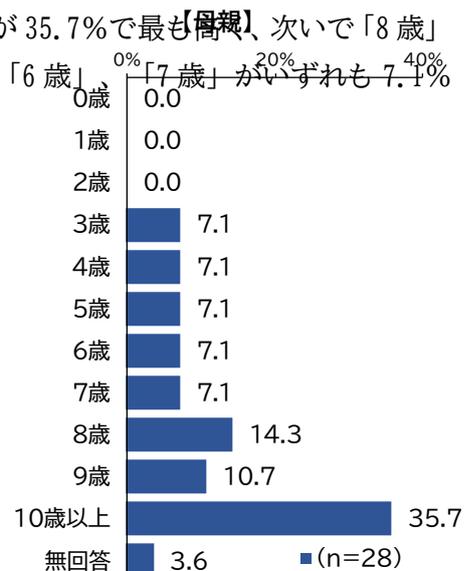


【子どもの年齢別 母親の就労意向】



■ 就労希望時の末子の年齢

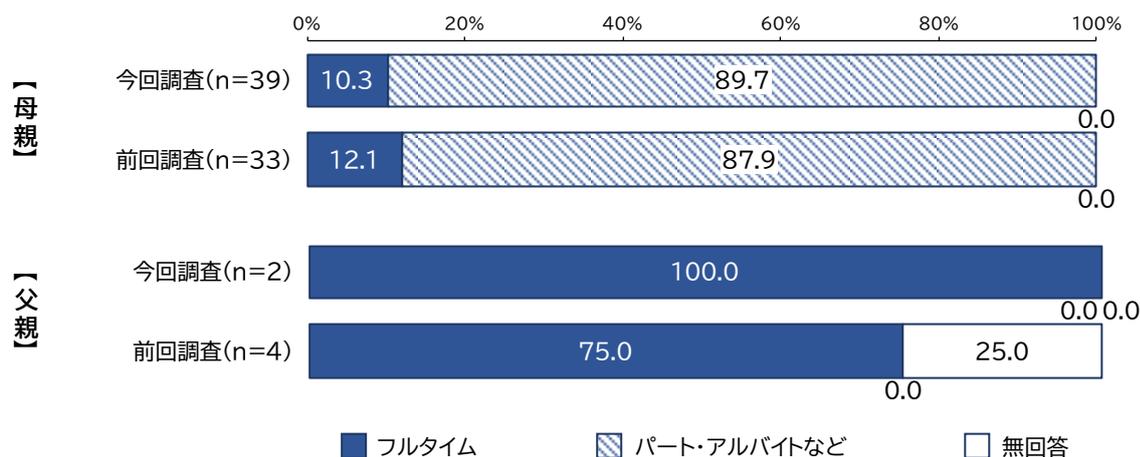
就労希望時の末子の年齢についてみると、母親は「10歳以上」が35.7%で最も多く、次いで「8歳」が14.3%、「9歳」が10.7%、「3歳」、「4歳」、「5歳」、「6歳」、「7歳」がいずれも7.1%となっています。



■ 希望する就労形態

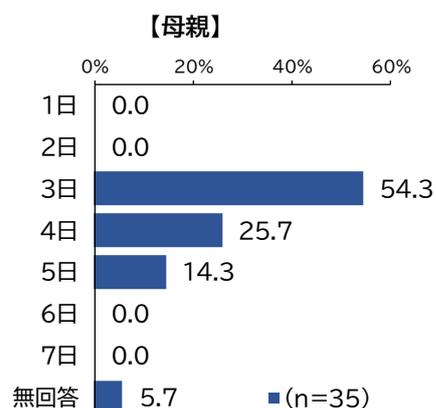
希望する就労形態についてみると、母親は「フルタイム」が10.3%、「パート・アルバイトなど」が89.7%となっています。父親は全員が「フルタイム」と回答しています。

前回調査と比べると、父母ともに大きな差異はみられません。



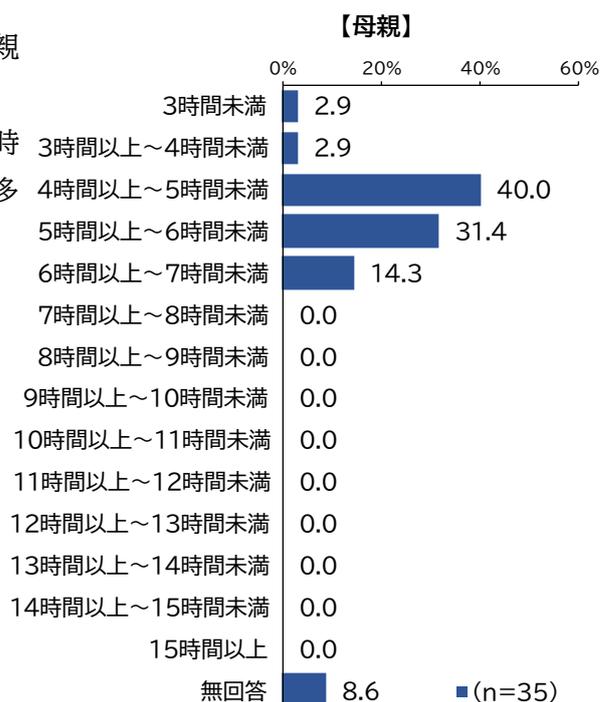
■ 希望する週当たり就労日数

希望する週当たり就労日数についてみると、母親は「3日」が54.3%で最も高く、次いで「4日」が25.7%、「5日」が14.3%となっています。全員が3日～5日の回答となっています。



■ 希望する1日当たり就労時間

希望する1日当たり就労時間についてみると、母親は「4時間以上～5時間未満」が40.0%で最も高く、次いで「5時間以上～6時間未満」が31.4%、「6時間以上～7時間未満」が14.3%となっています。大多数が4時間以上～7時間未満の回答となっています。



2. もりぐち児童クラブ「入会児童室」の利用状況について

(1) もりぐち児童クラブ「入会児童室」の利用状況

問 12 平日（月曜日から金曜日）に、現在、もりぐち児童クラブ「入会児童室」を利用されていますか。
あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

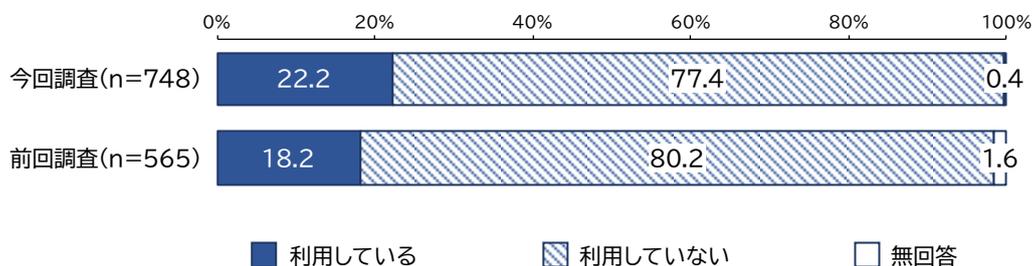
もりぐち児童クラブ「入会児童室」の利用状況についてみると、「利用している」が22.2%、「利用していない」が77.4%となっています。

前回調査と比べると、「利用している」は今回調査の方が4.0ポイント高くなっています。

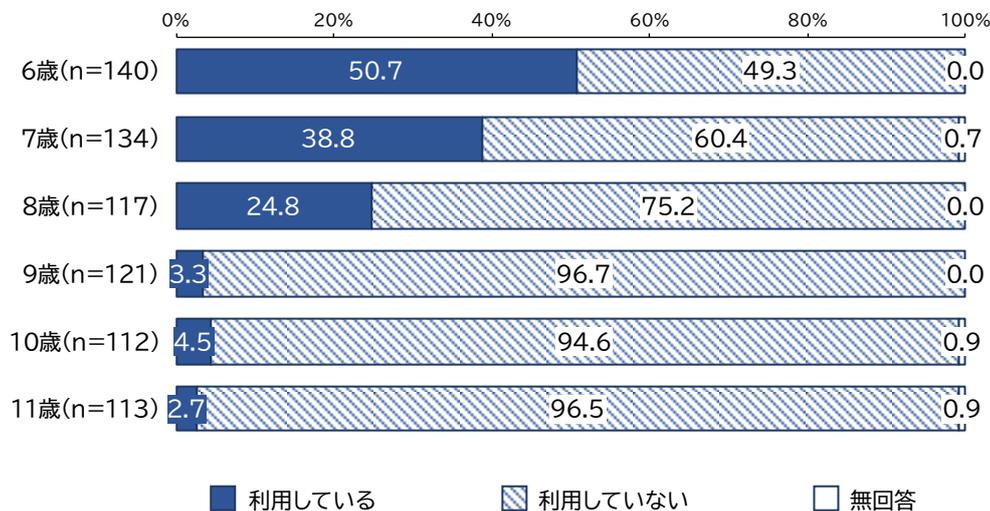
子どもの年齢別にみると、低学年では子どもの年齢が低くなるほど「利用している」の割合は高くなる傾向にあり、6歳で50.7%となっています。

母親の就労形態別にみると、「利用している」はフルタイムで35.8%、パートタイム等で18.7%となっており、一方で無業は0.8%とごく少数となっています。

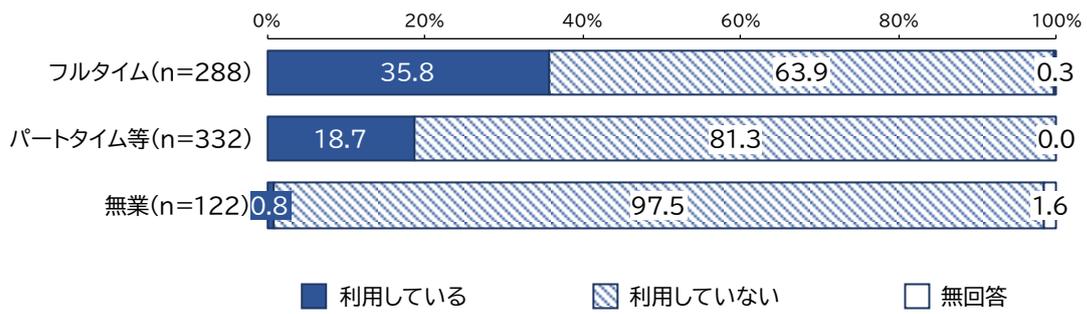
地域別にみると、南部で「利用している」が25.3%と、他の地域と比べて高くなっています。



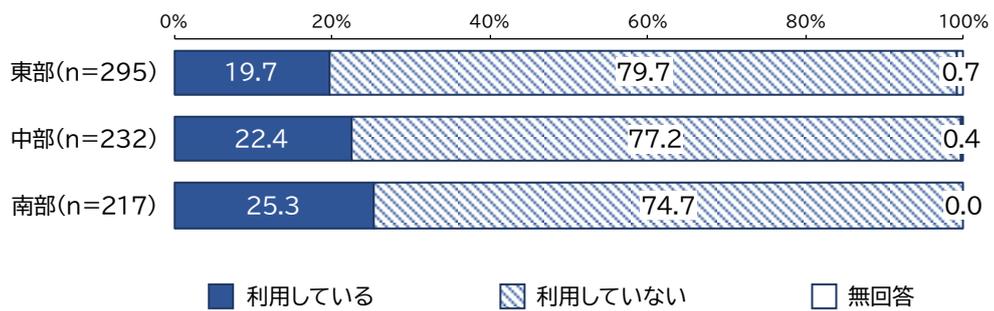
【子どもの年齢別】



【母親の就労形態別】



【地域別】

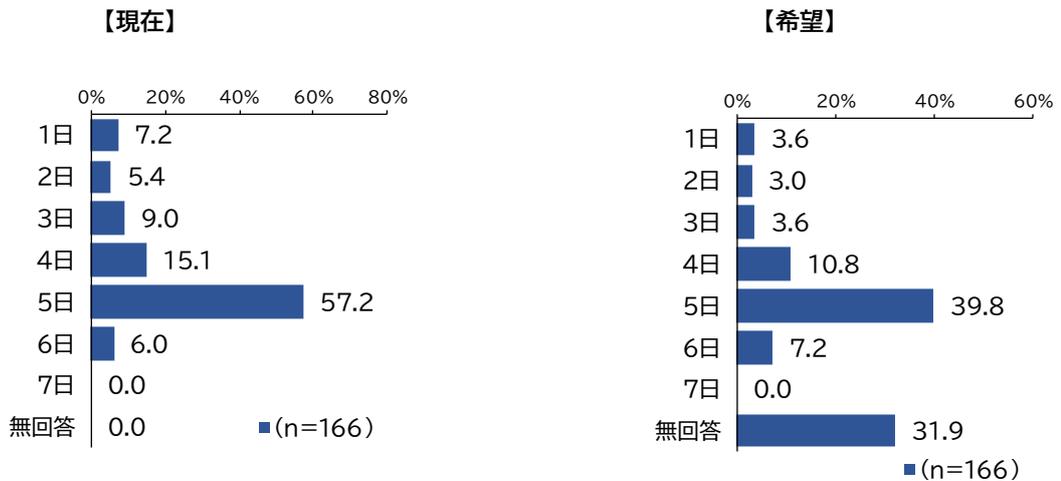


(2) もりぐち児童クラブ「入会児童室」の利用時間

問13 問12で「1」を選ばれた方におうかがいします。
 現在利用しているもりぐち児童クラブ「入会児童室」について、もっとも多いパターンとして、1週間に何日利用し、また、1日当たり何時間（何時まで）利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。枠内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず（18：00）のように24時間制で記入してください。

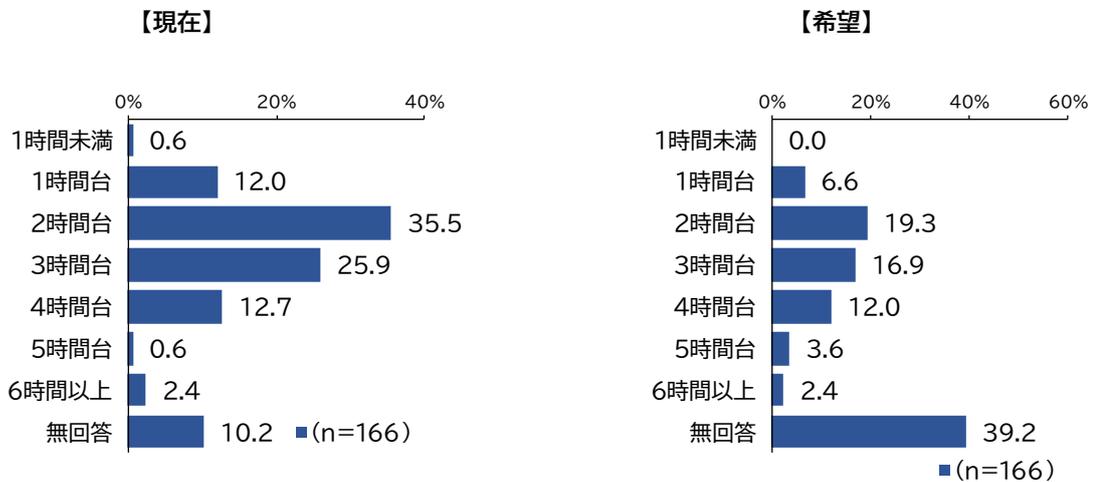
■ 週当たり利用日数

もりぐち児童クラブ「入会児童室」の週当たり利用日数についてみると、現在は「5日」が57.2%で最も高く、次いで「4日」が15.1%、「3日」が9.0%、「1日」が7.2%となっています。希望は「5日」が39.8%で最も高く、次いで「4日」が10.8%、「6日」が7.2%、「1日」と「3日」がともに3.6%となっています。



■ 1日当たり利用時間

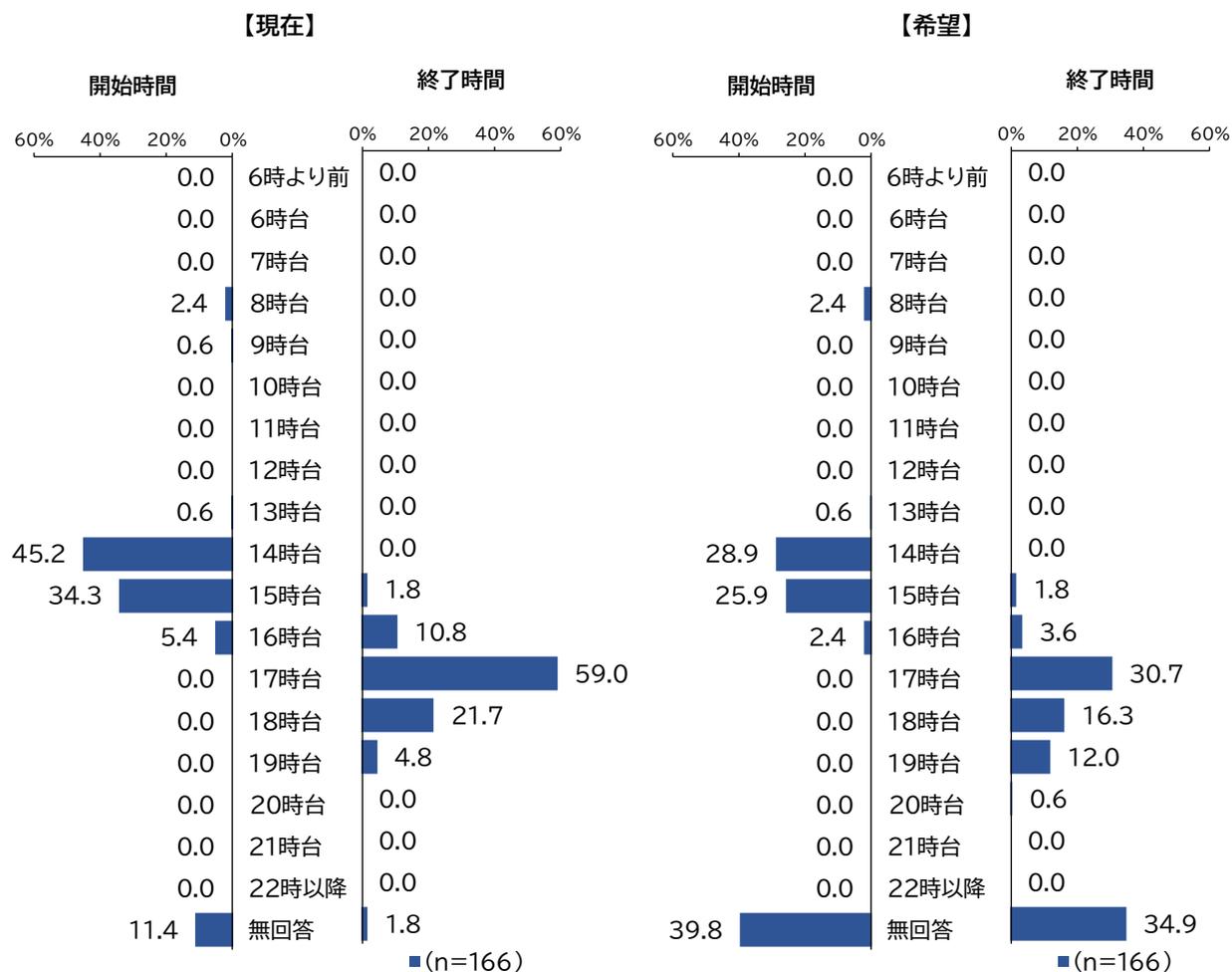
もりぐち児童クラブ「入会児童室」の1日当たり利用時間についてみると、現在は「2時間台」が35.5%で最も高く、次いで「3時間台」が25.9%、「4時間台」が12.7%、「1時間台」が12.0%となっています。希望は「2時間台」が19.3%で最も高く、次いで「3時間台」が16.9%、「4時間台」が12.0%となっています。



■ 利用時間

もりぐち児童クラブ「入会児童室」の利用時間についてみると、開始時間では、現在は「14 時台」が45.2%で最も高く、次いで「15 時台」が34.3%、「16 時台」が5.4%、「8 時台」が2.4%となっています。希望は「14 時台」が28.9%で最も高く、次いで「15 時台」が25.9%、「8 時台」と「16 時台」がともに2.4%となっています。

終了時間では、現在は「17 時台」が59.0%で最も高く、次いで「18 時台」が21.7%、「16 時台」が10.8%となっています。希望は「17 時台」が30.7%で最も高く、次いで「18 時台」が16.3%、「19 時台」が12.0%となっています。

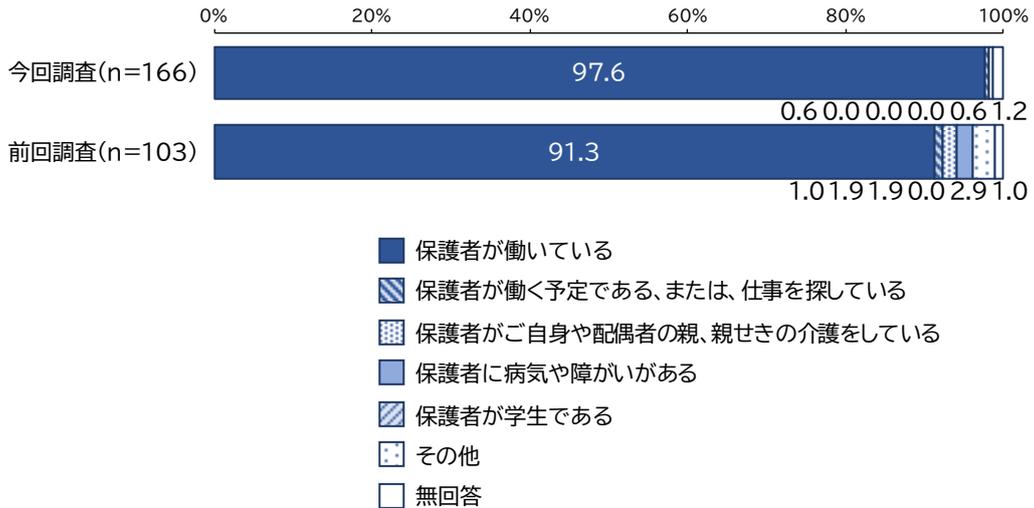


(3) もりぐち児童クラブ「入会児童室」を利用している理由

問 13-1 問 12 で「1 利用している」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。
 もりぐち児童クラブ「入会児童室」を利用されている理由について、もっともあてはまる番号に
 1つだけ○をつけてください。

もりぐち児童クラブ「入会児童室」を利用している理由についてみると、「保護者が働いている」が97.6%で最も高く、次いで「保護者が働く予定である、または、仕事を探している」が0.6%となっています。

前回調査と比べると、「保護者が働いている」は今回調査の方が6.3ポイント高くなっています。

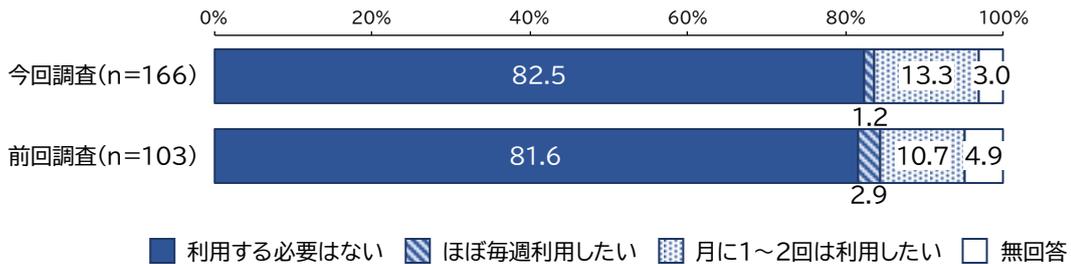


■ 日曜日・祝日

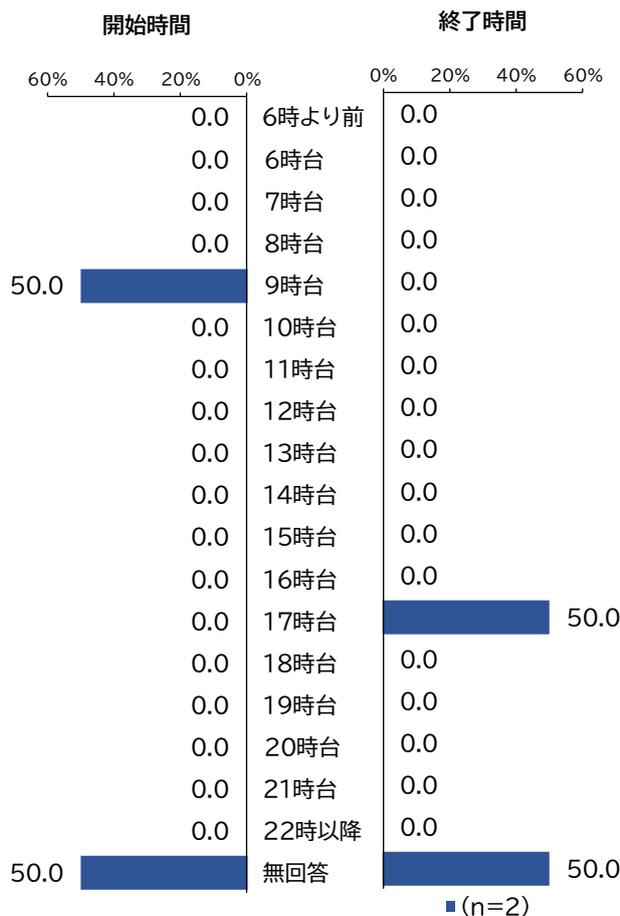
日曜日・祝日のもりぐち児童クラブ「入会児童室」の利用意向についてみると、「利用する必要はない」が82.5%で最も高く、次いで「月に1~2回は利用したい」が13.3%、「ほぼ毎週利用したい」が1.2%となっています。

前回調査と比べると、大きな差異はみられません。

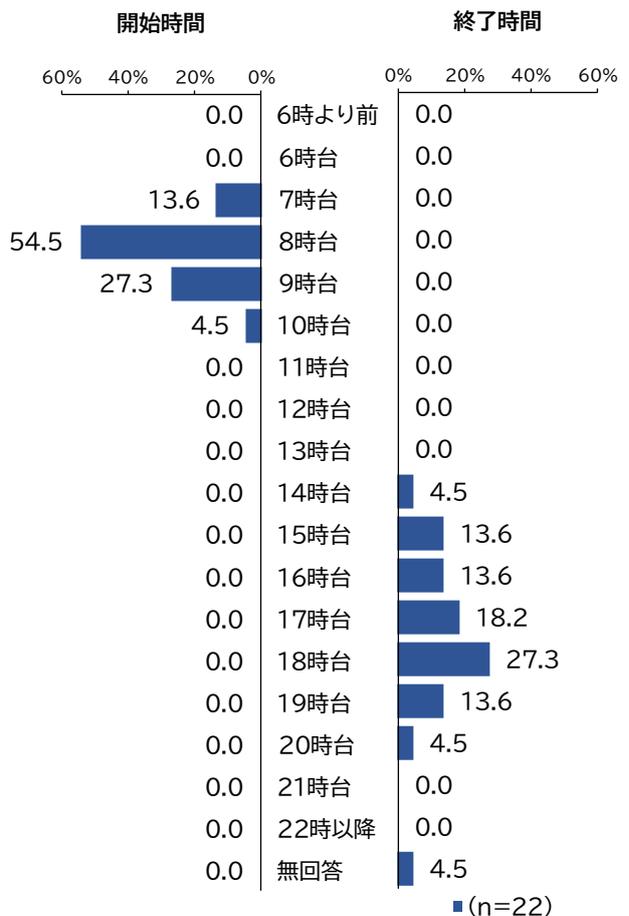
利用したい時間帯についてみると、「ほぼ毎週利用したい」の回答者は、開始時間は「9時台」、終了時間は「17時台」がそれぞれ最も高くなっています。「月に1~2回は利用したい」の回答者は、開始時間は「8時台」、終了時間は「18時台」がそれぞれ最も高くなっています。



【ほぼ毎週利用したい】



【月に1~2回は利用したい】

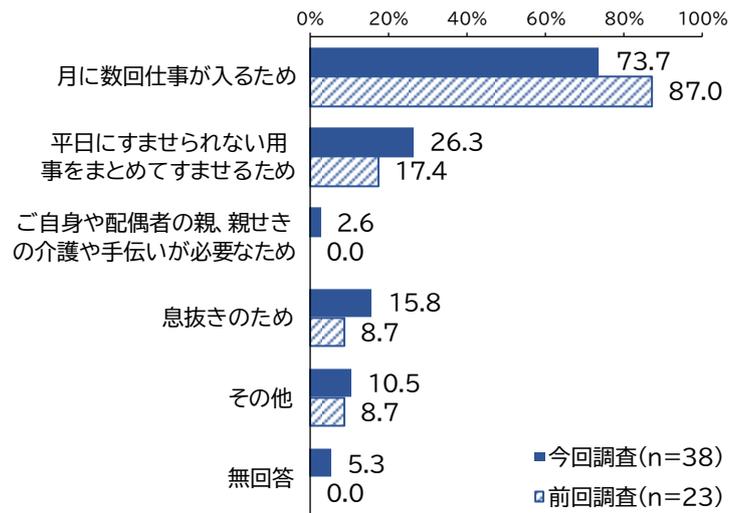


(5) 土曜日、日曜日・祝日のもりぐち児童クラブ「入会児童室」をたまに利用したい理由

問 13-3 問 13-2 の (1) または (2) で、「3」を選ばれた方におうかがいします。
毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

土曜日、日曜日・祝日のもりぐち児童クラブ「入会児童室」をたまに利用したい理由についてみると、「月に数回仕事が入るため」が73.7%で最も高く、次いで「平日にすませられない用事をまとめてすませるため」が26.3%、「息抜きのため」が15.8%となっています。

前回調査と比べると、「月に数回仕事が入るため」は今回調査の方が13.3ポイント低くなっています。



(6) もりぐち児童クラブ「入会児童室」を利用している人の小学4年生以降の放課後の過ごし方

問13-4 問12で「1 利用している」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。
 小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。
 あてはまる番号すべてに○をつけ、「1」を選択した場合は枠内に具体的な数字を入れてください。

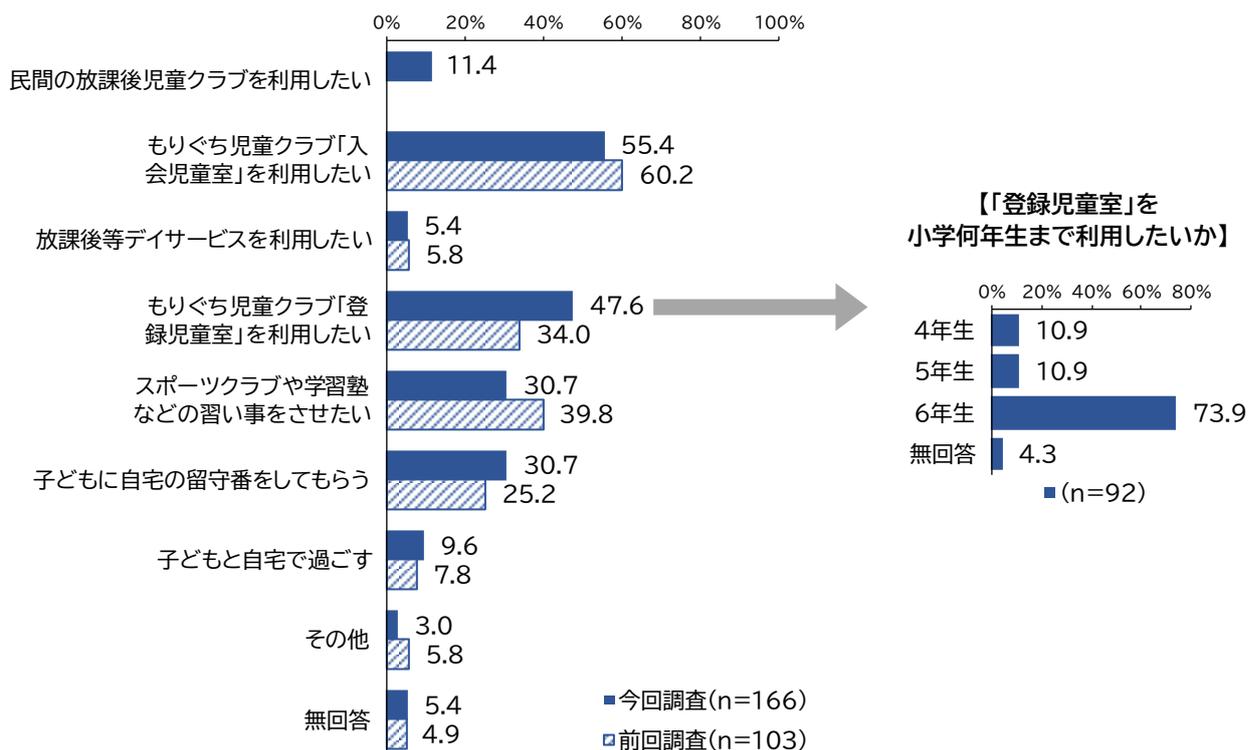
もりぐち児童クラブ「入会児童室」を利用している人の小学4年生以降の放課後の過ごし方についてみると、「もりぐち児童クラブ『入会児童室』を利用したい」が55.4%で最も高く、次いで「もりぐち児童クラブ『登録児童室』を利用したい」が47.6%、「スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい」と「子どもに自宅の留守番をしてもらおう」がともに30.7%となっています。

前回調査と比べると、「もりぐち児童クラブ『登録児童室』を利用したい」は今回調査の方が13.6ポイント高くなっています。

子どもの年齢別にみると、7歳で「もりぐち児童クラブ『登録児童室』を利用したい」が7割弱(69.2%)と、他の年齢と比べて高くなっています。

地域別にみると、東部で「もりぐち児童クラブ『登録児童室』を利用したい」が約6割(60.3%)と、他の地域と比べて高くなっています。

「登録児童室」を小学何年生まで利用したいかについてみると、「6年生」が73.9%で最も高く、次いで「4年生」と「5年生」がともに10.9%となっています。



【子どもの年齢別、地域別】

		回答者数 (n)	民間の放課後児童クラブを利用したい	もりぐち児童クラブ「入会児童室」を利用したい	放課後等デイサービスを利用したい	もりぐち児童クラブ「登録児童室」を利用したい	スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい	子どもに自宅の留守番をしてもらう	子どもと自宅で過ごす	その他	無回答
全体		166	11.4	55.4	5.4	47.6	30.7	30.7	9.6	3.0	5.4
子どもの年齢別	6歳	71	11.3	52.1	4.2	40.8	31.0	36.6	12.7	4.2	5.6
	7歳	52	11.5	69.2	3.8	48.1	28.8	25.0	3.8	1.9	3.8
	8歳	29	3.4	48.3	-	69.0	31.0	31.0	10.3	3.4	6.9
	9歳	4	25.0	25.0	50.0	50.0	75.0	25.0	-	-	-
	10歳	5	20.0	40.0	20.0	60.0	40.0	20.0	20.0	-	-
	11歳	3	33.3	33.3	-	-	-	33.3	33.3	-	33.3
地域別	東部	58	10.3	60.3	3.4	39.7	22.4	24.1	8.6	1.7	8.6
	中部	52	17.3	53.8	7.7	53.8	38.5	32.7	13.5	3.8	3.8
	南部	55	7.3	50.9	5.5	49.1	30.9	34.5	7.3	3.6	3.6

(7) もりぐち児童クラブ「入会児童室」を利用していない人の小学4年生以降の放課後の過ごし方

問 13-5 問 12 で「2」を選ばれた方におうかがいします。
 小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。
 あてはまる番号すべてに○をつけ、「2」を選択した場合は枠内に具体的な数字を入れてください。

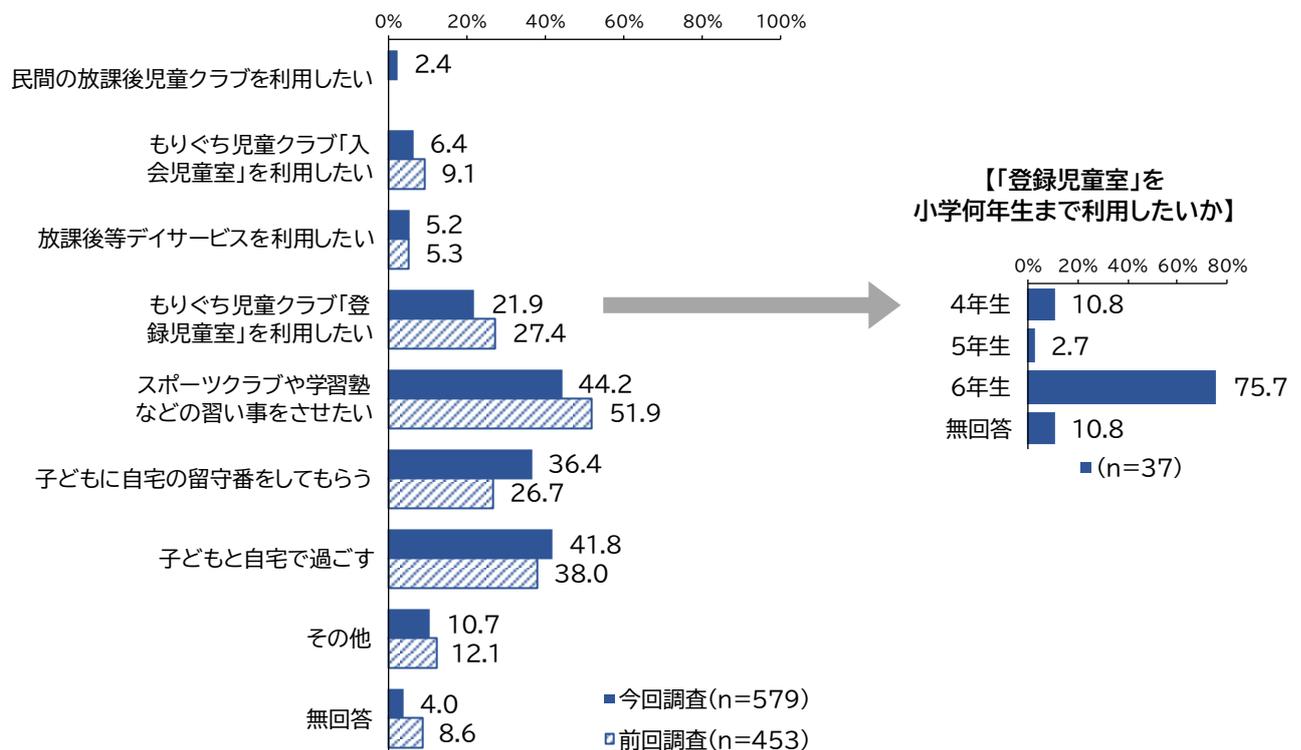
もりぐち児童クラブ「入会児童室」を利用していない人の小学4年生以降の放課後の過ごし方についてみると、「スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい」が44.2%で最も高く、次いで「子どもと自宅で過ごす」が41.8%、「子どもに自宅の留守番をしてもらおう」が36.4%となっています。

前回調査と比べると、「子どもに自宅の留守番をしてもらおう」は今回調査の方が9.7ポイント高くなっています。

子どもの年齢別にみると、6歳で「子どもと自宅で過ごす」、8歳で「スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい」がそれぞれ半数以上と、他の年齢と比べて高くなっています。

地域別にみると、南部で「子どもと自宅で過ごす」が45.7%と、他の地域と比べて高くなっています。

「登録児童室」を小学何年生まで利用したいかについてみると、「6年生」が75.7%で最も高く、次いで「4年生」が10.8%、「5年生」が2.7%となっています。



【子どもの年齢別、地域別】

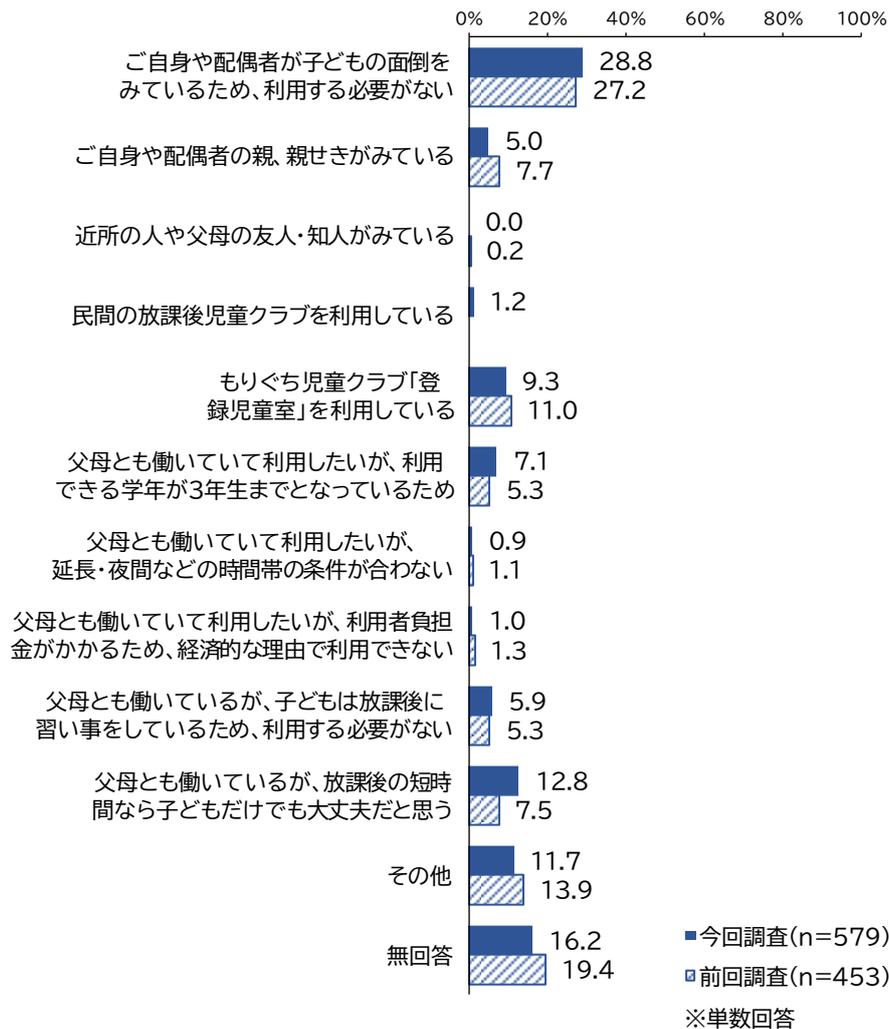
		回答者数 (n)	民間の放課後児童クラブを利用したい	もりぐち児童クラブ「入会児童室」を利用したい	放課後等デイサービスを利用したい	もりぐち児童クラブ「登録児童室」を利用したい	スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい	子どもに自宅の留守番をしてもらう	子どもと自宅で過ごす	その他	無回答
全体		579	2.4	6.4	5.2	21.9	44.2	36.4	41.8	10.7	4.0
子どもの年齢別	6歳	69	4.3	5.8	4.3	34.8	34.8	20.3	53.6	7.2	7.2
	7歳	81	2.5	3.7	8.6	30.9	34.6	34.6	35.8	9.9	4.9
	8歳	88	3.4	3.4	9.1	28.4	54.5	44.3	39.8	13.6	1.1
	9歳	117	1.7	9.4	3.4	22.2	42.7	38.5	41.0	11.1	3.4
	10歳	106	1.9	7.5	3.8	12.3	49.1	36.8	44.3	10.4	2.8
11歳	109	1.8	6.4	3.7	11.9	47.7	40.4	35.8	11.9	5.5	
地域別	東部	235	3.0	6.4	2.6	19.1	43.0	34.0	41.3	11.5	2.6
	中部	179	1.7	5.0	6.7	31.3	45.3	36.9	39.1	10.6	5.6
	南部	162	1.9	8.0	7.4	15.4	45.1	39.5	45.7	9.9	4.3

(8) もりぐち児童クラブ「入会児童室」を利用していない理由

問 14 問 12 で「2」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。もりぐち児童クラブ「入会児童室」を利用していない理由は何ですか。もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

もりぐち児童クラブ「入会児童室」を利用していない理由についてみると、「ご自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない」が28.8%で最も高く、次いで「父母とも働いているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思う」が12.8%となっています。

前回調査と比べると、「父母とも働いているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思う」は今回調査の方が5.3ポイント高くなっています。



(9) もりぐち児童クラブ「入会児童室」の利用意向

問 14-1 問 12 で「2」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。
 封筒のあて名のお子さんについて、今後、父母とも働く予定があるなどの理由で、もりぐち児童クラブ「入会児童室」を利用したいとお考えですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、枠内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず（18：00）のように 24 時間制で記入してください。なお、利用にあたっては、利用者負担金が発生します。

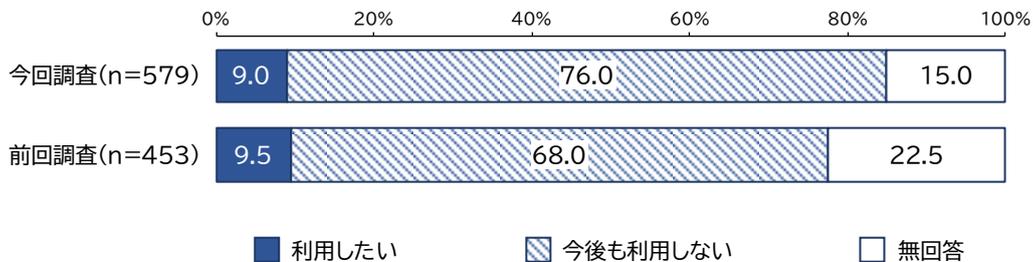
もりぐち児童クラブ「入会児童室」の利用意向についてみると、「利用したい」が 9.0%、「今後も利用しない」が 76.0%となっています。

前回調査と比べると、「利用したい」の割合に大きな差異はみられません。

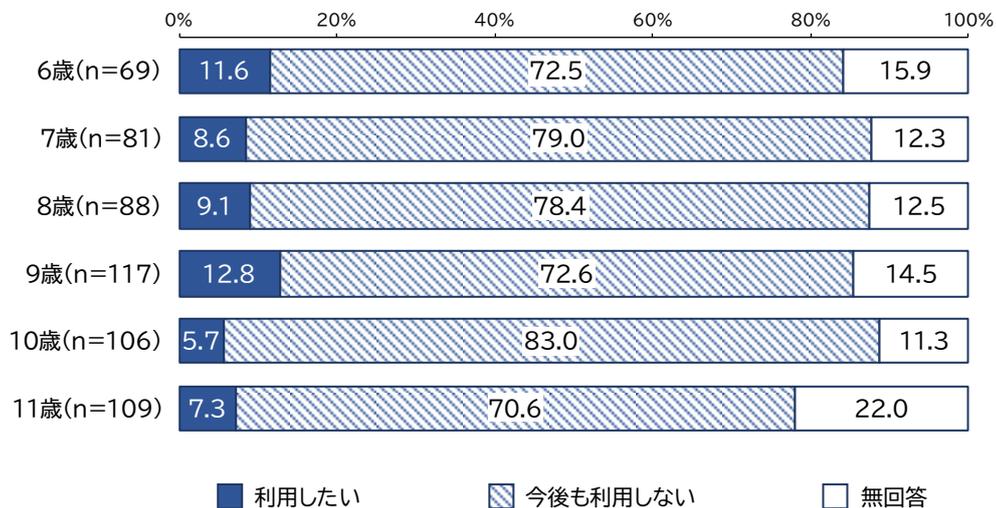
子どもの年齢別にみると、「利用したい」は 6 歳で 11.6%、9 歳で 12.8%となっており、他の年齢と比べてやや高くなっています。

母親の就労形態別にみると、フルタイムの「利用したい」が 12.5%と、他の就労形態と比べて高くなっています。

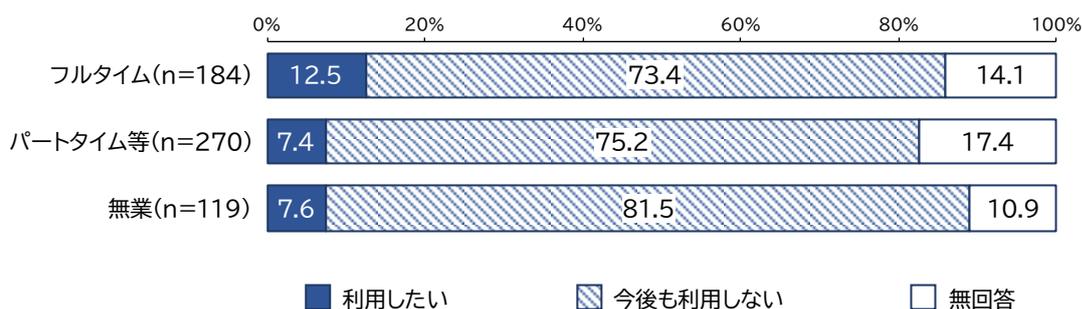
地域別にみると、東部で「利用したい」が 1 割以上と、他の地域と比べて高くなっています。



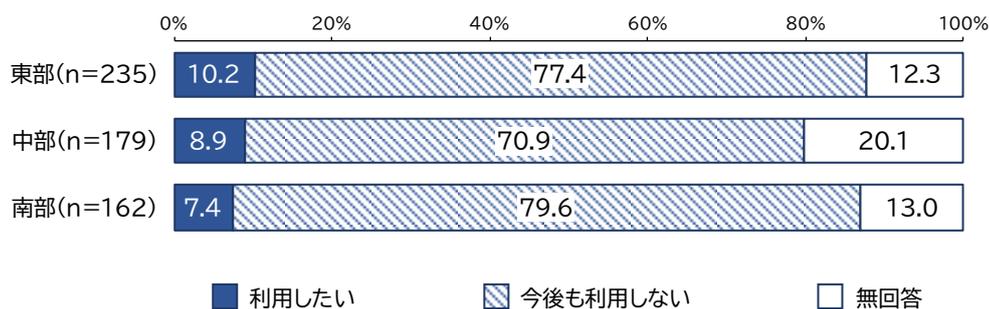
【子どもの年齢別】



【母親の就労形態別】



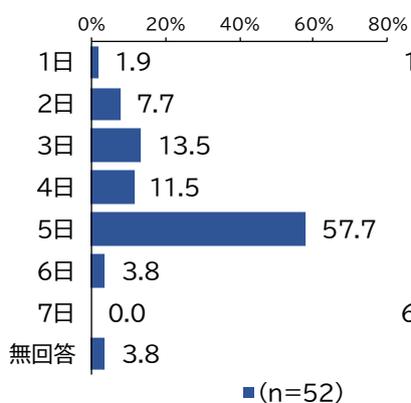
【地域別】



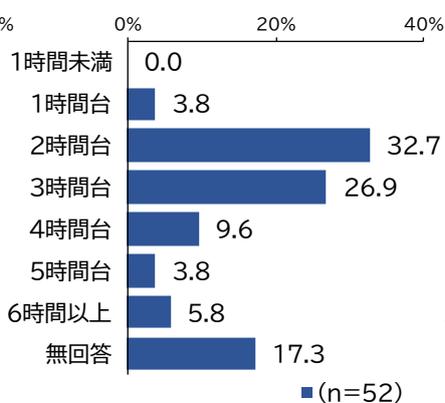
■ 希望する利用日数、利用時間、終了時間

もりぐち児童クラブ「入会児童室」で希望する利用日数、利用時間、終了時間についてみると、週当たり利用希望日数は「5日」が57.7%で最も高く、次いで「3日」が13.5%、「4日」が11.5%、「2日」が7.7%となっています。1日当たり利用希望時間は「2時間台」が32.7%で最も高く、次いで「3時間台」が26.9%、「4時間台」が9.6%となっています。希望終了時間は「17時台」が48.1%で最も高く、次いで「18時台」が23.1%、「19時台」が17.3%となっています。

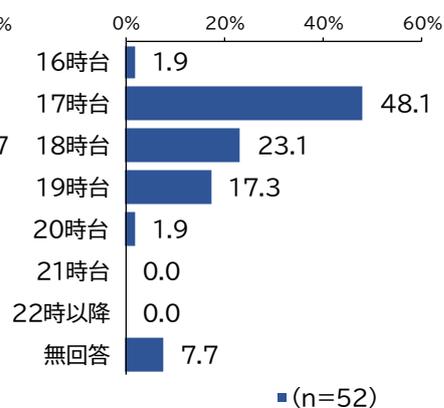
週当たり利用希望日数



1日当たり利用希望時間



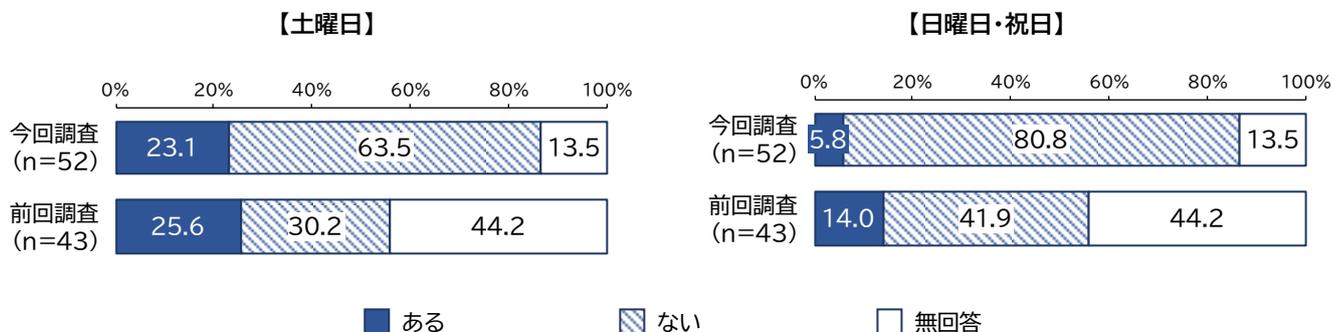
希望終了時間



■ 土曜日、日曜日・祝日の利用希望

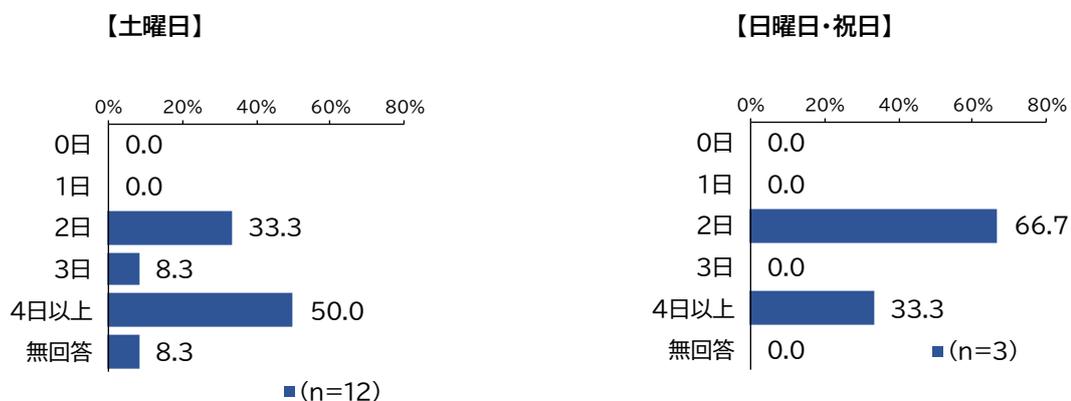
もりぐち児童クラブ「入会児童室」の土曜日、日曜日・祝日の利用希望についてみると、土曜日は「ある」が23.1%、「ない」が63.5%となっています。日曜日・祝日は「ある」が5.8%、「ない」が80.8%となっています。

前回調査と比べると、日曜日・祝日で「ある」は今回調査の方が8.2ポイント低くなっています。



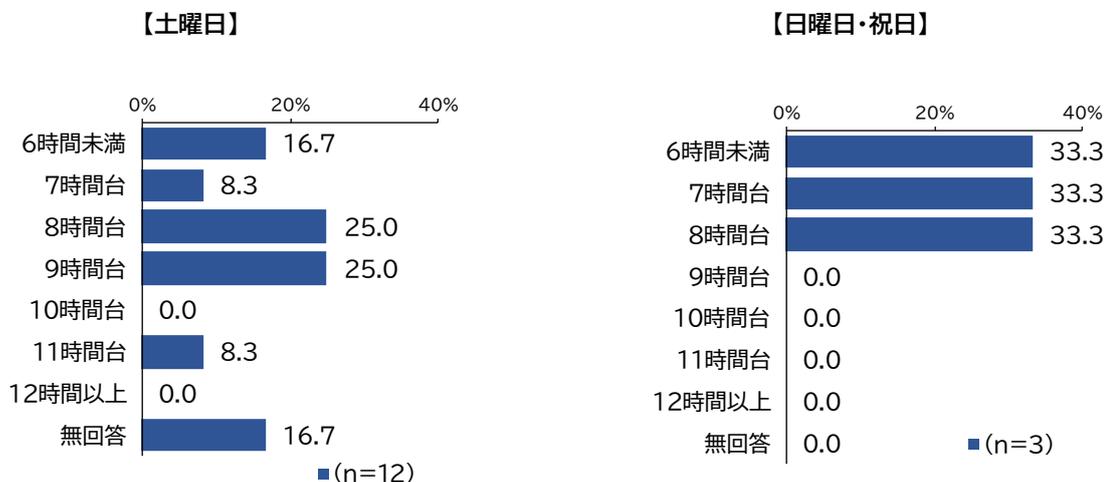
■ 土曜日、日曜日・祝日の月当たり利用希望日数

もりぐち児童クラブ「入会児童室」の土曜日、日曜日・祝日の月当たり利用希望日数についてみると、土曜日は「4日以上」が12人中6人(50.0%)、「2日」が12人中4人(33.3%)となっています。日曜日・祝日は「2日」が3人中2人(66.7%)、「4日以上」が3人中1人(33.3%)となっています。



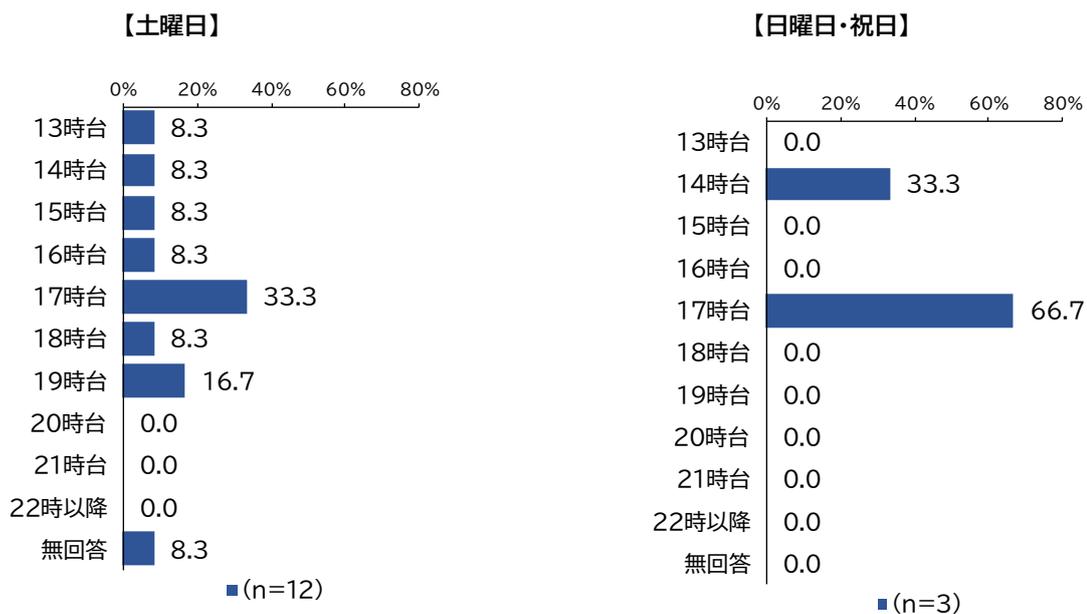
■ 土曜日、日曜日・祝日の1日当たり希望時間

もりぐち児童クラブ「入会児童室」の土曜日、日曜日・祝日の1日当たり希望時間についてみると、土曜日は「8時間台」と「9時間台」がともに12人中3人(25.0%)、「6時間未満」が12人中2人(16.7%)、「7時間台」と「11時間台」がともに12人中1人(8.3%)となっています。日曜日・祝日は「6時間未満」、「7時間台」、「8時間台」がいずれも3人中1人(33.3%)となっています。



■ 土曜日、日曜日・祝日の希望終了時間

もりぐち児童クラブ「入会児童室」の土曜日、日曜日・祝日の希望終了時間についてみると、土曜日は「17時台」が12人中4人(33.3%)、「19時台」が12人中2人(16.7%)となっています。日曜日・祝日は「17時台」が3人中2人(66.7%)、「14時台」が3人中1人(33.3%)となっています。



3. 子どもが病気などになったときの対応や一時預かりの利用状況について

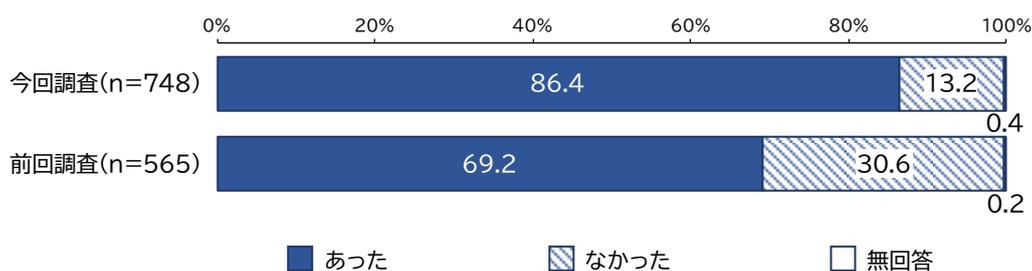
(1) 子どもの病気やけがで小学校を休まなければならなかった経験の有無

問 15 封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応についておうかがいします。
 この1年間に、封筒のあて名のお子さんが病気やけがで、小学校を休まなければならなかったことはありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

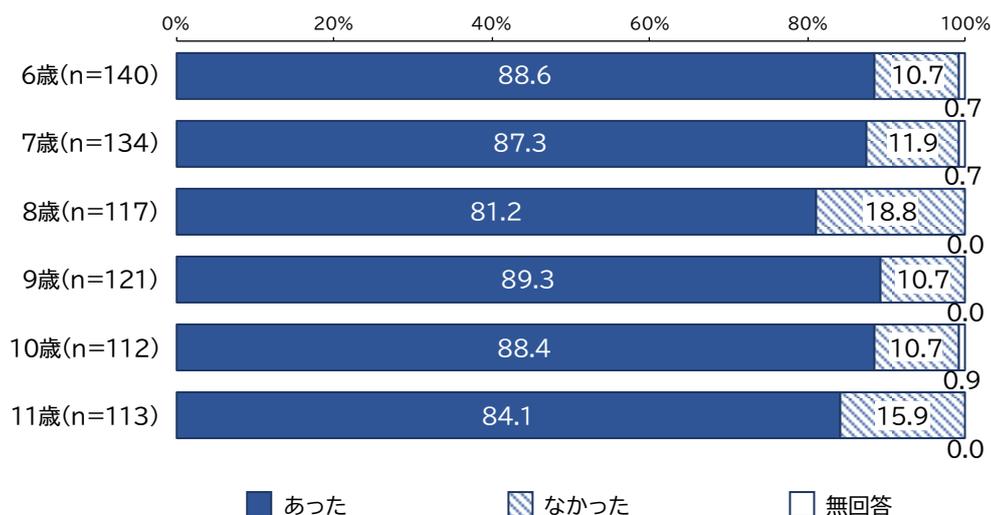
子どもの病気やけがで小学校を休まなければならなかった経験の有無についてみると、「あった」が86.4%、「なかった」が13.2%となっています。

前回調査と比べると、「あった」は今回調査の方が17.2ポイント高くなっています。

子どもの年齢別にみると、8歳で「あった」が81.2%と、他の年齢と比べてやや低くなっています。



【子どもの年齢別】



(2) 病気やけがで小学校を休まなければならなかった際の対応

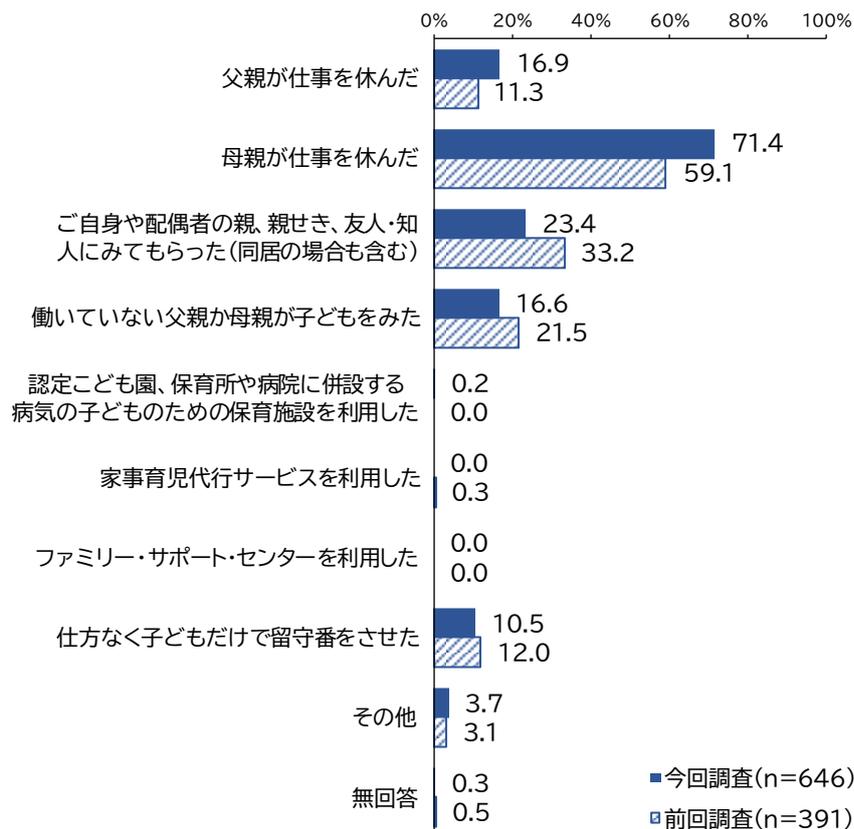
問 15-1 問 15 で「1」を選ばれた方におうかがいします。この1年間で、お子さんが病気で小学校を休まなければならなかった場合の対処方法、その日数は何日くらいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその日数について枠内に具体的な数字を入れてください。(半日程度についても1日としてカウントしてください。)

病気やけがで小学校を休まなければならなかった際の対応についてみると、「母親が仕事を休んだ」が71.4%で最も高く、次いで「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった(同居の場合も含む)」が23.4%、「父親が仕事を休んだ」が16.9%、「働いていない父親か母親が子どもをみた」が16.6%となっています。

前回調査と比べると、「母親が仕事を休んだ」は今回調査の方が12.3ポイント高く、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった(同居の場合も含む)」は今回調査の方が9.8ポイント低くなっています。

子どもの年齢別にみると、6歳で「母親が仕事を休んだ」が7割台後半(77.4%)と、他の年齢と比べて高くなっています。また、子どもの年齢が高くなるほど「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」の割合は高くなる傾向にあり、11歳で2割弱(18.9%)となっています。

母親の就労形態別にみると、フルタイムとパートタイム等で「母親が仕事を休んだ」、無業で「働いていない父親か母親が子どもをみた」がそれぞれ8割台で、他の年齢と比べて高くなっています。



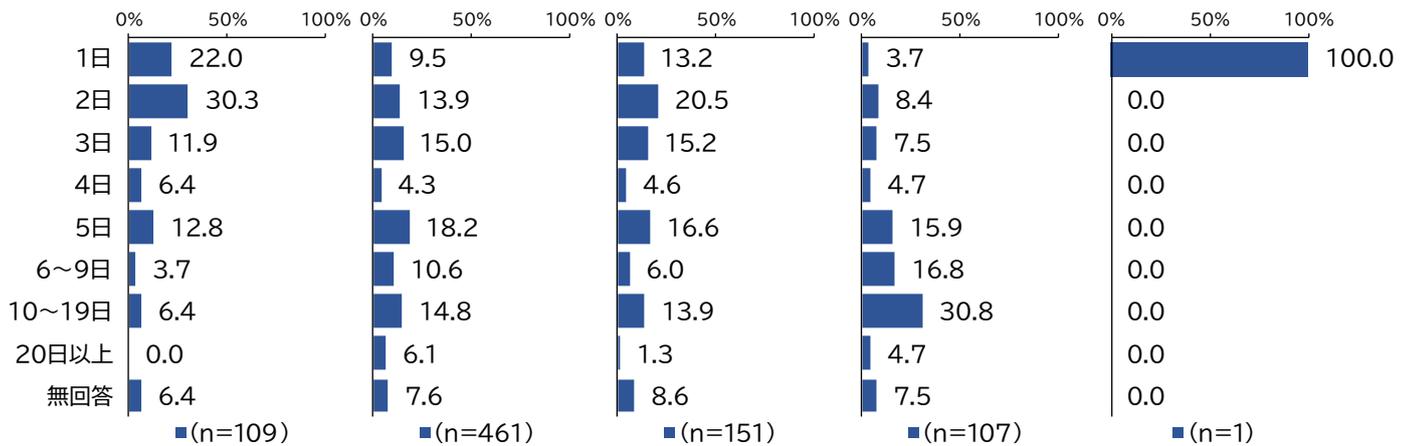
【子どもの年齢別、母親の就労形態別】

		回答者数 (n)	父親が仕事を休んだ	母親が仕事を休んだ	ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった(同居の場合も含む)	働いていない父親が母親が子どもをみた	認定子ども園、保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した	家事育児代行サービスを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体		646	16.9	71.4	23.4	16.6	0.2	-	-	10.5	3.7	0.3
子どもの年齢別	6歳	124	19.4	77.4	28.2	14.5	0.8	-	-	4.0	4.8	-
	7歳	117	22.2	74.4	14.5	19.7	-	-	-	4.3	3.4	-
	8歳	95	14.7	69.5	24.2	15.8	-	-	-	11.6	7.4	1.1
	9歳	108	16.7	71.3	26.9	16.7	-	-	-	13.0	2.8	-
	10歳	99	12.1	70.7	22.2	17.2	-	-	-	15.2	1.0	1.0
	11歳	95	12.6	62.1	23.2	15.8	-	-	-	18.9	2.1	-
母親の就労形態別	フルタイム	259	28.2	80.3	32.0	3.9	0.4	-	-	14.7	5.8	0.4
	パートタイム等	277	10.1	86.6	18.4	4.3	-	-	-	10.8	2.9	-
	無業	104	5.8	10.6	12.5	80.8	-	-	-	-	1.0	1.0

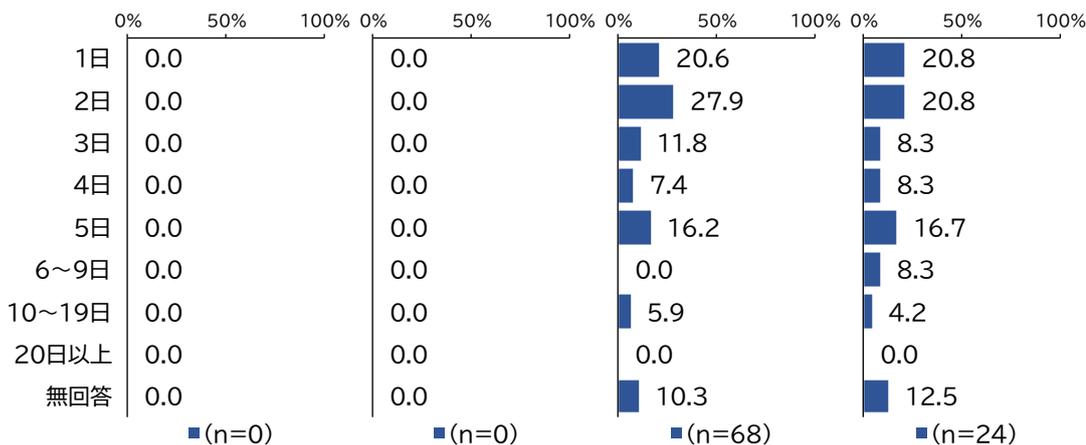
■ 1年当たり対処日数

病気やけがで小学校を休まなければならなかった際の1年当たりの対処日数についてみると、回答者が最も多い「2 母親が仕事を休んだ」では、「5日」が18.2%で最も高く、次いで「3日」が15.0%、「10～19日」が14.8%、「2日」が13.9%、「6～9日」が10.6%となっています。次いで回答者の多い「3 ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」では、「2日」が20.5%で最も高く、次いで「5日」が16.6%、「3日」が15.2%、「10～19日」が13.9%となっています。

- 1 父親が仕事を休んだ
 2 母親が仕事を休んだ
 3 ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった
 4 働いていない父親か母親が子どもをみた
 5 認定こども園、保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した



- 6 家事育児代行サービスを利用した
 7 ファミリー・サポート・センターを利用した
 8 仕方なく子どもだけで留守番をさせた
 9 その他



(3) 病児・病後児保育施設の利用意向

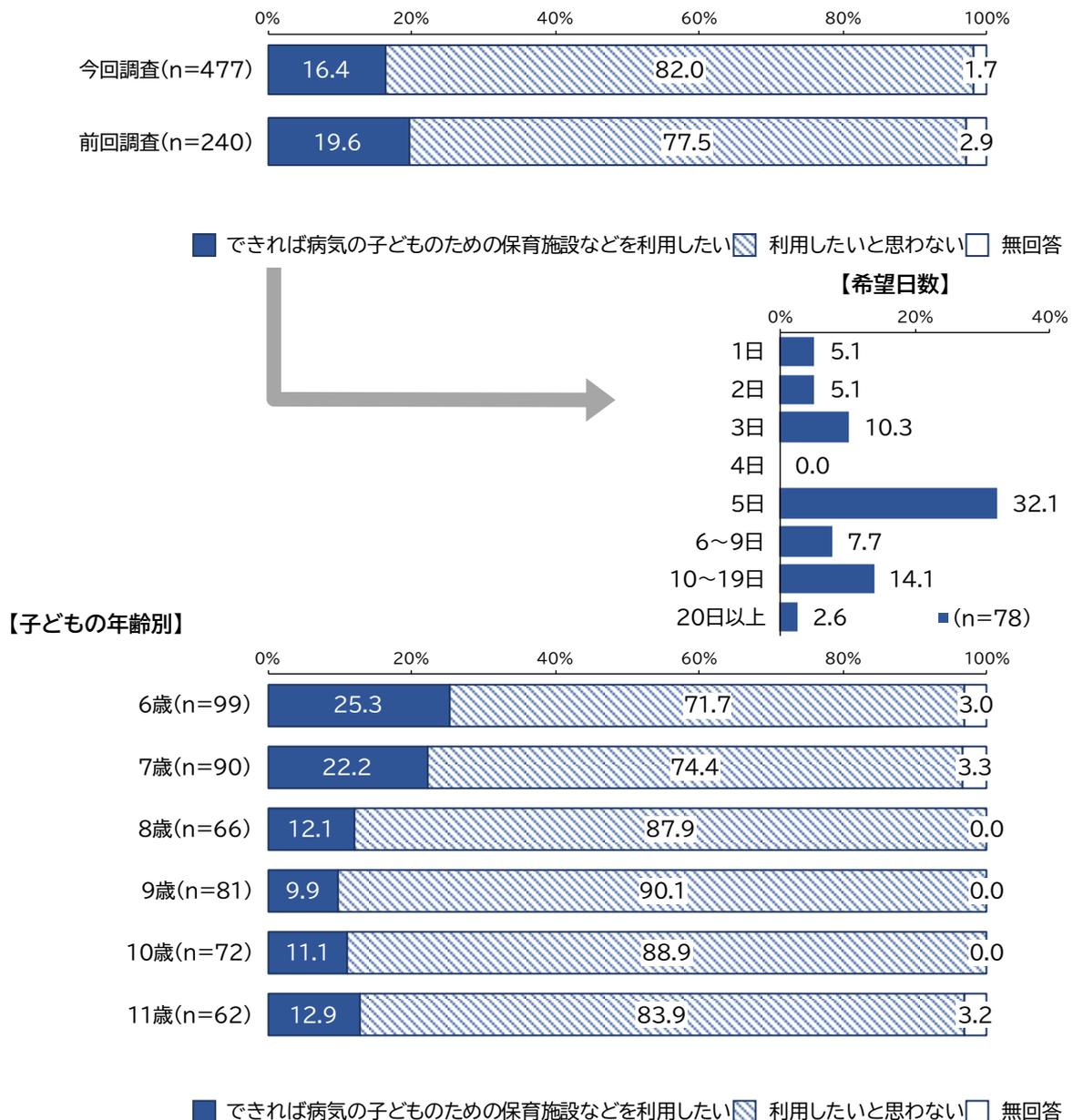
問 15-2 問 15-1 で「1」「2」を選ばれた方におうかがいします。
 そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。
 あてはまる番号に1つだけ○をつけ、希望がある方は年間に何日程度利用したいか具体的な日数
 を入れてください。なお、病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかか
 り、また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必
 要な場合があります。

病児・病後児保育施設の利用意向についてみると、「できれば病気の子どものための保育施設など
 を利用したい」が16.4%、「利用したいと思わない」が82.0%となっています。

前回調査と比べると、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」は今回調査の
 方が3.2ポイント低くなっています。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が低くなるほど「できれば病気の子どものための保育施設
 などを利用したい」の割合は概ね高くなる傾向にあり、6歳で25.3%となっています。

「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」場合の利用したい日数についてみる
 と、「5日」が32.1%で最も高く、次いで「10～19日」が14.1%となっています。



(4) 子どもを家族以外に一時的に預けた経験

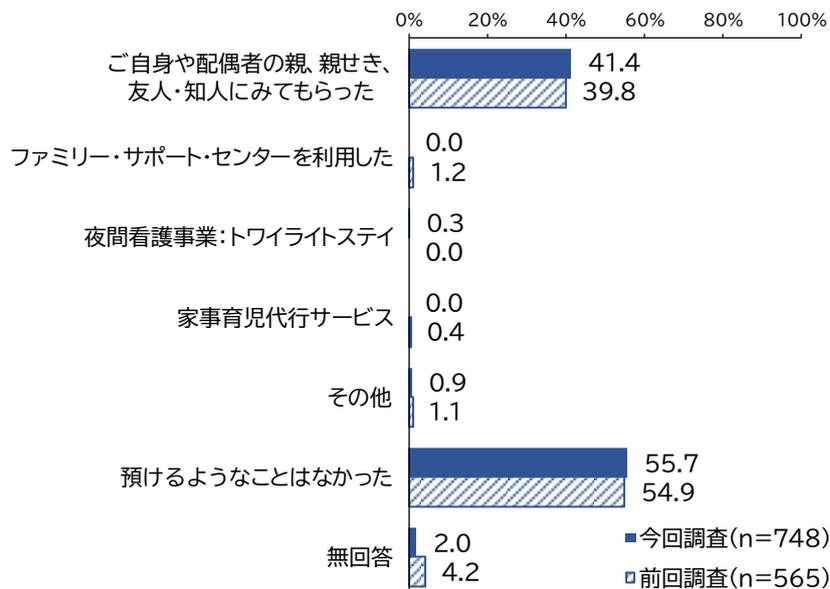
問 16 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。(子どもが病気などのときの保育施設などの利用は除きます。)あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数について枠内に具体的な数字を入れてください。

子どもを家族以外に一時的に預けた経験についてみると、「預けるようなことはなかった」が55.7%で最も高く、次いで「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」が41.4%となっています。

前回調査と比べると、大きな差異はみられません。

子どもの年齢別にみると、6歳で「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」が47.1%、8歳で「預けるようなことはなかった」が61.5%となっており、他の年齢と比べて高くなっています。

母親の就労形態別にみると、無業で「預けるようなことはなかった」が6割弱(59.0%)と、他の就労形態と比べて高くなっています。



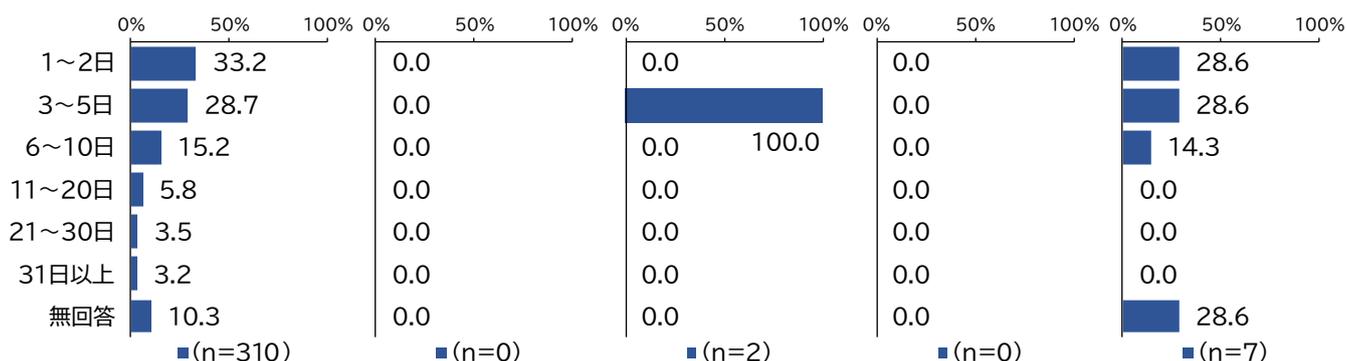
【子どもの年齢別、母親の就労形態別】

		回答者数 (n)	ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった	ファミリー・サポート・センターを利用した	夜間看護事業：トワイライトステイ	家事育児代行サービス	その他	預けるようなことはなかった	無回答
全体		748	41.4	-	0.3	-	0.9	55.7	2.0
子どもの年齢別	6歳	140	47.1	-	-	-	-	50.7	2.1
	7歳	134	41.8	-	1.5	-	2.2	51.5	4.5
	8歳	117	36.8	-	-	-	0.9	61.5	0.9
	9歳	121	45.5	-	-	-	2.5	52.9	-
	10歳	112	39.3	-	-	-	-	60.7	-
	11歳	113	35.4	-	-	-	-	60.2	4.4
母親の就労形態別	フルタイム	288	44.4	-	-	-	1.4	51.7	3.1
	パートタイム等	332	39.8	-	0.6	-	0.6	57.5	1.8
	無業	122	40.2	-	-	-	0.8	59.0	-

■ 1年当たり日数

子どもを家族以外に一時的に預けた経験について1年当たりの日数みると、回答者が最も多い「1ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」では、「1~2日」が33.2%で最も高く、次いで「3~5日」が28.7%、「6~10日」が15.2%となっています。

- 1 ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった
 2 ファミリー・サポート・センターを利用した
 3 夜間看護事業：トワイライトステイ
 4 家事育児代行サービス
 5 その他



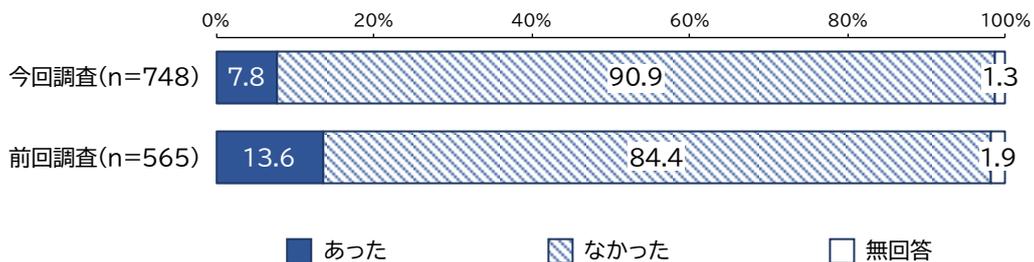
(5) 泊りがけで子どもを家族以外にみてもらった経験

問 17 この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事により、お子さんを「泊まりがけで」家族以外にみてもらわないといけないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます）
 「1」「2」のいずれかに○をつけ、「1」を選んだ場合には、あてはまる対処方法すべてに○をつけ、その対処方法ごとに枠内に日数を記入してください。

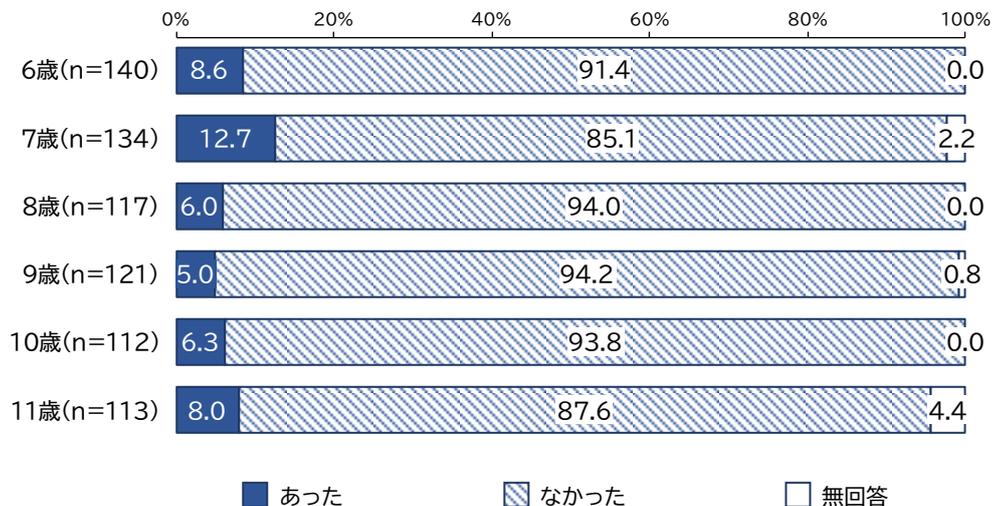
泊りがけで子どもを家族以外にみてもらった経験についてみると、「あった」が7.8%、「なかった」が90.9%となっています。

前回調査と比べると、「あった」は今回調査の方が5.8ポイント低くなっています。

子どもの年齢別にみると、7歳で「あった」が1割以上（12.7%）と、他の年齢と比べて高くなっています。

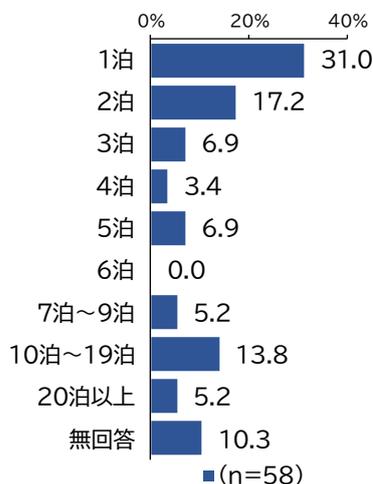


【子どもの年齢別】



■ 合計泊数

泊りがけで子どもを家族以外にみてもらった際の合計泊数についてみると、「1泊」が31.0%で最も高く、次いで「2泊」が17.2%、「10泊～19泊」が13.8%となっています。

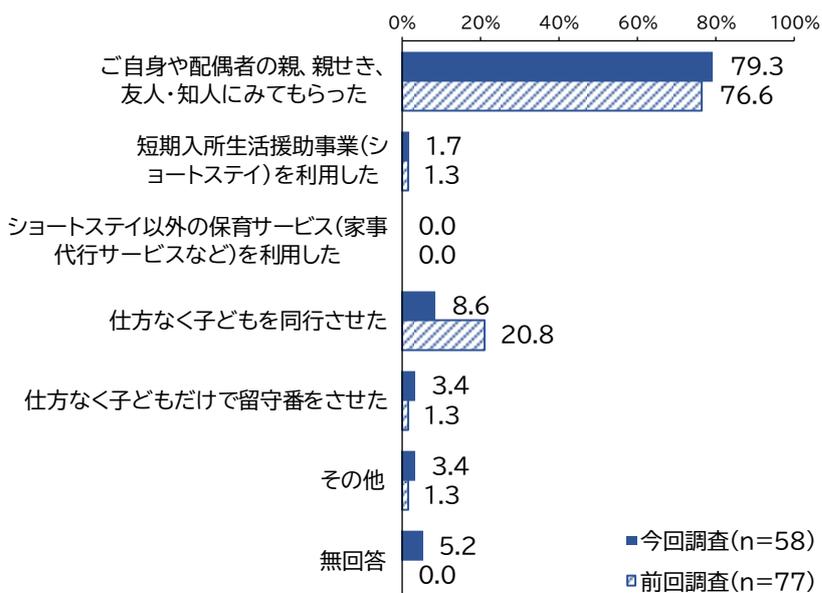


■ 対処方法

泊りがけで子どもを家族以外にみてもらった際の対処方法についてみると、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」が79.3%で最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が8.6%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と「その他」がともに3.4%となっています。

前回調査と比べると、「仕方なく子どもを同行させた」は今回調査の方が12.2ポイント低くなっています。

子どもの年齢別にみると、10歳で「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」が6割以下(57.1%)と、他の年齢と比べて大幅に低くなっています。



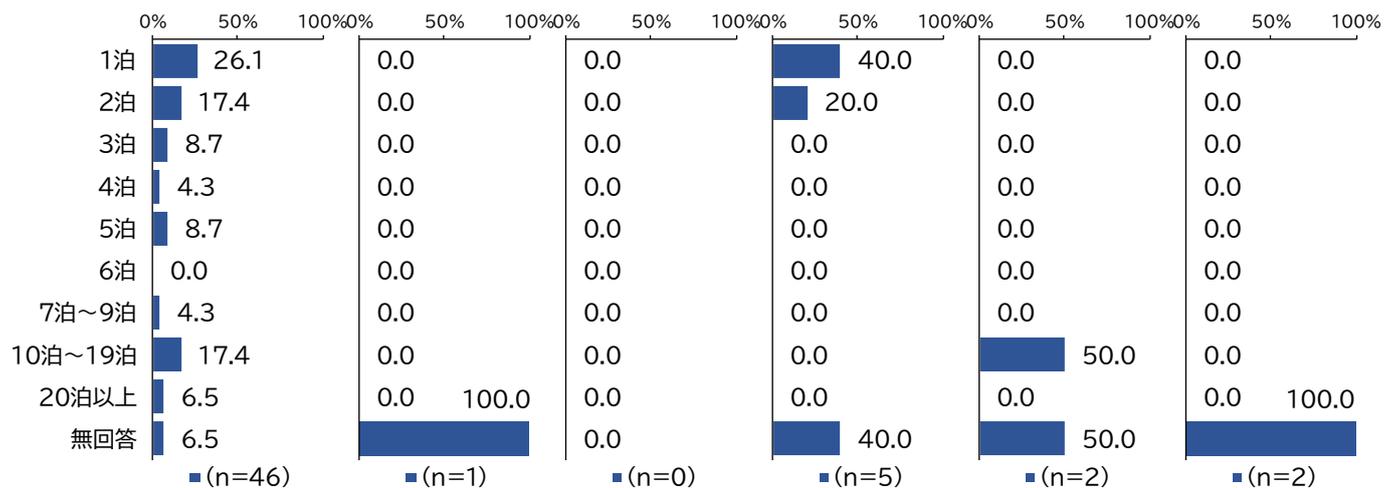
【子どもの年齢別】

		回答者数(n)	ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった (%)	短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (%)	ショートステイ以外の保育サービス(家事代行サービスなど)を利用した (%)	仕方なく子どもを同行させた (%)	仕方なく子どもだけで留守番をさせた (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		58	79.3	1.7	-	8.6	3.4	3.4	5.2
子どもの年齢別	6歳	12	83.3	-	-	8.3	8.3	8.3	-
	7歳	17	88.2	-	-	11.8	-	-	-
	8歳	7	71.4	-	-	-	14.3	14.3	-
	9歳	6	66.7	-	-	33.3	-	-	-
	10歳	7	57.1	-	-	-	-	-	42.9
	11歳	9	88.9	11.1	-	-	-	-	-

■ 1年当たり対処日数

泊りがけで子どもを家族以外にみてもらった際の1年当たりの対処日数については、回答者が最も多い「ア ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」では、「1泊」が26.1%で最も高く、次いで「2泊」と「10泊～19泊」がともに17.4%となっています。

- | | | | | | | | | | | | |
|---|----------------------------|---|--------------------------|---|-----------------------------------|---|---------------|---|-------------------|---|-----|
| ア | ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった | イ | 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した | ウ | ショートステイ以外の保育サービス(家事代行サービスなど)を利用した | エ | 仕方なく子どもを同行させた | オ | 仕方なく子どもだけで留守番をさせた | カ | その他 |
|---|----------------------------|---|--------------------------|---|-----------------------------------|---|---------------|---|-------------------|---|-----|



4. 仕事と子育ての両立について

(1) 子どもと過ごす時間

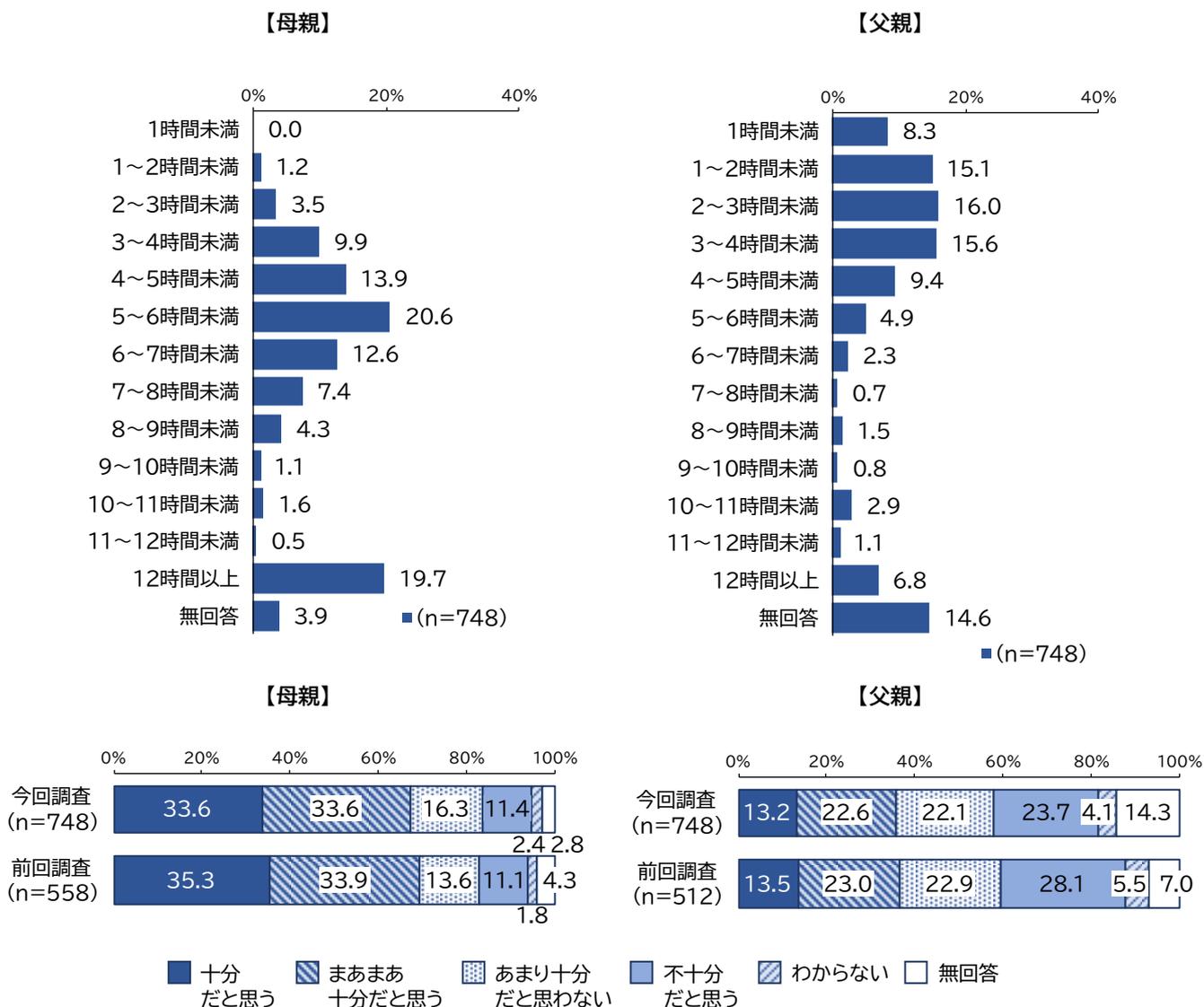
問 18 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。1週間の平均的な時間をお答えください。
また、その時間は十分だと思いますか。枠内の選択肢の中から選び、その番号を1つだけ記入してください。

■ 平日 子どもと一緒に過ごす時間

平日に子どもと一緒に過ごす時間についてみると、母親は「5～6時間未満」が20.6%で最も高く、次いで「12時間以上」が19.7%、「4～5時間未満」が13.9%、「6～7時間未満」が12.6%、「3～4時間未満」が9.9%となっています。父親は「2～3時間未満」が16.0%で最も高く、次いで「3～4時間未満」が15.6%、「1～2時間未満」が15.1%となっています。

平日に子どもと一緒に過ごす時間の十分さについてみると、母親は「十分だと思う」と「まあまあ十分だと思う」がともに33.6%で最も高く、次いで「あまり十分だと思わない」が16.3%となっています。父親は「不十分だと思う」が23.7%で最も高く、次いで「まあまあ十分だと思う」が22.6%となっています。

前回調査と比べると、父親で「不十分だと思う」は今回調査の方が4.4ポイント低くなっています。



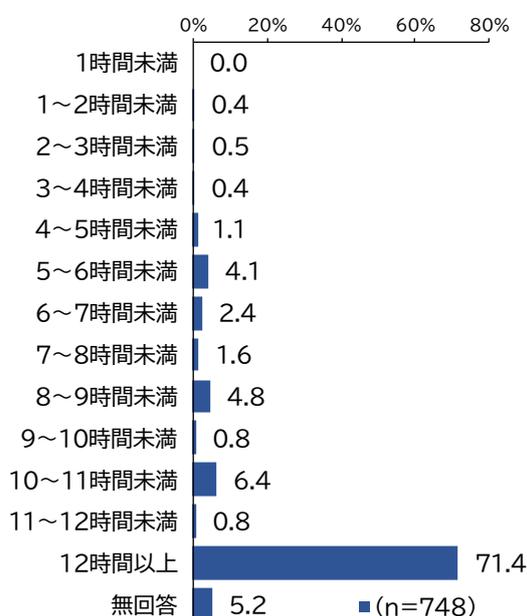
■ 休日 子どもと一緒に過ごす時間

休日に子どもと一緒に過ごす時間についてみると、母親は「12時間以上」が71.4%で最も高く、次いで「10～11時間未満」が6.4%、「8～9時間未満」が4.8%、「5～6時間未満」が4.1%となっています。父親は「12時間以上」が49.1%で最も高く、次いで「10～11時間未満」が8.6%、「5～6時間未満」と「8～9時間未満」がともに5.2%となっています。

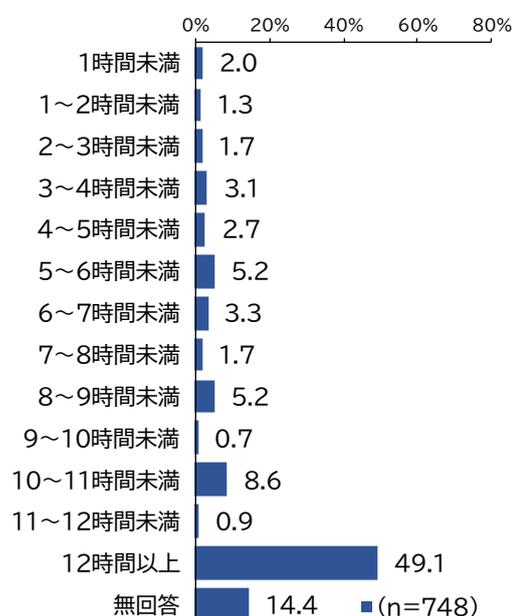
休日に子どもと一緒に過ごす時間の十分さについてみると、母親は「十分だと思う」が67.9%で最も高く、次いで「まあまあ十分だと思う」が20.1%、「あまり十分だと思わない」が4.7%、「不十分だと思う」が2.1%となっています。父親は「十分だと思う」が45.1%で最も高く、次いで「まあまあ十分だと思う」が22.9%、「あまり十分だと思わない」が7.8%、「不十分だと思う」が6.6%となっています。

前回調査と比べると、大きな差異はみられません。

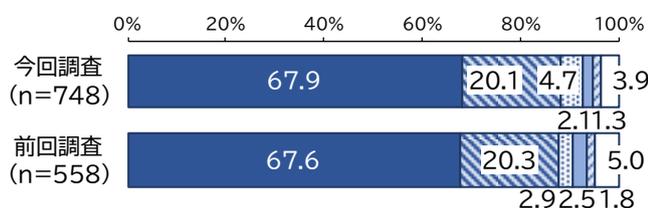
【母親】



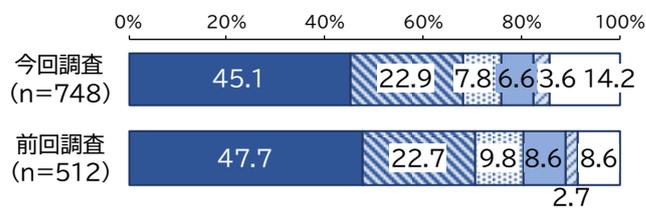
【父親】



【母親】



【父親】

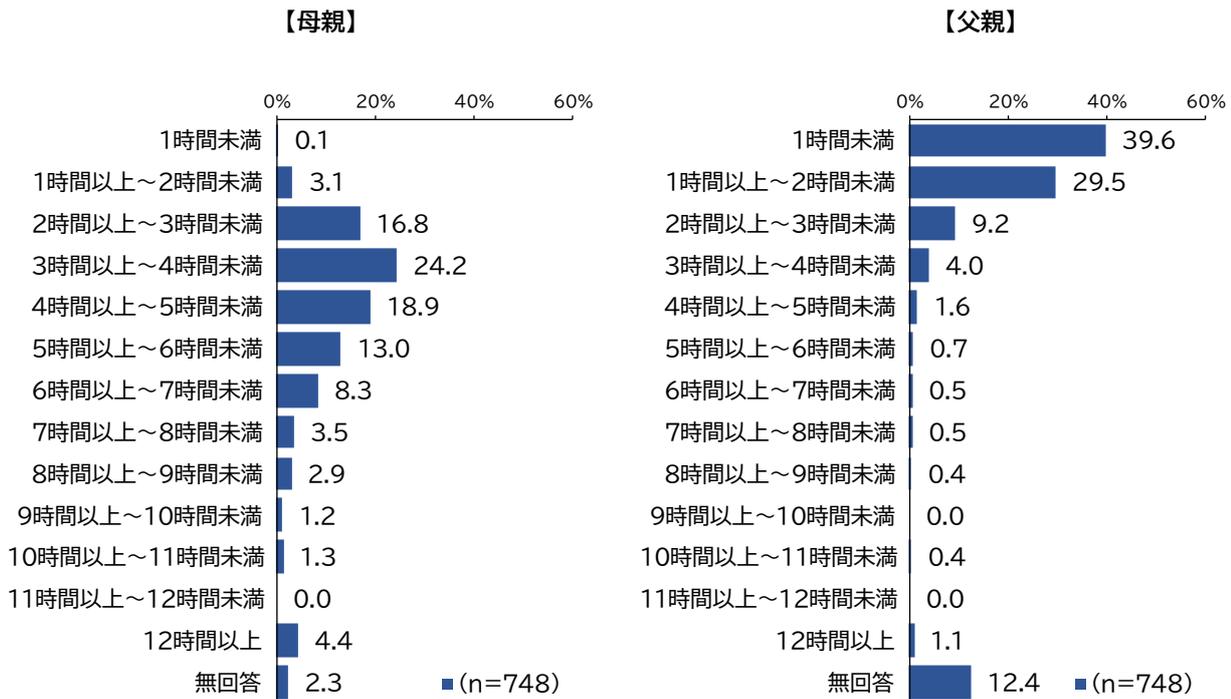


■ 十分 だと思ふ ■ まあまあ 十分だと思ふ ■ あまり十分 だと思わない ■ 不十分 だと思ふ ■ わからない ■ 無回答

(2) 家事時間

問 19 1日当たり家事を何時間くらいしますか。1週間の間でみた平均的な時間を記入してください。

家事時間についてみると、母親は「3時間以上～4時間未満」が24.2%で最も高く、次いで「4時間以上～5時間未満」が18.9%、「2時間以上～3時間未満」が16.8%、「5時間以上～6時間未満」が13.0%、「6時間以上～7時間未満」が8.3%、「12時間以上」が4.4%となっています。父親は「1時間未満」が39.6%で最も高く、次いで「1時間以上～2時間未満」が29.5%、「2時間以上～3時間未満」が9.2%となっています。

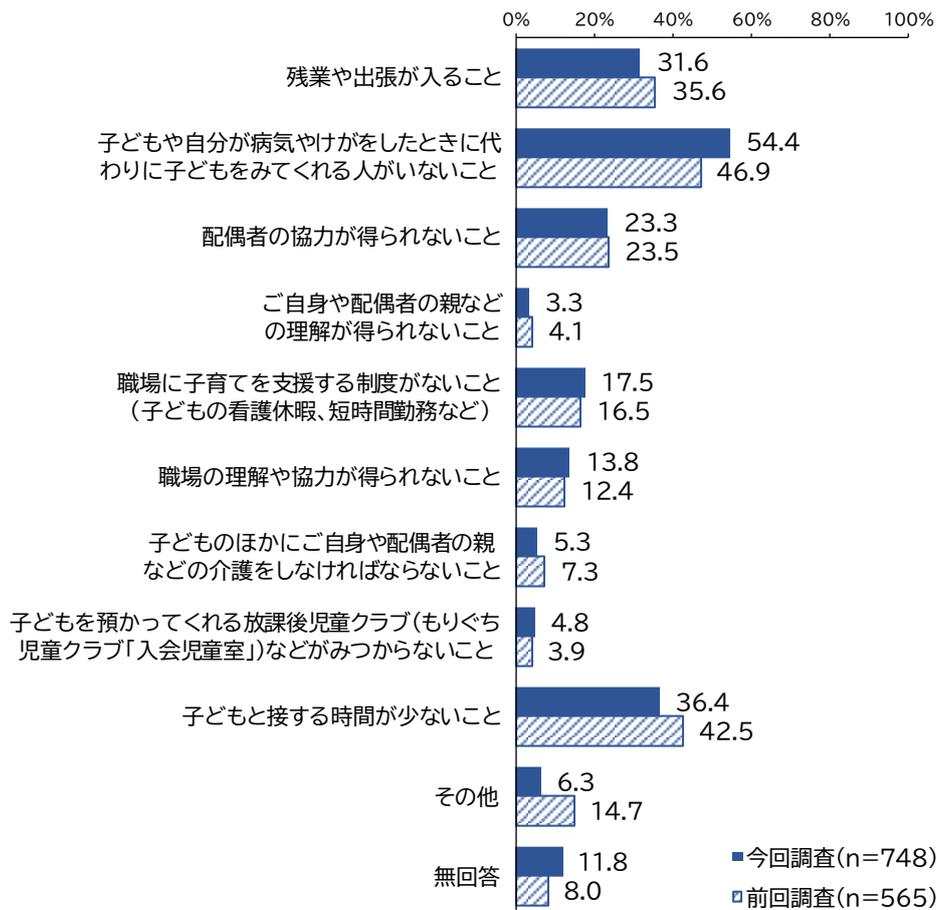


(3) 仕事と子育てを両立させる上での課題

問 20 仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

仕事と子育てを両立させる上での課題についてみると、「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」が54.4%で最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ないこと」が36.4%、「残業や出張が入ること」が31.6%となっています。

前回調査と比べると、「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」は今回調査の方が7.5ポイント高く、「子どもと接する時間が少ないこと」は今回調査の方が6.1ポイント低くなっています。



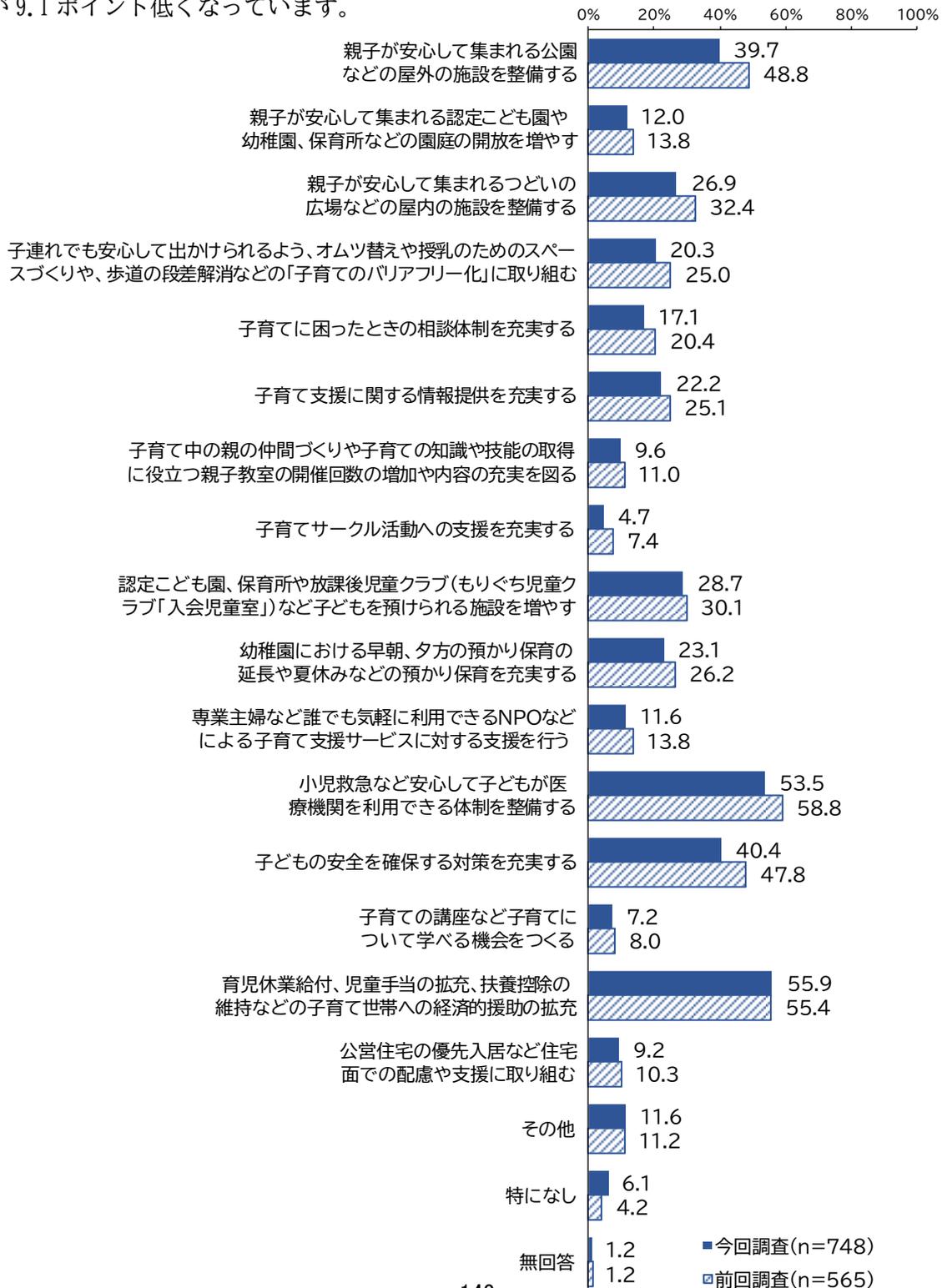
5. 市役所などへの要望について

(1) 充実してほしい子育て支援サービス

問 21 市役所などに対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

充実してほしい子育て支援サービスについてみると、「育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持などの子育て世帯への経済的援助の拡充」が55.9%で最も高く、次いで「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」が53.5%となっています。

前回調査と比べると、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」は今回調査の方が9.1ポイント低くなっています。



6. 子どもの生活習慣について

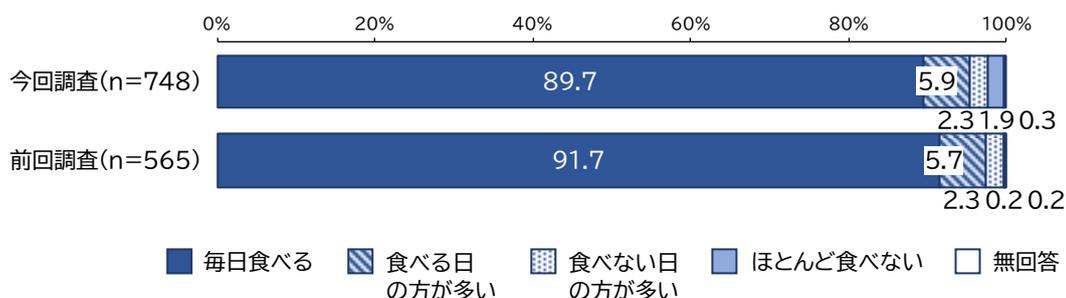
(1) 子どもの生活習慣

問 22 お子さんの生活習慣にあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

①朝食摂取状況

朝食摂取状況についてみると、「毎日食べる」が89.7%で最も高く、次いで「食べる日の方が多い」が5.9%、「食べない日の方が多い」が2.3%、「ほとんど食べない」が1.9%となっています。

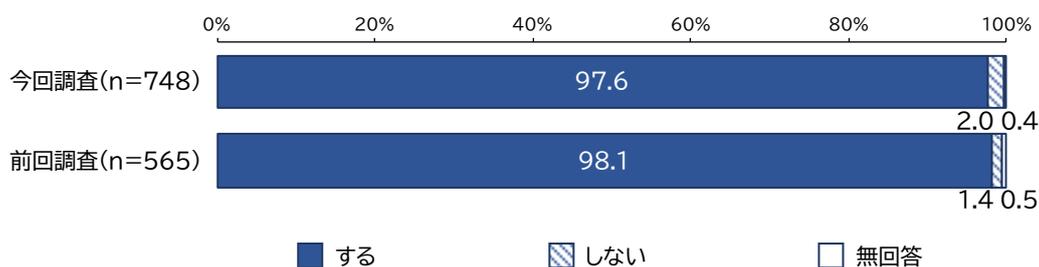
前回調査と比べると、大きな差異はみられません。



②共食の状況

共食の状況についてみると、「する」が97.6%、「しない」が2.0%となっています。

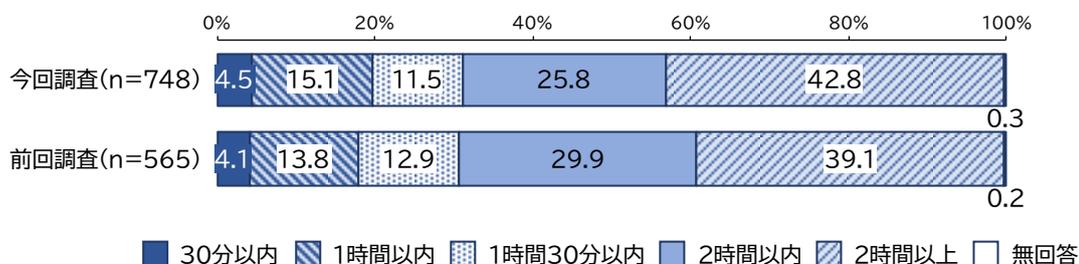
前回調査と比べると、大きな差異はみられません。



③1日のテレビ・ビデオの視聴時間

1日のテレビ・ビデオの視聴時間についてみると、「2時間以上」が42.8%で最も高く、次いで「2時間以内」が25.8%、「1時間以内」が15.1%、「1時間30分以内」が11.5%となっています。

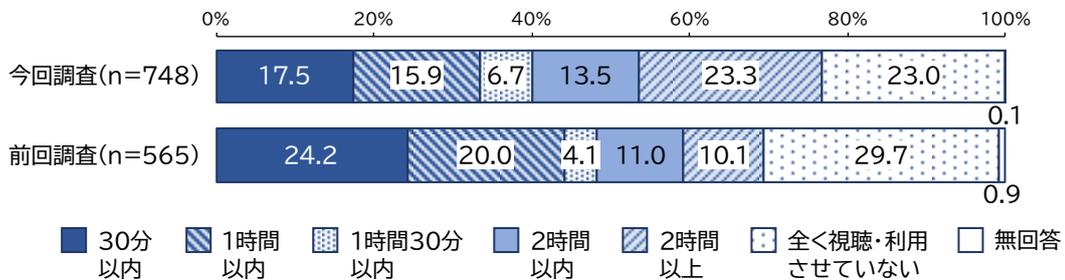
前回調査と比べると、「2時間以上」は今回調査の方が3.7ポイント高くなっています。



④1日のスマートフォンの利用時間

1日のスマートフォンの利用時間についてみると、「2時間以上」が23.3%で最も高く、次いで「全く視聴・利用させていない」が23.0%、「30分以内」が17.5%、「1時間以内」が15.9%、「1時間以内」が13.5%、「2時間以内」が13.5%となっています。

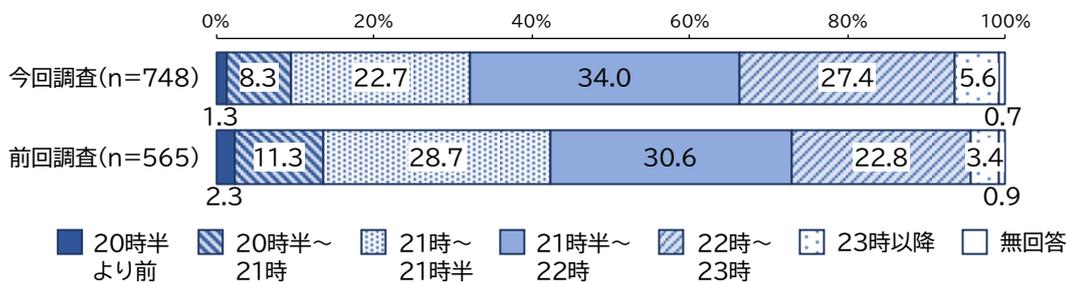
前回調査と比べると、『1時間以内』（「30分以内」と「1時間以内」の合計）は今回調査の方が10.8ポイント低くなっています。



⑤就寝時刻

就寝時刻についてみると、「21時半～22時」が34.0%で最も高く、次いで「22時～23時」が27.4%、「21時～21時半」が22.7%となっています。

前回調査と比べると、22時より後に寝る割合は今回調査の方が6.8ポイント高く、全体的に就寝時刻が遅くなっています。

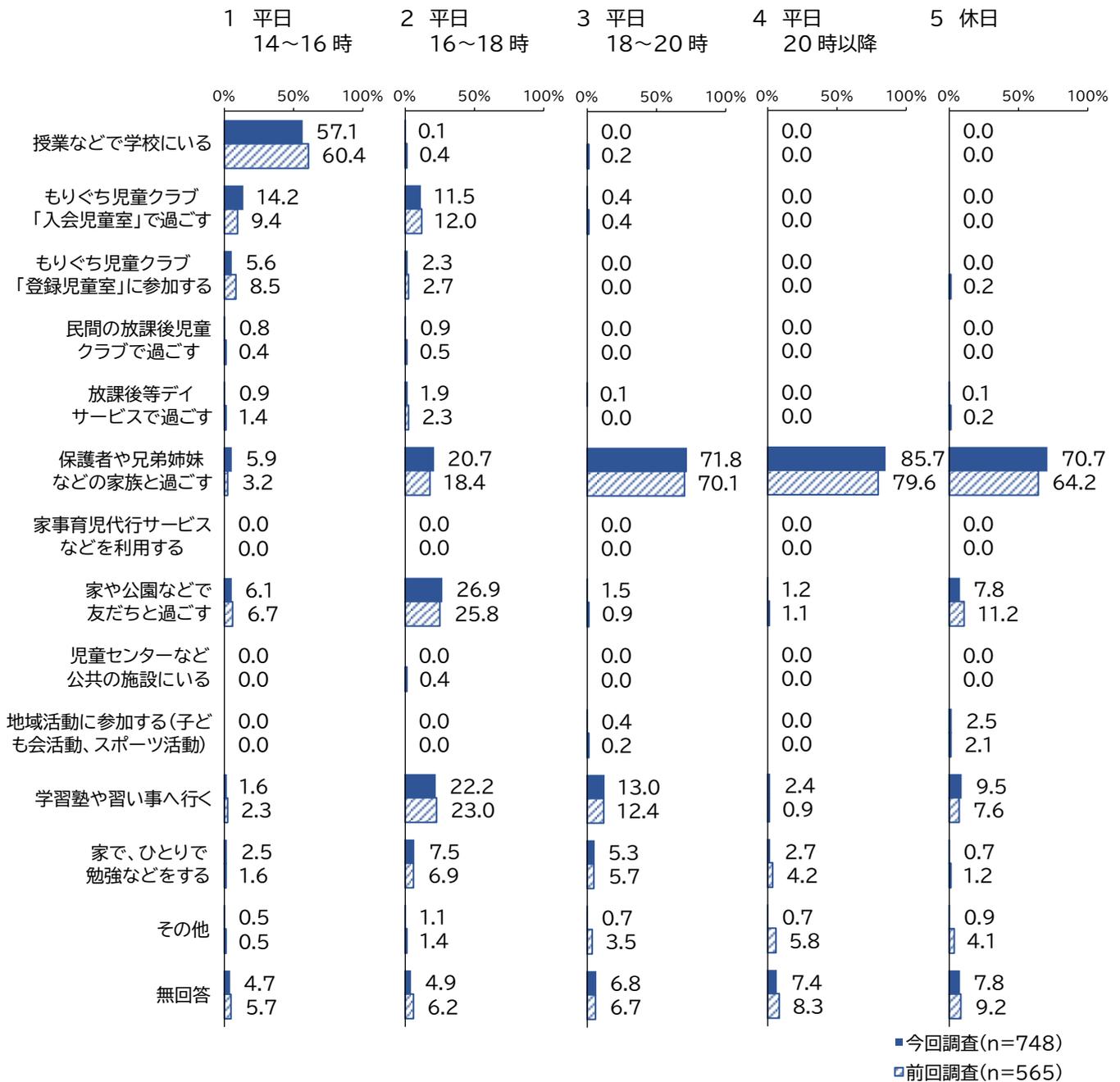


(1) 放課後や休日の過ごし方

問 23 平日の放課後および休日のお子さんの普段の過ごし方で1番多いものについて、時間帯ごとに、枠内の選択肢の中からあてはまる番号を1つだけ選んで記入してください。

放課後や休日の過ごし方についてみると、「1 平日 14～16時」では「授業などで学校にいる」が57.1%で最も高くなっています。「2 平日 16～18時」では、「家や公園などで友だちと過ごす」、「学習塾や習い事へ行く」、「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」がそれぞれ2割台となっています。それ以外の時間帯では「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」がいずれも7割以上で最も高くなっています。

前回調査と比べると、「5 休日」で「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」は今回調査の方が6.5ポイント高くなっています。



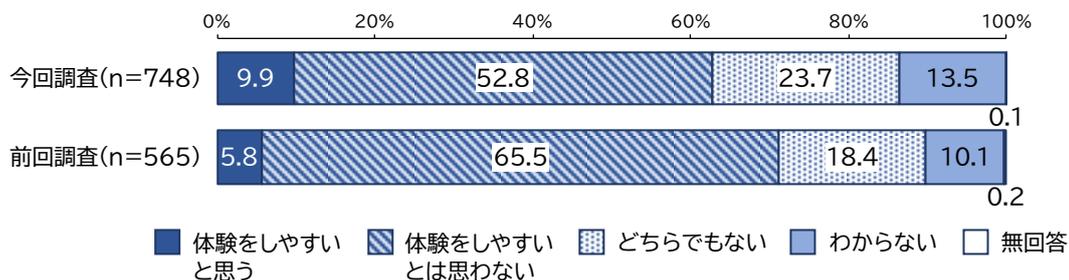
7. 地域での自然体験などへの参加などについて

(1) 自然、社会、文化などの体験をしやすい環境だと思うか

問 24 お住まいの地域が、自然に囲まれている、文化施設が充実しているなど、子どもにとって自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であると考えますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

自然、社会、文化などの体験をしやすい環境だと思うかについてみると、「体験をしやすいとは思わない」が52.8%で最も高く、次いで「どちらでもない」が23.7%、「わからない」が13.5%、「体験をしやすいと思う」が9.9%となっています。

前回調査と比べると、「体験をしやすいとは思わない」は今回調査の方が12.7ポイント低くなっています。

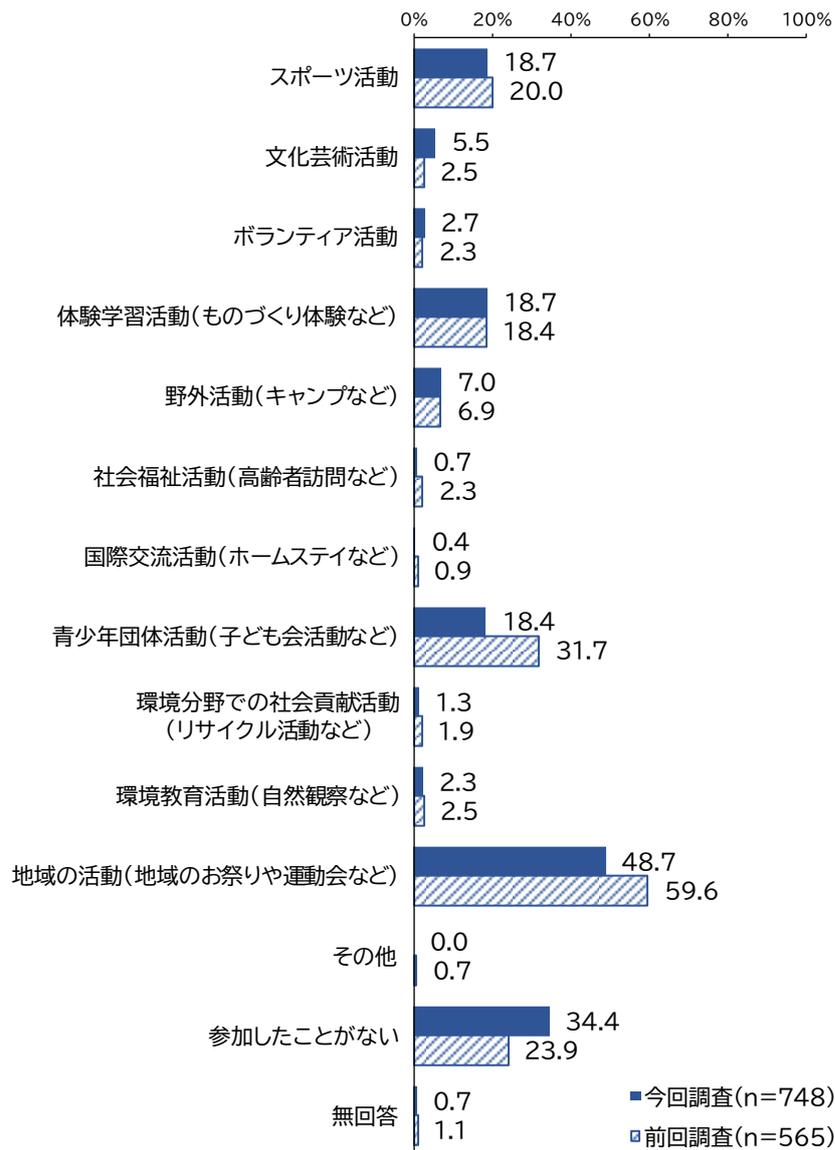


(2) 参加したことがある自然、社会、文化などの活動

問 25 参加したことがある地域での自然体験、社会参加、文化活動はどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

参加したことがある自然、社会、文化などの活動についてみると、「地域の活動（地域のお祭りや運動会など）」が 48.7%で最も高く、次いで「参加したことがない」が 34.4%、「スポーツ活動」と「体験学習活動（ものづくり体験など）」がともに 18.7%、「青少年団体活動（子ども会活動など）」が 18.4%となっています。

前回調査と比べると、「青少年団体活動（子ども会活動など）」は今回調査の方が 13.3 ポイント低くなっています。

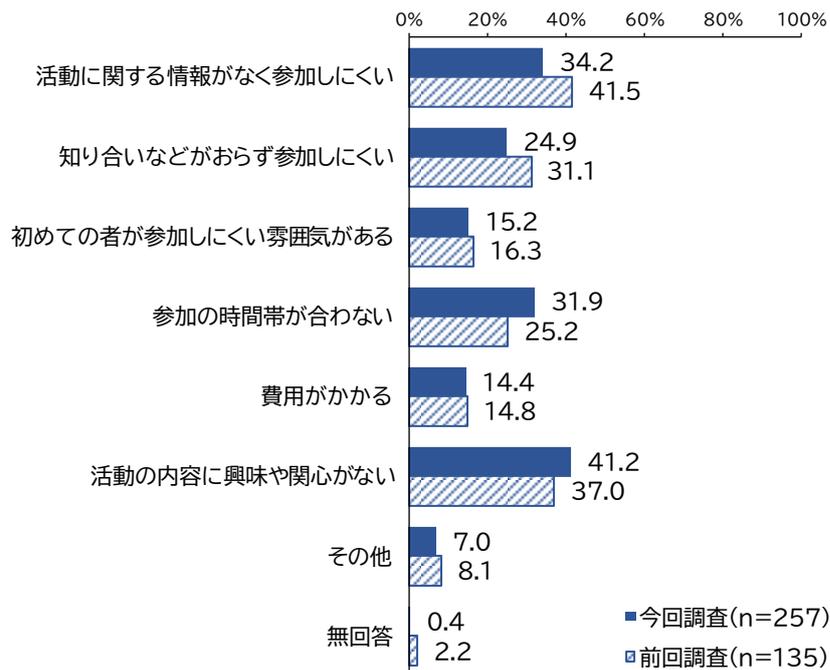


(3) 自然、社会、文化などの活動に参加しない理由

問 25-1 問 25 で「13」を選ばれた方におうかがいします。お子さんがこれまで参加していない理由は何ですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

自然、社会、文化などの活動に参加しない理由についてみると、「活動の内容に興味や関心がない」が41.2%で最も高く、次いで「活動に関する情報がなく参加しにくい」が34.2%、「参加の時間帯が合わない」が31.9%となっています。

前回調査と比べると、「活動に関する情報がなく参加しにくい」は今回調査の方が7.3ポイント低く、「参加の時間帯が合わない」は今回調査の方が6.7ポイント高くなっています。

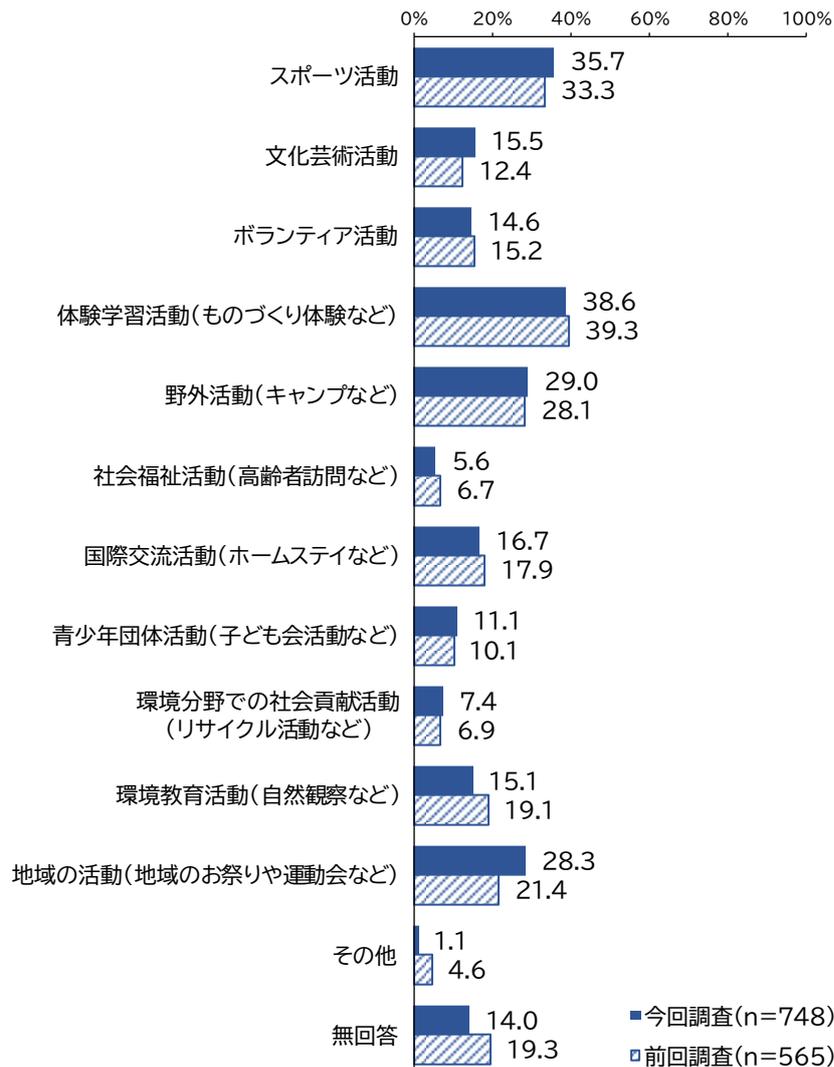


(4) 今後参加させたい自然、社会、文化などの活動

問 26 お子さんが参加したことはないが、今後参加させたいと思っている地域における自然体験、社会参加、文化活動は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

今後参加させたい自然、社会、文化などの活動についてみると、「体験学習活動（ものづくり体験など）」が 38.6%で最も高く、次いで「スポーツ活動」が 35.7%、「野外活動（キャンプなど）」が 29.0%、「地域の活動（地域のお祭りや運動会など）」が 28.3%となっています。

前回調査と比べると、「地域の活動（地域のお祭りや運動会など）」は今回調査の方が 6.9 ポイント高くなっています。



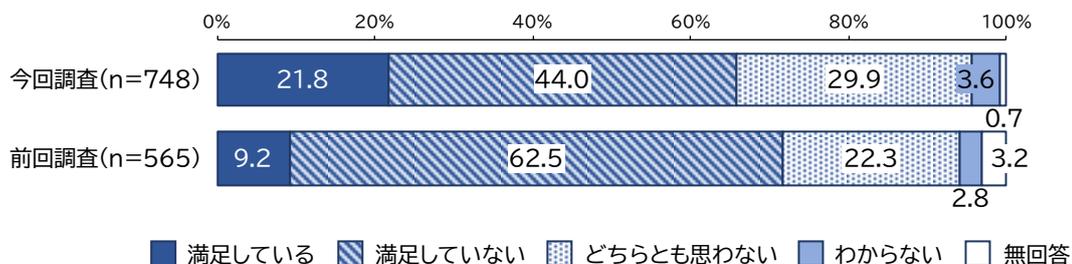
8. 子育てを支援する生活環境について

(1) 遊び場に関する満足度

問 27 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。
あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

遊び場に関する満足度についてみると、「満足していない」が44.0%で最も高く、次いで「どちらとも思わない」が29.9%、「満足している」が21.8%となっています。

前回調査と比べると、「満足している」は今回調査の方が12.6ポイント高くなっています。

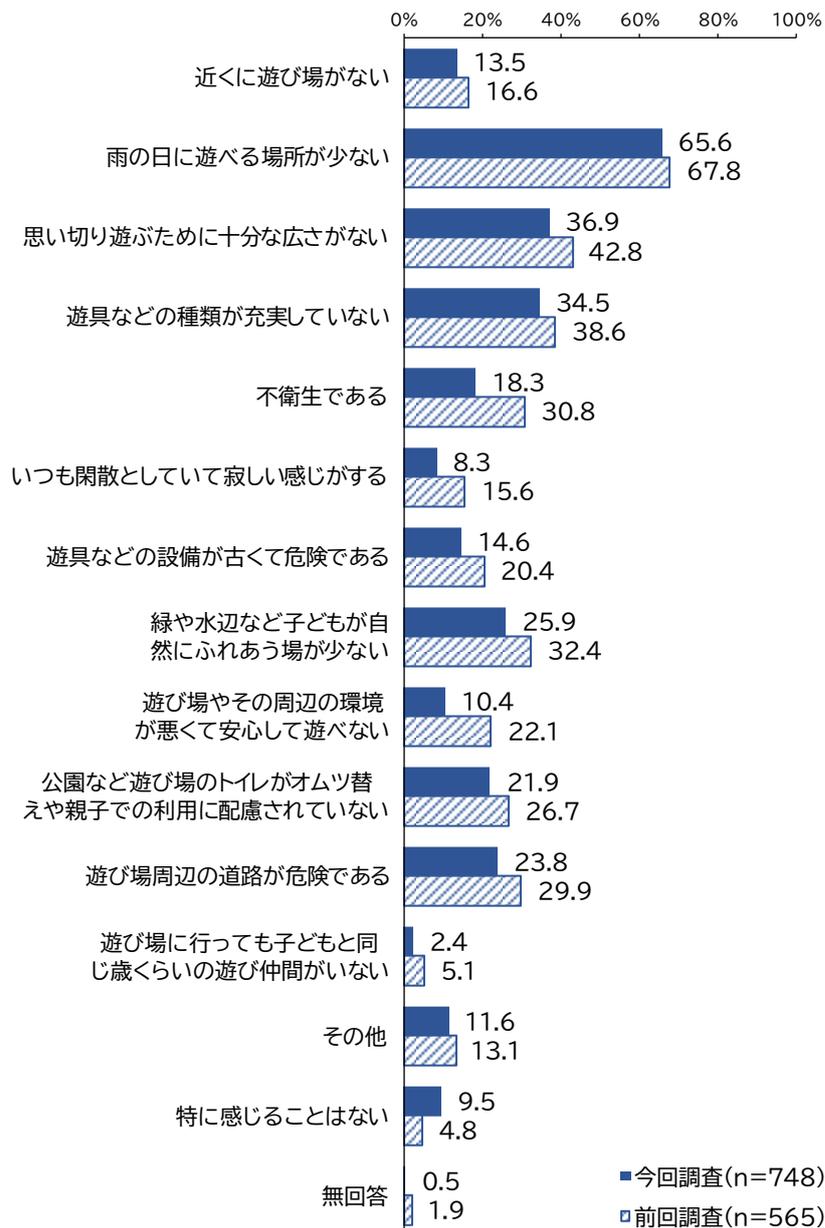


(2) 遊び場について日頃感じていること

問 28 お住まいの地域の子どもの遊び場について日頃感じることは何ですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

遊び場について日頃感じていることについてみると、「雨の日に遊べる場所が少ない」が65.6%で最も高く、次いで「思い切り遊ぶために十分な広さがない」が36.9%、「遊具などの種類が充実していない」が34.5%となっています。

前回調査と比べると、すべての項目の回答割合が前回調査よりも低くなっています。



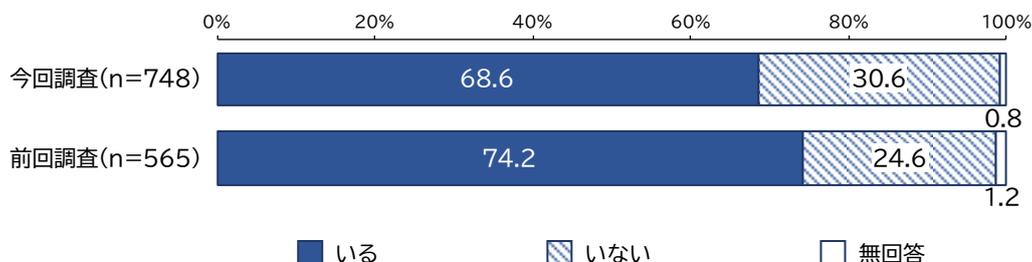
9. 子育てに対する意識について

(1) 地域における子どもの話や世間話をする人の有無

問 29 近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。

地域における子どもの話や世間話をする人の有無についてみると、「いる」が68.6%、「いない」が30.6%となっています。

前回調査と比べると、「いる」は今回調査の方が5.6ポイント低くなっています。

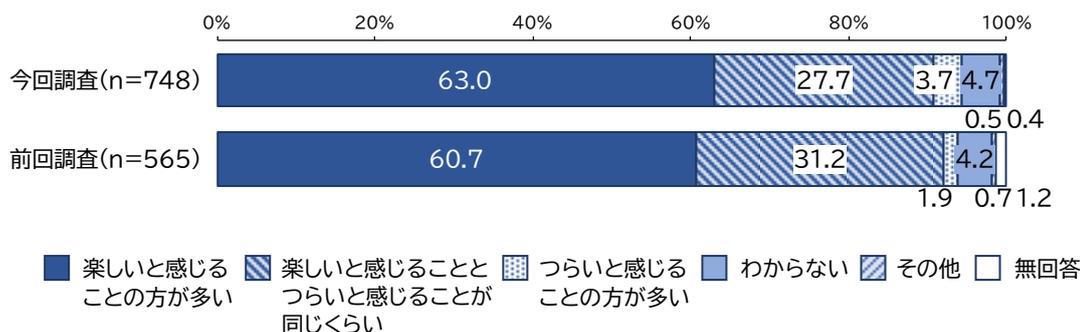


(2) 子育てに対する気持ち

問 30 ご自身にとって子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

子育てに対する気持ちについてみると、「楽しいと感じることの方が多く」が63.0%で最も高く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」が27.7%、「わからない」が4.7%、「つらいと感じることの方が多く」が3.7%となっています。

前回調査と比べると、「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」は今回調査の方が3.5ポイント低くなっています。

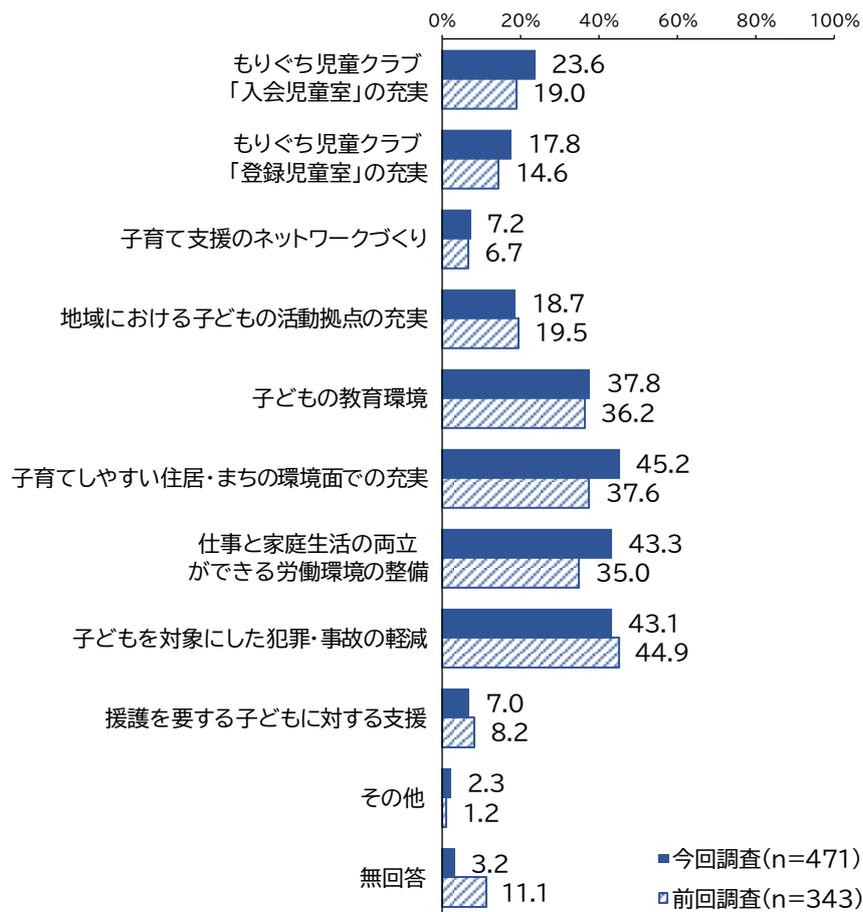


(3) 子育てをする中で有効だと感じる支援・対策

問 30-1 問 30 で「1」を選ばれた方におうかがいします。
 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効だと感じていますか。
 あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

子育てをする中で有効だと感じる支援・対策についてみると、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が45.2%で最も高く、次いで「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が43.3%、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が43.1%となっています。

前回調査と比べると、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」と「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」は今回調査の方がそれぞれ8.3ポイント、7.6ポイント高くなっています。



(4) 子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策

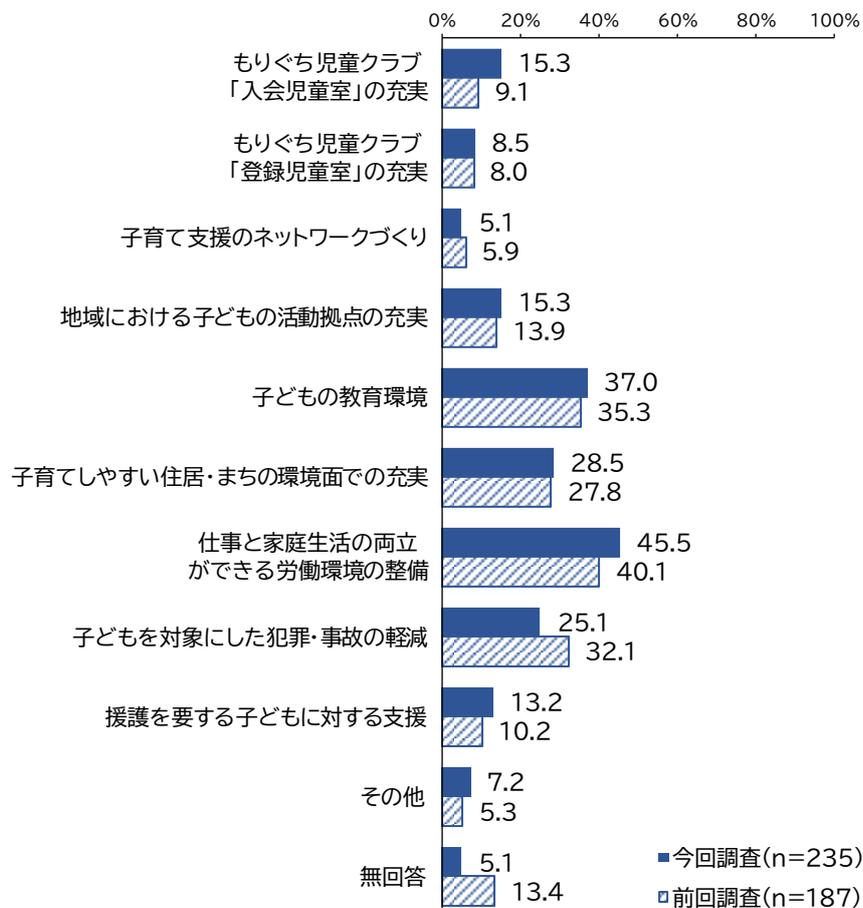
問 30-2 問 30 で「2」または「3」を選ばれた方におうかがいします。

あなたにとって子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は何ですか。

あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策についてみると、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が45.5%で最も高く、次いで「子どもの教育環境」が37.0%、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が28.5%、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が25.1%となっています。

前回調査と比べると、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」は今回調査の方が7.0ポイント低く、「もりぐち児童クラブ『入会児童室』の充実」は今回調査の方が6.2ポイント高くなっています。



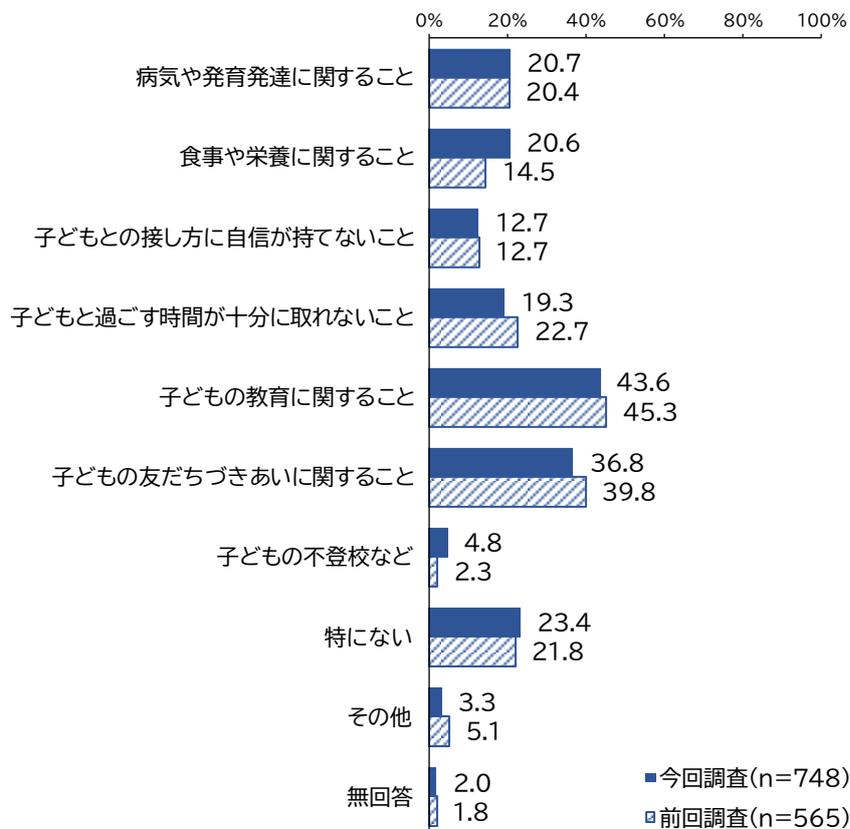
(5) 子育てについて日常悩んでいること、気になっていること

問 31 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれあてはまる番号すべてに○をつけてください。

■ 子どもに関すること

子育てについて日常悩んでいること、気になっていることで、子どもに関することについてみると、「子どもの教育に関すること」が43.6%で最も高く、次いで「子どもの友だちづきあいに関すること」が36.8%、「特にない」が23.4%、「病気や発育発達に関すること」が20.7%、「食事や栄養に関すること」が20.6%となっています。

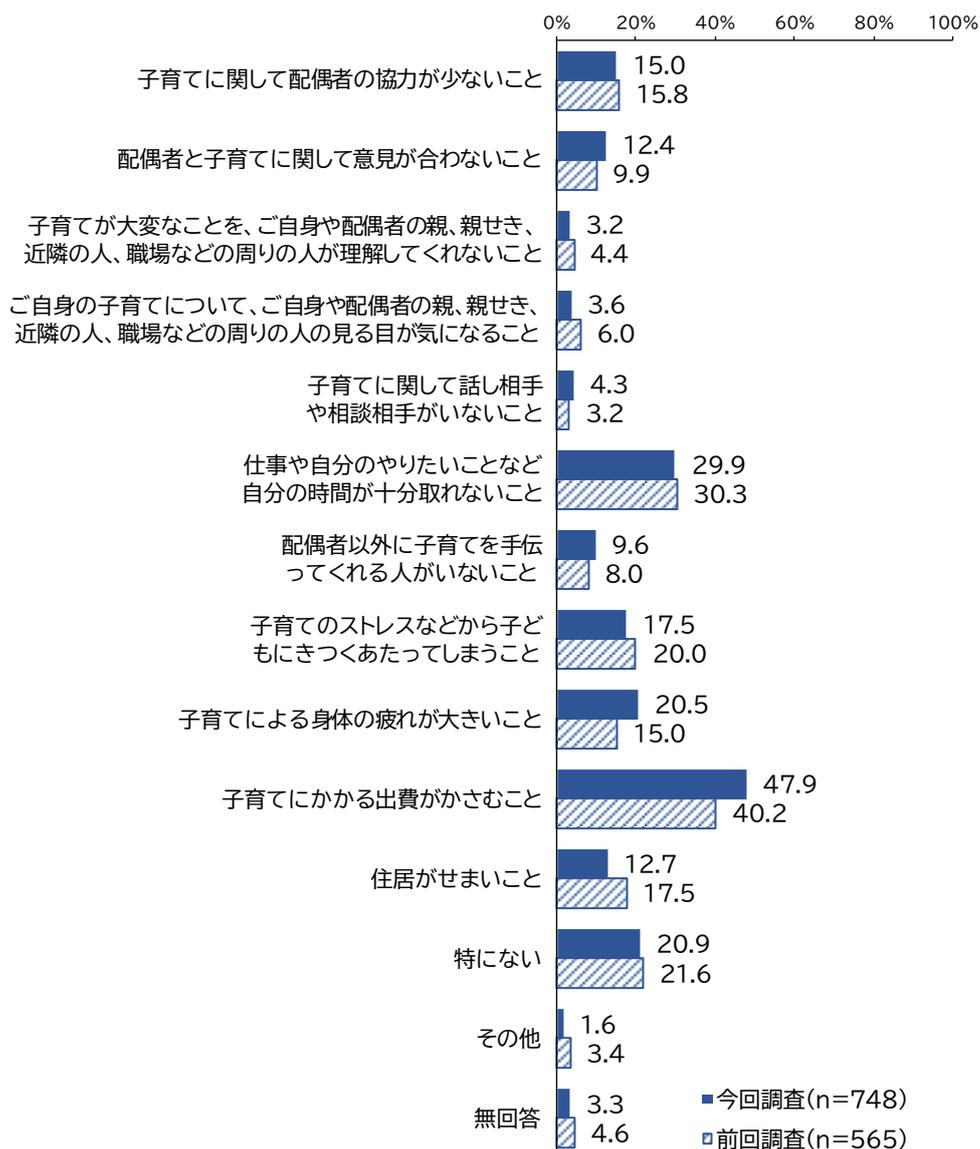
前回調査と比べると、「食事や栄養に関すること」は今回調査の方が6.1ポイント高くなっています。



■ 保護者自身に関すること

子育てについて日常悩んでいること、気になっていることで、保護者自身に関することについてみると、「子育てにかかる出費がかさむこと」が47.9%で最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が29.9%、「特にない」が20.9%、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が20.5%、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」が17.5%となっています。

前回調査と比べると、「子育てにかかる出費がかさむこと」は今回調査の方が7.7ポイント高くなっています。

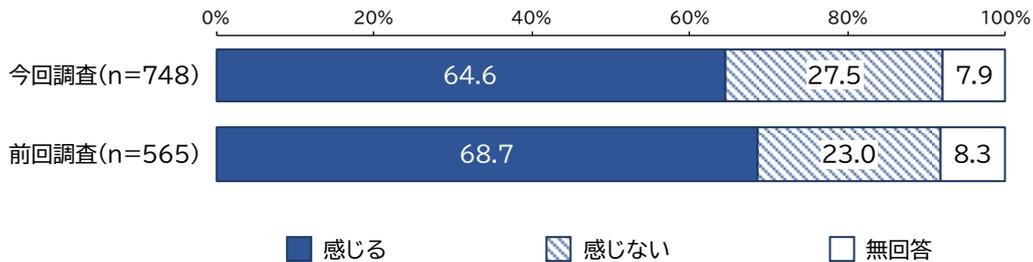


(6) 自分の子育てが地域の人に支えられていると感じるか

問 32 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。
 感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。
 感じない場合は、特に誰から支えてほしいと感じていますか。
 枠内の選択肢の中からあてはまるものをすべて選び、その番号を記入してください。

自分の子育てが地域の人に支えられていると感じるかについてみると、「感じる」が64.6%、「感じない」が27.5%となっています。

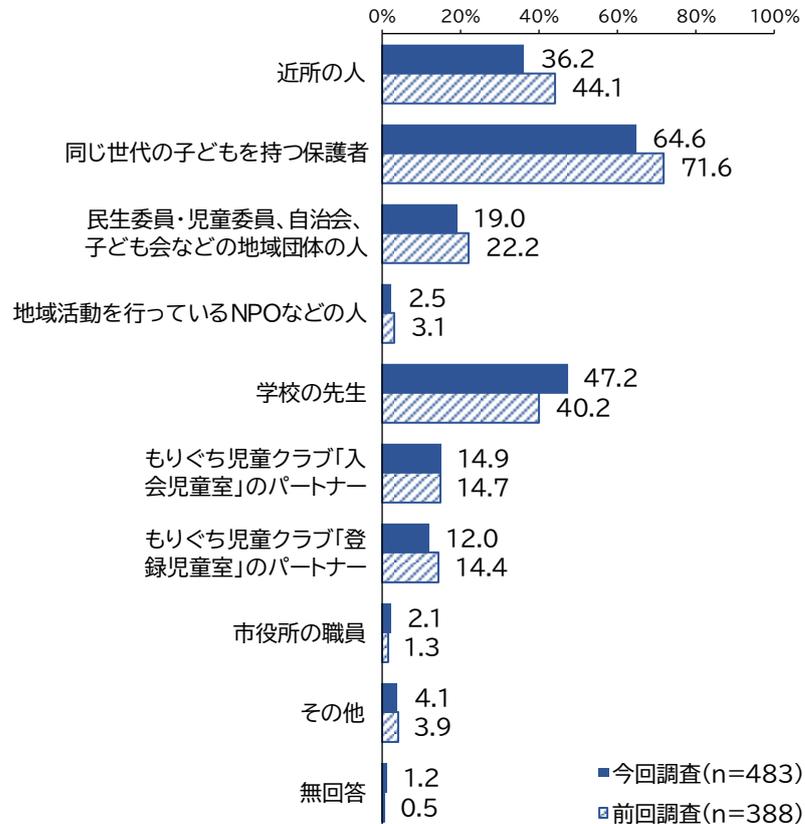
前回調査と比べると、「感じる」は今回調査の方が4.1ポイント低くなっています。



■ 誰から支えられていると感じるか

誰から支えられていると感じるかについてみると、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が64.6%で最も高く、次いで「学校の先生」が47.2%、「近所の人」が36.2%となっています。

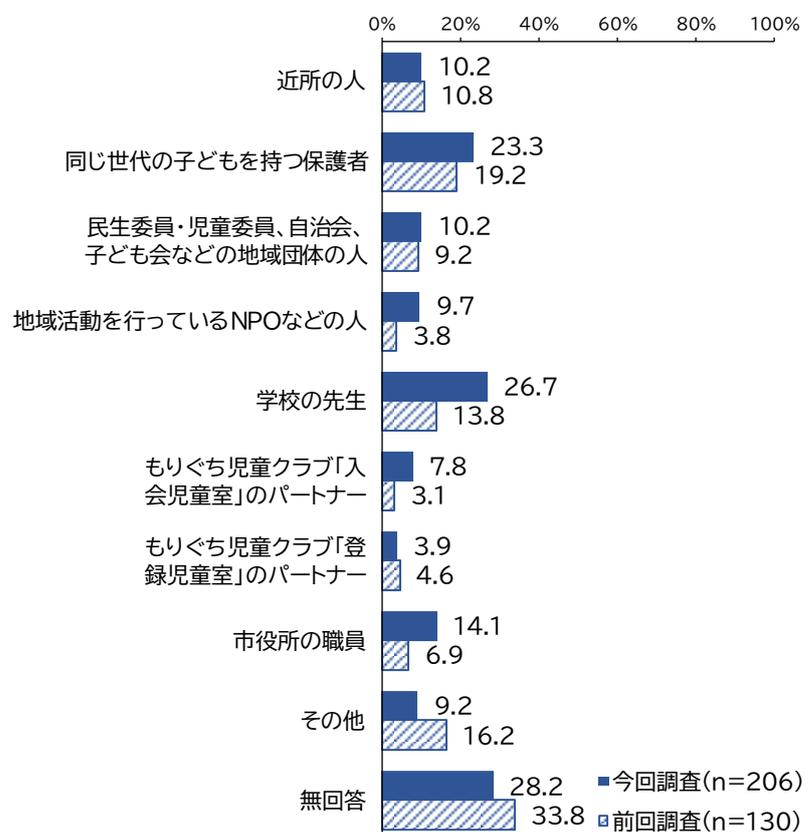
前回調査と比べると、「近所の人」は今回調査の方が7.9ポイント低くなっています。



■ 誰から支えてほしいと感じるか

誰から支えてほしいと感じるかについてみると、「学校の先生」が26.7%で最も高く、次いで「同じ世代の子どもを持つ保護者」が23.3%、「市役所の職員」が14.1%、「近所の人」と「民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人」がともに10.2%、「地域活動を行っているNPOなどの人」が9.7%、「もりぐち児童クラブ『入会児童室』のパートナー」が7.8%となっています。

前回調査と比べると、「学校の先生」は今回調査の方が12.9ポイント高くなっています。



(7) 子育てに関する行政の取組の認知度

問 33 あなたは、次のことについてどの程度知っていますか。
 それぞれの項目のあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

子育てに関する行政の取組の認知度についてみると、『知っている』（「内容も知っている」と「言葉は聞いたことがある」の合計）は④守口市子ども・子育て支援事業計画で72.1%、③こども家庭庁で60.6%、①子どもの権利条約で57.9%、②こども基本法で47.5%、⑤守口市子どもの貧困対策推進計画で44.1%となっています。

